

CipherLab Reference Manual

RS36モバイルコンピュータ
Android™ 12

バージョン1.01



Copyright © 2024 CIPHERLAB CO., LTD.

All rights reserved (すべての権利は留保されている)

ソフトウェアには所有者の所有権情報が含まれている;使用と開示の制限を含むライセンス契約に基づいて提供され、ソフトウェアのリバースエンジニアリングは禁止されている。

製品開発の継続により、予告なく変更されることがあります。ここに含まれる情報および知的財産は、所有者とクライアントの間で機密であり、所有者の排他的財産であり続けます。文書に問題がある場合は、書面でご報告ください。所有者は、この文書に誤りがないことを保証しません。

この出版物のいかなる部分も、所有者の事前の書面による許可なしに、電子的、機械的、コピー、記録その他のいかなる形式または手段によっても、複製、検索システムへの保存、または送信することはできません。

製品コンサルタントおよび技術サポートについては、現地の営業担当者にお問い合わせください。また、詳細については、当社のウェブサイトをご参照してください。

すべてのブランド、ロゴ、製品とサービス、および商標名は、登録所有者の所有物です。

Google、Android、Google Play およびその他のマークは Google LLC の商標です。

これらの名前の編集上の使用は、所有者の利益と同様に識別のためであり、侵害の意図はありません。

CIPHERLAB ロゴは、CIPHERLAB CO., LTD.の登録商標です。その他すべてのブランド、製品・サービス、商標名は、登録所有者の所有物です。これらの名前の編集上の使用は、所有者の利益と同様に識別のためであり、侵害の意図はありません。

株式会社 CipherLab

ホームページ：<http://www.CipherLab.com>

重要なお知らせ

FOR USA

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a **Class B** digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communication. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- ▶ Reorient or relocate the receiving antenna.
- ▶ Increase the separation between the equipment and receiver.
- ▶ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- ▶ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC Caution:

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Find the certificate information from:

Settings → Legal information → Electronic authentication



Tested to Comply with FCC Standards

FOR HOME OR OFFICE USE

レーザー搭載製品の取り扱い

- ▶ このレーザーコンポーネントは、出口ポートで FDA/IEC クラス 2 レーザー光を放射します。ビームを直接にのぞき込まないでください。
- ▶ 目にビームを当てないでください。
- ▶ ここで指定されている以外の調整また操作は、危険なレーザー光に暴露される可能性があります。



環境

- ▶ モバイルコンピュータを -20°C から 50°C の周囲温度と 10% から 90% の湿度範囲で使用してください。
- ▶ デバイスを -30°C から 70°C の周囲温度と 5% から 95% の湿度範囲で保管してください。
- ▶ デバイスの充電は、周囲温度が 0°C から 40°C の範囲で行ってください。
- ▶ このデバイスは、防塵・防水構造であり、保護等級 IP65/IP68 に準拠しています。

比吸収率 (SAR) 情報

▶ USA

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of www.fcc.gov/eot/ea/fccid after searching on FCC ID: Q3N-RS36

▶ Canada

The radiated output power of the Wireless Device is below the Innovation, Science and Economic Development Canada (ISED) radio frequency exposure limits. The Wireless Device should be used in such a manner such that the potential for human contact during normal operation is minimized. This device has been evaluated for and shown compliant with the ISED Specific Absorption Rate ("SAR") limits when operated in portable exposure conditions.

This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

La puissance de sortie rayonnée du dispositif sans fil est inférieure aux limites d'exposition aux radiofréquences d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada (ISED). Le dispositif sans fil doit être utilisé de manière à minimiser le potentiel de contact humain pendant le fonctionnement normal.

Cet appareil a été évalué et montré conforme aux limites de DAS (Débit d'Absorption Spécifique) de l'ISED lorsqu'il est utilisé dans des conditions d'exposition portables.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

▶ **Europe**

A minimum separation distance of 0.5 cm must be maintained between the user's body and the device, including the antenna during body-worn operation to comply with the RF exposure requirements in Europe.

To compliance with RF Exposure requirements in Europe, third-party belt-clips, holsters or similar accessories used by this device should not contain any metallic components. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with RF exposure requirements, and should be avoided.

CE SAR Value (Standard limit is 2 W/Kg)

EU (10g): Max. 1.440 W/Kg

▶ **DoC**

Hereby, CIPHERLAB CO, declares that this RS36 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU.

URL: www.cipherlab.com

Indoor restriction: In EU, 5150 to 5350MHz is restricted indoor.

リチウムポリマーバッテリーの重要な安全上の注意と警告

電を防ぐよう努めていますが、以下の留意事項に従ってバッテリーの使用と保管を行うことが重要です：

1. 長期間使わない場合は、室温で保管し、3～4 ヶ月ごとにバッテリー残量が 60%～70%になるまで充電してください。
 2. デバイスの電源が切れている場合でも、バッテリーを長時間デバイスに装着したままにしないでください。待機電力消費が発生する可能性があり、バッテリーの過度な放電を引き起こす可能性があります。
 3. バッテリーの長時間の充電を避けてください。バッテリーが完全に充電された後、バッテリーの損耗を避けるため、充電ケーブルを 48 時間以内に抜くことがお勧めします。
- ▶ ユーザーは、リチウムバッテリーのリスクを認識することが重要です。
 - ▶ リチウムポリマーおよびリチウムイオン電池は揮発性です。以下の指示を読んで従わないと、不適切な充電や使用により個人の怪我やデバイスの損傷が発生する可能性があります。
 - ▶ リチウムポリマー/リチウムイオンバッテリーは、充電と放電のライフサイクルが限られています。ライフサイクルに達すると、バッテリーが膨張する場合があります。
 - ▶ リチウムポリマーとリチウムイオンバッテリーを子供の手の届かない場所に保管してください。
 - ▶ バッテリーの充放電時には、極性を間違えないでください。必ずバッテリーのコネクタの極性をダブルチェックしてください。
 - ▶ バッテリーが 2 ヶ月以上使用されていない場合やデバイスを長期間使用しない場合は、使用する前にバッテリーを完全に放電し、充電してください。長期間デバイスを使用しない場合は、必ずバッテリーをデバイスから取り外してください。

注意：

誤ったタイプの電池に交換すると爆発の危険があります。

使用済みの電池は取扱説明書に従って処分してください。

- ▶ 電池を火やオープンに投入したり、機械的に破碎したり切断したりすると爆発の可能性があります。
- ▶ 非常に高温の環境で電池を放置すると爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
- ▶ 電池が極端に低い圧力にさらされると爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れるおそれがあります。

一般的なガイドラインと警告

- ▶ CipherLab 製の専用リチウムポリマー/リチウムイオン充電器のみを使用してください。そうしないと火災の原因となり、個人の負傷や財産の損害を引き起こす可能性があります。
- ▶ 人のいない時に充電を絶対に行わないでください。リチウムポリマー/リチウムイオンバッテリーを充電する際は、充電プロセスを常に観察し、発生する可能性のある問題に対応できるようにする必要があります。
- ▶ 市販されている一部のポリマー/リチウムイオン充電器には、バッテリーを誤ってまたは不適切な速度で充電したりする技術的な欠陥がある場合があります。購入した充電器が正常に動作することを確認し、充電プロセスを常に監視して、バッテリーが適切に充電されていることを確認してください。そうしないと火災の原因となる可能性があります。
- ▶ バッテリーがや膨張し、ふくれ上がり、煙が出たり熱くなったりした場合は、直ちに使用を中止し、販売業者に連絡してください。
- ▶ バッテリーの極性を誤ってショートさせた場合は、約 15 分間、バッテリーを安全な場所に置いて観察する必要があります。また、ショートが発生し、金属（例：手の指輪）と接触した場合、電流の導電性により重傷を負う可能性があります。
- ▶ バッテリーが出荷不良などで衝撃を負う場合は、損傷したバッテリーを取り外して観察し、他の正常なバッテリーから離して保管してください。
- ▶ バッテリーを落とさないでください。
- ▶ バッテリーを水で濡らさないでください。
- ▶ バッテリーを分解しようとししないでください。
- ▶ 液による損傷や誤って落下することから保護するために、ケースに入れることをおすすめします。

充電プロセス

- ▶ 20° C~30° C の換気の良い室内などで充電してください。
- ▶ 直射日光の下でバッテリーを充電しないでください。
- ▶ 充電のためにセル数または電圧を選択する際は、電池ラベルに表示されているセル数と電圧を選択してください。安全のため、電池に印刷されている情報が正しいことを確認してください。
- ▶ リチウムポリマー/リチウムイオンバッテリーは、充放電のライフサイクルが限られています。ライフサイクルに達すると、電池が膨張することがあります。
- ▶ 充電可能温度は 0° C から 40° C です。
- ▶ バッテリーの放電および取り扱いには 50° C を超えないようにしてください。

保管・輸送

- ▶ CipherLab のバッテリーは製造時に約 30%の容量で充電されています。長期間の保管や輸送に適した容量でいます。
- ▶ バッテリーを満充電または満放電の状態では保存しないでください。そうするとバッテリーが永久に損傷します。
- ▶ バッテリーは、デバイスに装着されていない場合でも放電します。保管されている未使用のバッテリーについては、3ヶ月ごとにバッテリーを元の容量の 40%~60%まで充電して保管することを強く推奨します。
- ▶ 長期間使用しない場合は、必ずバッテリーを取り外してください。
- ▶ 最適な性能を引き出すために、バッテリーを室内温度を 0° C から 30° C の範囲で保存してください。
- ▶ バッテリーを 50° C を超える温度で保存しないでください。また、内部短絡や過熱の原因となる可能性がある高い外圧に長時間さらさないでください。
- ▶ 車両で輸送または一時的に保管する場合、温度範囲は 0° C 以上 45° C 以下にする必要があります。
- ▶ 50° C 以上の温度で長時間（2 時間以上）保管すると、バッテリーが破損するおそれがあります。

バッテリーの使用・取り扱い・廃棄について

- ▶ リチウムポリマー/リチウムイオンバッテリーについて、1 年または 500 回の充放電サイクル（フル放電サイクル）後に膨張するのは正常です。危険性がないことを保証しますが、再利用することはできず、すぐに廃棄する必要があります。したがって、1 年ごとまたは 500 回のサイクル後、どちらが先に来るかに応じてバッテリーを交換することを強くお勧めします。
- ▶ バッテリーの性能が 20%以上に低下した場合は、バッテリーのライフサイクルが終了したことを意味します。この電池の使用を中止し、現地の安全な電池の廃棄手順に従って適切に廃棄し、新しい正常なものに交換してください。
- ▶ 実際の充電サイクル数は、使用条件、パターン、周囲温度、その他の変数によって異なります。
- ▶ 3 V 以下の深放電はバッテリーの性能を低下させる可能性があります。
- ▶ バッテリーが刺し穿たれないように注意してください。バッテリーが刺し穿たればバッテリーセルが破損する可能性があります。
- ▶ 使用済みバッテリーは、現地の規制に従って定期的かつ適切に廃棄してください。

製品保証

製品の保証は、原材料における元の製造上の欠陥に限定されます。ユーザーシナリオによって容量が減少したバッテリーには、製造上の欠陥と判断されない限り、保証は適用されません。

保証は、巻き添えによる損害には適用されません。この製品の不適切な使用、乱用正しくない充電やその他の不適切な使用による損害は保証の対象となりません。

安全上の注意



Warning statement:

A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l'utilisateur.

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

聴覚障害を防ぐために、長時間わたって大音量で聴かないようにしてください。

誤ったタイプの電池に交換すると爆発の危険があります。使用済みの電池は指示に従って処分してください。

皆様の安全のために

- ▶ 聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間聴かないでください。
- ▶ 歩行中やサイクリング中、車の運転中には操作しないでください。

機器について

- ▶ CIPHERLAB CO., LTD が販売・製造した電池や充電器以外の製品を使用しないでください。
- ▶ 発熱、火災、爆発の危険を避けるため、誤ったタイプの電池に交換しないでください。
- ▶ 分解・焼却・ショートしないでください。
- ▶ バッテリーパックの接触ピンに触れないでください。
- ▶ モバイルコンピュータやバッテリーを可燃物にさらさないでください。
- ▶ モバイルコンピュータを極端な温度にさらしたり、水に浸したりしないでください。
- ▶ 画面表面に鋭いものや尖ったものを使用しないでください。
- ▶ タッチスクリーンに傷がつくおそれがあるため、CIPHERLAB 社が提供または承認していないスタイラスペンを使用しないでください。
- ▶ タッチスクリーンに水が残ると、異常な動作や感度低下の原因となる可能性があります。
- ▶ 端末の表面やバーコード読み取り口には、低温による霧や水滴がバーコード読み取りに影響する可能性があります。
- ▶ 機器の清掃に漂白剤やクリーナーを使用しないでください。濡れた清潔な布を使用してください。

バッテリー

メインバッテリーは出荷時に完全に充電されていない場合があります。初めてモバイルコンピュータを使用するときは、メインバッテリーをフル充電してから使用してください。

- ▶ **メインバッテリー：**メインバッテリーは、モバイルコンピュータの動作に必要な電力を供給します。空のメインバッテリーをフル充電するには、約 3 時間かかります。初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間は充電してください。充電中は画面上部の充電 LED が赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に変わります。
- ▶ **拡張バッテリー：**オプションのメインバッテリーは、モバイルコンピュータの動作に必要な電力を供給します。空のメインバッテリーをフル充電するには約 6 時間かかります。初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間は充電してください。充電中は画面上部の充電 LED が赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に変わります。
- ▶ **バックアップバッテリー：**バックアップバッテリーはメインボード上に搭載します。その役割は、切れている間、モバイルコンピュータを一時的にサスペンド状態に保ち、DRAM 内のデータを保持することです。バックアップバッテリーは、メインバッテリーまたは電源アダプターで充電することができ、電源が切れていない限り常に電されている状態で、フル充電までに約 4 時間かかります。
- ▶ **RTC バッテリー：**RTC バッテリーは 3 V、3 mAh の充電可能な SMT タイプのリチウムバッテリーで、フル充電までに約 12 時間かかります。メインバッテリーを取り外した場合、RTC の保持は少なくとも 72 時間維持されます。
- ▶ デバイスの充電は、周囲温度が 0°C から 40°C の範囲で行ってください。最適なパフォーマンスを得るためには、室温（18° C から 25° C）で充電することをお勧めします。
- ▶ 周囲温度が 0°C 未満または 40°C を超えると、バッテリーの充電が停止することに注意してください。
- ▶ バッテリーが切れた後にシステムがシャットダウンすることを防ぐためには、常に交換用の新しいバッテリーを用意するか、モバイルコンピュータを外部電源に接続してください。
- ▶ 機器やバッテリーパックに液だれやほこりがある場合は、柔らかいきれいな布で拭き取ってから交換してください。
- ▶ メインバッテリーを交換する前に電源を切ってください（使用可能な温度範囲 0° C から 50° C のバッテリーホットスワップを除く）。
- ▶ モバイルコンピュータを一定時間置きたい場合は、モバイルコンピュータのバッテリーコンパートメントからバッテリーパックを取り外し、モバイルコンピュータとバッテリーパックを別々に保管してください。
- ▶ 環境保護のために、バッテリーは適切な方法でリサイクルしてください。

スキャナー

▶ 1D バーコードのスキャン

- 1) **ReaderConfig** を開き、メニューバーのスキャンテストをタップします。
- 2) スキャンウィンドウをバーコードに向けて読み取ります。デバイスを移動させ、バーコードがスキャン領域の中央に位置するようにしてください。
- 3) いずれのサイドトリガーを押します。スキャンライトが点灯して印刷されたバーコードを読み取ります。スキャン後にブザーが鳴ります。データがデコードされるか、デコードのタイムアウト時間が経過すると、スキャンライトが消灯します。

▶ 2D バーコードのスキャン

- 1) **ReaderConfig** を開き、メニューバーのスキャンテストをタップします。
- 2) スキャンウィンドウをバーコードに向けて読み取ります。デバイスを移動させ、バーコードがスキャン領域の中央に位置するようにしてください。
- 3) いずれのサイドトリガーを押します。スキャンライトが点灯して印刷されたバーコードを読み取ります。スキャン後にブザーが鳴ります。データがデコードされるか、デコードのタイムアウト時間が経過すると、スキャンライトが消灯します。

接続

Bluetooth または WLAN 経由

- ▶ モバイルコンピュータの近くに他の無線機や電源ケーブルがあると、それらの無線周波数が干渉を引き起こす可能性があるため、接続が失敗する場合があります。
- ▶ 通信が失敗した場合は、デバイス同士をより近づけて、再度通信を試みてください。
- ▶ Bluetooth の電源は、モバイルコンピュータがサスペンド状態でも維持されます。ただし、電源モードを機内モードに切り替えると、設定に関係なく Bluetooth の電源はオフになります。

充電および通信クレードルに接続する場合

- ▶ デバイスに水や水滴が残っている場合は、モバイルコンピュータを充電および通信クレードルに挿入しないでください。
- ▶ 充電および通信クレードルの LED インジケータはバッテリーの充電状態のみを示し、端末の充電状態はデバイス自体で表示されます。
- ▶ 充電されていない場合は、バッテリーの損傷、バッテリーのコネクタへの接触不良、または AC プラグが外れたことが原因である可能性があります。
- ▶ 充電エラーは、バッテリーの温度が高いことが原因である可能性があります。

ケア&メンテナンス

- ▶ このモバイルコンピュータは産業用に設計されています。モバイルコンピュータは IP 65/IP 68 に評価されたのですが、極端な温度にさらされたり、水に浸かったりすると、モバイルコンピュータが損傷する可能性があります。
- ▶ モバイルコンピュータの本体が汚れた場合は、濡れた清潔な布でほこりやごみを拭き取ってください。漂白剤やクリーナーは使用しないでください。
- ▶ 研清潔で非摩耗性、無塵の布で LCD タッチスクリーンのほこりを拭き取ってください。表面に尖ったものや鋭利なものを使用しないでください。LCD を常に乾燥させてください。
- ▶ モバイルコンピュータを一定時間保管する場合は、収集したデータをホストコンピュータにダウンロードしてから、モバイルコンピュータのバッテリーパックを取り外して保管してください。モバイルコンピュータとバッテリーパックを別々に保管してください。
- ▶ モバイルコンピュータに故障が発生した場合は、具体的な状況をメモに記録し、地元の販売代理店に相談してください。

THAILAND CAUTION

เครื่องวิทยุคมนาคมและอุปกรณ์นี้ มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช.



เครื่องวิทยุคมนาคมนี้มีอัตราการดูดกลืนพลังงานเฉพาะ (Specific Absorption Rate - SAR) อันเนื่องมาจาก
เครื่องวิทยุคมนาคมเท่ากับ 0.882 W/kg

ซึ่งสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่อง
วิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด

リリースノート

バージョン	日付	備考
1.01	2024年5月2日	<ul style="list-style-type: none">リチウムポリマーバッテリーの使用に関する留意事項を追加しました。
1.0	2023年8月15日	<ul style="list-style-type: none">初回リリース

目次

重要なお知らせ	3
レーザ搭載製品の取り扱い	4
環境	4
比吸収率 (SAR) 情報	4
リチウムポリマーバッテリーの重要な安全上の注意と警告	6
一般的なガイドラインと警告	7
充電プロセス	7
保管・輸送	8
バッテリーの使用・取り扱い・廃棄について	8
製品保証	9
安全上の注意	10
バッテリー	11
スキャナー	12
接続	12
ケア&メンテナンス	13
Thailand Caution	14
リリースノート	15
目次	16
はじめに	20
特徴	21
パッケージの内容	22
付属品	22
関連ドキュメント	23
第1章	24
クイックスタート	24
1.1. 概要	25
1.1.1. バッテリーの取り付け/取り外し	26
1.1.2. SIM カードとメモリカードを取り付け	29
1.1.3. モバイルコンピュータの電源オン/オフ	32
1.2. 充電と通信	33

1.2.1.	モバイルコンピュータの充電	33
1.2.2.	有線データ伝送	40
1.2.3.	ワイヤレスネットワークの使用	41
RS36 モバイルコンピュータを使用する		42
2.1.	バッテリー	43
2.1.1.	バッテリーステータスアイコン	45
2.1.2.	バッテリーレベルの監視	47
2.1.3.	主電池の交換	52
2.1.4.	電源管理	55
2.1.5.	バッテリーに関する注意事項	57
2.2.	メモリ	60
2.2.1.	メモリ使用状況の確認	61
2.2.2.	ストレージスペースの管理	65
2.3.	タッチスクリーン	77
2.3.1.	画面の明るさ	77
2.3.2.	画面の回転	78
2.3.3.	画面のタイムアウト設定	84
2.3.4.	テキストサイズと表示サイズ	85
2.4.	通知	86
2.4.1.	ステータス LED	86
2.4.2.	オーディオ	87
2.4.3.	音声と振動	87
2.5.	日付と時刻	94
2.6.	言語とキーボード入力	98
2.6.1.	表示言語の変更	98
2.6.2.	仮想キーボード	102
2.7.	サウンドと音量	104
2.8.	データ収集	104
2.8.1.	バーコードリーダー	104
2.8.2.	デジタルカメラ	104
基本操作		105
3.1.	ホーム画面	106
3.1.1.	ホーム画面のアプリケーション&ウィジェット	107

3.1.2.	ホーム画面上のフォルダ	109
3.2.	ナビゲーション方法	110
3.2.1.	ナビゲーション方法の変更	110
3.2.2.	最近使用したアプリケーション	113
3.3.	ステータスバー	114
3.3.1.	ステータスバーのアイコン	114
3.3.2.	クイック設定パネルを開く	116
3.3.3.	通知ドロワーを開く	121
3.4.	中断とロック	124
3.4.1.	デバイスの中断	124
3.4.2.	ロックデバイス	125
3.5.	OS のアップデート	128
3.5.1.	ネットワークの更新	128
3.5.2.	SD カードのアップデート	130
3.6.	データのバックアップ	131
3.7.	工場出荷時のデフォルトにリセット	133
3.7.1.	全データ消去（出荷時リセット）	133
3.7.2.	すべての日付を消去（エンタープライズでのファクトリーリセット）	135
3.7.3.	ようこそウィザード	136
無線 LAN 通信		141
4.1.	無線ローカルエリアネットワーク（Wi-Fi）を使用する	142
4.1.1.	Wi-Fi ネットワークに接続する方法	142
4.1.2.	Wi-Fi ネットワークを手動で追加する方法	144
4.1.3.	Wi-Fi 環境設定	147
4.1.4.	Wi-Fi ネットワークの変更	151
4.1.5.	Wi-Fi ネットワークの切断	153
4.2.	Bluetooth の使用	154
4.2.1.	Bluetooth プロファイル	154
4.2.2.	Bluetooth をオンにする方法	156
4.2.3.	Bluetooth 名の変更	159
4.2.4.	Bluetooth デバイスのペア	160
4.2.5.	Bluetooth デバイスのペアリング解除	162
4.3.	近距離無線通信の使用	163
4.3.1.	NFC 対応 Bluetooth デバイスとのペアリング	164

4.3.2.	NFC での通信	165
電話の使い方		166
5.1.	SIM カード管理	167
5.2.	電話アプリケーション	170
5.2.1.	電話インターフェイス	171
5.2.2.	電話をかける方法	174
5.2.3.	通話中の操作	175
5.2.4.	着信コールの受信	176
5.2.5.	不在着信の確認	177
5.2.6.	通話履歴	178
5.2.7.	通話の設定	179
5.2.8.	電話会議のやり方	180
5.3.	オーディオモード	181
5.4.	通話音量	182
CIPHERLAB ユーティリティ		183
6.1.	A-Demo	184
6.2.	AppLock (アプリケーションロック)	186
6.3.	BarcodeToSetting	187
6.4.	BT Printer Mate	192
6.5.	Button Assignment	193
6.6.	Enterprise Settings	194
6.7.	HF RFID Configuration	196
6.8.	ReaderConfig	197
6.9.	Signature Capture	198
6.10.	SIP Controller	199
6.11.	Software Trigger	203
6.12.	LogGen (ログジェン)	207
6.13.	WirelessNit	208
6.14.	Ping	209
仕様		214
	プラットフォーム、プロセッサ & メモリ	214
	通信とデータキャプチャ	215

電気的特性.....	217
物理的特性.....	219
環境特性.....	220
プログラミングサポート.....	221
付録 I	222
アプリケーションメニュー.....	222
付録 II	225
オープンソースライセンス.....	225

はじめに

Android 12 を搭載した **RS36** モバイルコンピュータは、軽量で使いやすく、カスタマイズの柔軟性を提供する目的で強力で便利なツールを提供します。

特に産業用 PDA として機能するように設計されており、データ収集、音声とデータ通信、長時間労働など豊富なオプションを提供します。大きな透明ディスプレイは、あらゆる照明条件での読みやすさを保証します。Bluetooth® Class II、v5.1 dual mode、v2.1 with EDR（拡張データ レート）、IEEE 802.11a/b/g/n/ac/d/h/l/r/k/v/w/mc/ax（WIFI 6 モデルのみ 802.11 ax）のネットワークテクノロジーが統合されており、GSM/UMTS/WCDMA/HSPA/HSPA+/LTE/VOLTE モジュールも搭載されています。特に、統合された GPRS/EGPRS レシーバは、サードパーティの位置ベースのアプリケーションで使用できるようになっています。

このマニュアルは、モバイルコンピュータのインストール、設定、操作方法を説明するものです。

特に、[「ケア&メンテナンス」](#) のセクションは、モバイルコンピュータのケアを担当する人にとって重要です。

すぐに参照したりメンテナンスしたりするために、マニュアルを手元に置いておくことをお勧めします。不適切な廃棄や操作を避けるために、使用前にマニュアルをよくお読みください。

特徴

- ▶ 落下テストに耐えられる丈夫な構造で、防塵防水性能は工業標準の IP65 / IP68 に準拠しています。
- ▶ Android 12 オペレーティングシステム搭載し、高性能な Qualcomm QCM 4290 Octa-core 最大 2.0 GHz CPU を提供します。
- ▶ 64GB のフラッシュメモリを備え、OS とソフトウェアプログラムを保存することができます。
- ▶ 4GB の LPDDR4X RAM が搭載されており、プログラムの保存と実行、およびプログラムデータの保持に使用されます。
- ▶ microSDHC カード最大 32GB および microSDXC カード最大 64GB-2TB に対応した 1 つの拡張スロットがあります。
- ▶ 内蔵のオートフォーカス 16 メガピクセルリアカメラと LED フラッシュが搭載されています。
- ▶ 左右のトリガーを備えており、両手利きのスキャンが可能です。
- ▶ Bluetooth® Class II、v5.1 dual mode、v2.1 with EDR（拡張データ レート）、IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/d/h/l/r/k/v/w/mc/ax（WIFI 6 モデルのみ 802.11ax）ネットワーキングテクノロジー、GPRS/EGPRS/GSM/UMTS/WCDMA/HSPA/HSPA+/LTE/
- ▶ VOLTE、および近接無線通信（NFC）など、完全なワイヤレスソリューションを提供します。
- ▶ 5.5 インチの透過型 IPS LCD ディスプレイは、Corning® Gorilla® Glass で保護されており、720x1400 ピクセルの優れた表示性能を提供します。
- ▶ スピーカーとバイブレーターを含む設定可能なフィードバックインジケーターがあります。
- ▶ 組み込みのスキャンエンジン設定ツールである Reader Configuration を備えており、キーボードウェッジ機能を提供します。

パッケージの内容

キットパッケージには以下のアイテムが含まれています。モバイルコンピュータを保管や発送する必要がある場合に備えて、箱と梱包材を保存してください。

- ▶ RS36 モバイルコンピュータ
- ▶ スナップオンケーブル（オプション）
- ▶ AC 電源アダプタ（オプション）
- ▶ クイックスタートガイド

付属品

- ▶ 1 スロット充電・通信用クレードル
- ▶ ピistolグリップ
- ▶ 保護用ゴムボート
- ▶ ハンドストラップ
- ▶ UHF RFID リーダー
- ▶ USB スナップオンケーブル
- ▶ 4 スロットバッテリーチャージャー
- ▶ マルチスロットターミナル充電クレードル
- ▶ スクリーンプロテクター

関連ドキュメント

RS36 モバイルコンピュータに関する関連ドキュメントについては、[CipherLab の Web サイト](#)を参照してください。

第1章

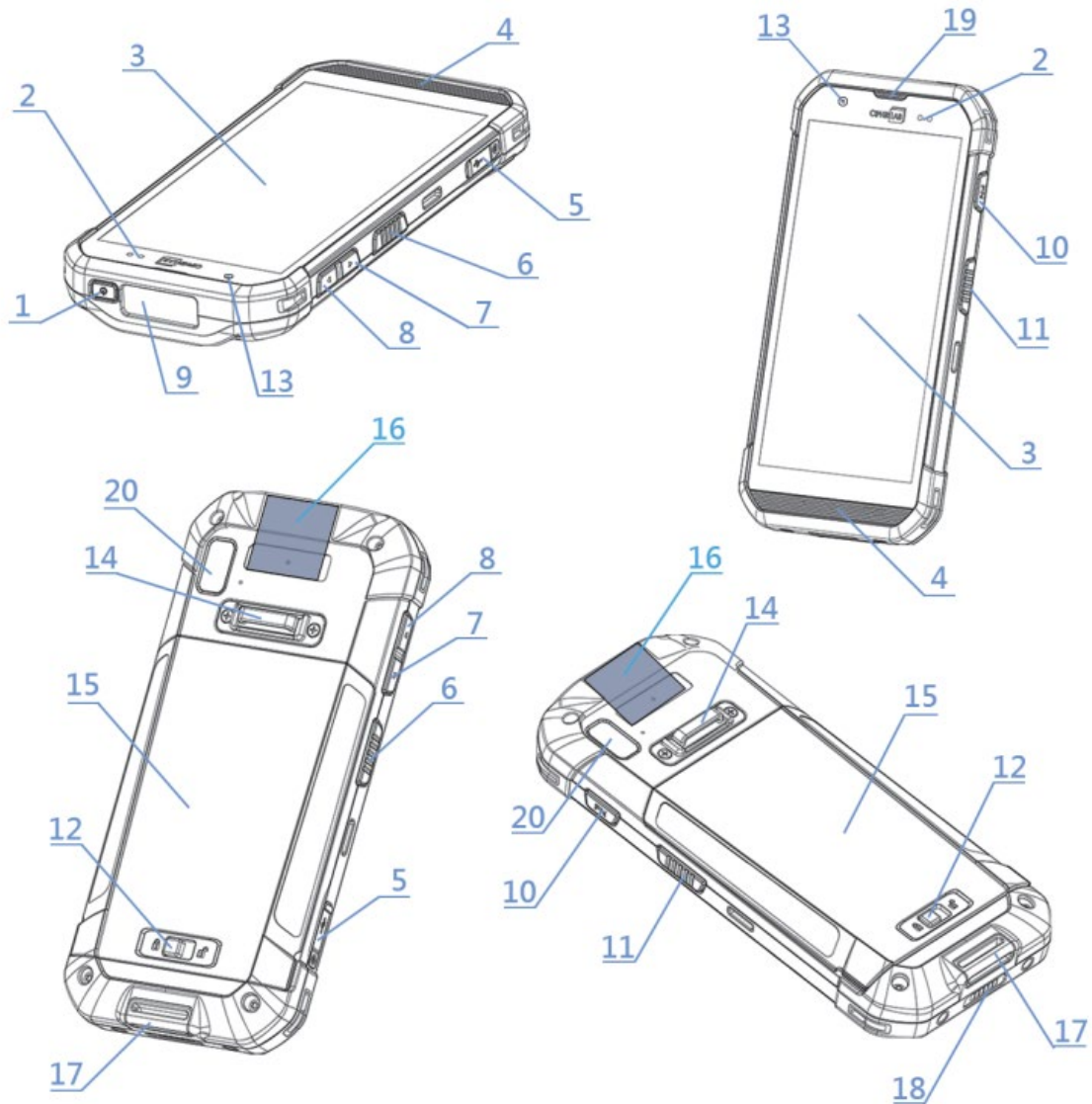
クイックスタート

この章では、モバイルコンピュータの使用を開始する準備について説明します。

この章では

1.1. 概要	25
1.2. 充電と通信.....	33

1.1. 概要



No.	説明	No.	説明	No.	説明
1.	電源ボタン	8.	音量アップボタン	15.	バッテリーカバー付バッテリー
2.	ステータス LED	9.	コード読み取り口	16.	NFC 検出エリア
3.	タッチスクリーン	10.	ファンクションキー	17.	ハンドストラップホール
4.	マイクとスピーカー	11.	サイドトリガー (右)	18.	充電&通信ピン
5.	カバー付き USB-C ポート	12.	バッテリーカバーラッチ	19.	レシーバー
6.	サイドトリガー (左)	13.	フロントカメラ	20.	リアカメラ
7.	音量ダウンボタン	14.	ハンドストラップカバー		

1.1.1. バッテリーの取り付け/取り外し

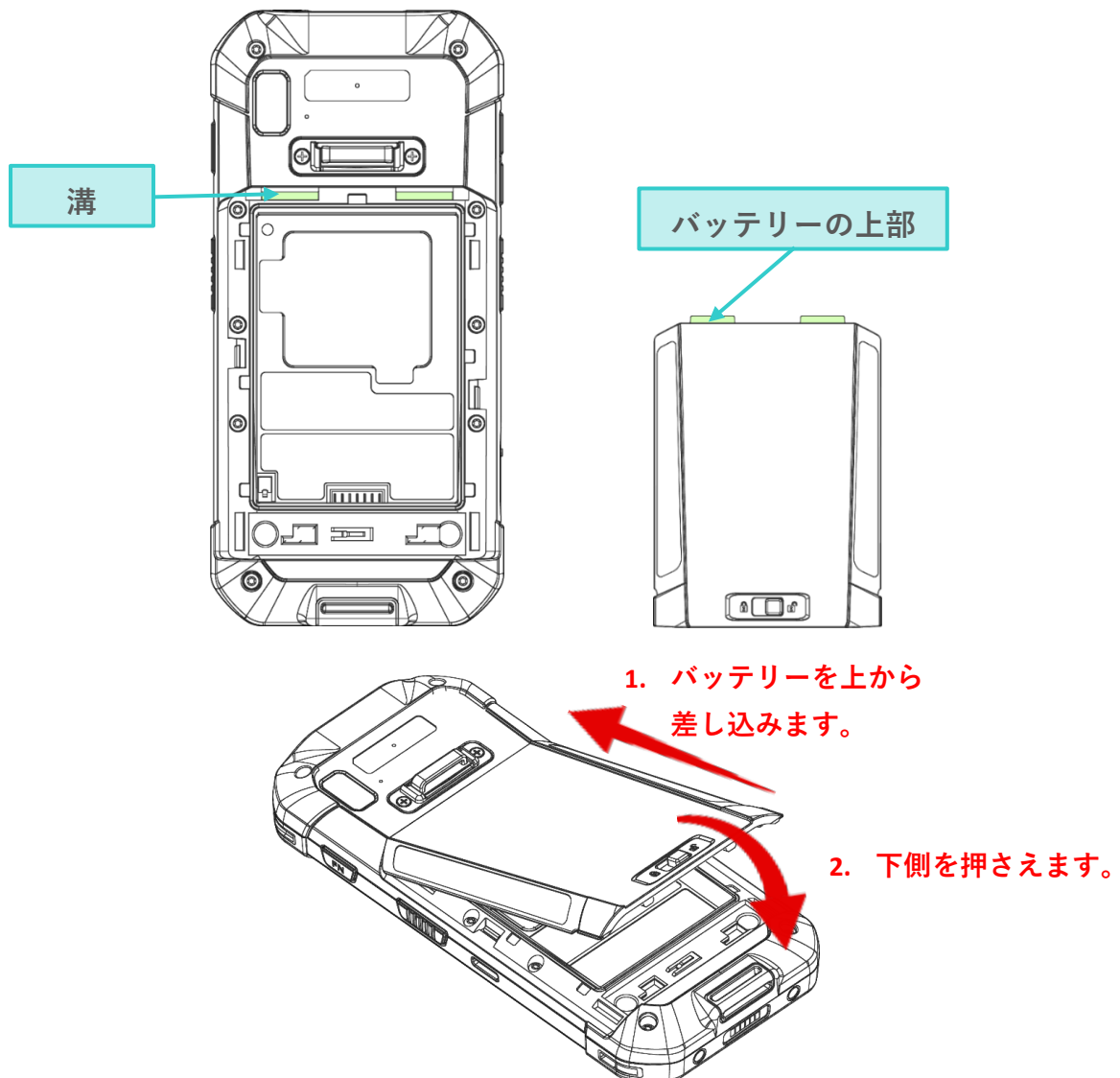
出荷と保管のため、モバイルコンピュータとメインバッテリーは別々のパッケージに保存されます。

注意：

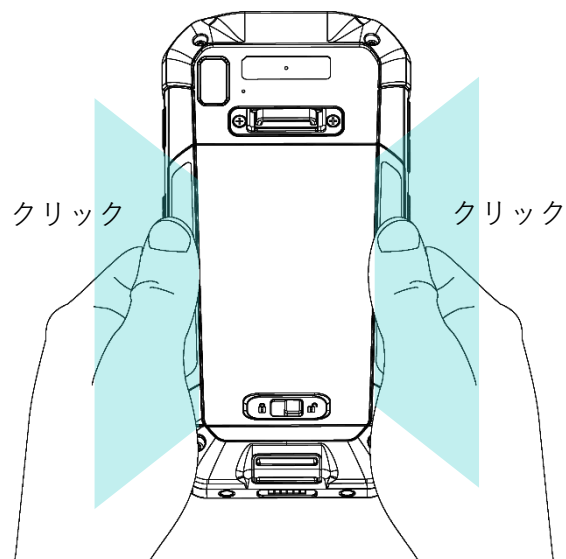
- (1) 不適切な取り扱いをすると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
- (2) バッテリーの交換には、必ず満充電のメインバッテリーを使用してください。

次の手順に従って、電池を取り付けます。

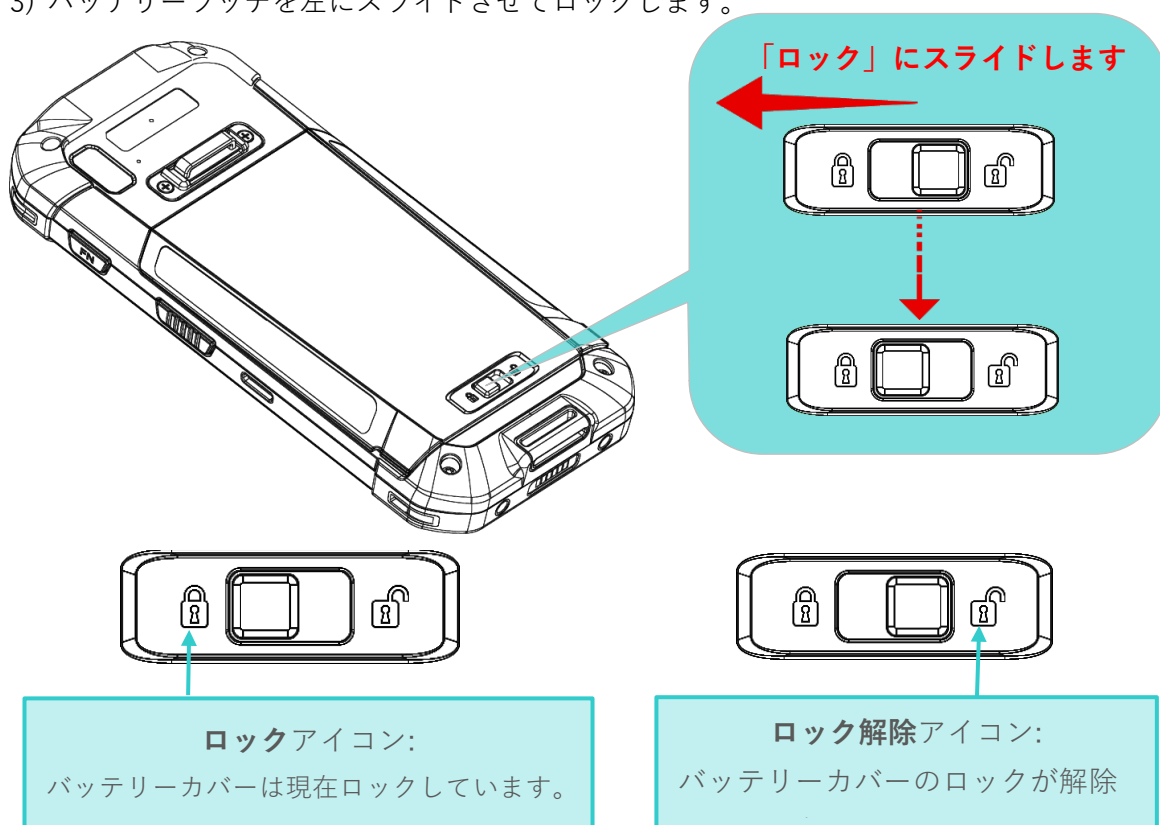
- 1) 充電済みのメインバッテリーをバッテリー上部から溝に挿入し、バッテリーの下端を押し下げます。



- 2) バッテリーの左右両端を押して、隙間なくしっかり取り付けられていることを確認します。



- 3) バッテリーラッチを左にスライドさせてロックします。



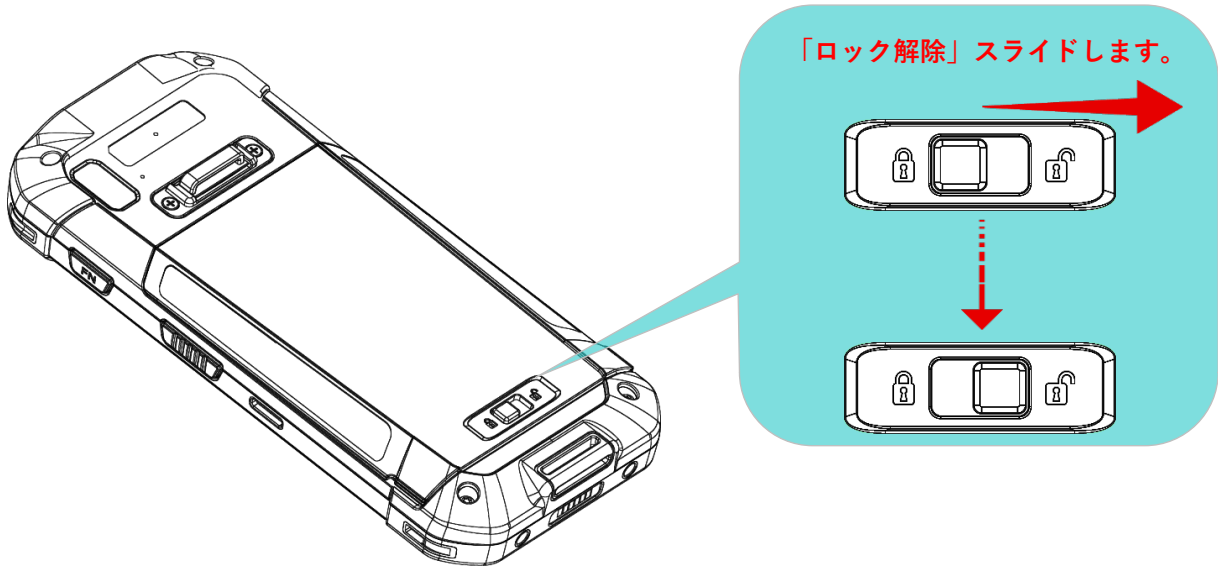
警告：

- (1) デバイスの電源を入れる前に、バッテリーラッチが「ロック」位置になっていることを確認してください。
- (2) 最初に使用する場合は、充電されたバッテリーを挿入し、バッテリーカバーを所定の位置にロックしてから、電源キーを押してモバイルコンピュータの電源を入れてください。

バッテリーの取り外し

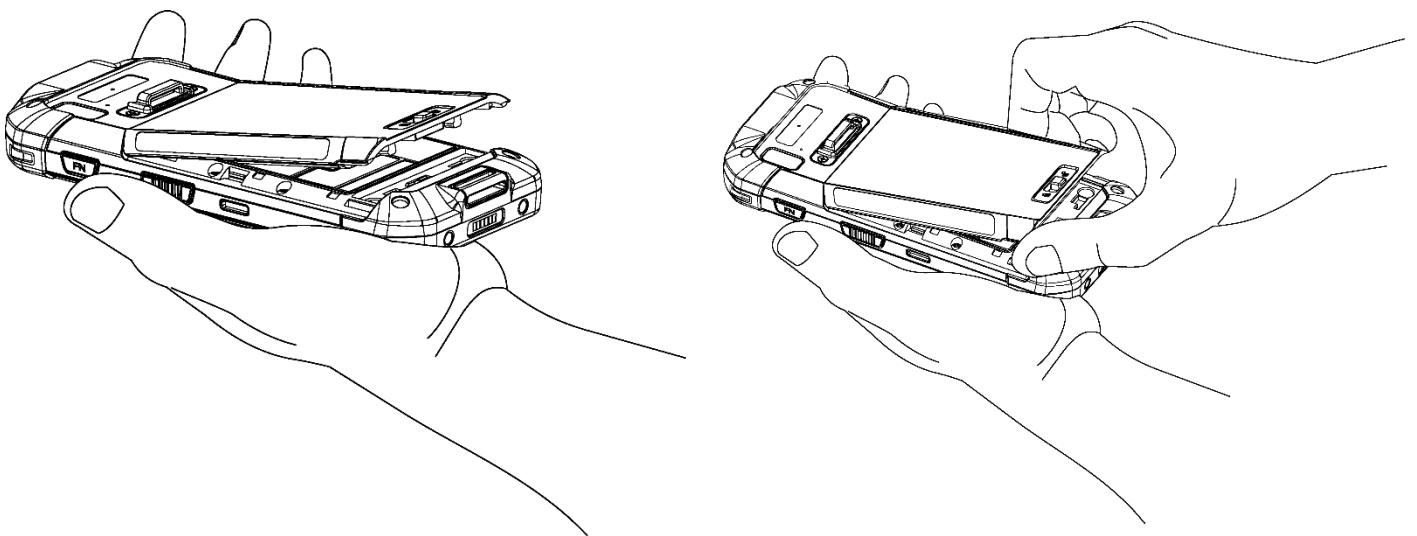
次の手順に従って、電池を取り外します。

- 1) バッテリーラッチを右にスライドさせてロックを解除します。



- 2) ロックが解除されるとバッテリーカバーが少し傾き、取り外せる状態になります。

バッテリーカバーの両側を持ち、バッテリーカバーの付いたメインバッテリーを下端から持ち上げて取り外します。

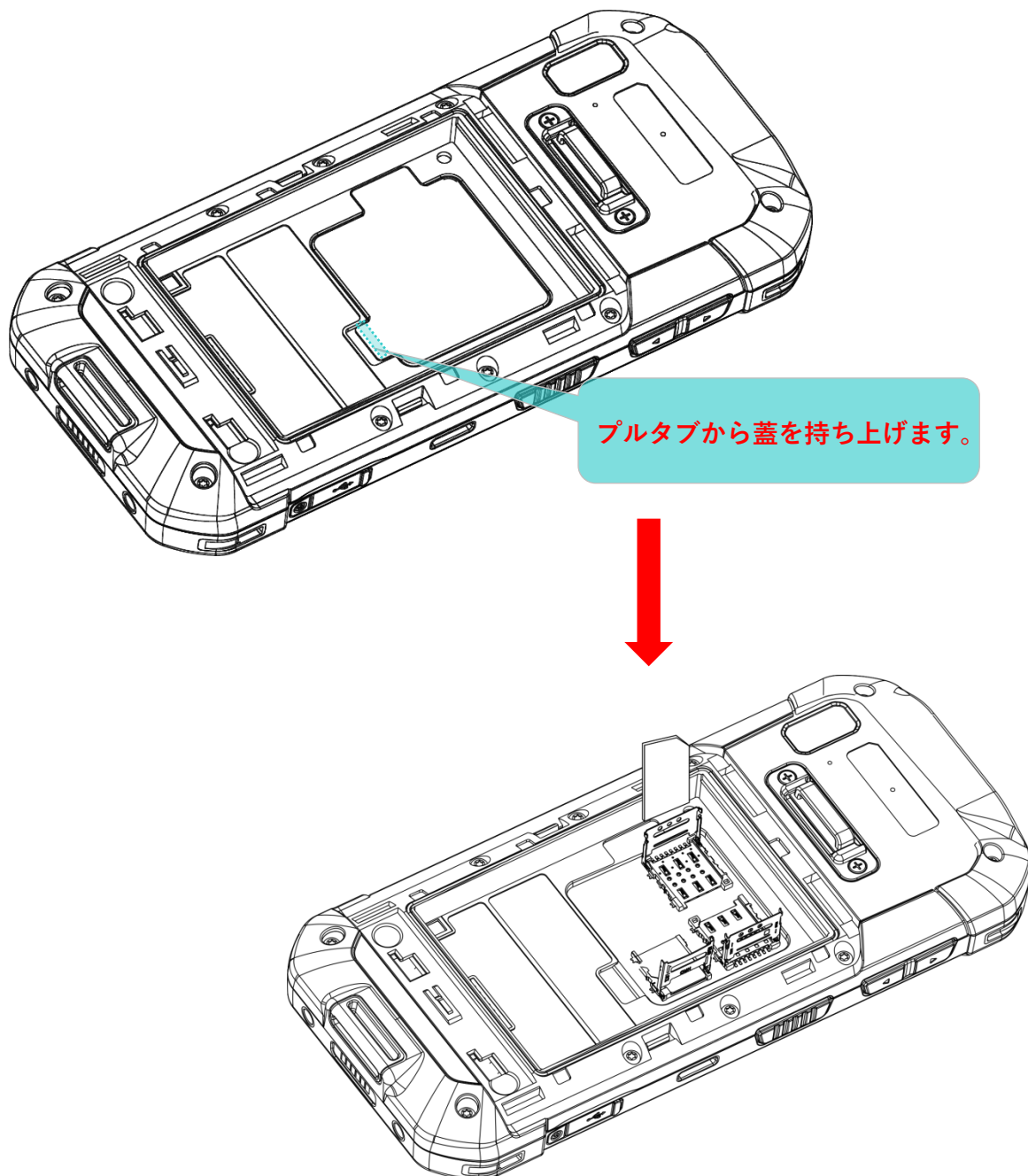


1.1.2. SIM カードとメモ리카ードを取り付け

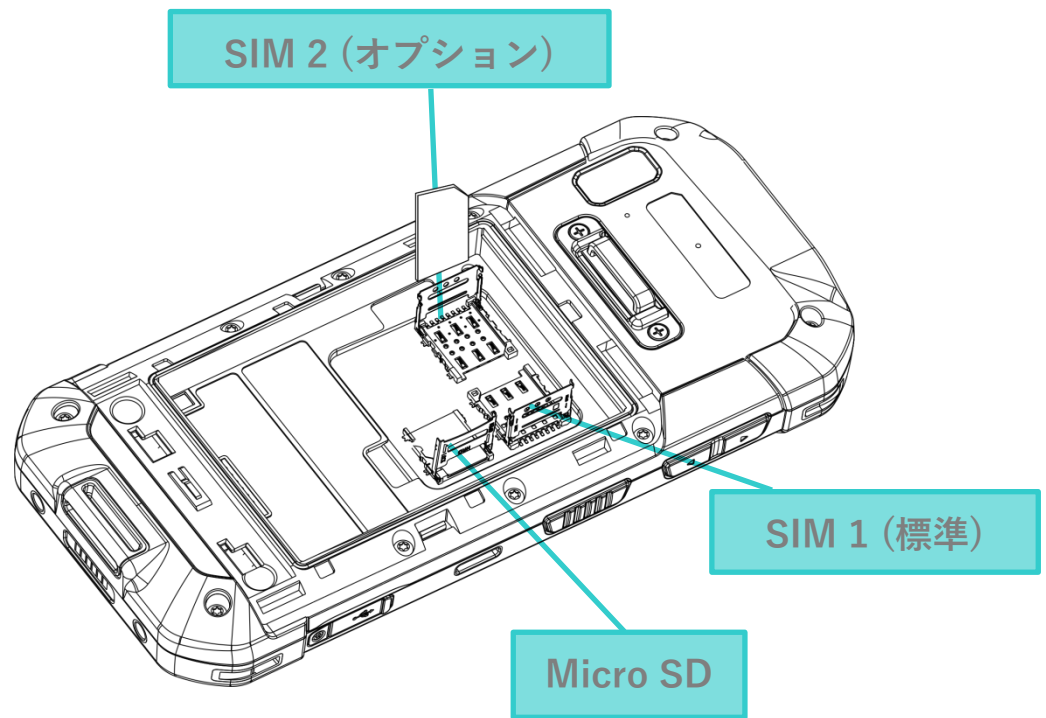
RS36 モバイルコンピュータには、2つのSIM カードスロット（標準 x1 とオプション x1）と1つのメモ리카ードスロットが搭載されています。

カードの挿入

- 1) 「[バッテリーの取り外し](#)」の説明に従って、バッテリーを取り外します。
- 2) プルタブを持って、カードソケットのチャンバーを保護する蓋を持ち上げてください。

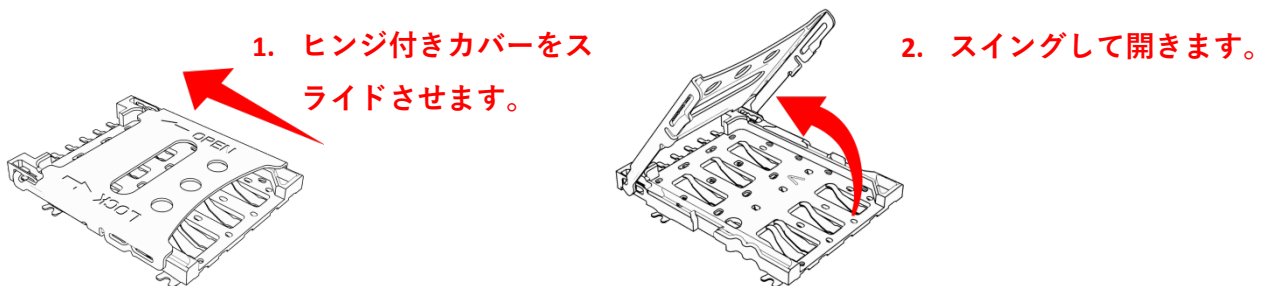


- 3) チェンバーが現れたら、SIM カードと Micro SD カードをそれぞれのソケットに挿入してください。ヒンジ付きカバーを閉じ、クリック音が鳴るまで押し戻してください。

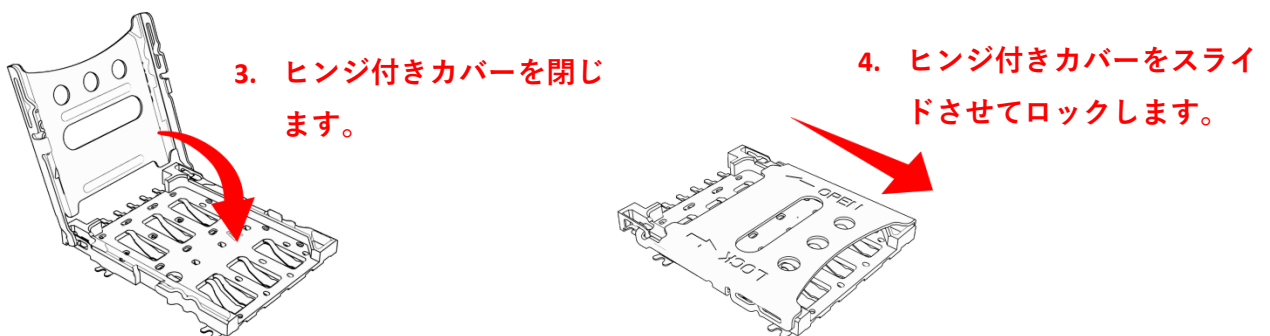


カードを取り付け

- 1) ヒンジ付きカバーを後ろにスライドさせます。
- 2) 上部をスイングして開きます。



- 3) カードを挿入し、ヒンジ付きカバーを閉じてから押し戻します。



- 4) 内蓋を戻してバッテリーカバーを取り付け、バッテリーラッチを「ロック」位置まで押し戻します。

カードの取り外し

次の手順に従って、カードを取り外します。

- 1) バッテリーを取り外します。
- 2) 中蓋を持ち上げます。
- 3) カードヒンジカバーのロックを解除し、カードを取り外します。
- 4) 内蓋とバッテリーカバーを取り付け、バッテリーラッチをスライド「**ロック**」位置にさせて戻します。

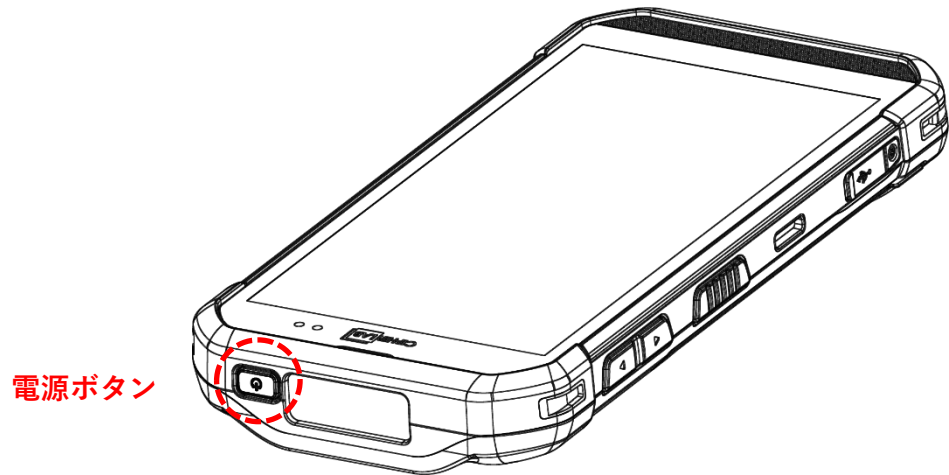
注意：

- (1)SIM 1 カードと SIM 2 カードはどちらも Nano SIM カードのみ対応しています。
 - (2)SIM 1 カードスロットと SIM 2 カードスロットはどちらも 2G/3G/4G カードに対応しています。ただし、3G/4G のデータ伝送はどちらの SIM でも可能ですが、両方で同時に行うことはできません。
-

1.1.3. モバイルコンピュータの電源オン/オフ

電源オン

モバイルコンピュータの電源を入れるには、デバイスの上端にある電源ボタンを長押しする必要があります。🔌 モバイルコンピュータの電源が入り、スプラッシュスクリーンの後に**ホーム**スクリーンが表示されます。

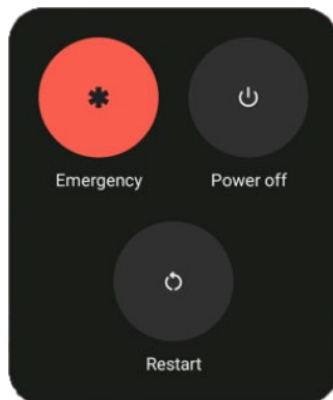


注意：

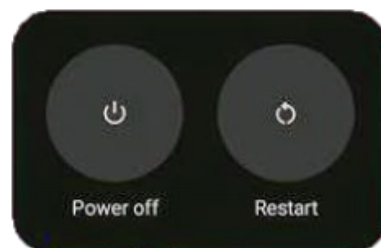
モバイルコンピュータの電源を入れるには、バッテリーカバーを固定する必要があります。

電源オフ

モバイルコンピュータの電源を切るには、電源ボタン 🔌 を3秒以上押し続けてください。画面上にメニューが表示され、デバイスの電源を切ることができます。**Power off** をタップする前に、すべてのユーザーデータとタスクが保存されていることを確認してください。



(LTE)



(WiFiのみ)

1.2. 充電と通信

1.2.1. モバイルコンピュータの充電

出荷時にはメインバッテリーが完全に充電されていない場合があります。キットパッケージを初めて受け取った際には、モバイルコンピュータを使用する前にメインバッテリーを完全に充電する必要があります。モバイルコンピュータの充電には、電源アダプターと共にスナップオン充電ケーブルまたは充電&通信クレードルを使用できます。

ホストコンピュータに USB Type-C ケーブルを接続して充電することもできます。ただし、付属のスナップオンケーブルや充電&通信クレードルを使用した充電に比べて、充電速度は遅くなります。

充電時間

▶ メインバッテリー：

メインバッテリーは、モバイルコンピュータの動作に必要な電力を供給します。空の主電池をフル充電するのに約 3 時間かかります。初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間充電してください。充電中は画面上部にある充電 LED（右側）が赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に変わります。

▶ 拡張バッテリー：

オプションのメインバッテリーは、モバイルコンピュータの動作に必要な電力を供給します。空のメインバッテリーをフル充電するには、約 6 時間かかります。初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間充電してください。充電中は画面上部にある充電 LED（右側）が赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に変わります。

▶ バックアップバッテリー：

バックアップバッテリーはメインボード上に搭載されています。その役割は、切れている間、モバイルコンピュータを一時的にサスペンド状態に保ち、DRAM 内のデータを保持することです。バックアップバッテリーは、メインバッテリーまたは電源アダプターで充電することができ、電源が切れていない限り常に電されている状態で、フル充電までに約 4 時間かかります。

▶ RTC バッテリー：

RTC バッテリーは充電可能な SMT タイプのリチウムバッテリーで、フル充電までに約 12 時間かかります。メインバッテリーを取り外した場合、RTC の保持は少なくとも 72 時間維持されます。

充電温度

バッテリーの充電は、周囲温度が 0°C から 40°C の範囲で行ってください。最適なパフォーマンスを得るためには、室温（18° C から 25° C）で充電することをお勧めします。

周囲温度が 0°C 未満または 40°C を超えると、バッテリーの充電が停止することに注意してください。

バッテリー電源での動作

Bluetooth® Class II、v5.1 dual mode、v 2.1 with EDR（拡張データ レート）、IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/d/h/l/r/k/v/w/mc/ax（WiFi 6 モデルのみ 802.11 ax）ネットワークテクノロジー、GSM/UMTS/WCDMA/HSPA/HSPA+/LTE/VOLTE、GPRS/EGPRS がすべてバッテリー電源で有効になっている場合、メインバッテリーのレベルが大幅に低下します。ディスプレイを長時間使用し、バーコードをスキャンし続けると、バッテリーのレベルにも影響します。

バッテリーが消耗してシステムがシャットダウンしないように、常に新しいバッテリーに交換しておくか、モバイルコンピュータを外部電源に接続することをお勧めします。

充電中のバッテリーステータス&ステータス LED

RS36 モバイルコンピュータを外部電源に接続すると、タッチスクリーン上部のステータス LED に以下のように表示されます。

LED のステータス	説明
赤、点灯	モバイルコンピュータの充電
赤、点滅	充電エラー
グリーン、点灯	充電完了
ライトなし	ケーブルが正しく接続されていない

スナップオンケーブルを使用する

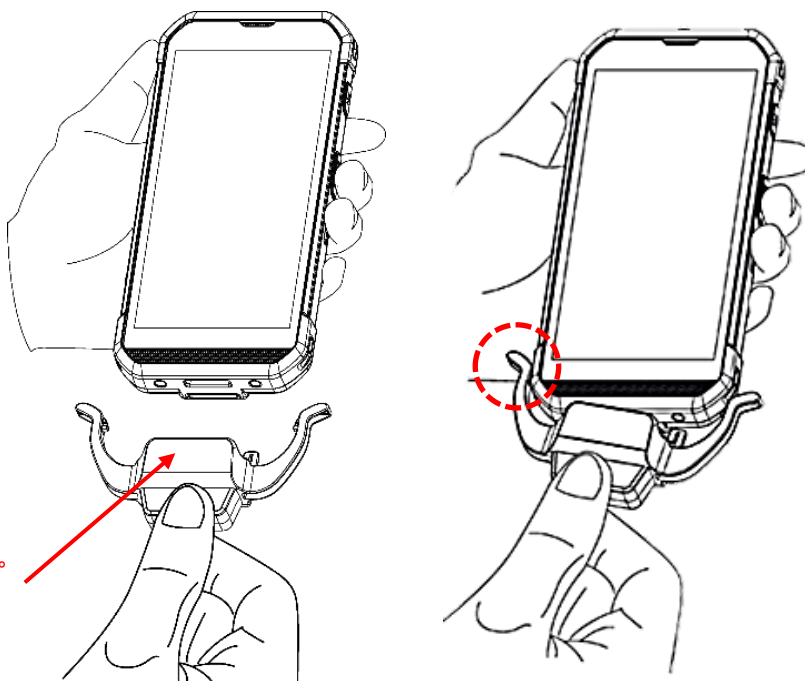
スナップオンケーブルは、データ通信だけでなくモバイルコンピュータの充電にも便利な方法を提供します。

スナップオンケーブルをインストールするには、次の手順に従ってください

1) RS36 モバイルコンピュータに接続されている場合は、USB Type-C ケーブルを取り外します。

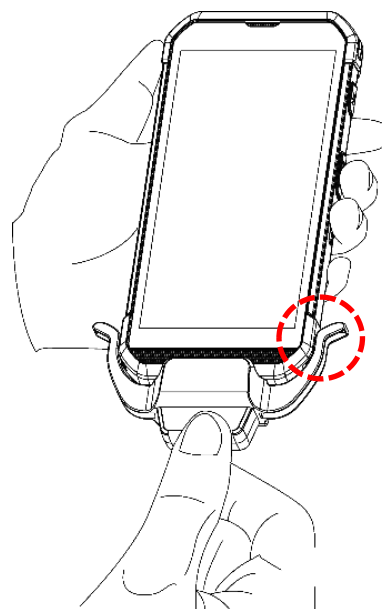
2) スナップオンカップを RS36 モバイルコンピュータの底面に向けて持ち、スナップオンカップ側の一方を RS36 モバイルコンピュータの側面に置きます。

スナップオンカップ

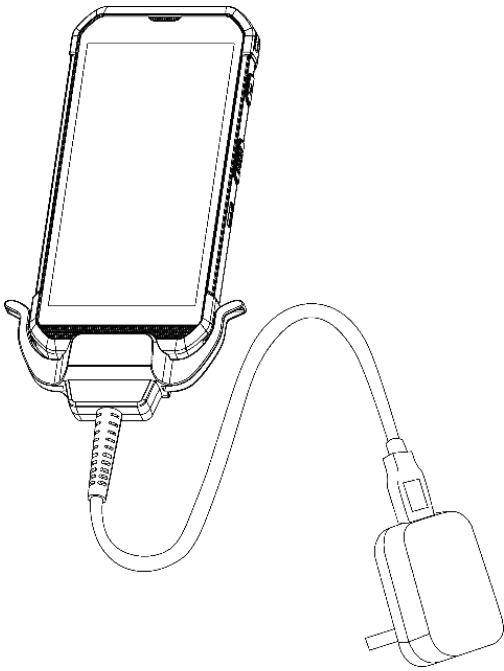


3) スナップオンカップを上を押して、反対側を RS36 モバイルコンピュータに取り付けるようにしてください。

4) スナップオンケーブルを RS36 モバイルコンピュータの下部に接続すると、「カチッ」という音が鳴ります。



- 5) USB プラグを承認されたアダプタに接続して外部電源接続するか、PC/ラップトップの USB ポートに接続してデータ伝送/充電を行います。



デバイスのバッテリーが充電されている間は、モバイルコンピュータの LED が充電状態を示します。

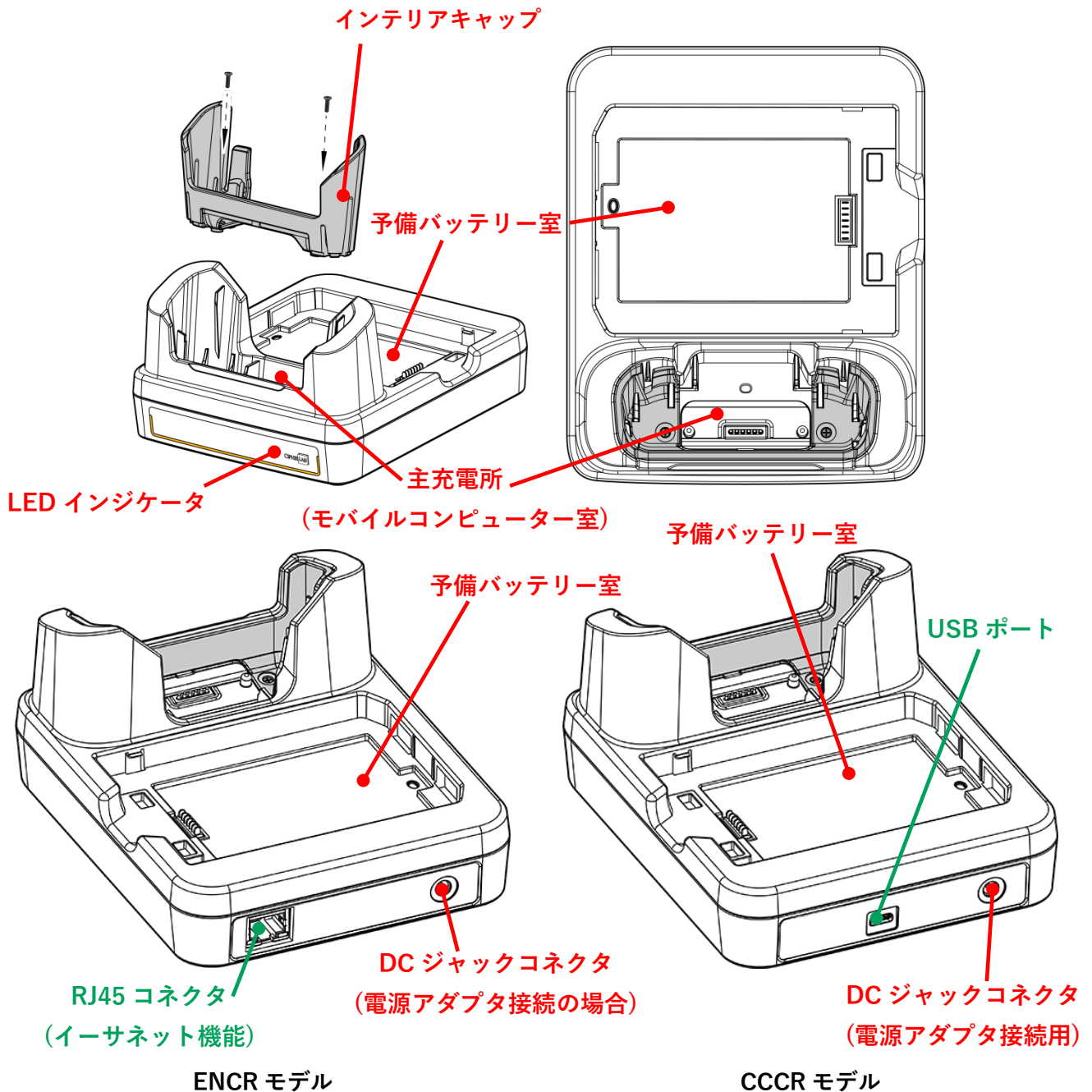
LED インジケータ	ステータス	説明
充電	赤、点灯	モバイルコンピュータの充電
	赤、点滅	充電エラー
	グリーン、点灯	充電完了
	ライトなし	ケーブルが正しく接続されていない

注意：

- (1)USB Type-C ケーブルは、スナップオンケーブルを取り付ける前に取り外す必要があります。
- (2)データ通信では、USB Type-C ケーブルを使用してモバイルコンピュータを PC やノートパソコンに接続することもできます。

充電と通信クレードルを使用する

充電と通信クレードルは、モバイルパソコンと予備バッテリーを同時に充電し、データ通信にも使用できます。

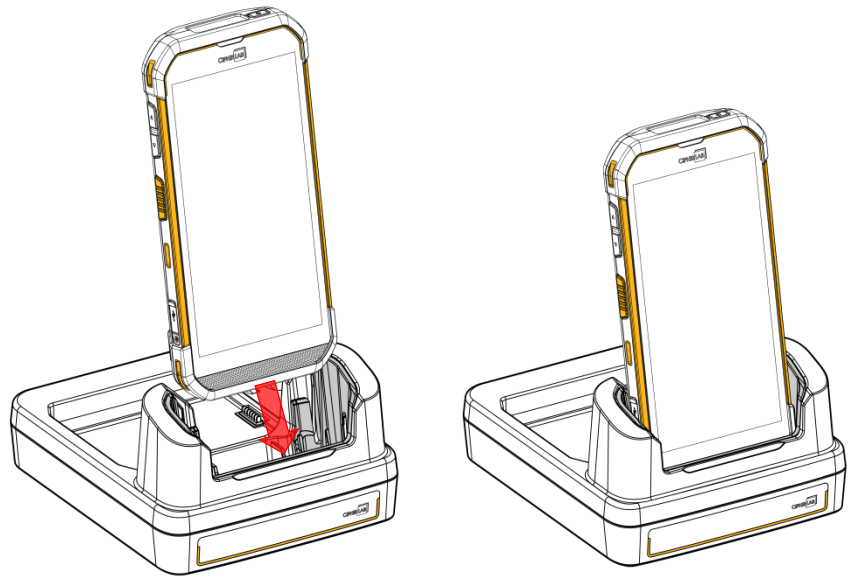


注意：内部キャップを充電および通信用クレードルに取り付けることで、RS36 モバイルコンピューターをゴムブートなしでスムーズに収納できます。

充電と通信クレードルでモバイルコンピュータを充電するには：

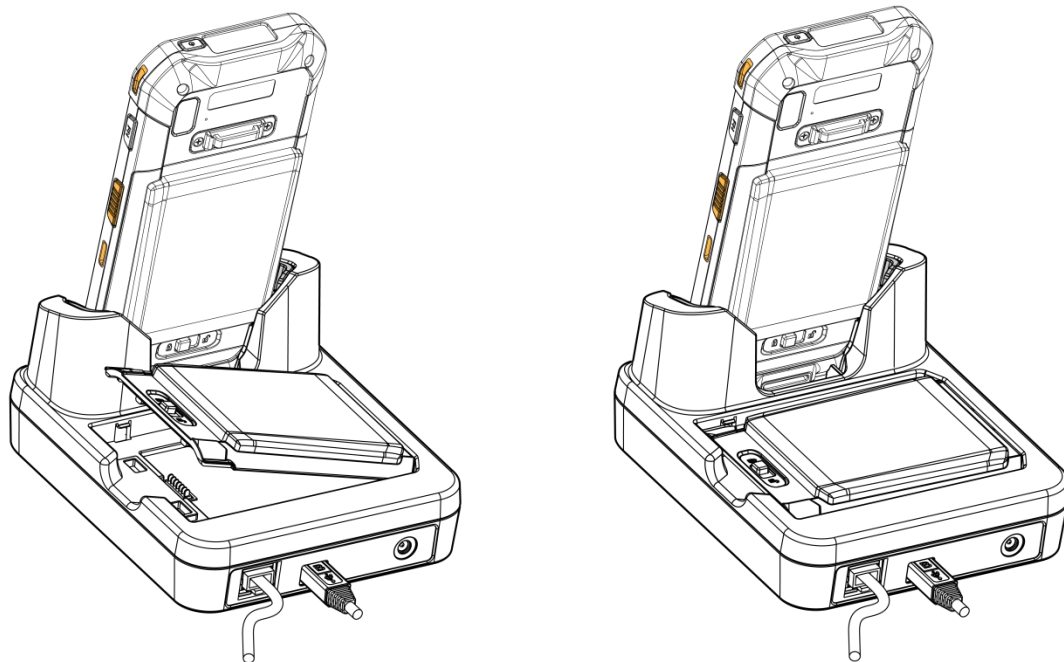
- 1) RS36 モバイルコンピュータに接続されている場合は、USB Type-C ケーブルを取り外します。
- 2) RS36 モバイルコンピュータを Cradle に挿入します。モバイルコンピュータを挿入する前に、取り付けられているハードシールドやハンドストラップを事前に取り外す必要はありません。

取り外す場合は、直接デバイスを取り出してください。



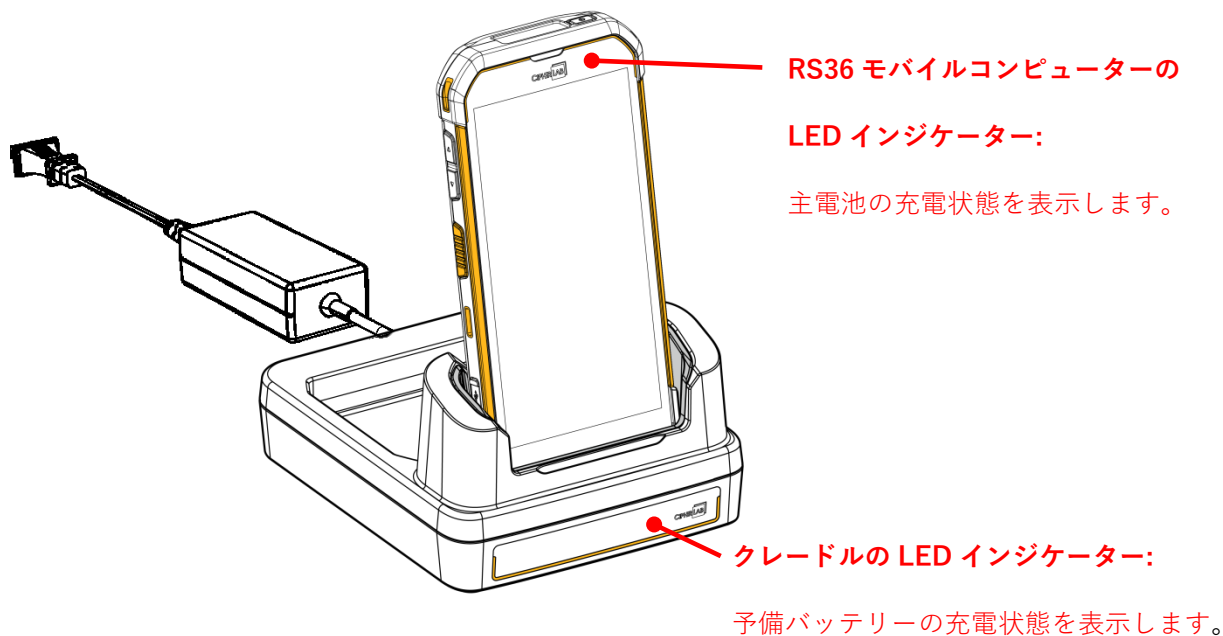
- 3) 予備バッテリーは、バッテリーを上側からクレードルの予備バッテリー収納部に挿入し、バッテリーの下側（バッテリーラッチの位置）を押してください。

取り外す場合は、直接電池を取り出してください。



4) アダプタをクレードルに接続し、もう一端をコンセントに差し込みます。

モバイルコンピュータの充電状態はデバイス自体で表示されます、RS36 充電と通信クレードルの LED インジケータには以下のようにバッテリーの充電状態を表示します。



クレードル LED 表示器	ステータス	説明
充電	赤、点灯	バッテリーの充電
	赤、点滅	充電エラー
	赤、1回点滅	バッテリーなし
	グリーン、点灯	充電完了
	ライトなし	充電なし

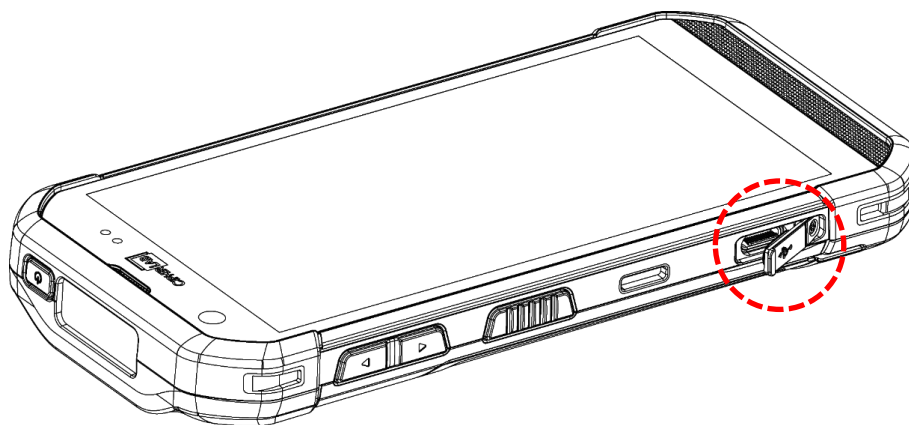
注意：

- (1) 充電しないのは、バッテリーの損傷、バッテリーの接触不良の可能性、またはコネクタ、AC プラグが外れている可能性があります。
- (2) 充電エラーは、バッテリーの温度が高いことが原因である可能性があります。
- (3) デバイスをクレードルに挿入する前に、USB Type-C ケーブルを取り外す必要があります。

1.2.2. 有線データ伝送

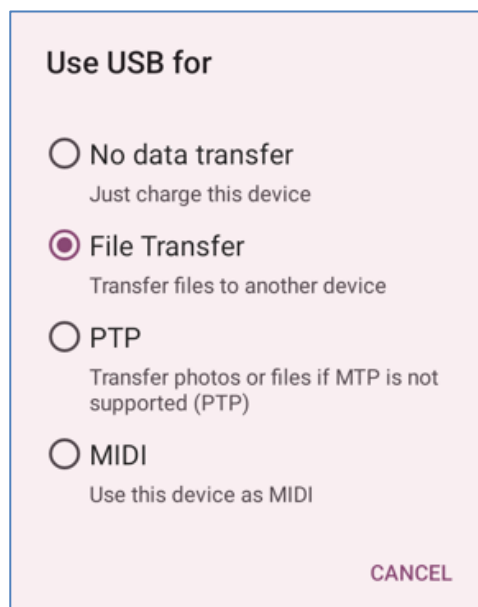
USB Type-C ケーブル、スナップオンケーブルまたはクレードルを使用して、モバイルコンピュータを PC に接続してデータ伝送を行えます。

- 1) USB Type-C ケーブル/スナップオンケーブル/クレードルでデバイスをコンピュータに接続します。

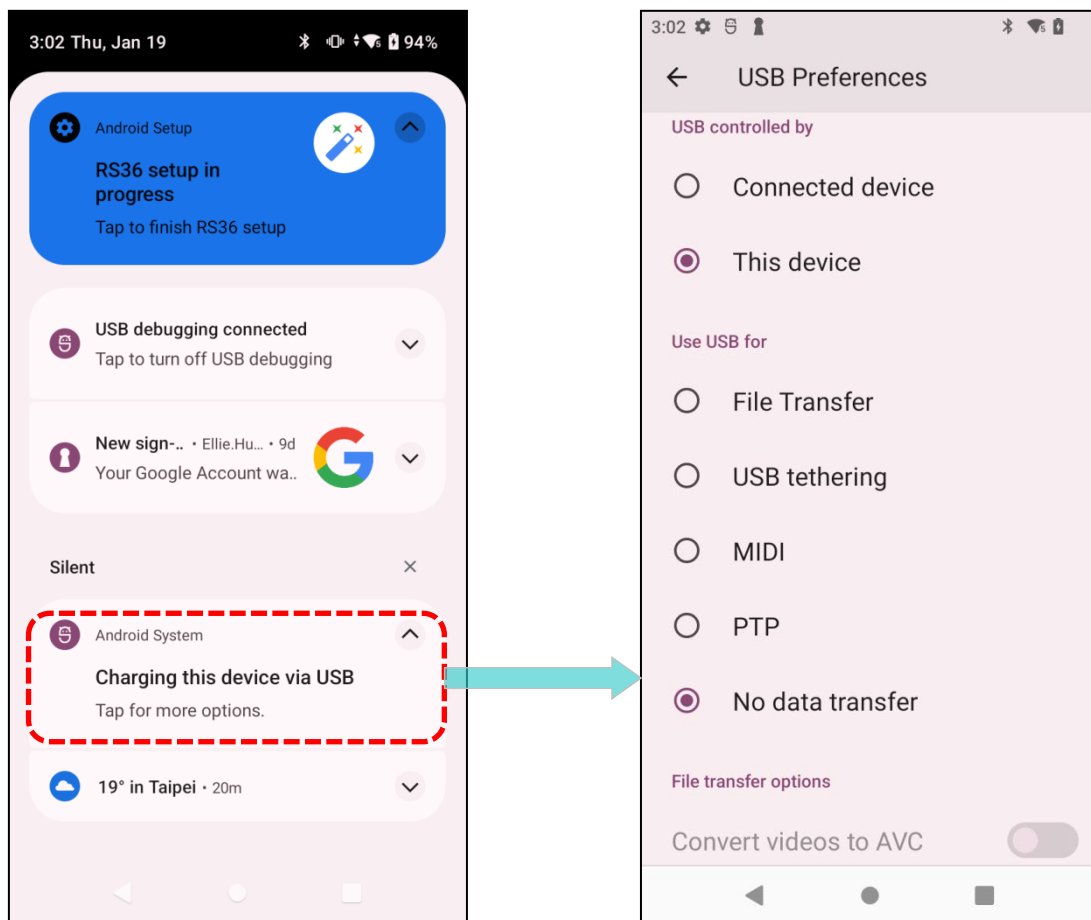


- 2) 接続すると、「**USB Preferences (USB の設定)**」ページが表示されます。デフォルトでは、デバイスは「**No data transfer (データ転送なし)**」の状態に充電モードになり、PC クライアントからこのデバイス上のファイルにアクセスすることはできません。

- ▶ デバイスと PC の間ですべてのファイルを転送するには、「**File Transfer (ファイル転送)**」を選択します。
- ▶ ビデオや写真を転送するには、「**PTP**」を選択します。この場合、デバイスは DCIM およびピクチャーフォルダ内のビデオと写真のみを共有します。



「**USB Preferences (USB の設定)**」ページを終了した後には USB の使用方法を変更するには、ステータスバーから下にスワイプして[通知ドロワー](#)を表示し、システム通知の「**USB ファイル転送モード ON**」またはこのような USB の使用方法の通知(前回選択した内容に応じて)をタップして「**USB Preferences (USB の設定)**」に入り、USB を使用方法を選択してください。



1.2.3. ワイヤレスネットワークの使用

モバイルコンピュータは、Bluetooth® Class II、v5.1 dual mode、v 2.1 with EDR (拡張データレート)、広く応用されているワイヤレス技術をサポートしており、効率的な方法でリアルタイムにデータを送受信することができます。

GSM/UMTS/WCDMA/HSPA/HSPA+/LTE/VOLTE モジュールを選択することで、データおよび音声通信のための総合的なワイヤレスソリューションが提供されます。

第 2 章

RS36 モバイルコンピュータを使用する

この章では、このデバイスの基本的な使用方法と機能について説明します。

この章では

2.1. バッテリー	43
2.2. メモリ.....	60
2.3. タッチスクリーン	77
2.4. 通知	86
2.5. 日付と時刻.....	94
2.6. 言語とキーボード入力	98
2.7. サウンドと音量.....	104
2.8. データ収集.....	104

2.1. バッテリー

メインバッテリー

- ▶ モバイルコンピュータは充電式 3.85 V、4000 mAh のリチウムポリマー電池パックを搭載しており、電源アダプター（初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間は充電してください）からフル充電するのに約 3 時間かかります。ただし、充電時間は使用状況によって異なる場合があります。

拡張バッテリー

- ▶ モバイルコンピュータには、3.85 V、6000 mAh のリチウムポリマー電池パックをオプションで搭載することもでき、電源アダプターからフル充電するのに約 6 時間かかります（初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間は充電してください）。ただし、充電時間は使用状況によって異なる場合があります。

予備バッテリー

- ▶ 予備バッテリーパックが付属しています。メインバッテリーが消耗しそうになったときに交換するために、充電されたの予備バッテリーを手元に用意することをおすすめします。

バックアップバッテリー

- ▶ メインボードには、メインバッテリーが消耗した際にモバイルコンピュータを待機状態に保つためのバックアップバッテリーが搭載されています。バックアップバッテリーは充電可能なリチウムポリマーバッテリーであり、完全に充電されている場合（モバイルコンピュータのワイヤレスモジュールが非アクティブである場合）、DRAM 内のデータを 10 分間保持することができます。
- ▶ また、メインバッテリーを取り外した後、サスペンドモードで約 30 秒間 Wi-Fi と Bluetooth の接続を維持します。Wi-Fi と Bluetooth の接続は、接続保持期間内にメインバッテリーを取り付けた直後に再開します。
- ▶ バックアップバッテリーは、メインバッテリーまたは電源アダプターによって充電することができます。電源をオフにしない限り常に充電されています、充電完了になるまで約 4 時間かかります。

RTC バッテリー

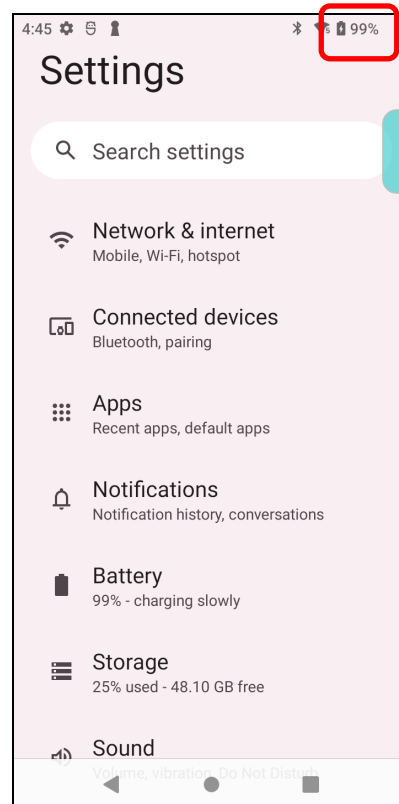
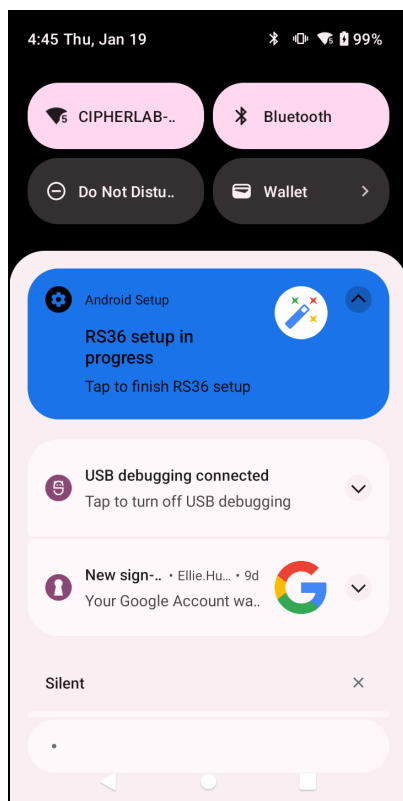
- ▶ RTC バッテリーは 3 V、3 mAh の充電可能な SMT タイプのリチウムバッテリーで、フル充電までに約 12 時間かかります。メインバッテリーを取り外した場合、RTC の保持は少なくとも 72 時間維持されます。

警告：






- (1) バッテリーカバーラッチが「ロック」位置に固定する必要があります。
 - (2) 新しい電池の場合は、使用前に満充電になっていることを確認してください。
 - (3) データの損失を避けるため、メインバッテリーを交換する場合は、十分に充電された予備バッテリーパックと交換してください。特に外出先では、必ず予備バッテリーを手元に用意してください。
 - (4) モバイルコンピュータがバックアップバッテリーを 10 分間以上に使用していると、システムがシャットダウンします。データの消失を防ぐため、主電池を早めに交換してください。
 - (5) システムのクラッシュを避けるため、搭載されている主電池の電力が 10%未満の場合、システムはサスペンドモードから再開できません。
-

2.1.1. バッテリーステータスアイコン

メインバッテリーパックは、モバイルコンピュータが動作する唯一の電源です。そのため、メインバッテリーの残量が少なくなった場合は、速やかに充電されたバッテリーと交換するか、バッテリーを充電する必要があります。何より、大切なデータは定期的にバックアップしてください。

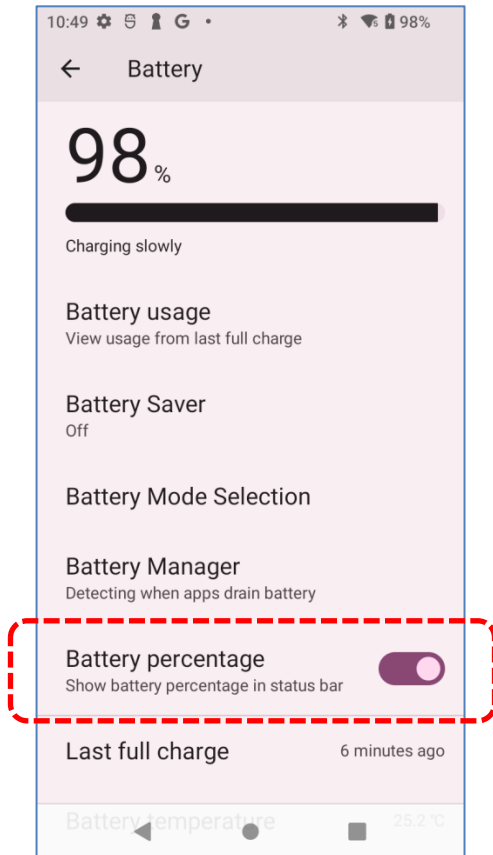


ステータスバーのバッテリーステータスアイコンを確認することで、メインバッテリーの残量を知ることができます。



バッテリーアイコン	説明
	メインバッテリーは満充電されています。
	メインバッテリーの残量が一部消費している。
	メインバッテリーの残量が少ない（5%~15%）。
	メインバッテリーの残量が非常に少なく、すぐに充電する必要があります（<5%）。
	外部電源を接続し、主電池を充電中。

ステータスバーのバッテリーアイコン横のパーセンテージは、アプリドロワーでオン/オフを切り替えることができます

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Battery \(電池\)](#)  | [Battery Percentage \(電池残量\)](#)



注意：

モバイルコンピュータが完全に充電され、バッテリー残量が 100%に達すると、バッテリーアイコンは  から  に変わり、充電が完了したことを示します。



警告：

- (1) 電池残量が 15%を下回ると、画面に電池残量不足の通知が表示されます。
 - (2) バッテリー残量が少なくなると、RAM のデータが消失することがあります。バッテリーが切れる前に必ずデータを保存するか、新しいバッテリーを交換用に保管してください。
 - (3) モバイルコンピュータを低いバッテリーレベルで継続的に使用すると、バッテリーの寿命に影響を与える可能性があります。最大限のパフォーマンスを得るには、バッテリーの消耗を避け、良好なバッテリーの状態を維持するために、定期的にバッテリーを充電してください。
-

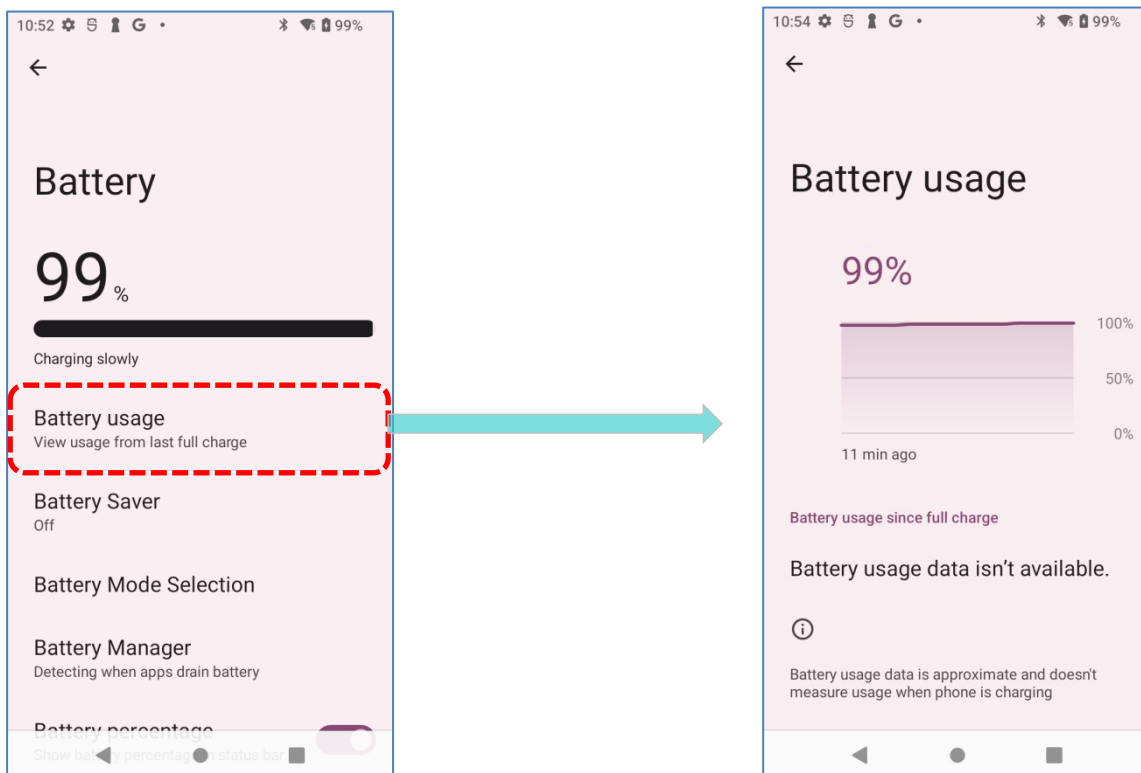
2.1.2. バッテリーレベルの監視

メインバッテリーレベル

メインバッテリーは、モバイルコンピュータが動作するための唯一の電源です。また、メインボード上のバックアップバッテリーにも電力を供給して、DRAM に保存されたデータを保持します。メインバッテリーの残量が低くなった場合は、できるだけ早く充電するか交換してください。最も重要なことは、定期的に重要なデータをバックアップして作業を保護することです。

メインバッテリーレベルを確認するには、[App Drawer \(アプリドロワー\)|Settings \(設定\)](#)  | **battery (電池)**  に移動してください。

バッテリーの残量を明確に把握するために、バッテリーレベルのパーセンテージが表示されます。「**バッテリー使用量**」をタップして「**バッテリー使用量**」ページに入ると、最後のバッテリー充電セッション以降のバッテリー放電率、デバイスがバッテリー電力で動作している時間、どのアプリケーションが最もバッテリー電力を消費しているかが画面に表示されます。

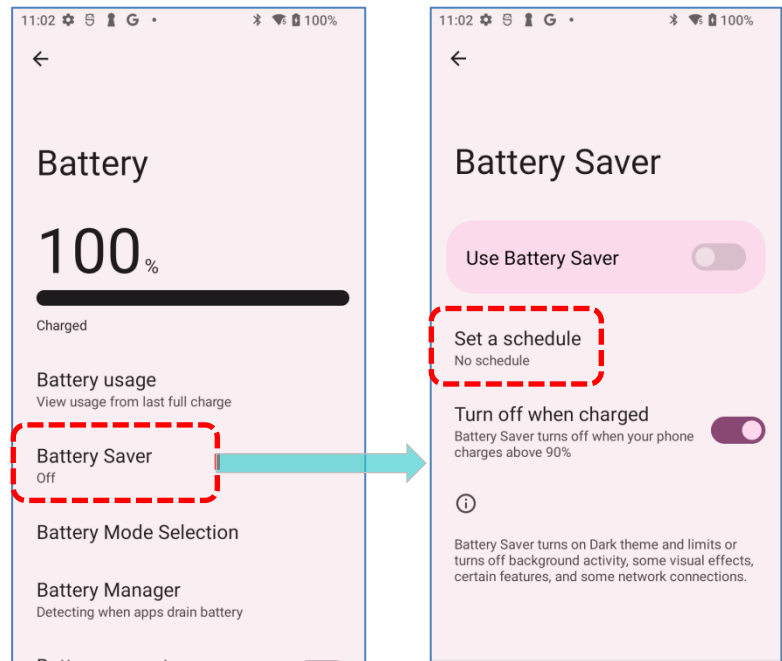


画面には、前回のバッテリー充電セッション以降のバッテリー放電率、デバイスがバッテリー電力で動作している時間、どのアプリケーションが最もバッテリー電力を消費しているかも表示されます。

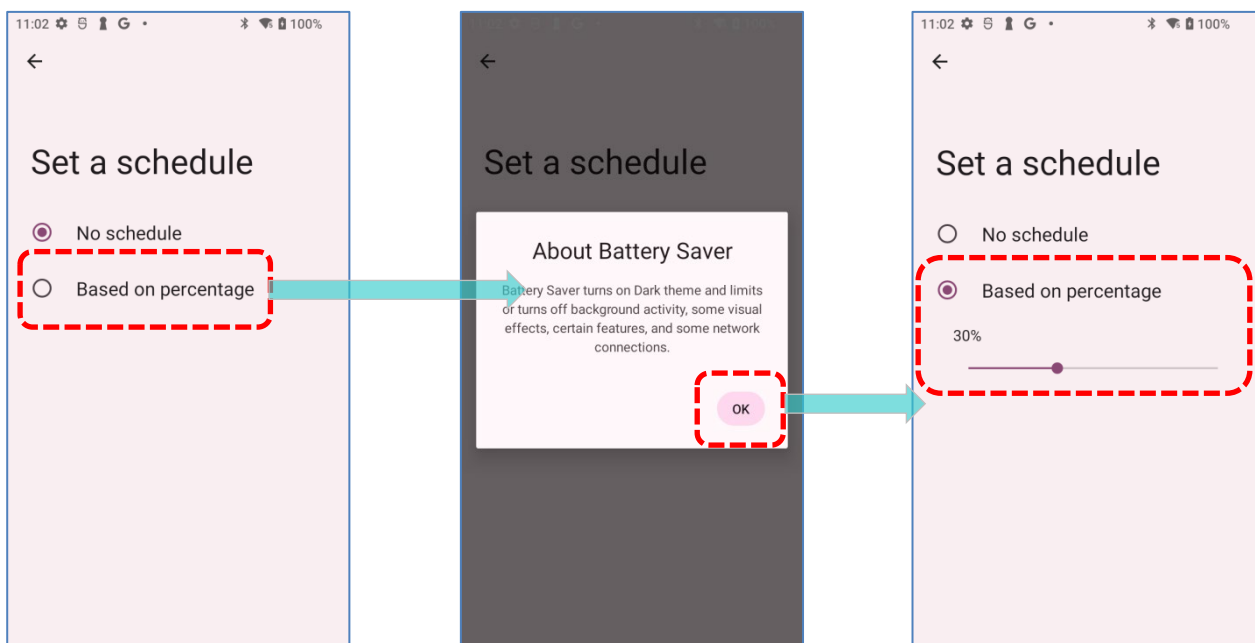
バッテリー節約モード

メインバッテリーの残量が少なくなると、自動的に**バッテリー節約モード**をオンにすることができます。このモードでは、位置情報サービス、振動、およびほとんどのバックグラウンド処理データの使用が制限されます。

- 1) バッテリー画面で「**Battery Saver (バッテリーセーバー)**」をタップして「**Battery Saver (バッテリーセーバー)**」ページに入り、「**Set a schedule (スケジュールの設定)**」をタップします。

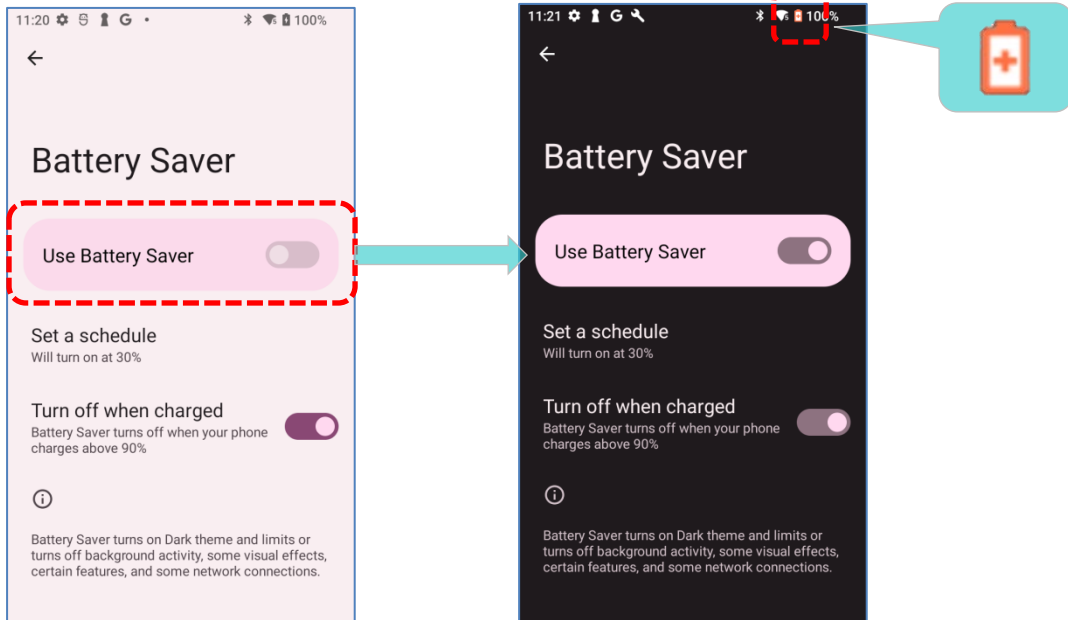



- 2) 「**Based on percentage (割合による)**」のラジオボタンをタップするとスライダーが表示され、バッテリー残量割合に応じていつバッテリー節約モードを有効にするかをドラッグで設定できます。初期設定は5%です。

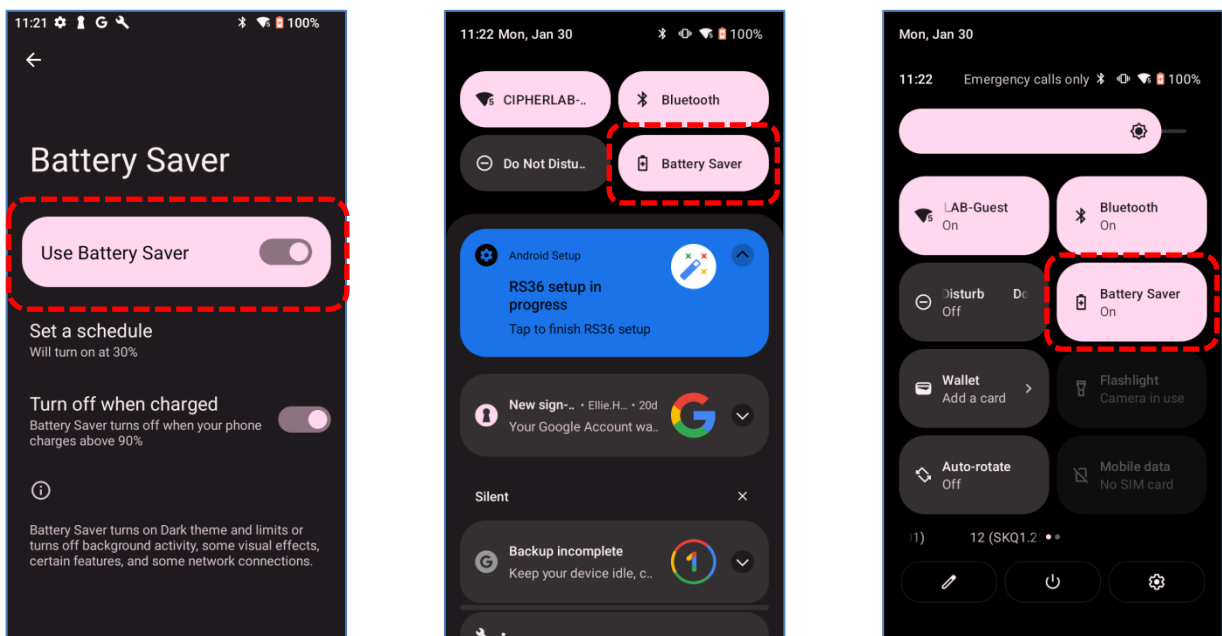




「Battery Saver (バッテリーセーバー)」ページの「Turn off when charged (フル充電で無効)」を有効にすると、バッテリー残量が 90%まで充電されると、自動的にバッテリーセーバーモードがオフになります。

「Use Battery Saver (バッテリーセーバーの使用)」をタップして直接バッテリーセーバー機能を有効にすると、ステータスバーのバッテリーアイコンがオレンジ色に変わります。



また、ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定パネルまたはクイック設定ツールを表示し、バッテリーセーバーのアイコン  をタップすることでバッテリーセーバー機能を有効/無効に切り替えます。



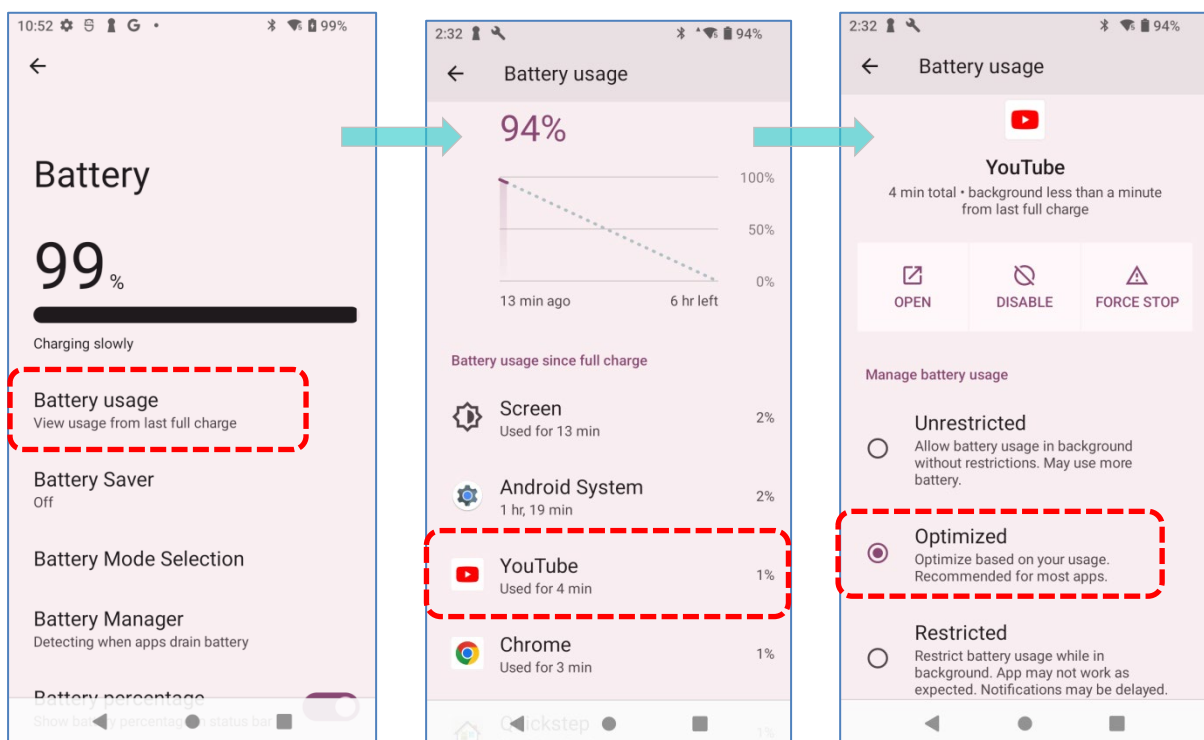
アイコン	説明
	バッテリーセーバーモードは OFF です。
	バッテリーセーバーモードは ON です。

注意：このモードは、デバイスの充電中に自動的に**非アクティブ**になります。

バッテリーの最適化

アプリケーションの**バッテリーの最適化を有効**にすると、デバイスがアイドル状態のときや、何日も使用されていないときに、アプリケーションが非アクティブのままになるようにすることができます。

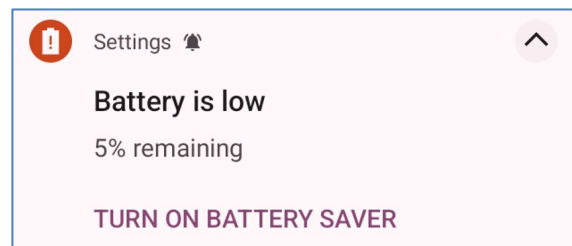
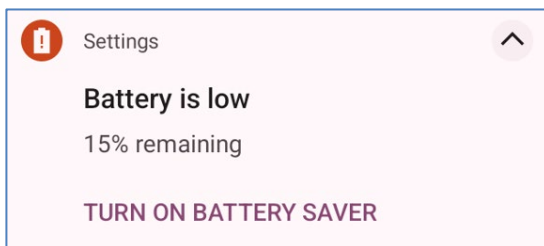
- 1) **バッテリー**画面で「Battery usage (バッテリー使用量)」をタップします。「Battery usage since full charge (フル充電以降の電池使用)」の項目をタップして詳細ページを開き、「Optimized (最適化)」をタップします。



電池残量警告

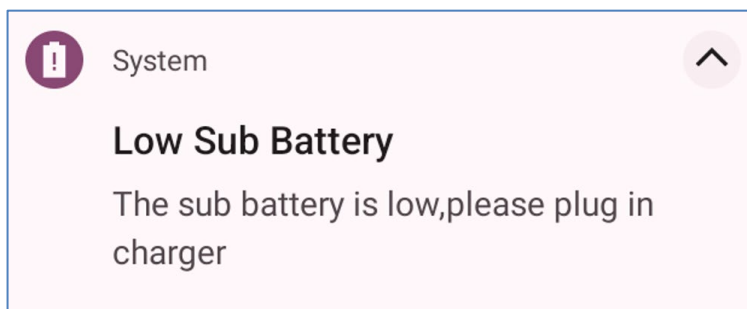
主電池残量が **15%**と **5%**に低下すると、主電池の充電を促す警告通知がモバイルコンピュータに表示されます。

[通知ドロワー](#)を開くと、通知リストにもこの警告が表示されます。バッテリー節約モード [Battery Saver Mode \(バッテリーセーバーモード\)](#) をオンにしたり、モバイルコンピュータを外部電源に接続したり、できるだけ早くメインバッテリーパックを交換してください。メインバッテリーパックの交換については、[メインバッテリーの交換](#)をご参照してください。



LOW SUB BATTERY ALERT

メインバッテリーの電力がなくなると、RS36 モバイルコンピュータはバックアップバッテリーの電力で5分間自動的に停止します。バックアップバッテリーの電力が少なくなると、「**Low Sub Battery**」という通知が表示され、外部電源に接続してすぐに充電するように促されます。データの損失が発生する恐れがありますので、この時点での主電池を交換しないでください。



2.1.3. 主電池の交換

主電池の残量が少なくなったら、以下の手順で主電池を交換してください。

注意：

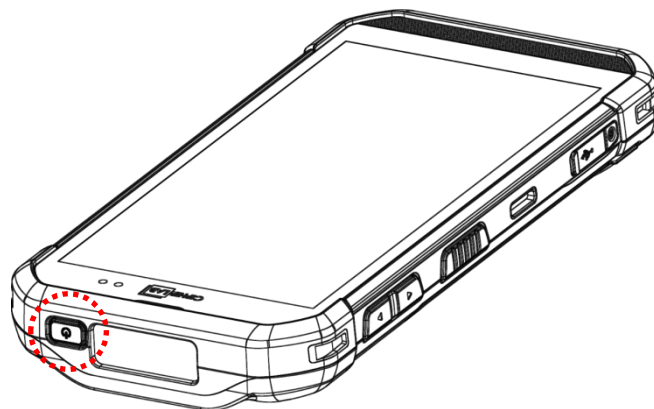
電池交換は、必ず満充電の主電池を使用してください。

主電池交換のためのシャットダウン

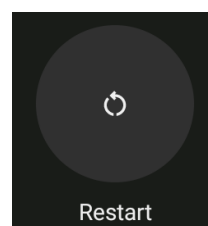
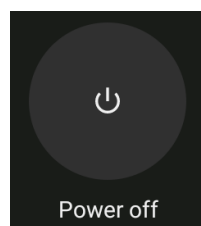
メインバッテリーを交換するために、以下の手順でシャットダウンしてください。

- 1) サブバッテリー（バックアップバッテリー）と新しい主電池がフル充電されていることを確認してください。
- 2) モバイルコンピュータの上端にある電源ボタンを押したままにします。

電源ボタン



- 3) ポップアップメニューの「電源オフ」をタップします。モバイルコンピュータの電源がオフになります。



- 4) [「バッテリーの取り付け/取り外し」](#)に記載されている手順に従って、メインバッテリーを取り外し、新しいバッテリーと交換します。

バッテリースワップ

RS36 バックアップバッテリーは、バッテリースワップ中にシステムの電力を供給します。バッテリーカバーを取り外すと、システムはサスペンドモードに入り、バッテリーカバーを元に戻して電源ボタンを押すまで起動しません。「[Low Sub Battery Alert](#)」の項目を参照して、バッテリースワップ処理の前にサブバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

メインバッテリーホットスワップに使用できる温度範囲は 0° C から 50° C です。バッテリースワップの間、Wi-Fi と Bluetooth の接続は約 30 秒間保持されます。

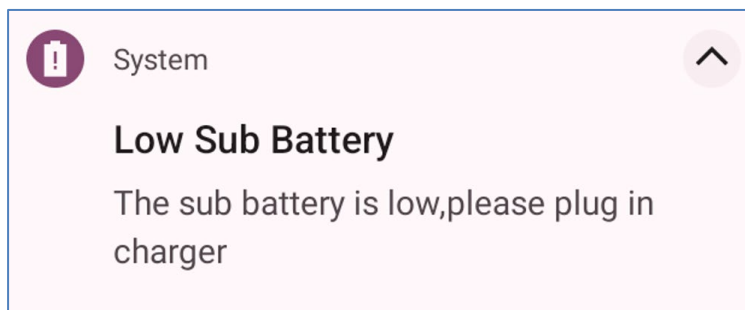
- 1) 直接にメインバッテリーを取り外します。画面がオフになり、システムはサスペンドモードに入ります。
- 2) メインバッテリーを取り外すと、システムは約 5 分間サスペンドモードのままになります。できるだけ早く満充電のメインバッテリーに交換してください。
- 3) 「[バッテリーの取り付け/取り外し](#)」 の手順に従って、満充電のメインバッテリーを取り付けます。
- 4) 電源ボタンを押してモバイルコンピュータをサスペンドモードから復帰させる前に、メインバッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。

警告：

モバイルコンピュータの OS の準備が整うまで、電池交換を行わないでください。モバイルコンピュータの電源投入時に電池カバーを外すと、システム障害の原因となる場合があります。

注意：

- (1) 「バッテリー交換」に進む前に、必ず AC または USB Type-C ケーブルを外してください。
- (2) メインバッテリーを取り外すと、システムは約 5 分間サスペンドモードになります。システムが予告なくシャットダウンされないように、できるだけ早くメインバッテリーを交換してください。
- (3) バックアップバッテリーは、メインバッテリーが切れた場合にモバイルコンピュータをサスペンド状態に保ちます。したがって、データの損失を防ぐために、バックアップバッテリーの電力が低い場合にはメインバッテリーを交換しないでください。RS36 モバイルコンピュータを外部電源に接続して充電し、ステータスバーから「Low Sub Battery」の通知アイコンが消えるまで待ってください。その後、メインバッテリーの交換を進めることができます。



2.1.4. 電源管理

ポータブルデバイスにおいては、特に外出時には電源管理が重要な課題となります。以下に、バッテリーの節約に役立ついくつかのヒントをご紹介します。

警告：

バッテリー駆動中にバックライト、ワイヤレス接続、周辺機器を使用すると、バッテリーの電力が大幅に減少します。


追加のメインバッテリーパックを持って移動します。




未使用のワイヤレス接続（Bluetooth 伝送、無線接続、NFC、GPS など）を終了します。

画面のオフ時間を短くします。「[画面のタイムアウト設定](#)」を参照してください。

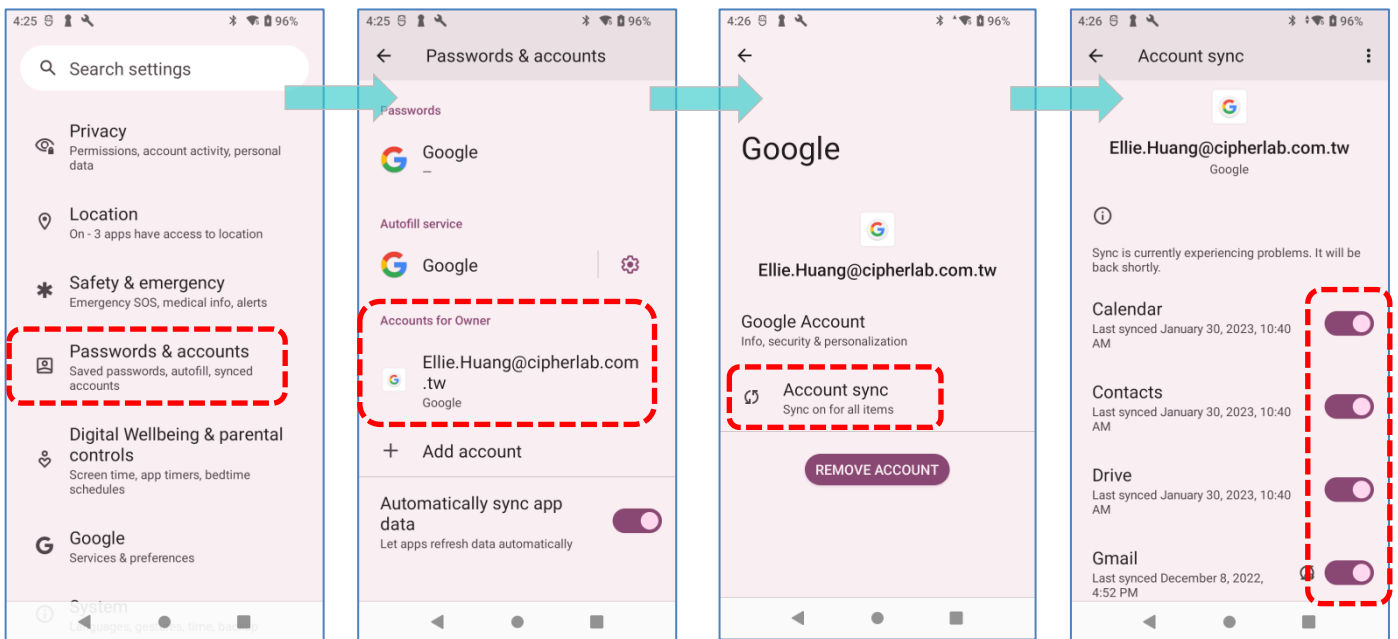
画面の明るさのレベルを下げます。「[画面の明るさ](#)」を参照してください。

このデバイスで Google アカウントにサインインしている場合、特定のアプリケーション（例：メール、カレンダー、連絡先）の自動データ同期をオフにすることができます。

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings\(設定\)](#)  | [Passwords&accounts\(アカウント\)](#)

 | [your Google Account\(所有者の Google アカウント\)](#)  | [Account sync\(アカウントの同期\)](#) 

に移動し、目的のアプリケーションを選択して、データの同期を無効にしてください。



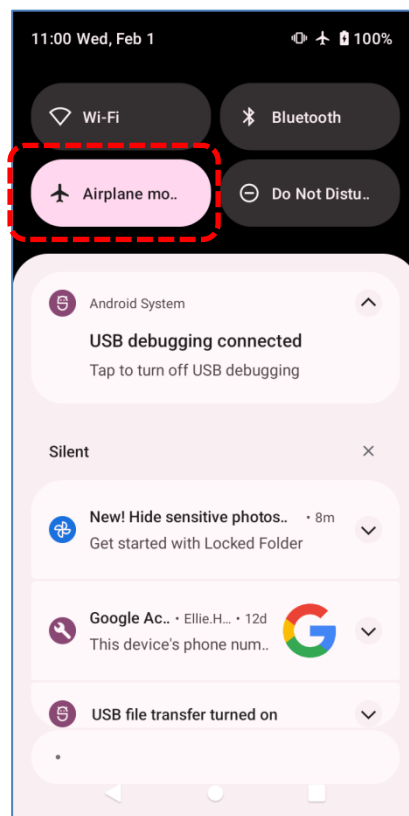
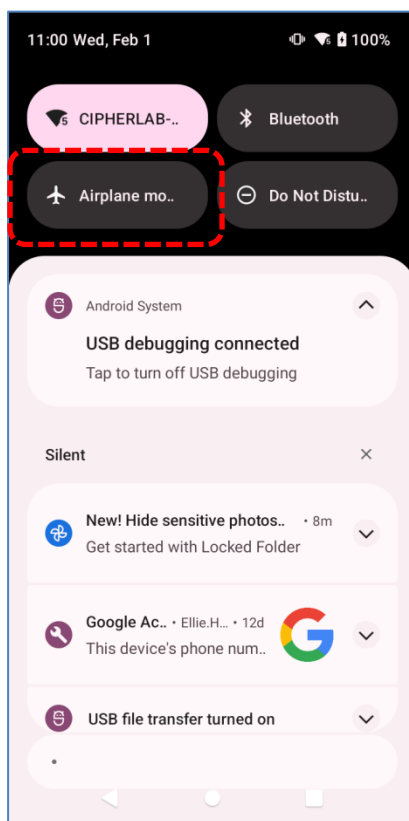
- [バッテリーセーバー](#)モードと[バッテリー最適化](#)モードを有効にします。



機内モードに入る

機内モードを有効にすると、モバイルコンピュータのワイヤレス無線（通話機能、Bluetooth、Wi-Fi、3 G/4 G などのデータ接続を含む）をすべてオフにすることができ、バッテリーの消費電力を大幅に削減できます。

機内モードを有効するには、次の手順に従ってください。

- 1) 画面の上部から下にスワイプして、[クイック設定パネル](#)を開きます。
- 2) **Airplane mode (機内モード)** のアイコンをタップして、モードの有効/無効を切り替えます。



アイコン	説明
	機内モードは OFF です。
	機内モードは ON です。

2.1.5. バッテリーに関する注意事項

バッテリー寿命を保持し、バッテリーの膨張を避けるための方法：



電源や充電用のクレードルに接続したまま使用しないでください。RS36 モバイルコンピュータの電源やクレードルを常時接続して使用する必要がある場合は、必ず「**バランスモード**」をオンにしてください。

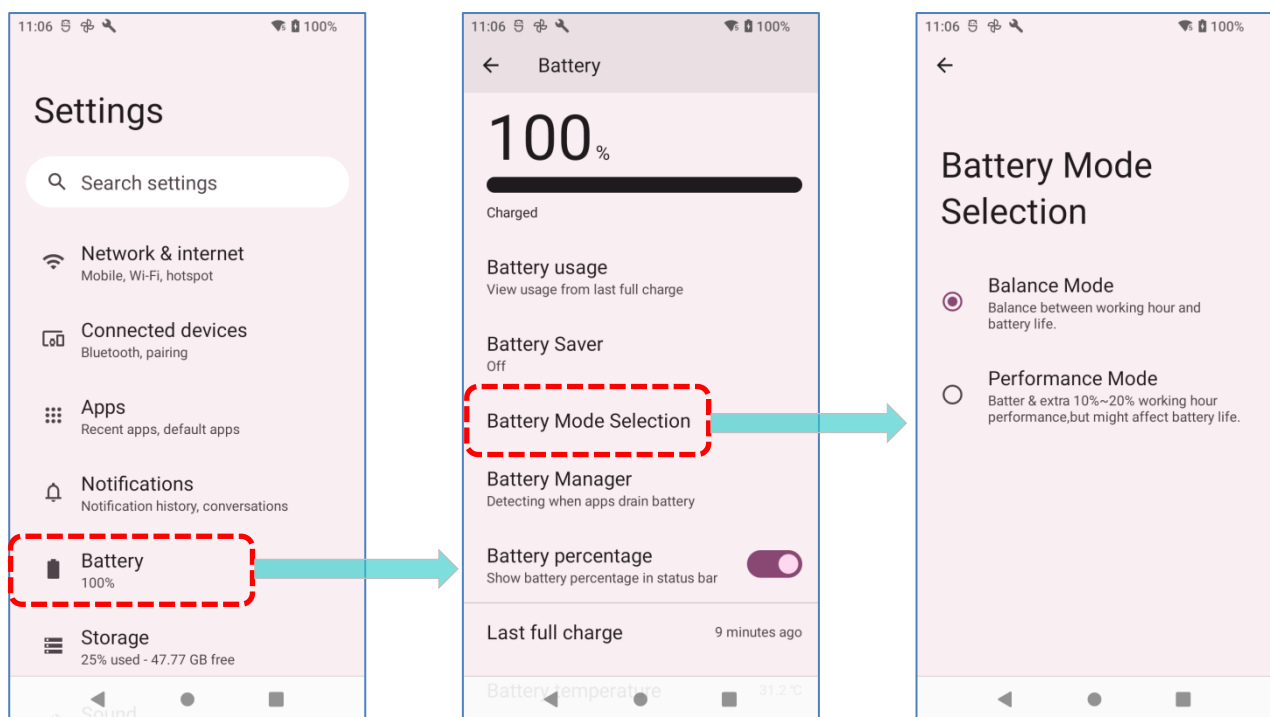
メインバッテリーがフルに充電されている場合は、RS36 モバイルコンピュータに電源や充電用クレードルを接続し続けしないでください。RS36 モバイルコンピュータに電源や充電用クレードルを常時接続する必要がある場合は、必ず「**バランスモード**」をオンにしてください。

バッテリーモードの選択

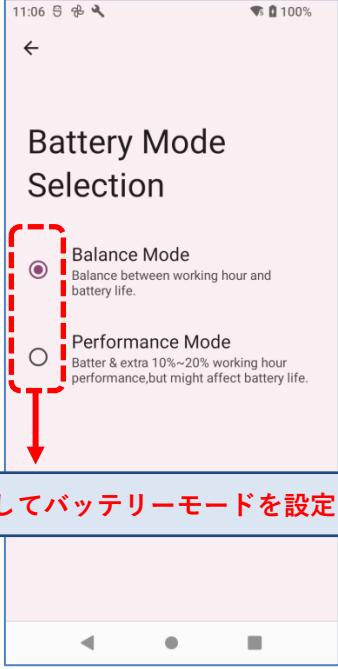
充電中に RS36 モバイルコンピュータを使用する必要がある場合や、常時充電用電源に接続する必要がある場合は、バッテリーの寿命を考慮して「**バランスモード**」をオンにすることをお勧めします。

デフォルトのバッテリーモードは「**バランスモード**」に設定されています。「**バランスモード**」と「**パフォーマンスモード**」を切り替えるには、次の手順に従ってください。

- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [battery \(電池\)](#)  の順に進み、「**Battery Mode Selection (バッテリー使用モード選択)**」をタップします。



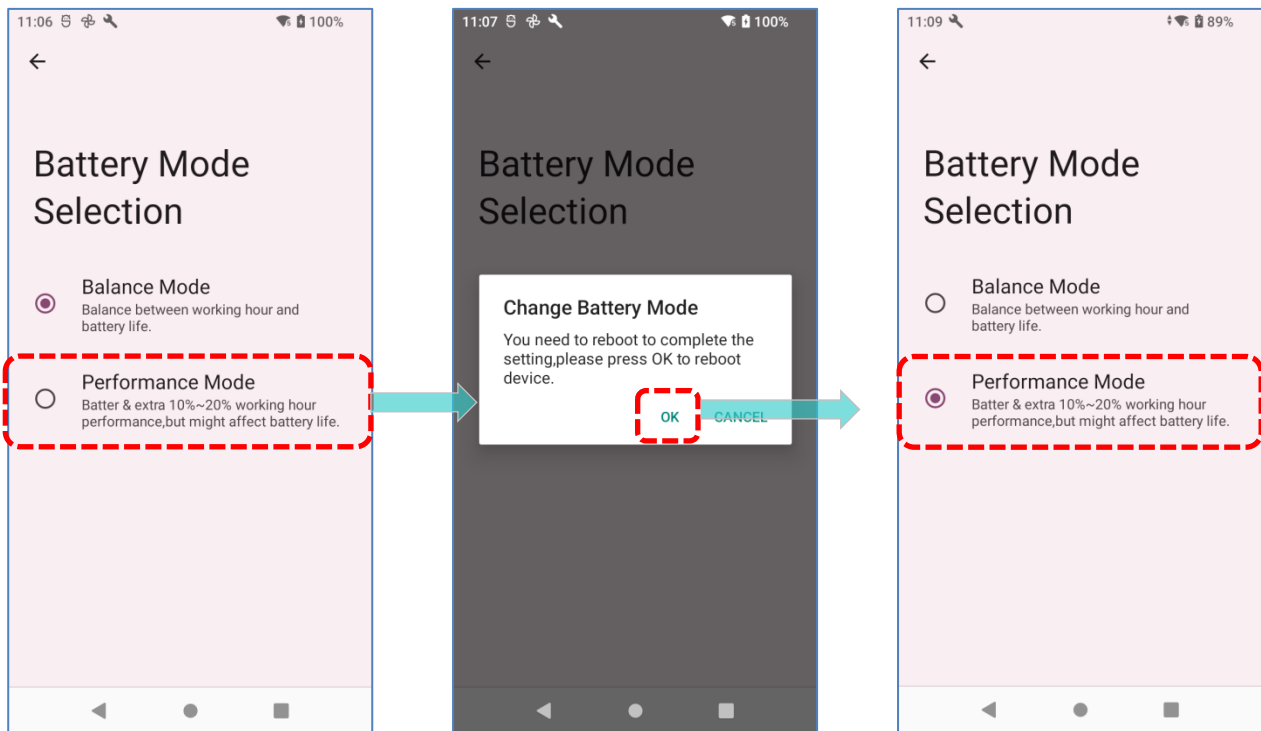
- 2) ラジオボタンをタップして「バランスモード」または「パフォーマンスモード」を選択します。



タップしてバッテリーモードを設定します。

モード	説明
バランスモード	稼働時間とバッテリー寿命のバランスをとります。
パフォーマンスモード	稼働時間のパフォーマンスが10%から20%向上しますが、バッテリーの寿命に影響する可能性があります。

- 3) モードを変更すると、変更を有効にするためにデバイスを再起動する必要があることを示すポップアップメッセージが表示されます。「OK」をタップして確認すると、デバイスは自動的にシャットダウンして再起動します。



電池温度異常

周囲温度が高い、または充電中に RS36 モバイルコンピュータを使用し続けると、電池の温度が上昇することがあります。RS36 モバイルコンピュータは、安全のために電池の充電を自動的に中断したり、シャットダウンしたりします。電池が通常の温度に戻ったら、再び充電を続けることができます。

「**Over Battery Temperature (バッテリー温度超過)**」の警告が表示され、RS36 のバッテリー温度が 55°C に達するとバッテリーを取り外すように指示し、58°C に達すると自動的にシャットダウンするようになります。

55°C の場合

Over Battery Temperature
Your battery is over temperature,
please remove the battery!

DISMISS SNOOZE

58°C の場合

Over Battery Temperature
Shutdown in 5 seconds!

→

Power off
Shutting down...

RS36 モバイルコンピュータを低温環境で使用すると、機器が自動的にシャットダウンすることがあります。充電中にバッテリーの温度が 0° C、または 0° C 以下になると、フロントパネルのステータス LED が赤く点滅し、ユーザーに充電器の取り外しを警告するウィンドウが表示され、RS36 モバイルコンピュータは自動的にバッテリーの充電を中断します。

Low Battery Temperature
Your battery temperature is
too low, please disconnect the
charger!

DISMISS SNOOZE

バッテリー寿命のために、すぐに充電器を外し、適切な温度条件で RS36 モバイルコンピュータを充電してください。

2.2. メモリ

- フラッシュメモリ (ROM)
OS (Android 12 およびカスタムアプリケーションプログラム) を保存するための 64 GB フラッシュメモリ。
- ランダムアクセスメモリ (RAM)
4 GB の RAM で、プログラムの保存と実行、およびプログラムデータの保存に使用します。
- 拡張スロット
モバイルコンピュータには、microSD カード、microSDHC (最大 32 GB)、microSDXC (最大 64 GB-2 TB) に対応した SD カードスロットが 1 つ搭載されています。RS36 との互換性や性能を確保するために、SD カードの選択時には必要な容量を確認してください。SDXC カードを使用する場合は、新しいカードを使用し、他のホストデバイス (コンピュータ、カメラ、リーダー) で使用されていないことを確認してください。

データ消失の注意

メインバッテリーが取り外されたり、消耗したりすると、メインボード上のバックアップバッテリーがモバイルコンピュータに電力を供給し、モバイルコンピュータを停止状態に保ちます。完全に充電されたバックアップバッテリーは、RAM 内のデータを最大で **10 分**間保持します。バックアップバッテリーも消耗すると、モバイルコンピュータはシャットダウンし、の内容だけが保持されます (RTC の保持は少なくとも 72 時間保持される)。保存されていないその他のデータはすべて失われます。

モバイルコンピュータを数日間保管する場合は、メインバッテリーとバックアップバッテリーが完全に放電するとデータが失われる可能性があるため、モバイルコンピュータを置く前にデータやファイルをバックアップする必要があります。

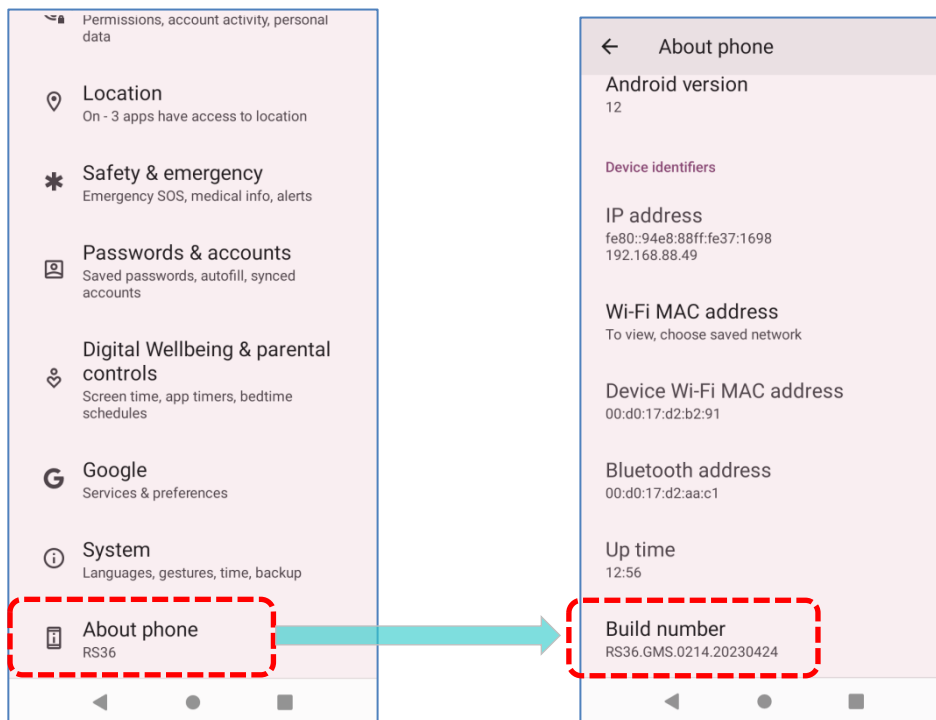
2.2.1. メモリ使用状況の確認

メモリマネージャーは、デバイスが RAM をどのように使用しているかを一目で確認できます。メモリ使用状況を確認するには、「**開発者オプション**」を有効にする必要があります。

開発者オプションを有効にする

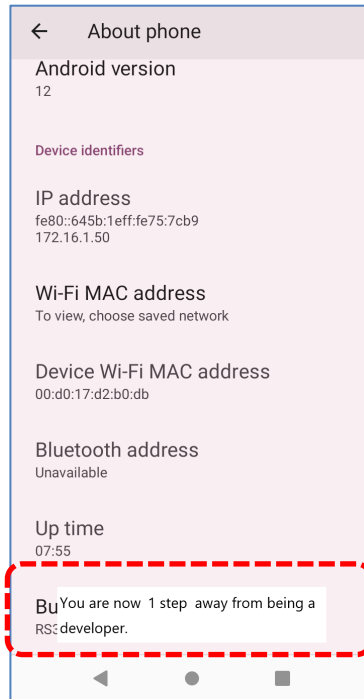
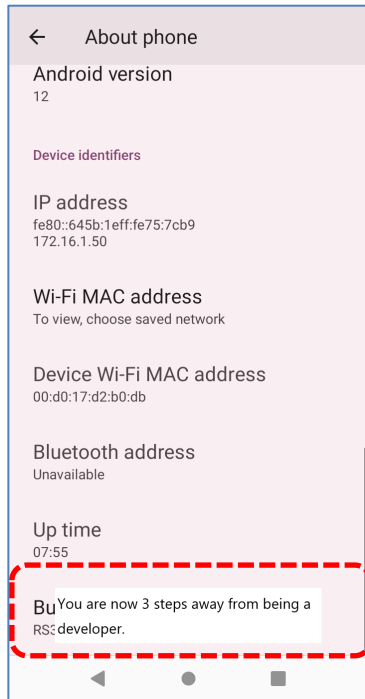
「**開発者オプション**」を有効にするには、次の手順に従います。

- 1) **App Drawer (アプリドロワー)** | **Settings (設定)**  | **About Phone (デバイス情報)** 
に移動し、一番下までスワイプすると「**Build number (ビルド番号)**」が表示されます。

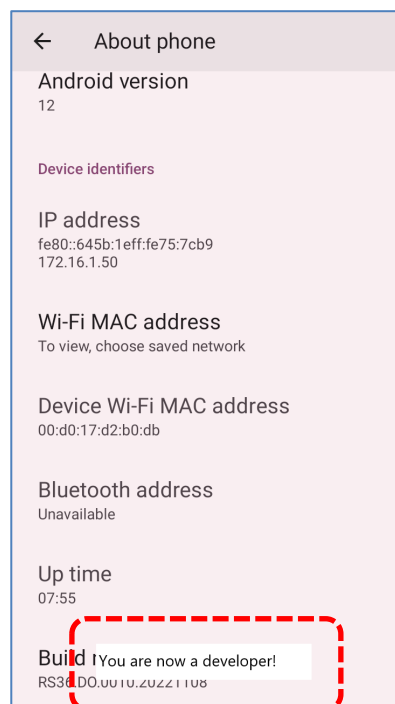


- 2) 「**Build number (ビルド番号)**」を7回タップすると有効になります。

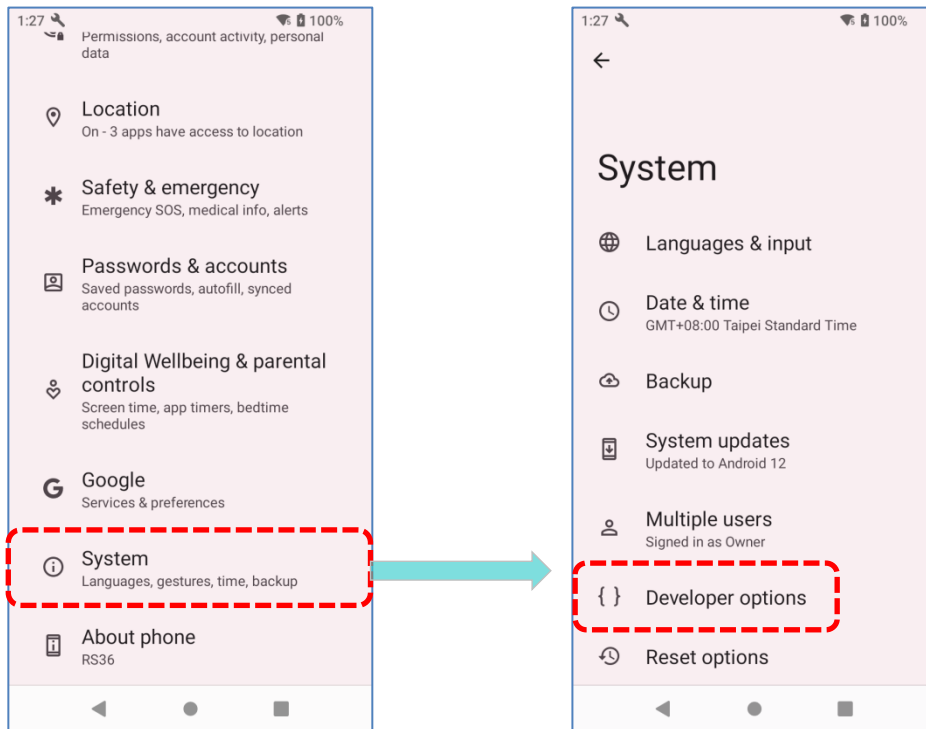
タップすると、「**You are now X steps way from being a developer. (デベロッパーになるまであと x ステップです。)**」というカウントダウンとともにプロンプトが表示されます。



- 3) 「**You are now a developer! (これでデロッパーになりました!)**」というプロンプトが表示されれば、開発者モードに入ることができました。

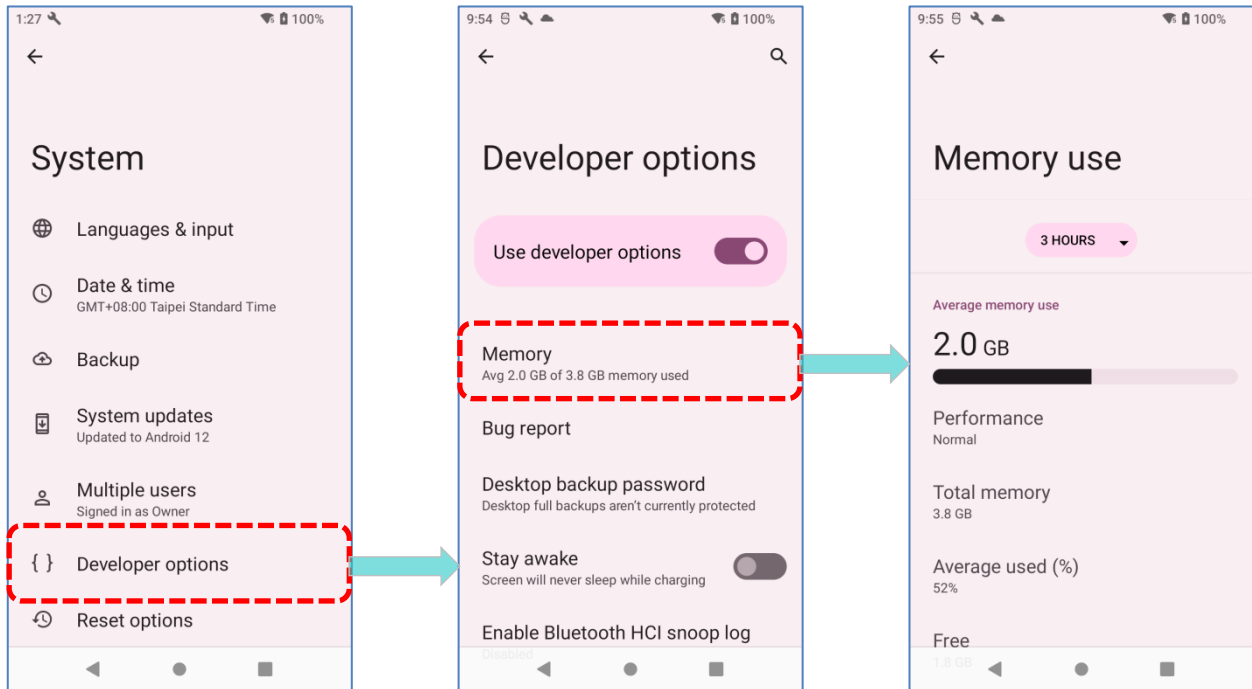


Developer option (開発者オプション) { } が **System (システム)** ⓘ ページで有効になっていることを確認できます。

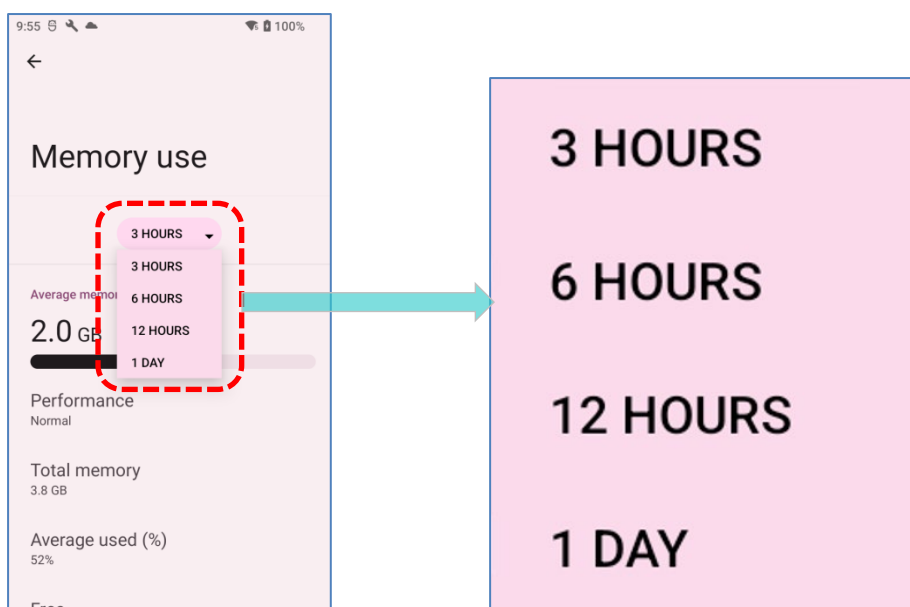


メモリ使用状況の確認

App Drawer (アプリドロワー) | Settings (設定)  | System (システム)  | Developer option (開発者オプション) { } | Memory (メモリ) に移動し、メモリ管理画面に入ります。

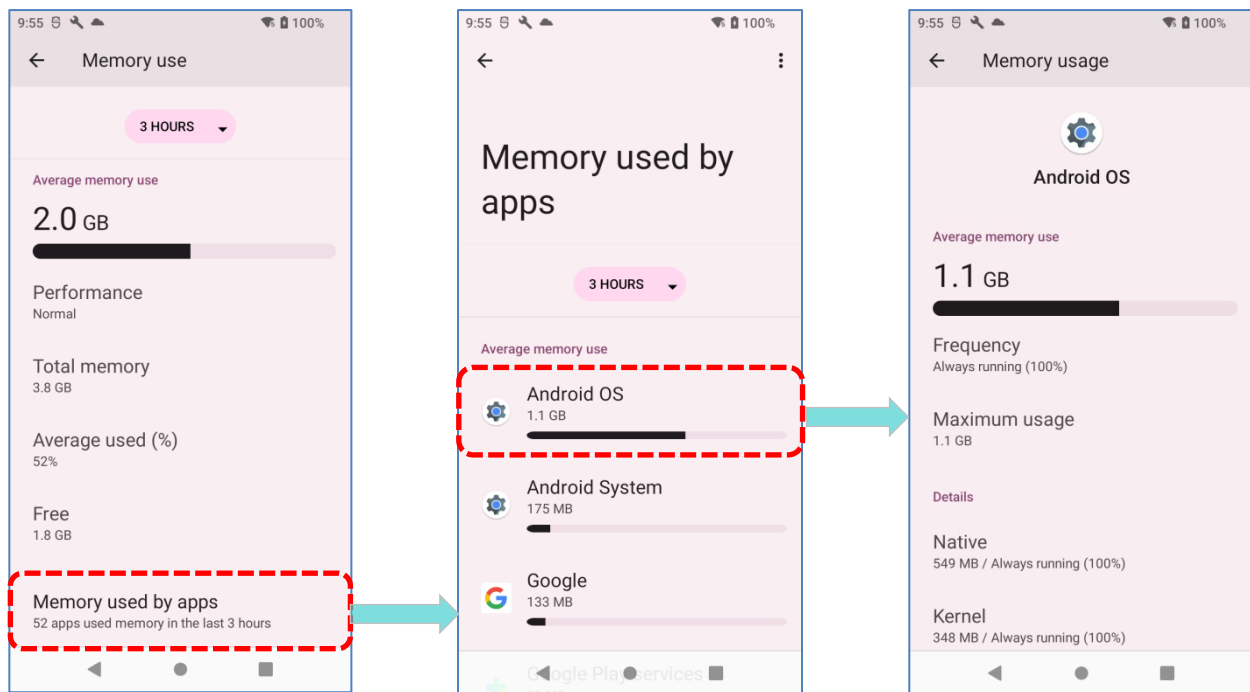


メイン画面では、RAM の使用済みメモリ領域と空きメモリ領域だけでなく、使用パターンがデバイスの全体的なパフォーマンスにどのような影響を与えたかも表示されます。システムとアプリが長期間にわたってどのようにメモリを使用しているかを確認するには、ドロップダウンリストをタップして別の期間を選択します。



個々のアプリがメモリスペースをどのように消費しているかを確認するには、「Memory used by apps (アプリのメモリ使用状況)」をタップし、アプリごとのメモリ使用量の内訳を表示します。



アプリケーションの名前をタップすると、そのアプリケーションのメモリ使用量を確認できます。これにより、新しくインストールされたアプリケーションが RAM をどれくらい消費する可能性があるかを把握できます。



2.2.2. ストレージスペースの管理

Android デバイスにとって、SD カードはポータブルストレージではなく、デバイスの内部ストレージ (OS、アプリケーション、ファイルを保存するための 64 GB のフラッシュメモリ) の拡張として機能します。

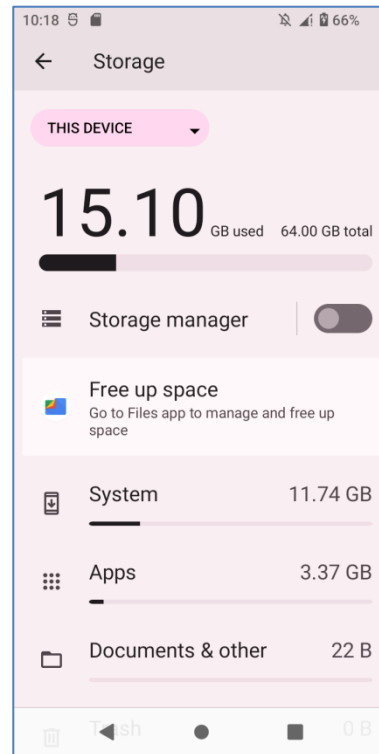
内部および外部ストレージスペースの使用状況を確認するには、**App Drawer (アプリドロワー)**

| **Settings (設定)**  | **Storage (ストレージ)**  に移動します。

デフォルトでは、すべてのビデオ、写真、ダウンロードしたファイルはデバイスの内部ストレージに直接保存されます。事前に SD カードを ポータブルストレージ として挿入してマウントしたことがある場合は、この SD カードに写真などのメディアを転送/保存できます。SD カードが 内部ストレージ として設定されている場合は、写真、ファイル、一部のアプリを SD カードに移動できます。

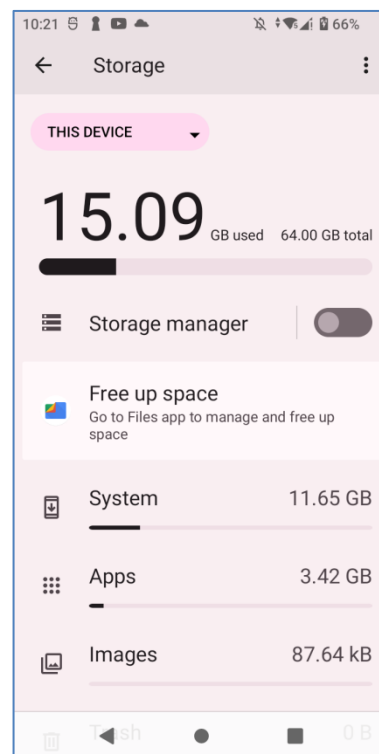
Storage (ストレージ) 設定ページのポータブルストレージとしての SD カード

SD カードは、写真やその他のメディアをデバイス間で移動するために使用されます。



ストレージ設定ページの内部ストレージとしての SD カード

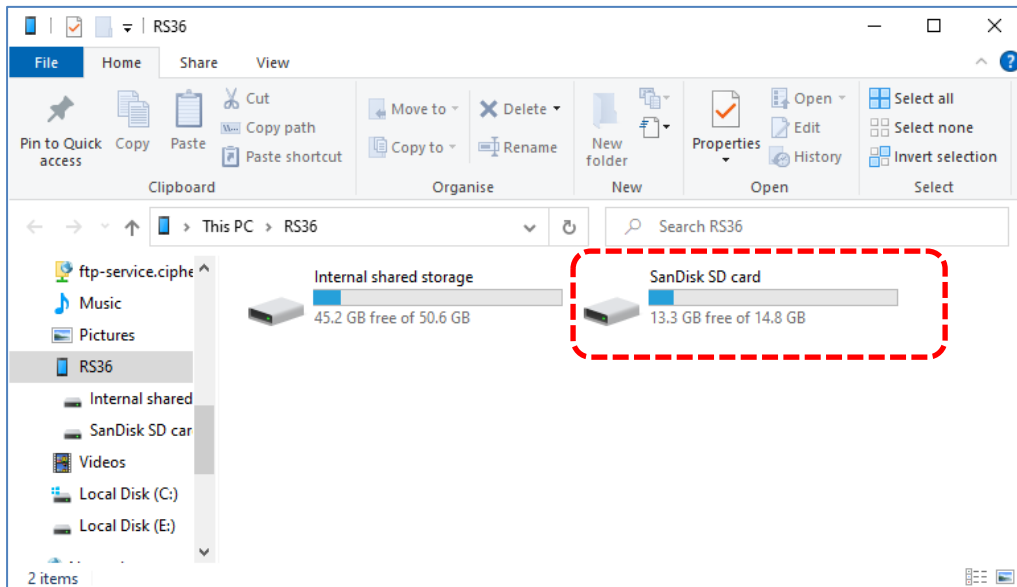
SD カードは、アプリや写真を含むこのデバイス上の任意のデータを保存するために使用されます。他のデバイスとの互換性を阻害するためにフォーマットが必要です。



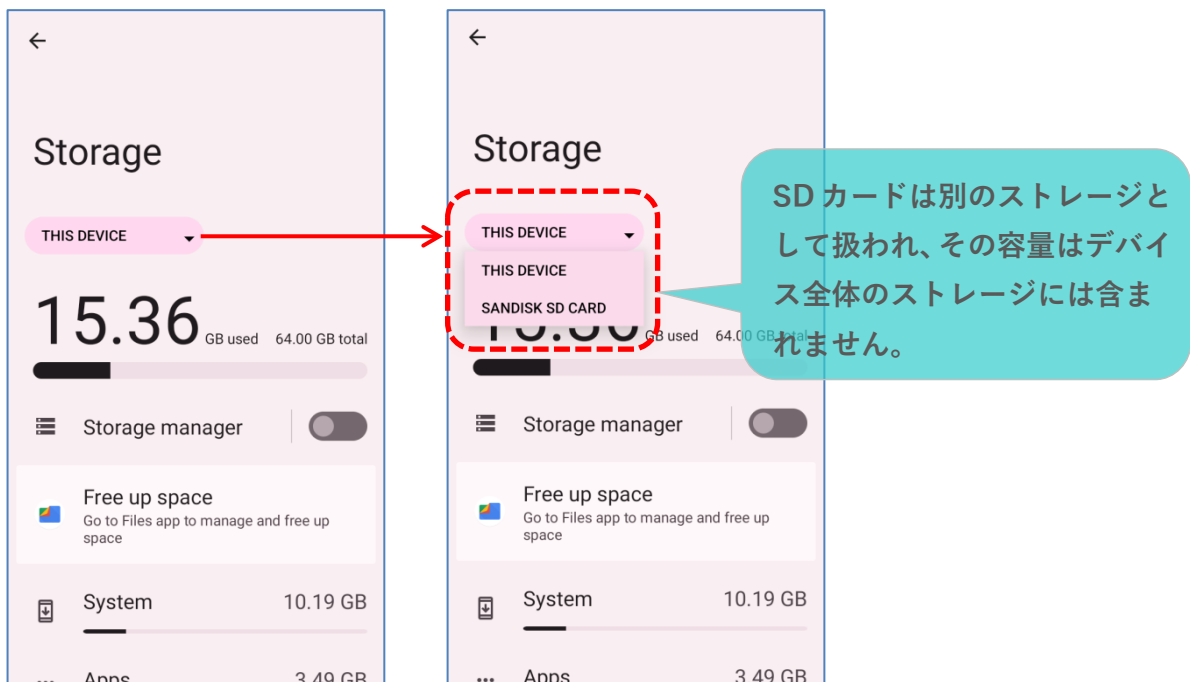
SD カードをポータブルストレージとして使用する設定

SD カードをポータブルデバイスとして使用することは、USB ディスクのように扱うことができ、Android デバイスとコンピュータの間で簡単にファイルを転送することができます。これは、ストレージ容量を多く占めるファイルを移動する必要がある場合に非常に便利です。


このデバイスを PC に接続すると、PC クライアントからディスクの内容を読み取ることができます。

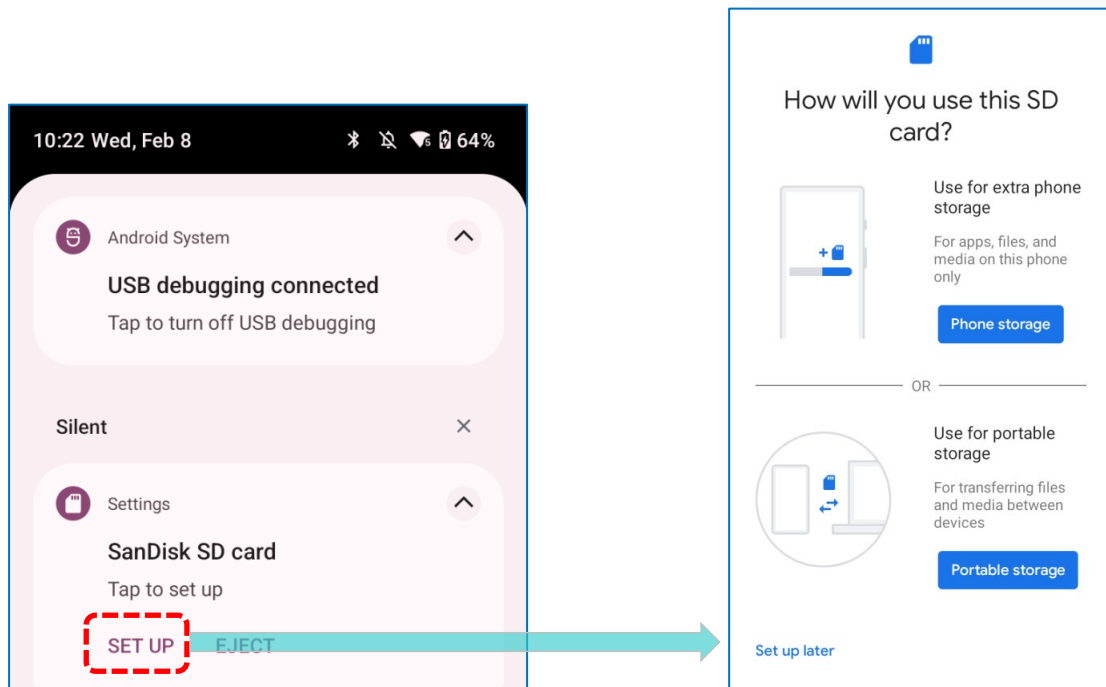


Storage (ストレージ) 画面では、このディスクを個別に管理することができます。

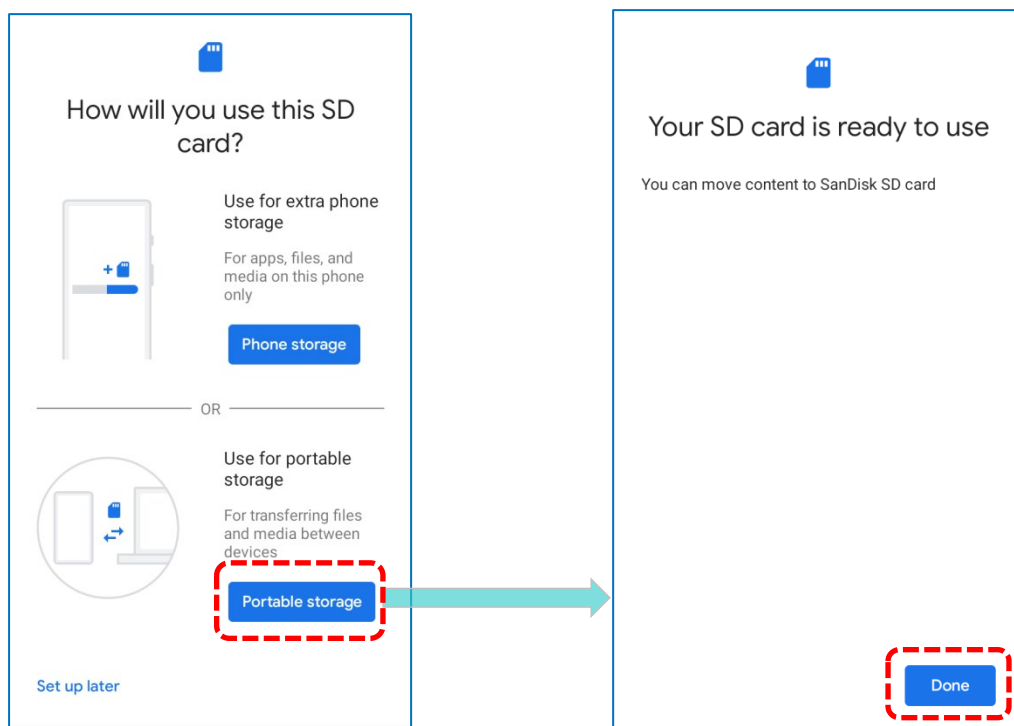


開始するには：

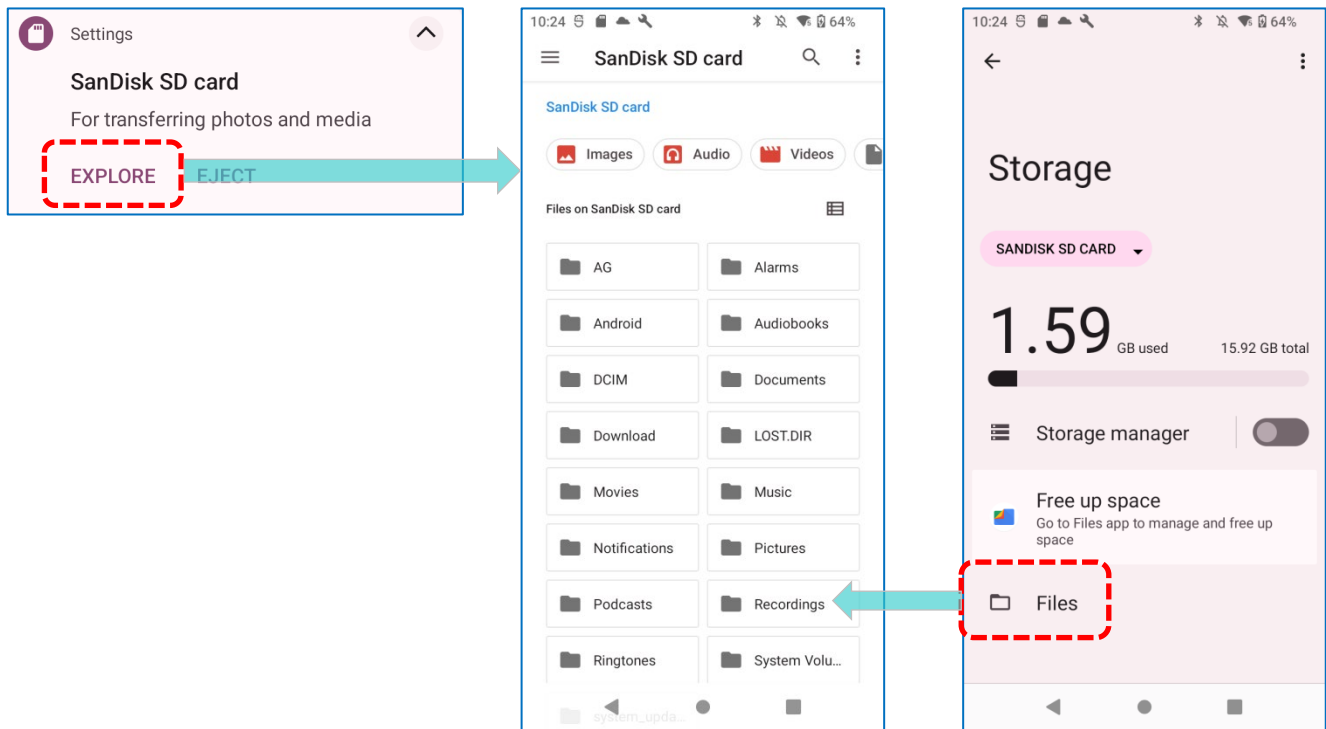
- 1) SD カードを挿入してください。SD カードが検出されたことを示す通知アイコン  がステータスバーに表示されます。ステータスバーから下にスワイプし、セットアップするためにタップしてください。



- 2) 「Portable storage (ポータブルストレージ)」をタップし、「DONE (完了)」をタップして設定を完了します。



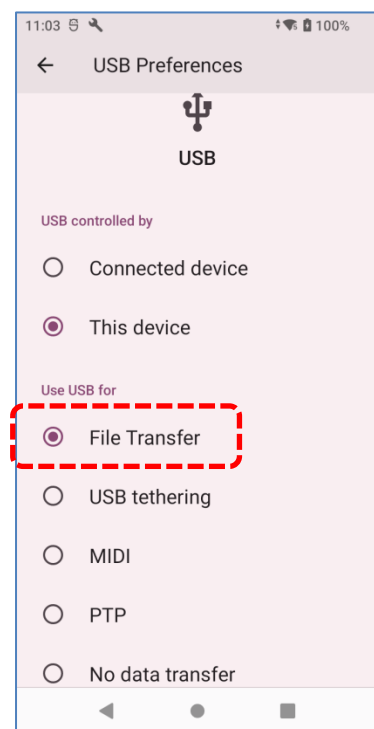
- 3) ステータスバーから下にスワイプして通知ドロワーを表示し、SD カードが写真やメディアの転送に使用されることを示す通知が表示されます。内容を確認するには「**EXPLORE (外部メディア)**」をタップする、または Storage (ストレージ) ページの「Files (ファイル)」をタップして確認できます。



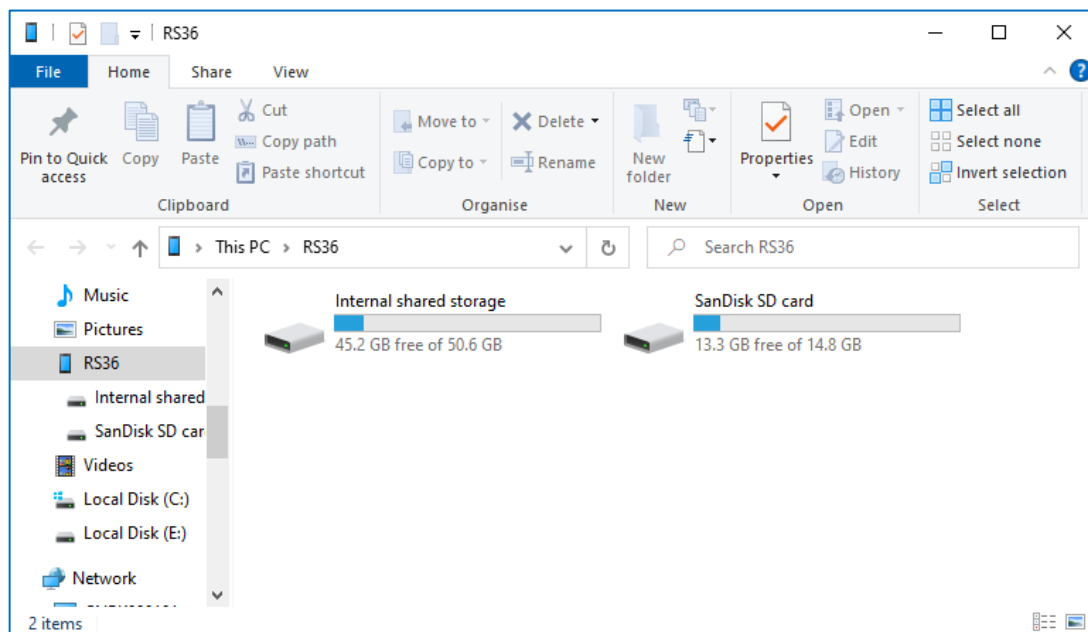
デバイスと PC 間で写真やメディアの転送方法

搭載されたSDカードをポータブルストレージとして設定している場合、このデバイスと PC 間で写真やメディアを転送するには、次の手順に従ってください。

- 1) モバイルコンピュータと PC を USB Type-C ケーブル/スナップオンケーブル/クレードルで接続すると、「**USB Preferences (USB の設定)**」ページが表示されます。「**File Transfer (ファイル転送)**」をタップして選択します。



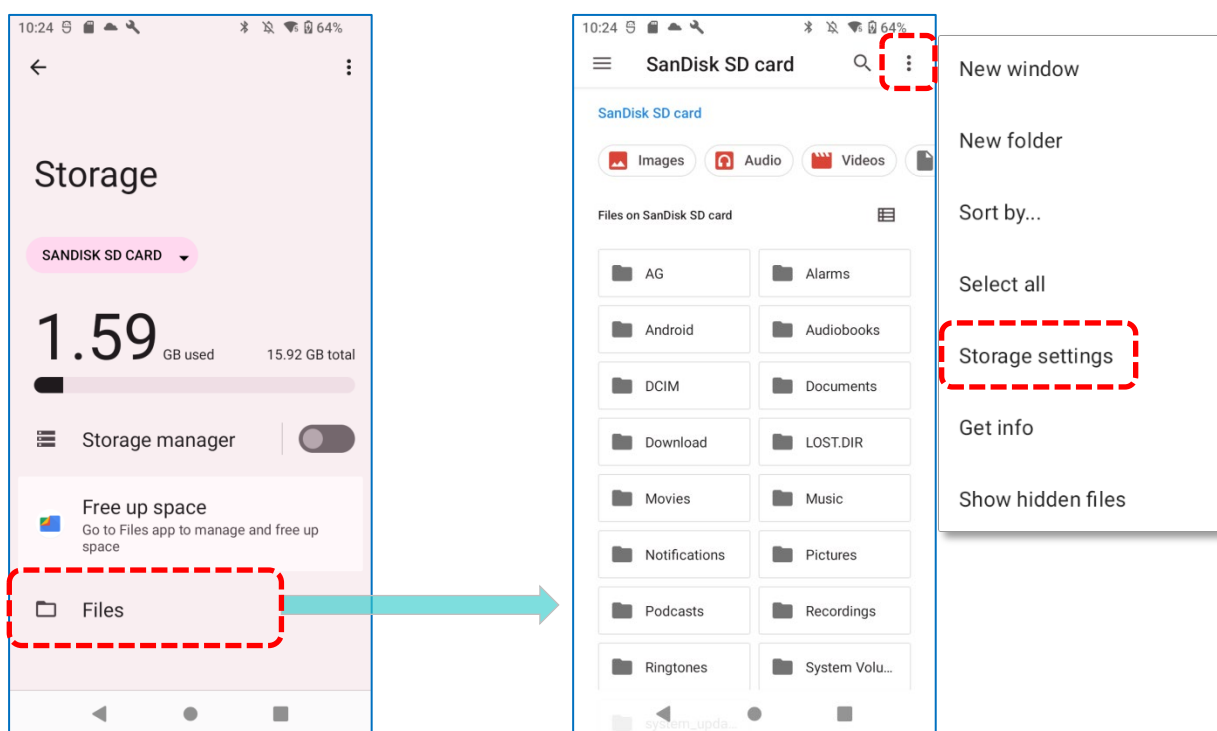
- 2) ディスクの内容は PC クライアントから読み取れることを確認できます。USB 接続でファイルを転送する際は、USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。



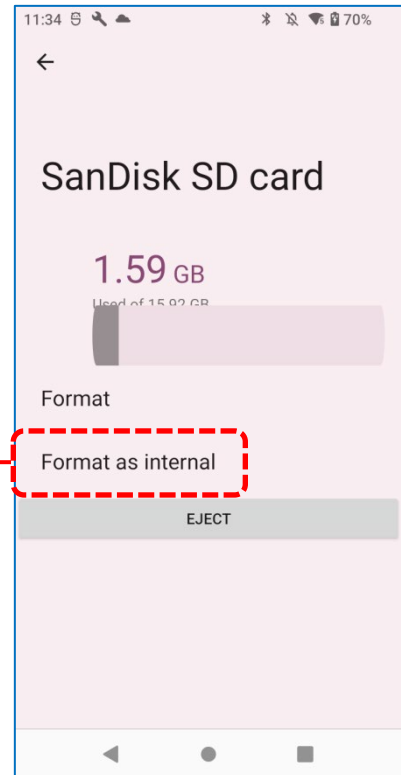
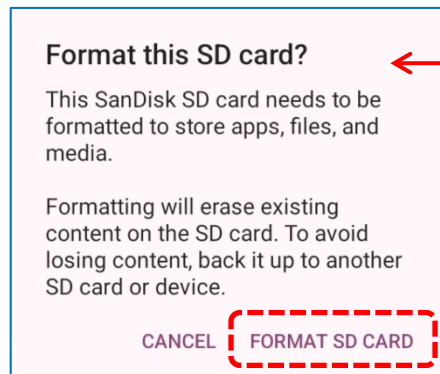
SD カードを内部ストレージに変換する方法

SD カードをポータブルストレージから内部ストレージにいつでも変換することができます。始める前に、このディスクに保存されているファイルのバックアップを取ることをおすすめします。

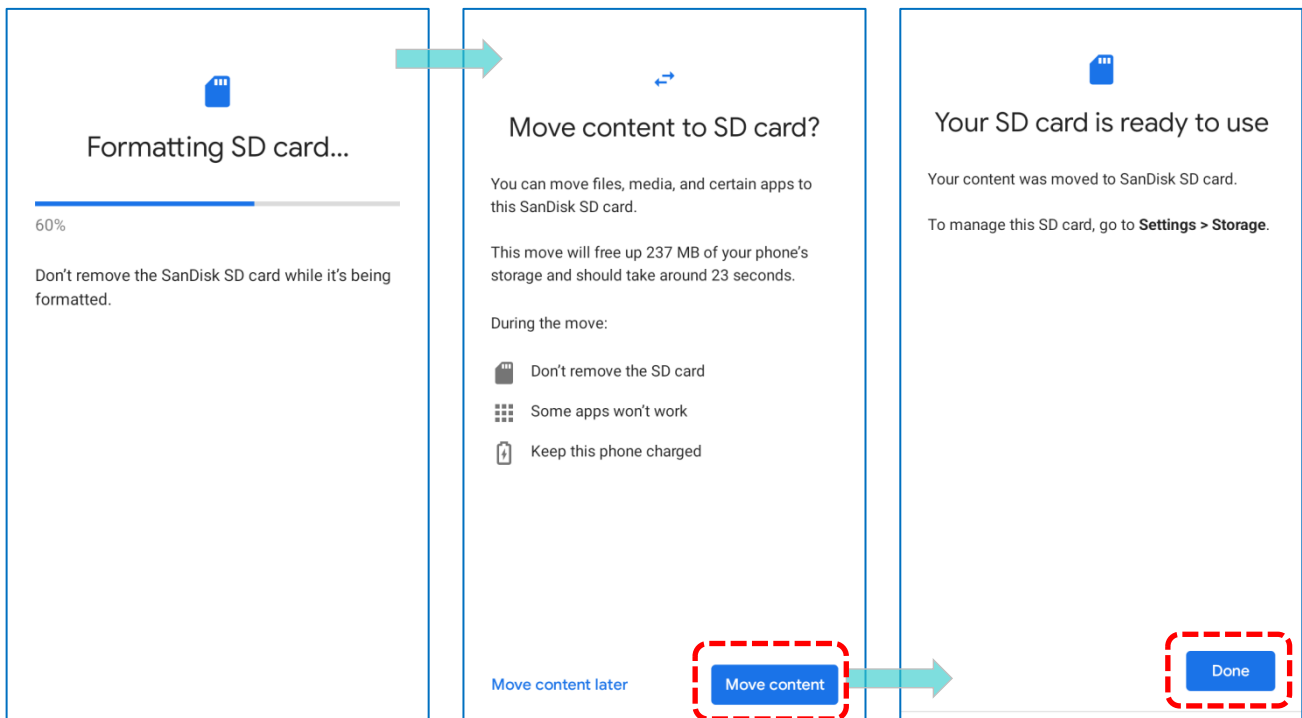
- 1) **Storage (ストレージ)** 画面で、SD カードをタップして SD カードコンテンツ画面に入ります。その他  をタップし、「Storage settings (ストレージの設定)」を選択します。



- 2) 「**Format as internal (内部ストレージとしてフォーマット)**」を選択すると、このデバイス専用の特定のファイル形式に SD カードがフォーマットされます。
- 3) 「**Format this SD card? (この SD カードのフォーマット)**」のポップアップが表示されて、「**FORMAT SD CARD (SD カードをフォーマット)**」をタップしてください。



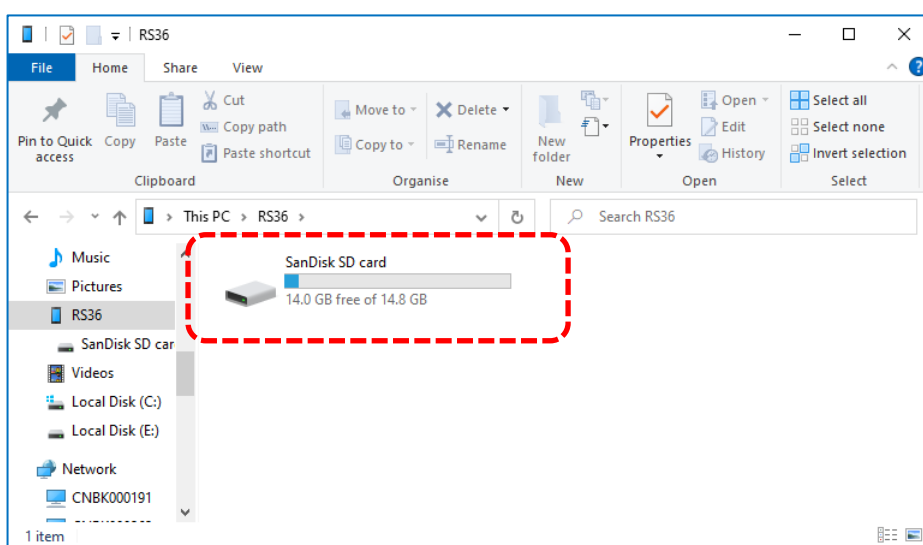
- 4) その後、マルチメディアファイルをすぐに新しい SD カードに移動するか、後で移動するかどうかを尋ねられます。選択をタップしてください。
- 5) フォーマットが完了したら 「**DONE (完了)**」をタップしてください。



SD カードを内部ストレージとして設定する方法

SD カードを内部ストレージとして使用することで、既存のデバイスストレージを拡張し、大容量のアプリケーションを保存できます。この SD カードは、他のデバイスでは読み取り不可能なファイル形式で再フォーマットおよび暗号化されます。そのため、事前にこの SD カード上の重要なファイルをバックアップすることが重要です。なお、この SD カードを取り出した場合、カードを再挿入するまで、その上に保存されているアプリケーションやメディアファイルは利用できないので注意してください。

このデバイスが PC と接続されている場合、ディスクの内容は PC クライアントから読み取れません。



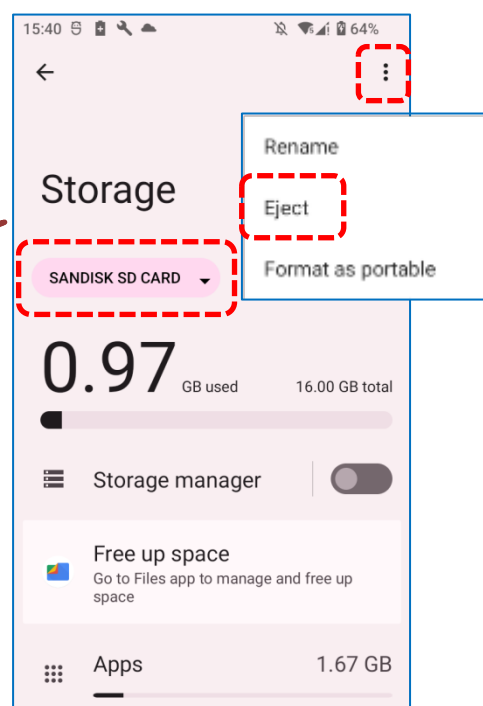
Storage (ストレージ) 画面では、この SD カードの容量がデバイスの総容量に統合されます。

この設定では、SD カードに保存するファイルを選択することはできませんのでご注意ください。

この SD カードを取り出すには：
 (1) この SD カードを選択します。
 (2) SD カードの内容について
 画面で「**その他**」をタップしてから「**Eject (取り外し)**」を

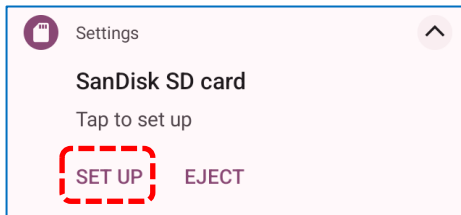
警告：

この SD カードを取り外す前に、デバイスから物理的に取り外さないでください。

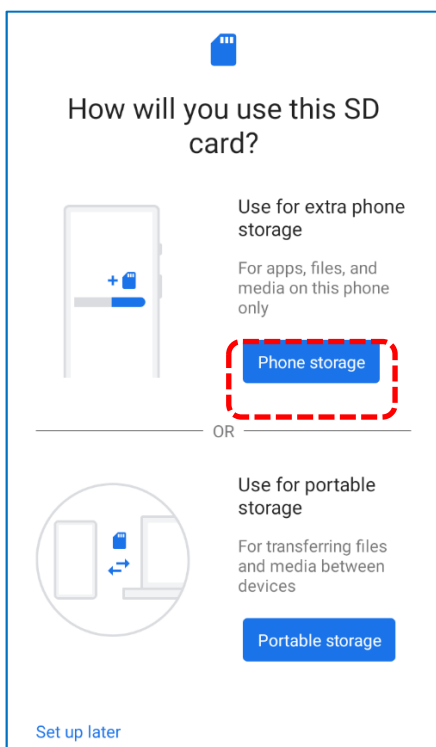


はじめにするには：

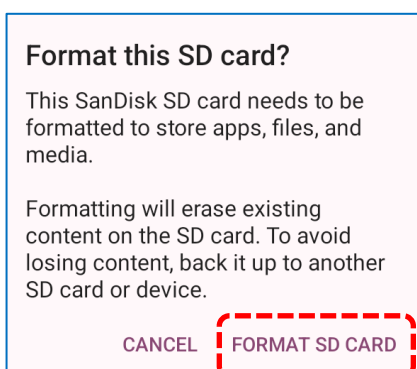
- 1) SD カードを挿入します。SD カードが検出されたことを示す通知がポップアップします。
「**SET UP (セットアップ)**」をタップします。



- 2) 「**Phone storage (内部ストレージとして使用)**」をタップします。

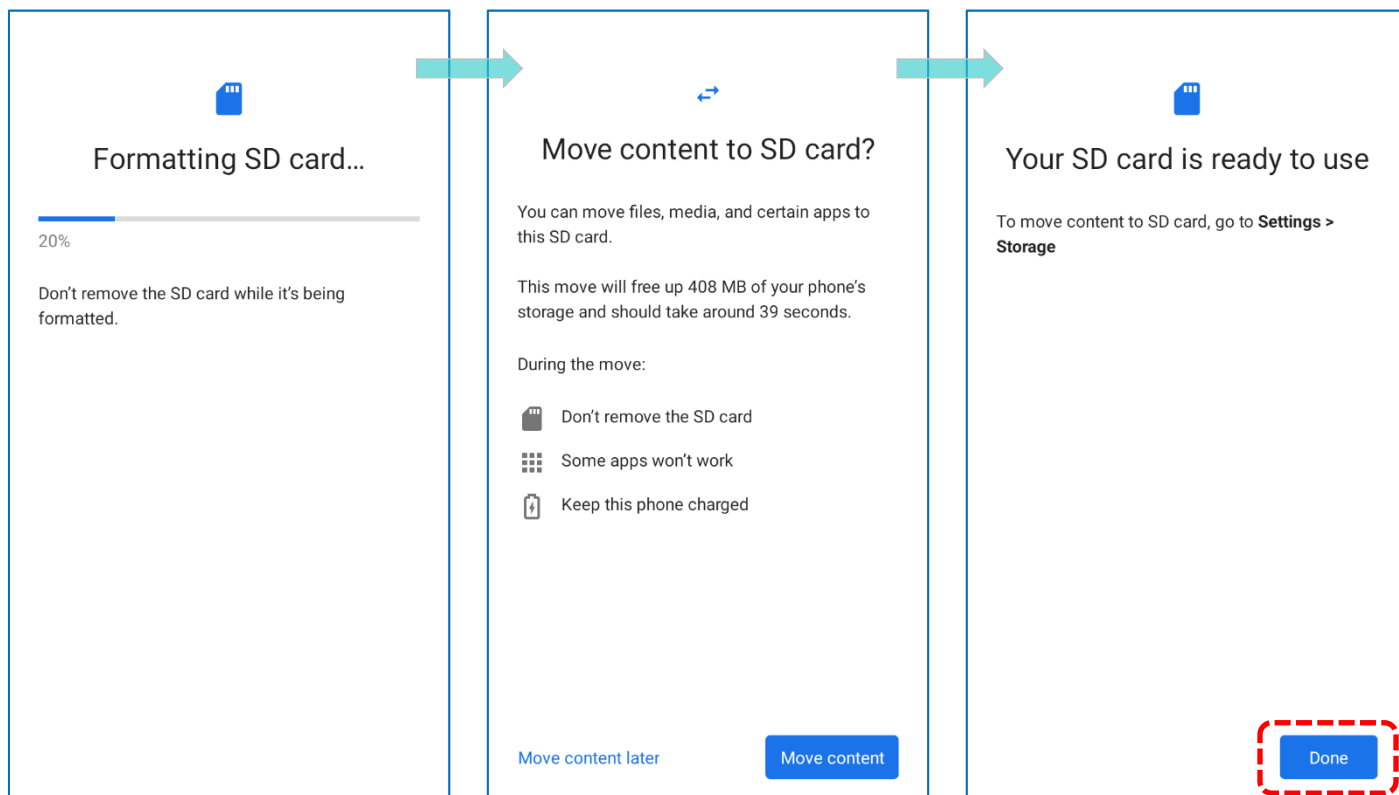


- 3) ポップアップウィンドウで「**FORMAT SD CARD (SD カードをフォーマット)**」を選択します。



4) その後、この新しい SD カードにメディアファイルを移動するかどうかを尋ねられるので、タップして選択します。

5) 設定が完了したら、「**DONE (完了)**」をタップします。



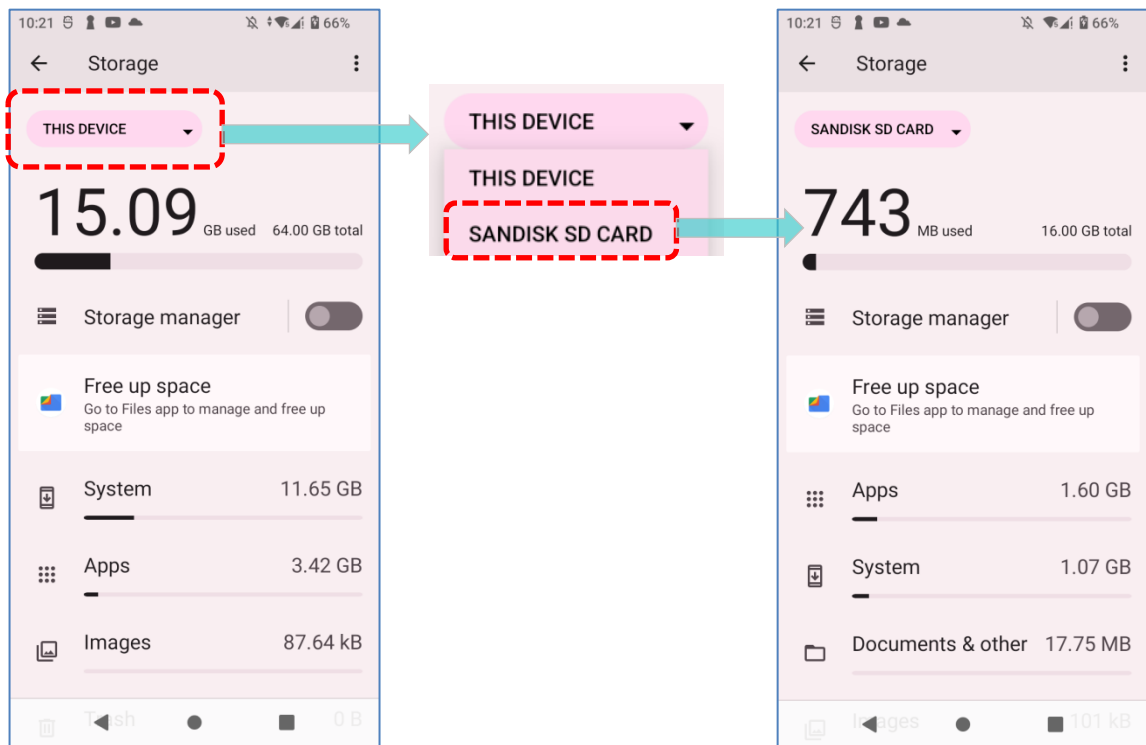
注意：

手順 4 で 「コンテンツを移動」を選択して、デバイスですぐに SD カードスペースの使用を開始することをお勧めします。「後で移動」を選択した場合、デバイスは引き続きデバイスの元のストレージをファイルを保存する主要な場所と見なします。

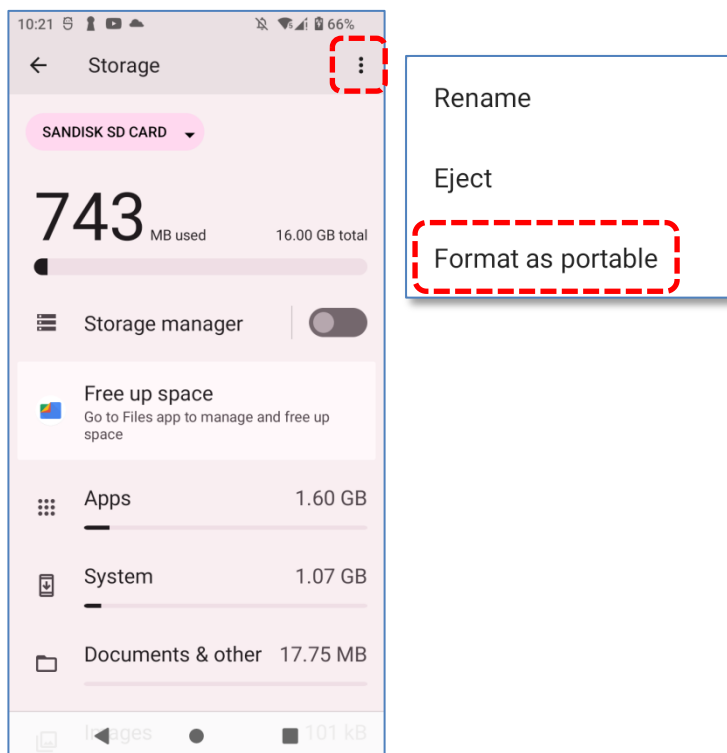
SD カードを外部ストレージに変換する方法

いつでも SD カードを内部ストレージから外部ストレージに変換することができます。始める前に、このディスクのファイルをバックアップすることをおすすめします。

- 1) 「SD card (SD カード)」をタップして、Storage (ストレージ) 画面から SD カードコンテンツ画面に入ります。

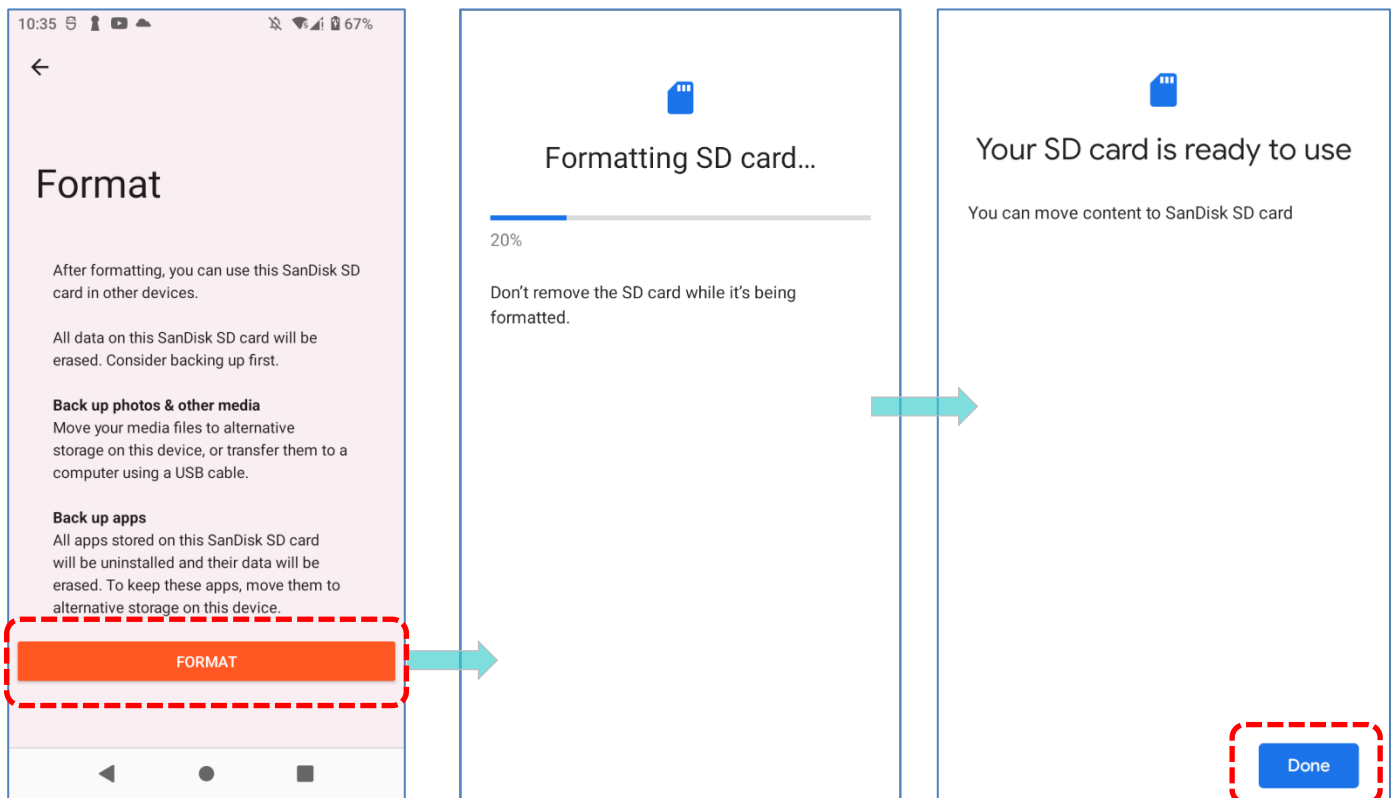


- 2) 「その他」 → 「Format as portable (外部ストレージとしてフォーマット)」をタップします。



3) この SD カードを他のデバイスからアクセスできるファイル形式に再フォーマットするには、「**FORMAT (フォーマット)**」をタップします。

4) フォーマットが完了したら、「**DONE (完了)**」をタップします。



注意：



フォーマットを進める前に、この SD カードの重要なファイルをバックアップしてください。

2.3. タッチスクリーン

モバイルコンピュータには 5.5 インチの透過型 IPS 液晶、解像度 720 x 1440 HD の Corning® Gorilla® Glass ディスプレイが搭載されています。画面の LED バックライトは、薄暗い環境でも読みやすく、手動および自動で制御できます。

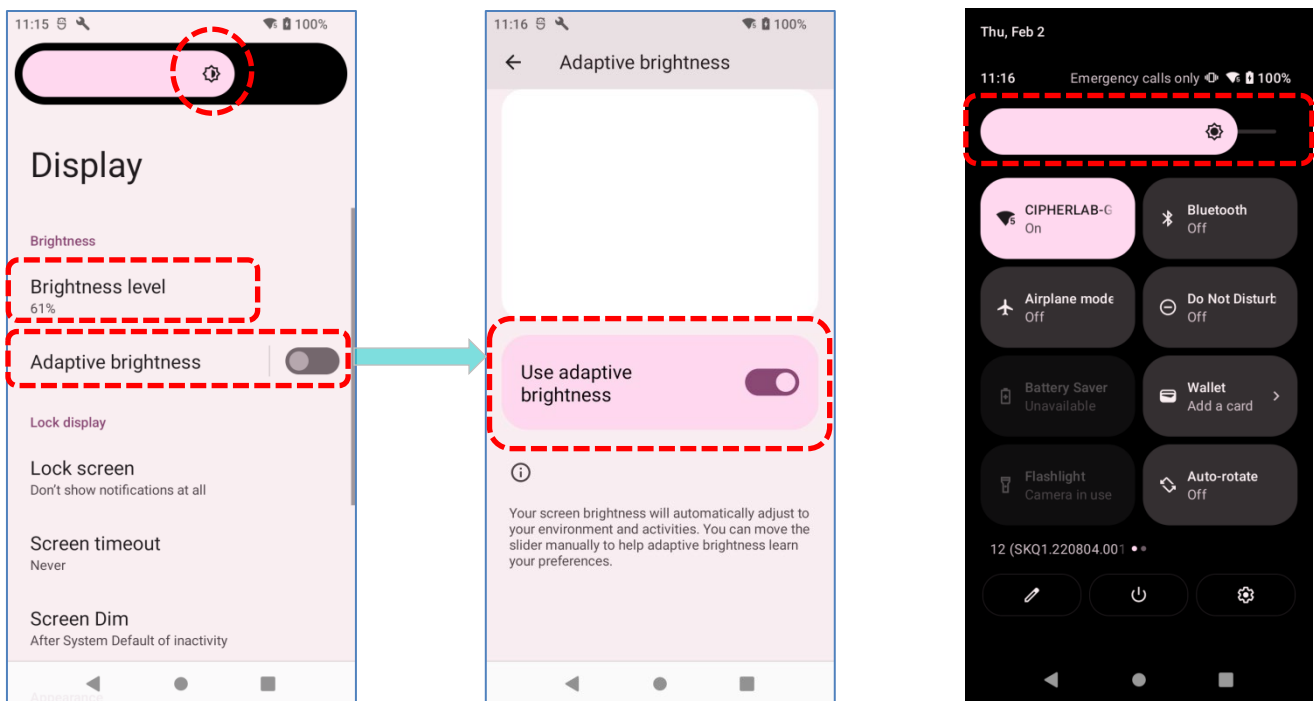
警告：鋭い物体や尖った物体を画面の表面に当てて移動させないでください。

2.3.1. 画面の明るさ

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Display \(ディスプレイ\)](#)  | **Brightness level (明るさのレベル)** に移動します。

画面の明るさを調整するには、スライダーを右にドラッグして明るさを上げるか、左にドラッグして明るさを下げます。**Adaptive brightness (明るさの自動調整)** をオンにすると、モバイルコンピュータの内蔵センサーを使用して、自動的にバックライトを調整します。

クイック設定パネルのショートカットボタンを使用することも明るさのレベルを調整できます。



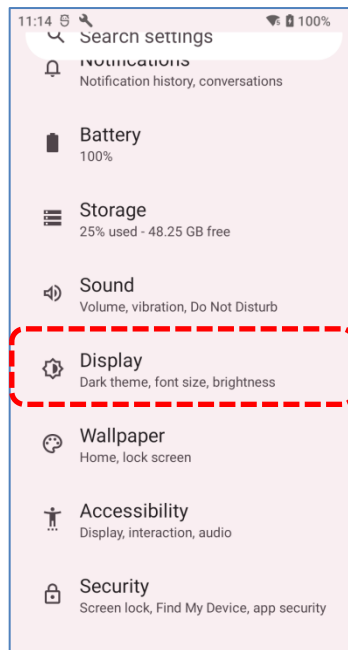
注意：

バッテリーの電力を節約するには、明るい場所で作業している間は画面の明るさを落としたり、画面のバックライトが消えるまでの**睡眠時間**を短く設定したりしてください。

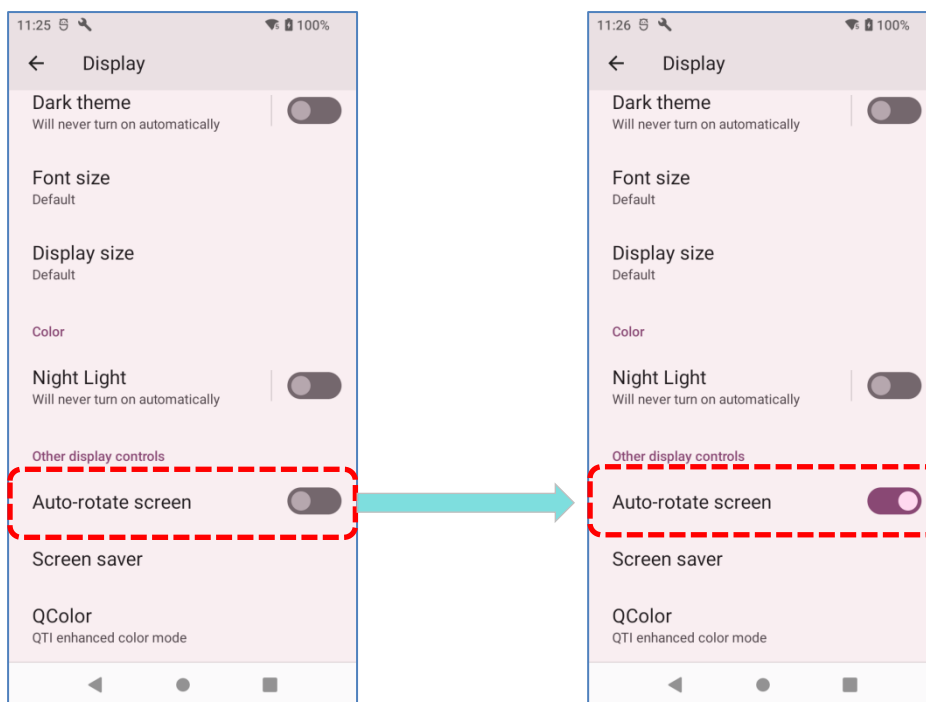
2.3.2. 画面の回転

デフォルトでは、デバイスを横にしたときに自動的に画面が回転します。この機能のオン/オフを切り替えるには、次の手順に従ってください。


- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Display \(ディスプレイ\)](#)  に移動します。

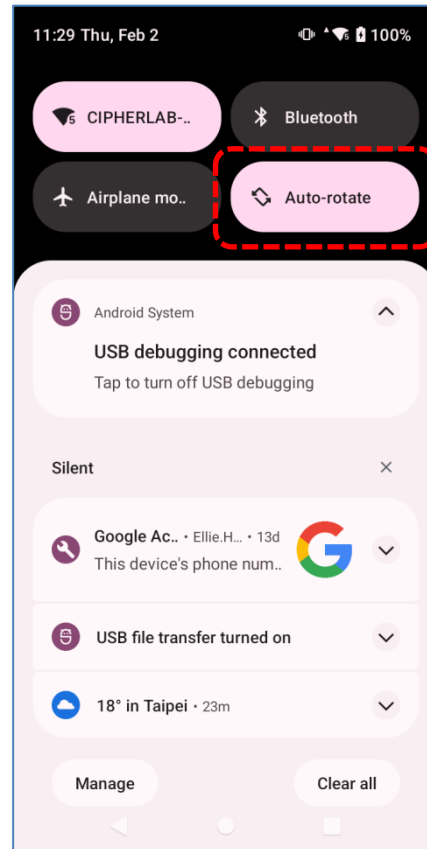
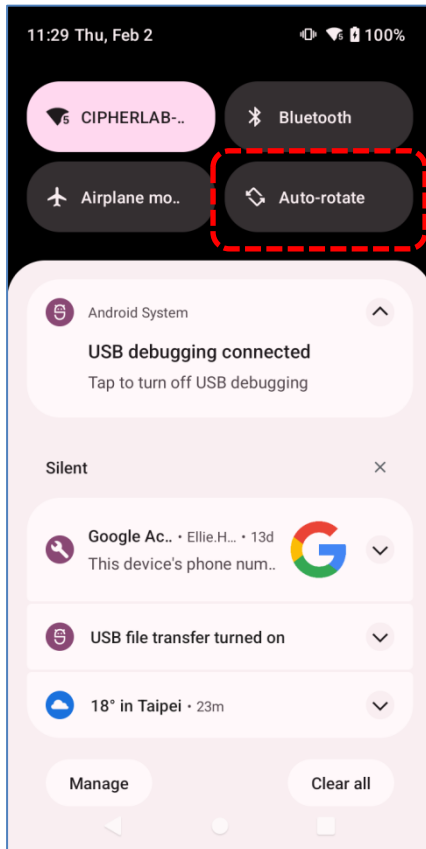


- 2) Auto-rotate screen (画面の自動回転) のオン/オフを切り替えます。



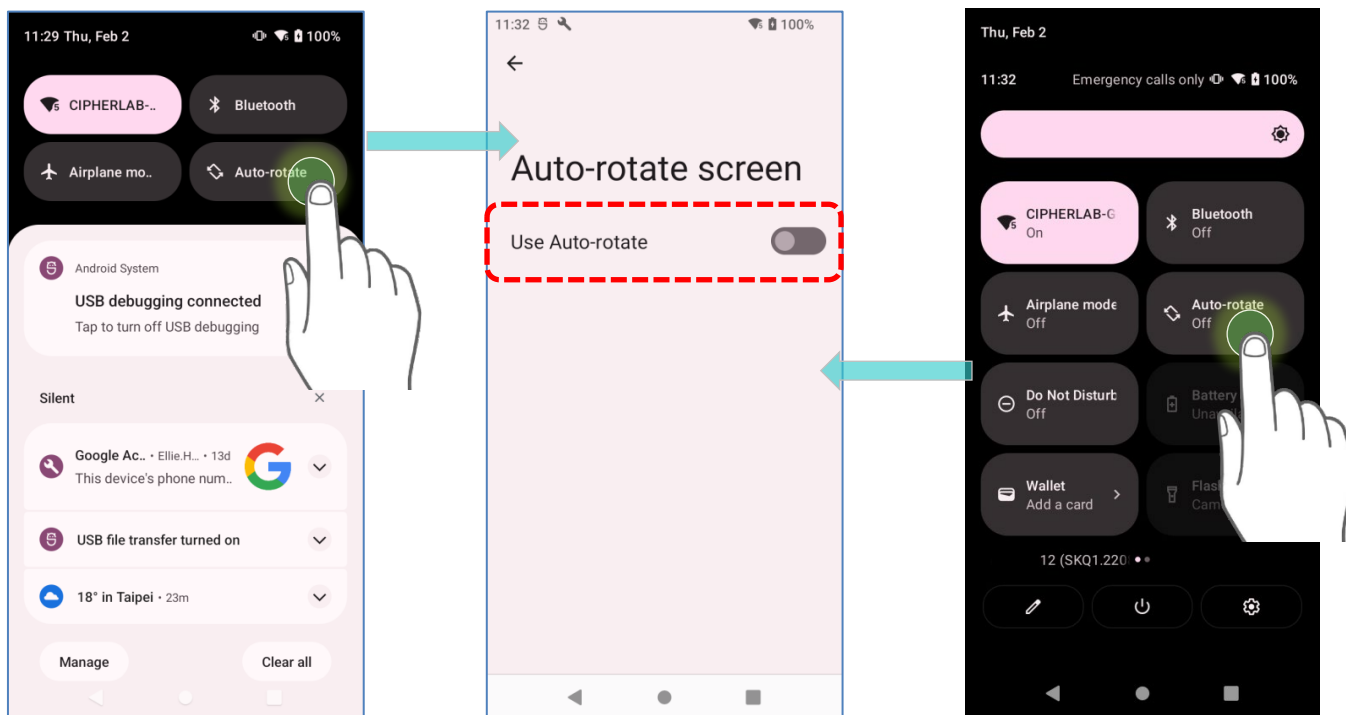
あるいは :

画面の上部から下にスワイプして**クイック設定パネル**を開き、**Auto-rotate (自動回転)**  アイコンをタップして画面の回転を有効にします。



アイコン	説明
	自動回転モードは OFF です。
	自動回転モードは ON です。

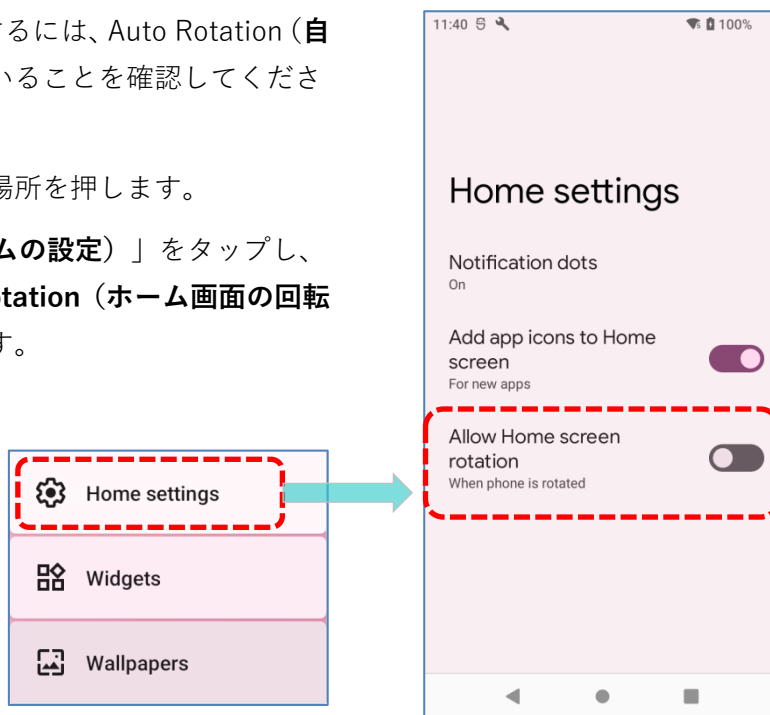
クイック設定パネルの **Auto-rotate (自動回転)** アイコンを長押しすると、「**Auto-rotate screen (画面の自動回転)**」ページに入り、画面回転の有効/無効を切り替えることができます。



ホームスクリーン回転


ホーム画面の回転を有効にするには、Auto Rotation (自動回転) が有効になっていることを確認してください。

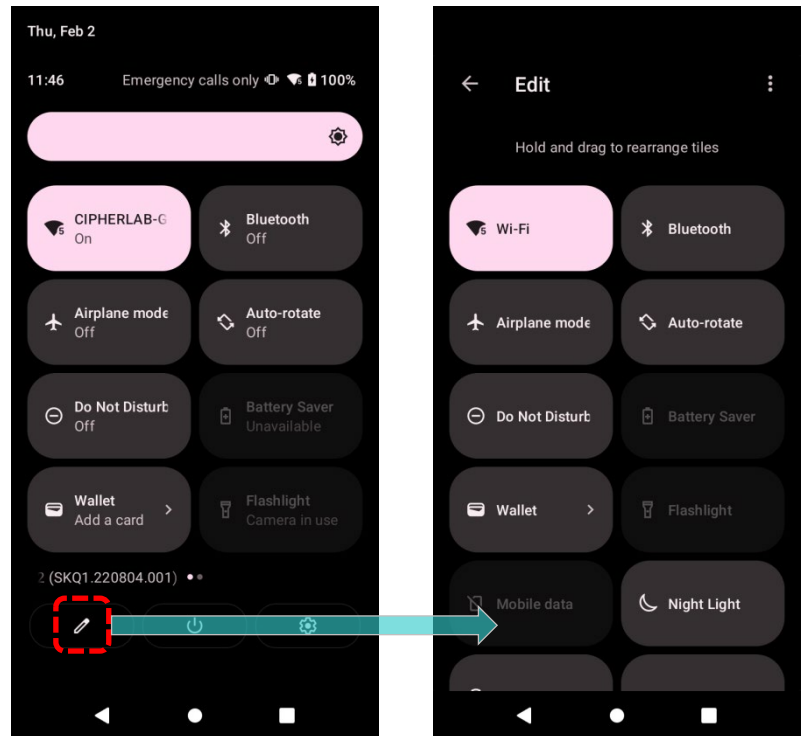
- 1) ホーム画面の空いている場所を押します。
- 2) 「**Home Settings (ホームの設定)**」をタップし、「**Allow Home screen rotation (ホーム画面の回転を許可)**」を有効にします。



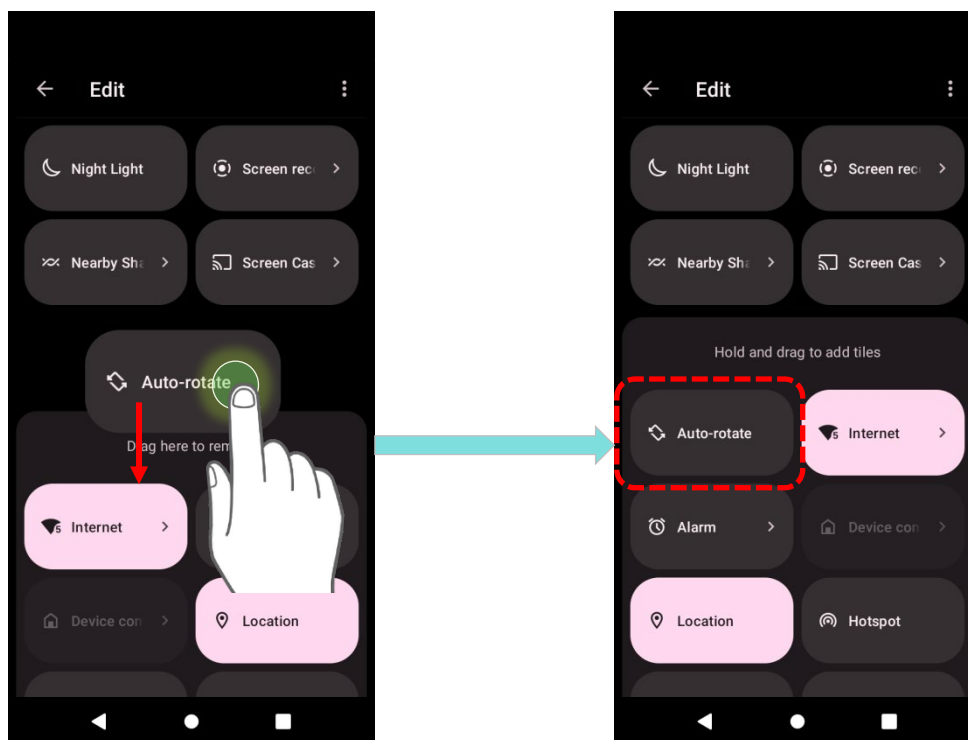
クイック設定パネルから自動回転を解除する

クイック設定パネルから自動回転スイッチのアイコンを削除すると、誤って自動回転機能がオンになる可能性を最小限に抑えることができます。

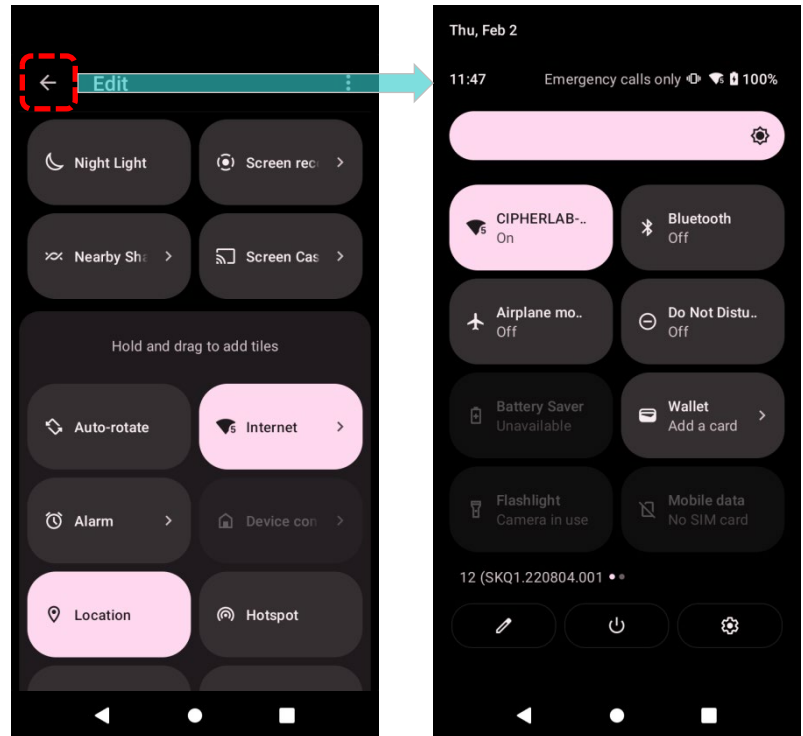
- 1) 画面上部から下にスワイプしてクイック設定パネルを開き、編集ボタン  をクリックして編集ページに入ります。





- 2) 自動回転アイコンをタップしたまま「DRAG HERE TO REMOVE (削除するにはここにドラッグ)」エリアにドラッグして放します。





- 3) クイック設定パネルに戻ると、**自動回転**スイッチのアイコンが非表示になります。



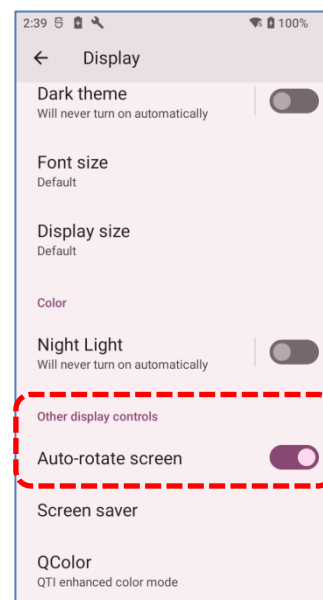
表示設定から自動回転を削除

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Accessibility \(ユーザー補助\)](#) 

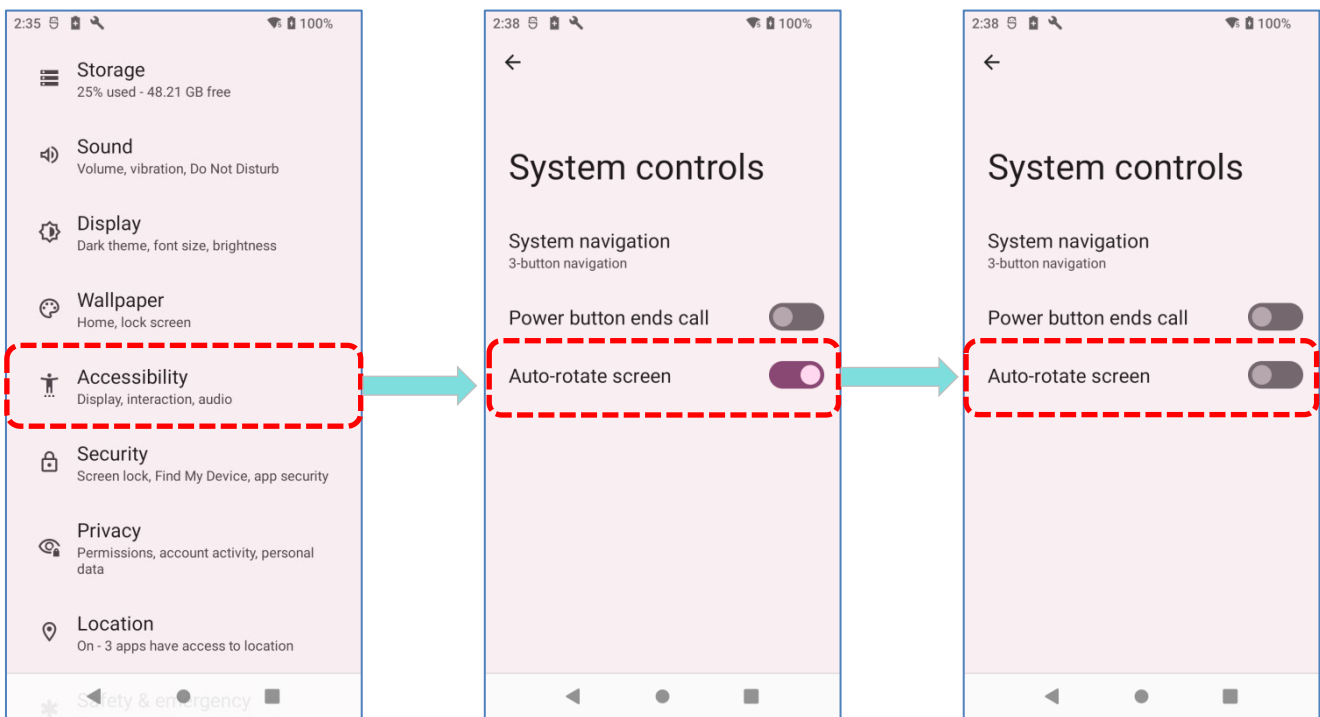
| [System controls \(操作のコントロール\)](#) で、[Auto-rotate screen \(画面の自動回転\)](#)

をオフにできます。これにより、[Settings \(設定\)](#)  | [Display \(ディスプレイ\)](#)  の自動回転オプションが非表示になります。

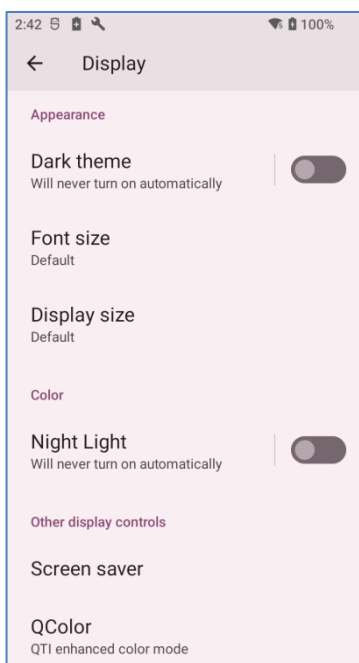
- 「Auto-rotate screen (画面の自動回転)」機能が記載されている元の「Display (ディスプレイ)」ページ。



- 「Accessibility（ユーザー補助）」ページの「Auto-rotate screen（画面の自動回転）」をオフにします。



「Display（ディスプレイ）」ページの「Auto-rotate screen（画面の自動回転）」機能が非表示になります。

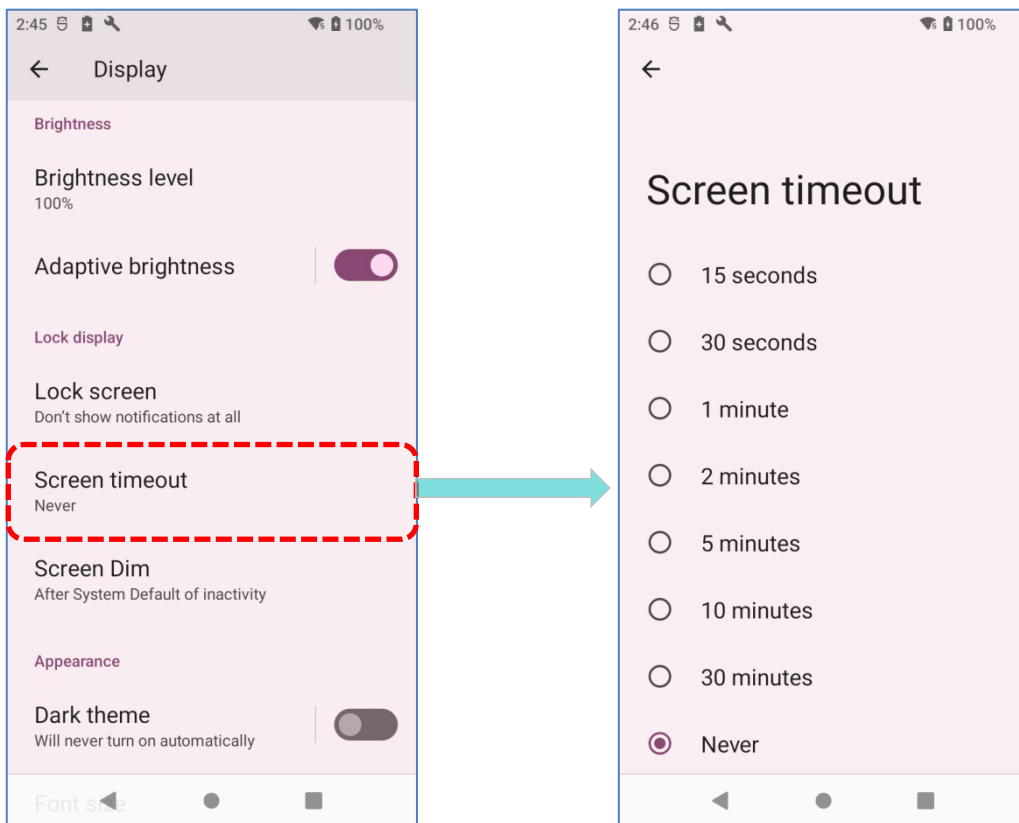


注意：一部のアプリケーションでは自動回転がサポートされていません。「[ホーム画面の回転を許可](#)」を有効にしないと、ホーム画面および [App Drawer](#) 画面で自動回転が適用されません。



2.3.3. 画面のタイムアウト設定

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Display \(ディスプレイ\)](#)  | [Screen timeout \(スリープ\)](#) に移動します。

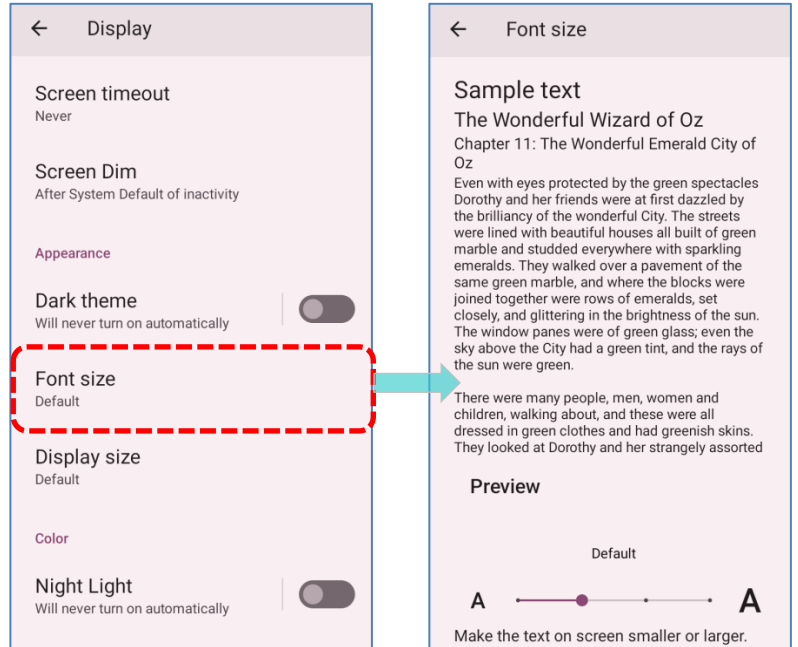
画面タイムアウトの経過時間を選択します。



2.3.4. テキストサイズと表示サイズ

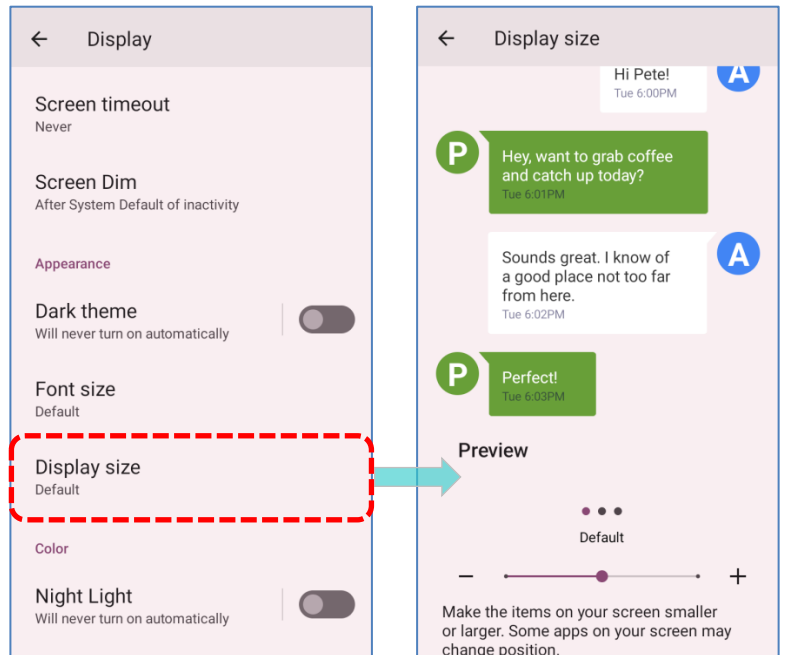
App Drawer (アプリドロワー) | Settings (設定)  | Display (ディスプレイ)  | Font size (フォントサイズ) に移動してください。

小さいAのアイコン **A** または大きいAのアイコン **A** をタップして、フォントサイズを **Small (小)**、**Default (デフォルト)**、**Large (大)**、**Largest (最大)** から選択できます。



App Drawer (アプリドロワー) | Settings (設定)  | Display (ディスプレイ)  | Display size (表示サイズ) に移動してください。

プラスアイコン **+** またはマイナスアイコン **-** をタップして、表示サイズを **Small (小)**、**Default (デフォルト)**、**Large (大)** から選択できます。



2.4. 通知

2.4.1. ステータス LED

タッチスクリーンの上にある 2 つの LED インジケータは、データ収集中の充電状態、スキャナーのライトビーム、およびスキャナーの「**Good Read**」に関する情報を提供します。

電源表示用の LED 1		
インジケータ	ステータス	説明
充電	緑、常時点灯	充電完了 (95%以上)
	赤、常時点灯	モバイルパソコンの充電中 (0%~95%)
	赤、点滅	充電温度エラー (0° C 未満または 40° C を超える)

Reader & システム通知用の LED 2		
インジケータ	ステータス	説明
バーコードデコード	緑、1 回点滅	読み取りました
システム通知	白、点滅	新規通知

注意: スキャナーデコードとスキャナービーム LED が機能するには、アプリ「ReaderConfig」で LED 通知を有効にする必要があります。

2.4.2. オーディオ

スピーカーは、ウィンドウやプログラム内のイベントのサウンドを再生したり、オーディオファイルを再生したりするために使用されます。さらに、ステータスフィードバックのためにプログラムすることもできます。ノイズの多い環境では、代わりに Bluetooth ヘッドセットの接続を検討することもできます。モバイルコンピュータは、ヘッドセットを接続するための USB Type-C オーディオアダプターにも対応しています。

サポートされているオーディオファイル形式は、WAV、MP 3、AAC、AAC+、Enhanced AAC+、AU（ADPCM を含む）、Midi、XMF、AMR（NB および WB）です。拡張低遅延 AAC、FLAC、Vorbis、PCM。

モバイルコンピュータの側面にある音量ボタンを使用して、システムの音量を調整できます。




2.4.3. 音声と振動

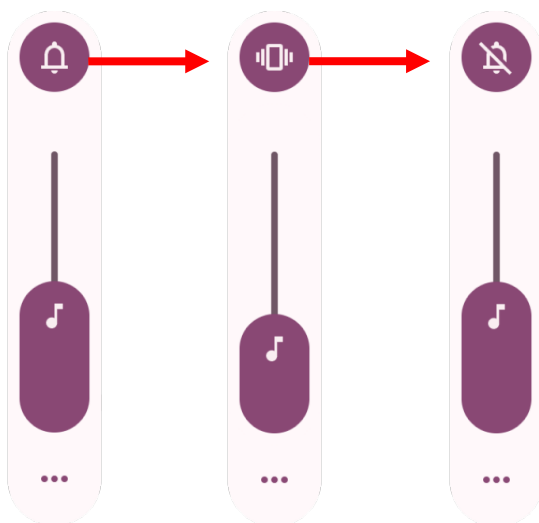
モバイルコンピュータにはバイブレータが統合されており、タクトイルフィードバックに対応するソフトウェアがプログラム可能です。騒々しい環境で作業する際に役立ちます。




また、モバイルコンピュータをバイブレーションのみに設定することもできます。すべてのシステムサウンドがミュートされ、バイブレータによって置き換えられます。


クイックサウンドメニュー

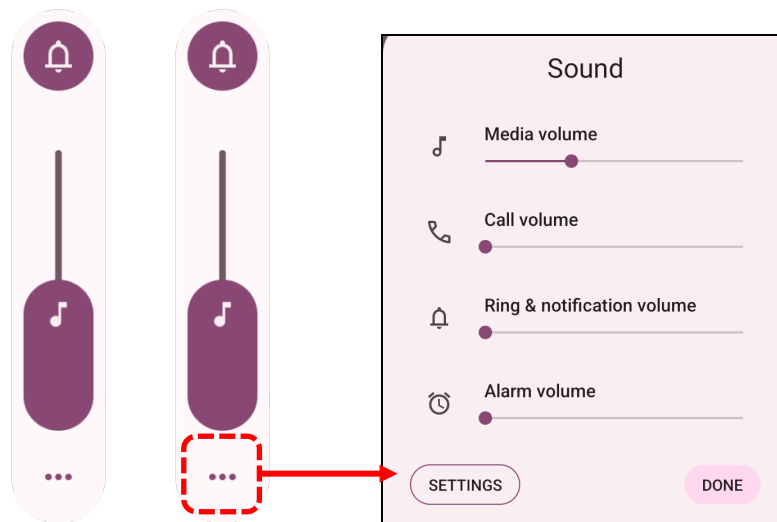
任意の画面で、**音量上キー**または**音量下キー**を押して、クイックサウンドメニューを開きます。

アイコン  または  または  をタップして、音声、バイブレーション、ミュートモードの切り替えができます。





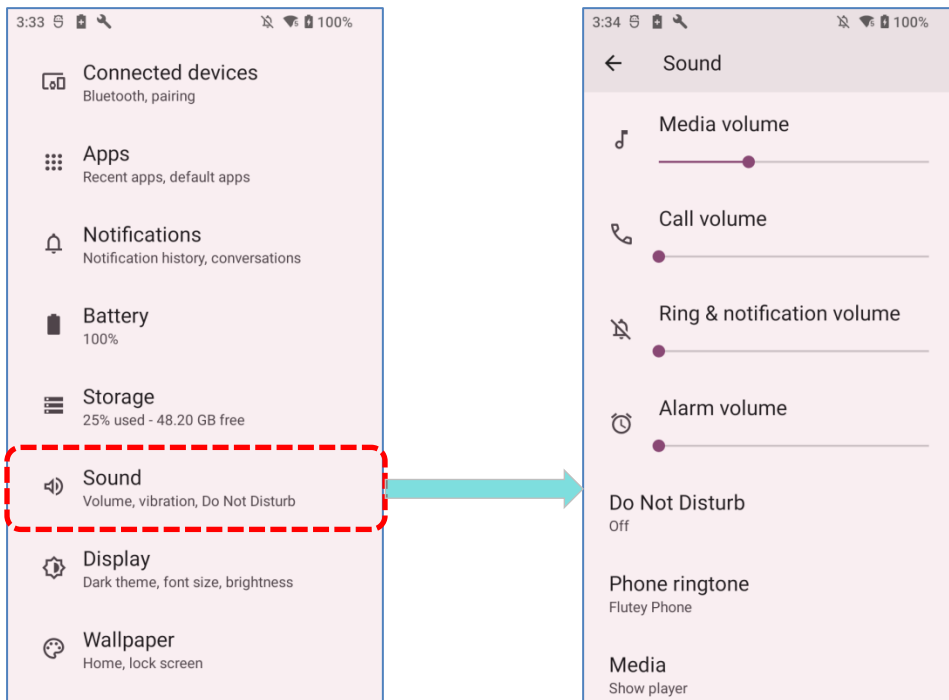
項目	説明
	通話と通知が鳴ります。
	通話と通知が振動します。
	通話と通知はミュートされます。

メディアの音量は、**音量上キー**または**音量下キー**を押すか、クイックサウンドメニューのスライダーをドラッグすることで調整できます。設定アイコン  をタップすると、ポップアップ音量パネルが開きます。「**SETTINGS** (詳細)」をタップすると、直接[サウンド設定](#)ページに入ります。







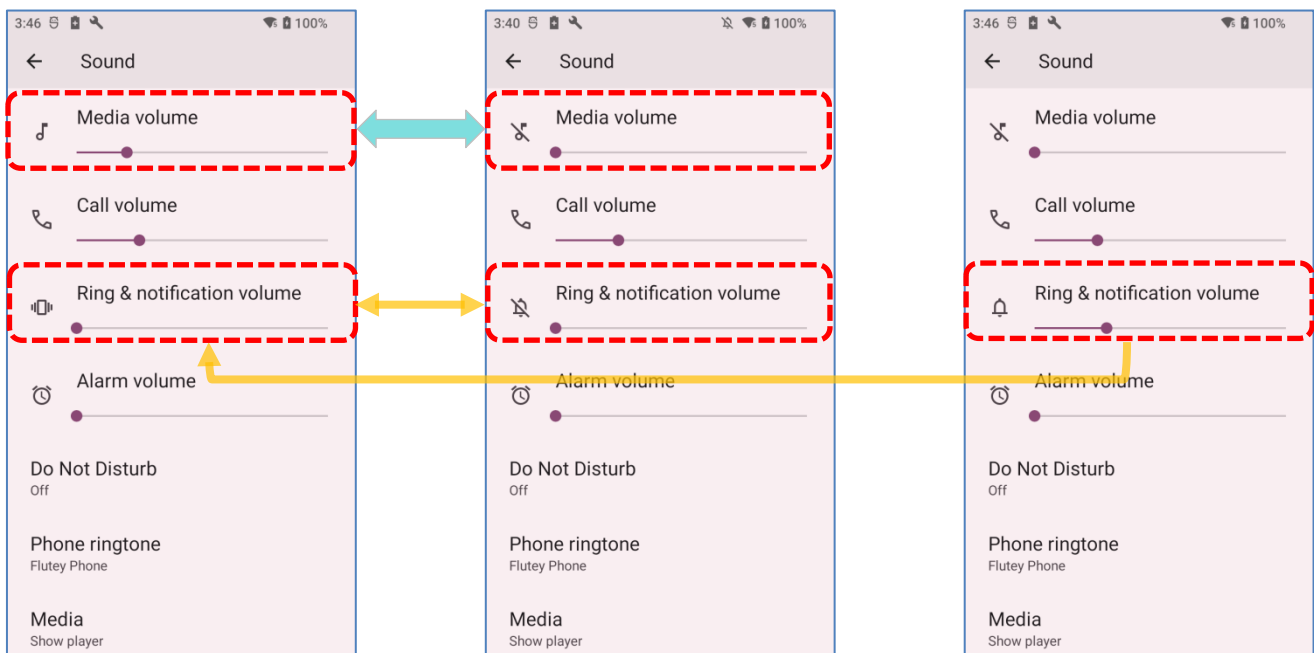
サウンド設定





[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Sound \(音\)](#)  の詳細設定を確認します。



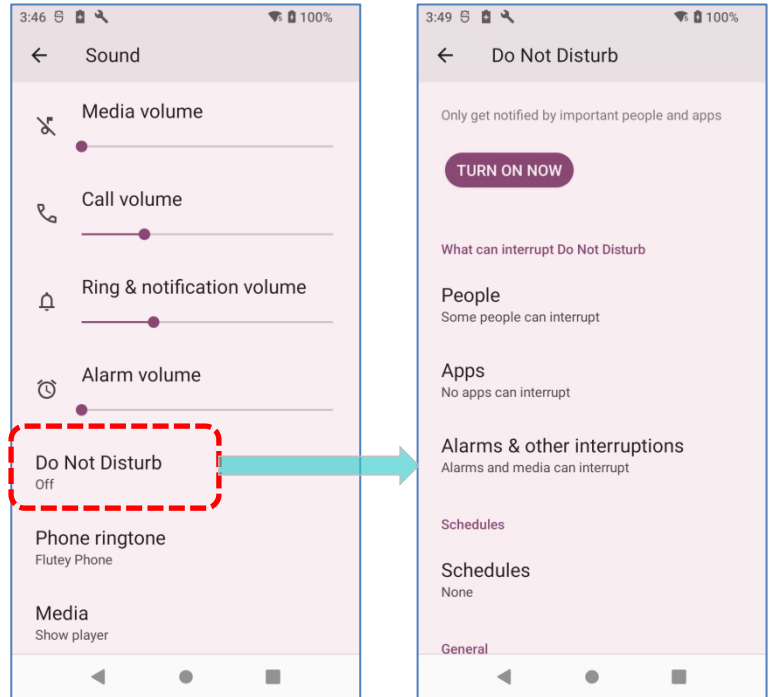
「**Sound (音)**」設定ページでは、次のことができます：

- **media (メディア)** 、**call (通話)** 、**ring (着信音)** 、**alarm (アラーム)**  の音量は、スライダーをドラッグして調節できます。

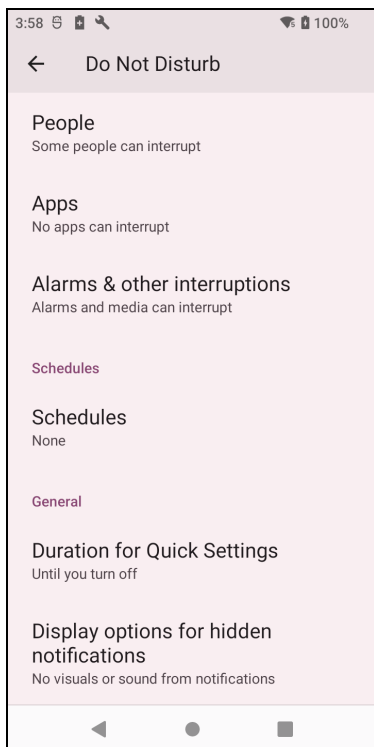


- メディアの音量がオフの場合は、メディアアイコンが  に変わります。
- リングのアイコンが  から  に変わると、着信音がオフで振動がオンになります。そして、 は着信音と振動の両方がオフを意味します。

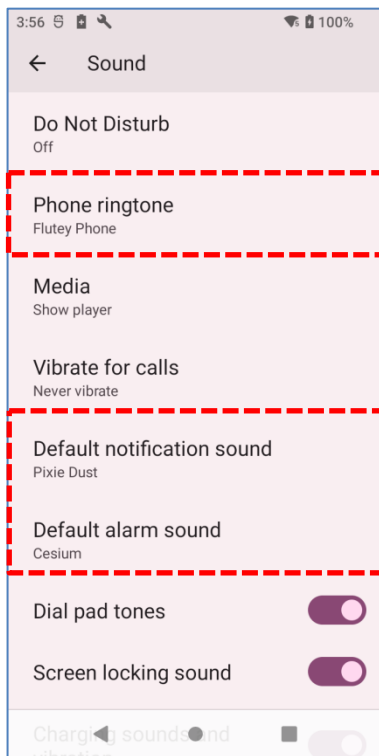
- 詳細な設定は「Do Not Disturb (サイレントモード)」で調整できます。



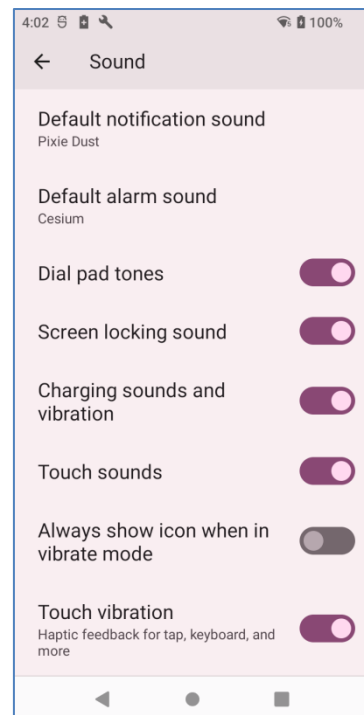
- 着信音が鳴らないようにショートカットを設定します。



- 「Phone Ringtone（電話着信音）」「Default notification sound（デフォルト通知音）」「Default alarm sound（デフォルトアラーム音）」の音を選択します。

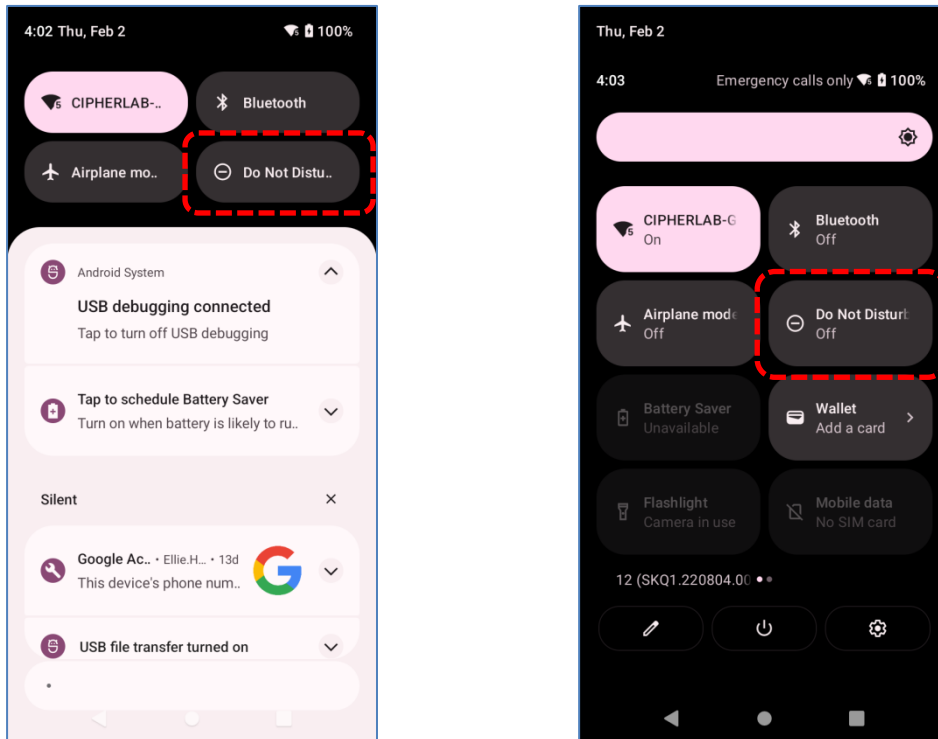


- 「OTHER SOUNDS AND VIBRATIONS（その他の音と振動）」の項目のスイッチをオン/オフします。





「サイレントモード」で不要な通知を無効にする

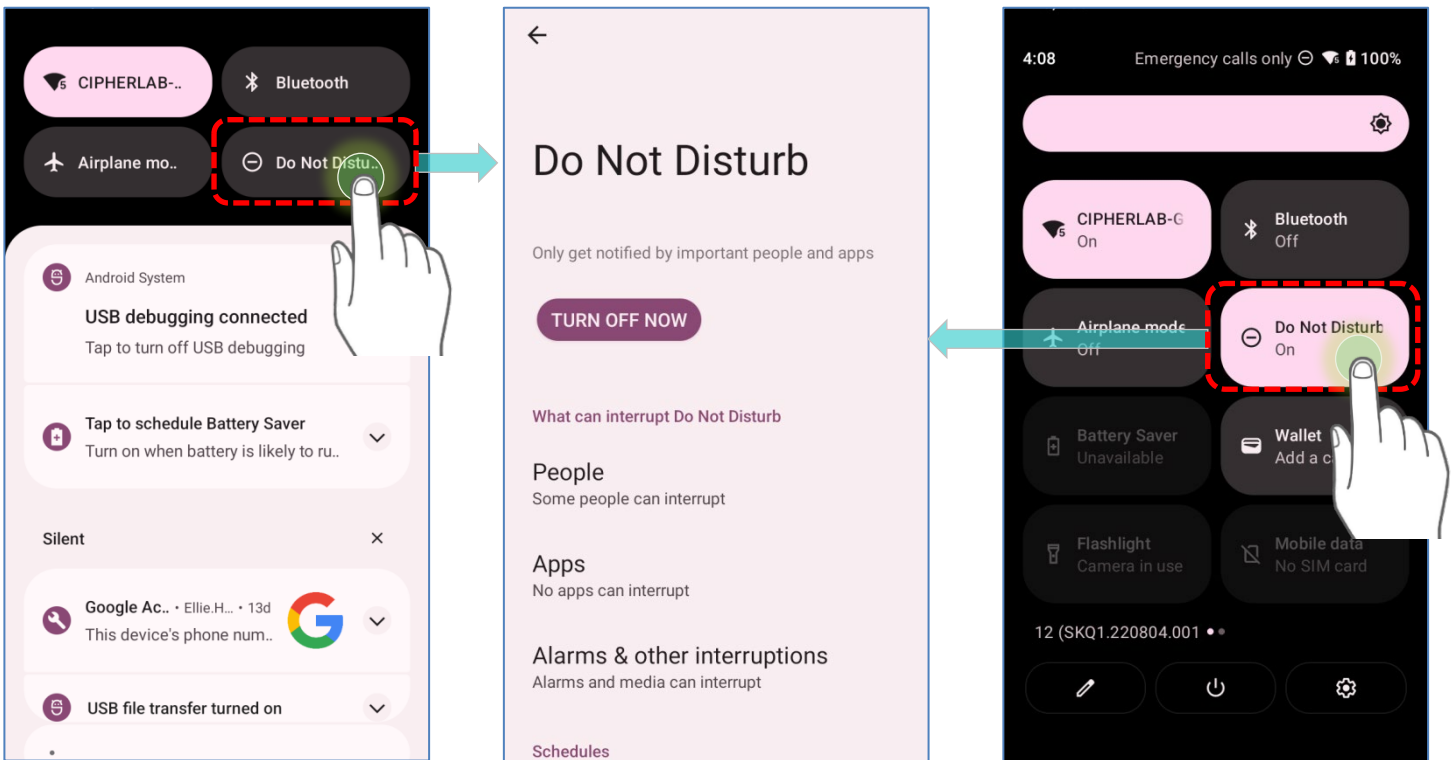
クイック設定パネルの「Do Not Disturb（サイレントモード）」で、特定の通知（振動や音）を一時的に無効にできます。さらに、無効状態の期間をスケジュールすることで、設定に基づいて自動的に通知が有効状態に切り替わるようにすることもできます。





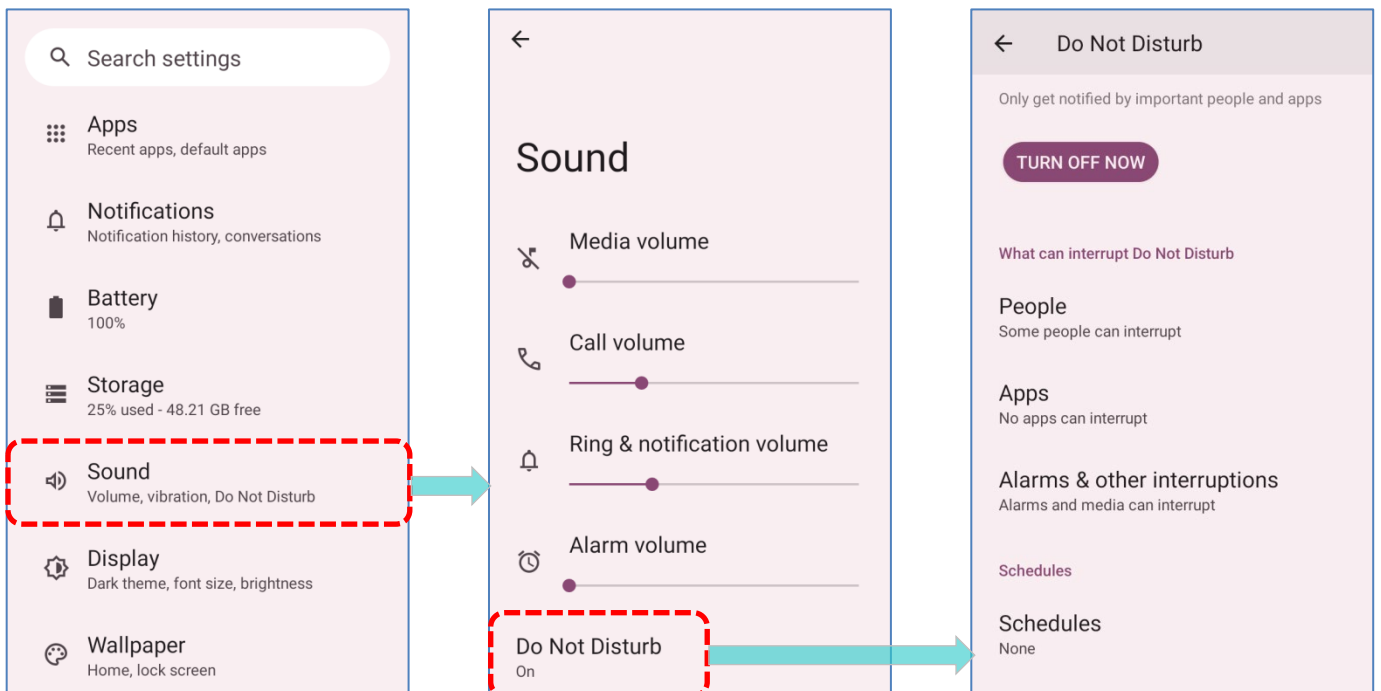
ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定パネルを開き、「Do Not Disturb（サイレントモード）」をタップしてこの機能を有効にし、さらに調整を加えます。

アイコン	説明
	サイレントモードは無効です。
	サイレントモードは有効です。

クイック設定パネルの「Do Not Disturb (サイレントモード)」アイコンを長押しすると、「Do Not Disturb (サイレントモード)」のページに進んで詳細設定ができます。






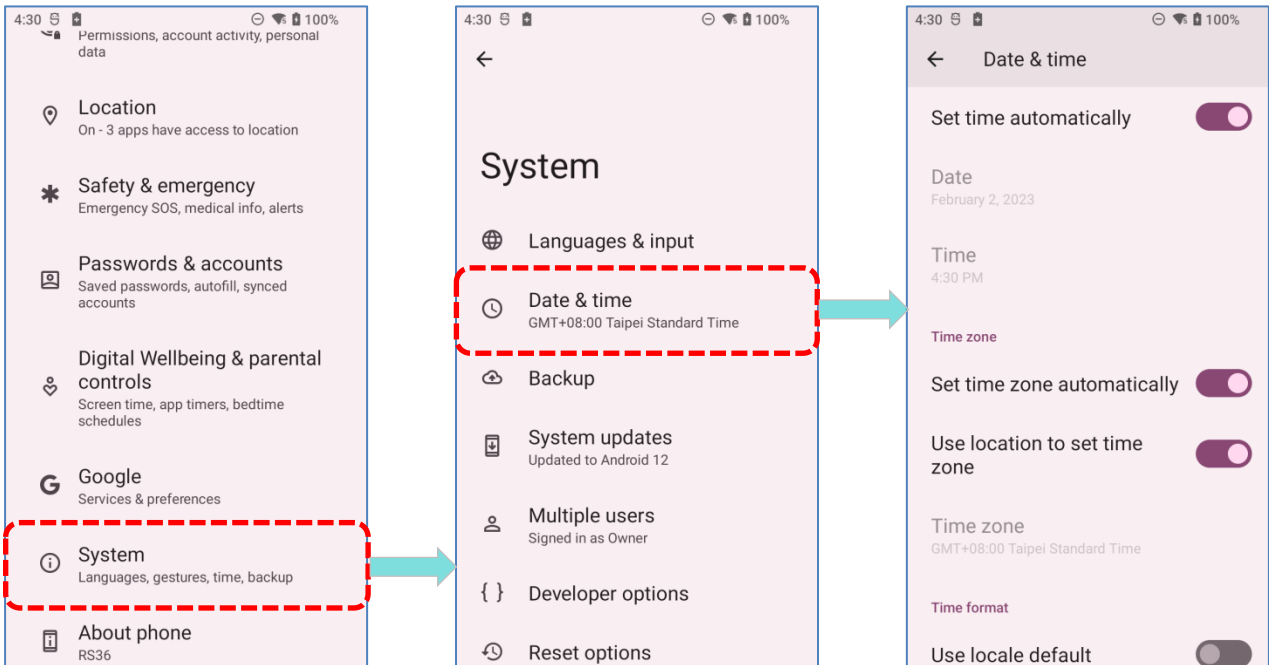
OR [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | Settings (設定)  | Sound (音)  | Do Not Disturb (サイレントモード) に移動します。



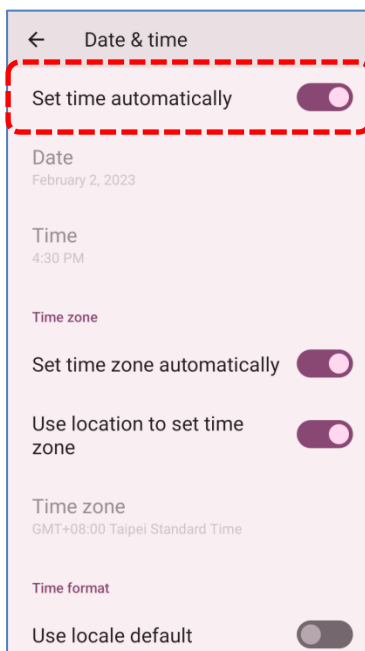
2.5. 日付と時刻

デフォルトでは、モバイルコンピュータは WWAN ネットワークに自動的に日付と時刻を同期します（接続されている場合）。日付と時刻を手動で設定するには、次の手順を実行します。

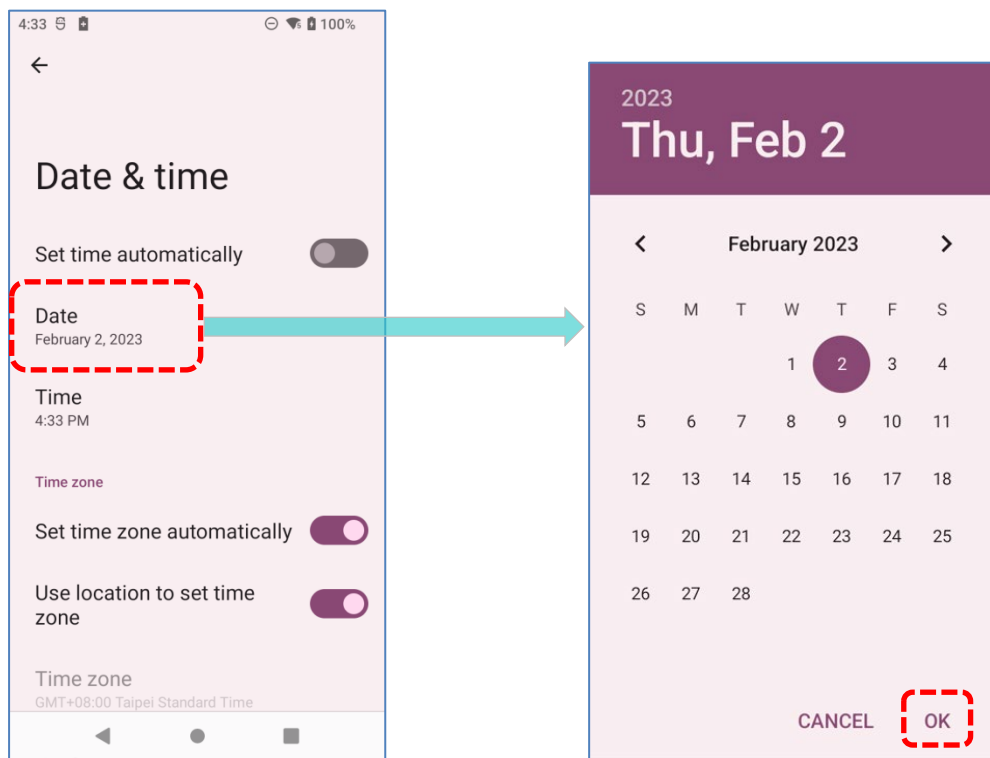
- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [System \(システム\)](#)  | [Date & time \(日付と時刻\)](#)  に移動してください。



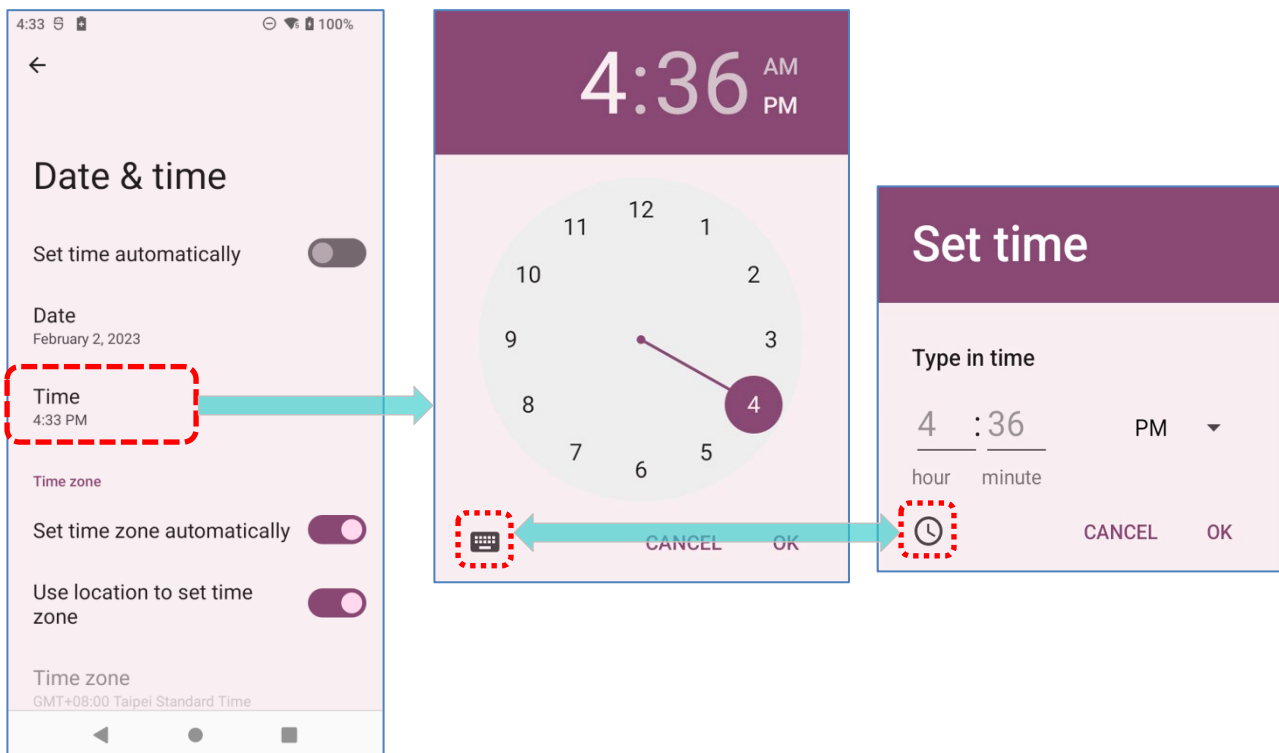
- 2) ネットワーク提供の時刻を使用しないように **Set time automatically (ネットワークの時刻を使用する)** をタップしてオフにします。



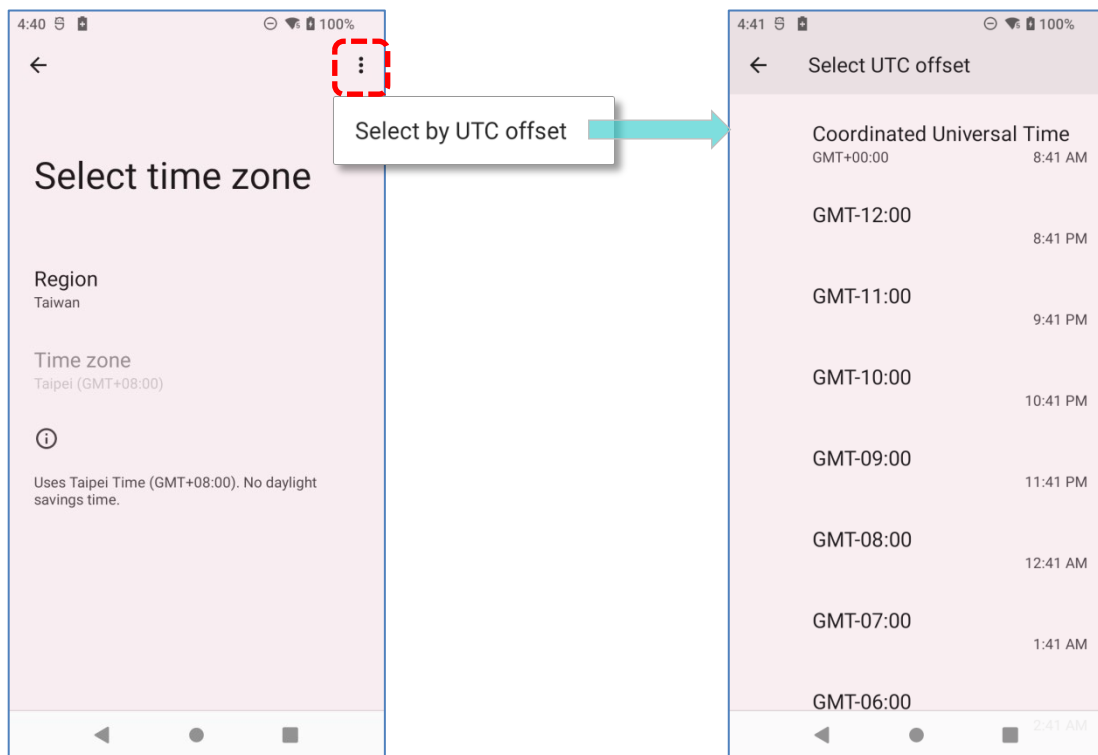
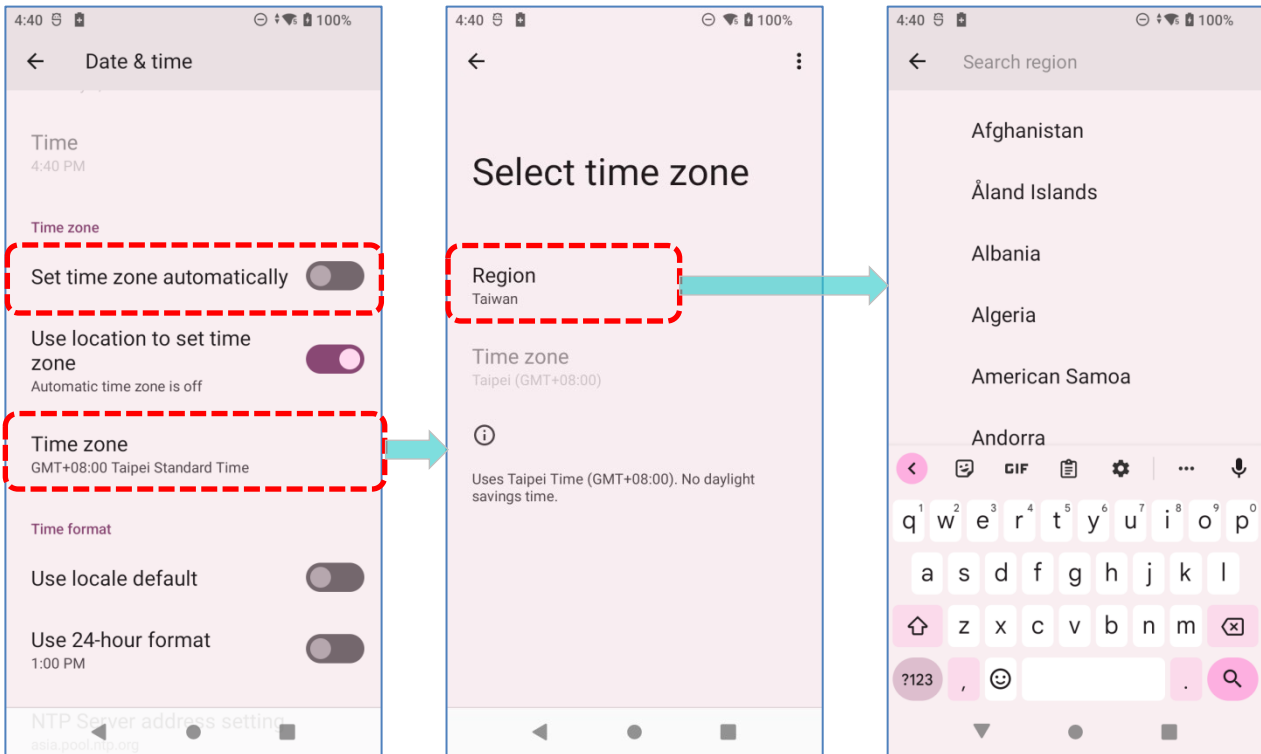
- 3) 「**Date (日付)**」をタップして、正しい月、日付、年を選択します。「**OK**」をタップして保存します。



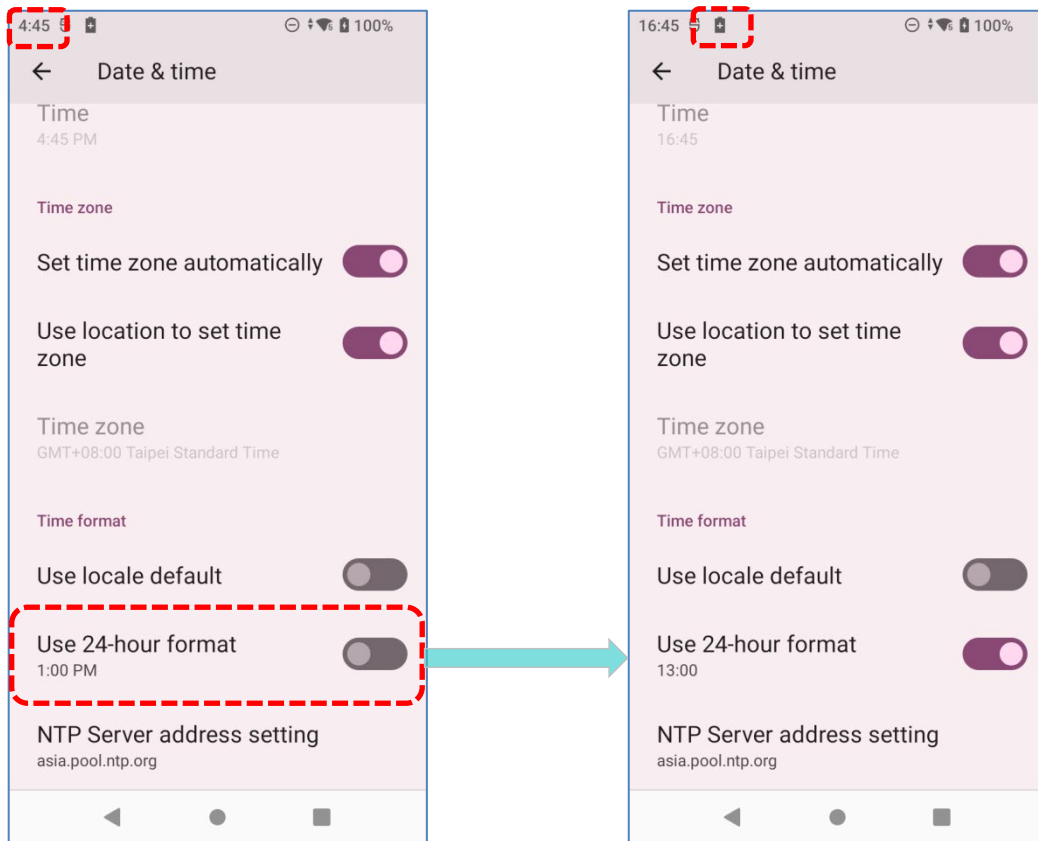
- 4) 「**Time (時刻)**」をタップして正しい時間を設定します。「**OK**」をタップして保存します。



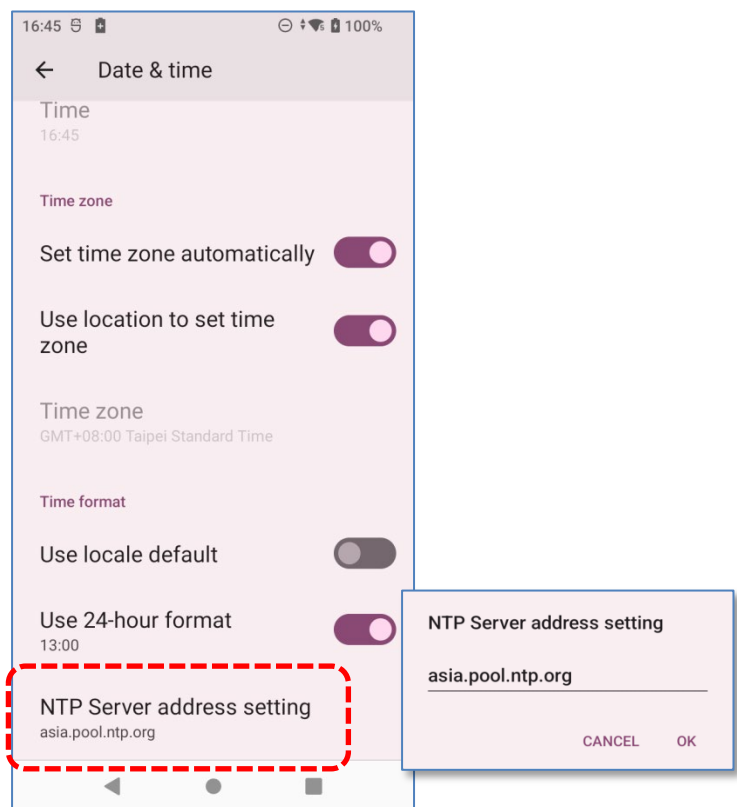
- 5) 「Set time zone automatically (ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する)」を無効し、「Time zone (タイムゾーン)」をタップしてリストから正しいタイムゾーンを選択します。






- 6) 「Use locale default (言語/地域のデフォルトを使用する)」を無効にし、「Use 24-hour format (24 時間表示)」をタップして表示時間を切り替えることができます。

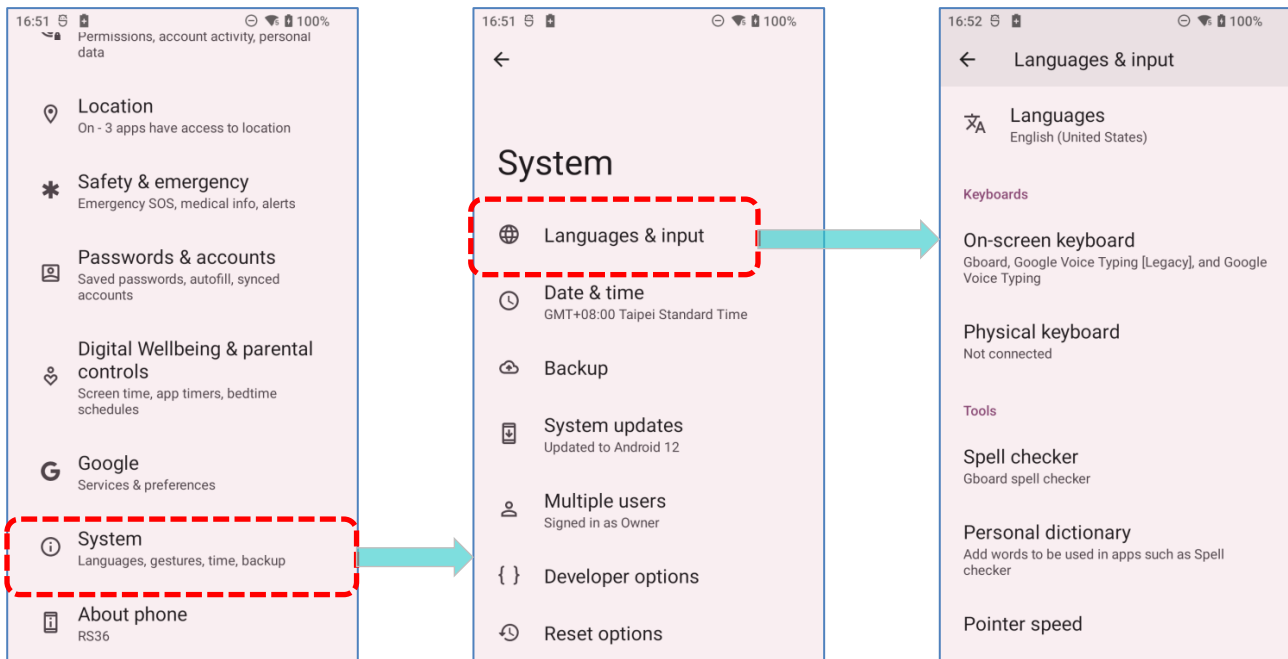


- 7) 「NTP Server」をタップしてNTPサーバーのアドレスを入力し、「OK」をタップして保存します。



2.6. 言語とキーボード入力

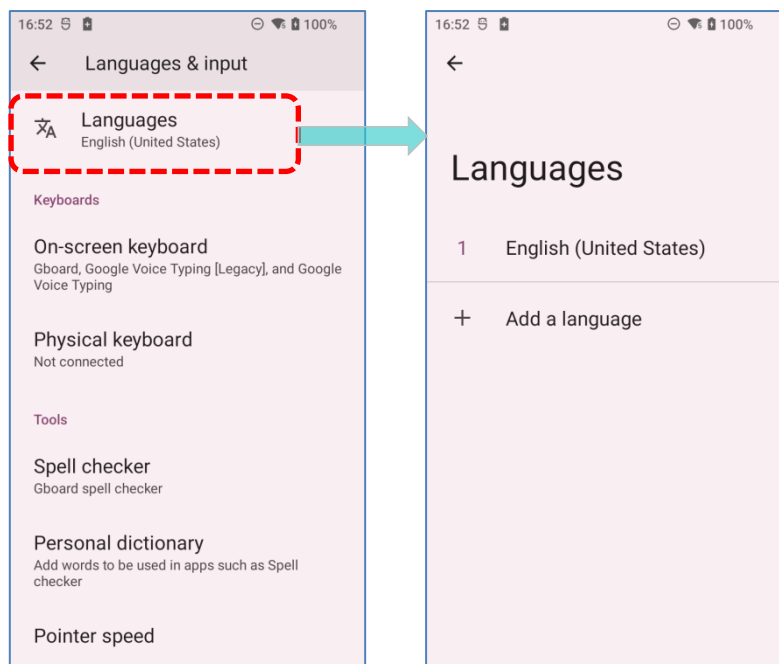
[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [System \(システム\)](#)  | [Languages & input \(言語と入力\)](#)  をタップして、システムの言語、デフォルトのキーボードタイプ、およびキーボード入力と音声設定を変更します。



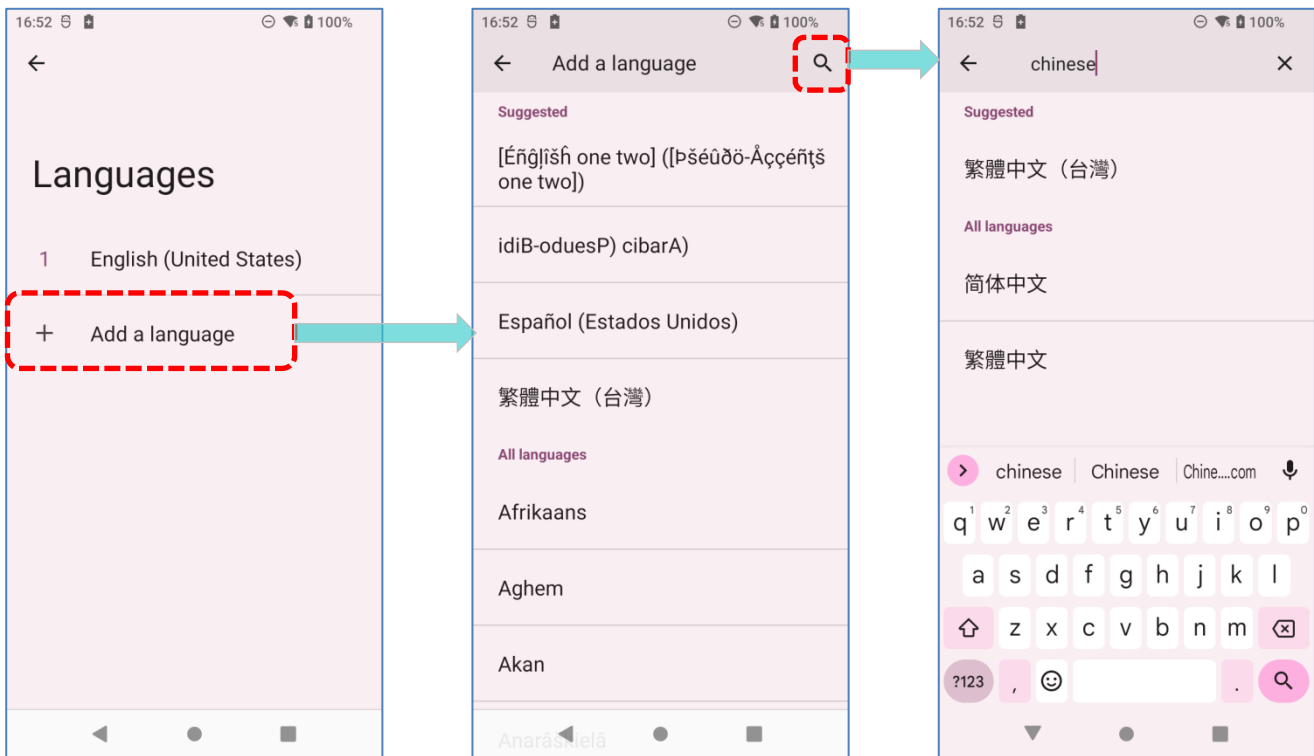
2.6.1. 表示言語の変更

表示言語を変更するには：

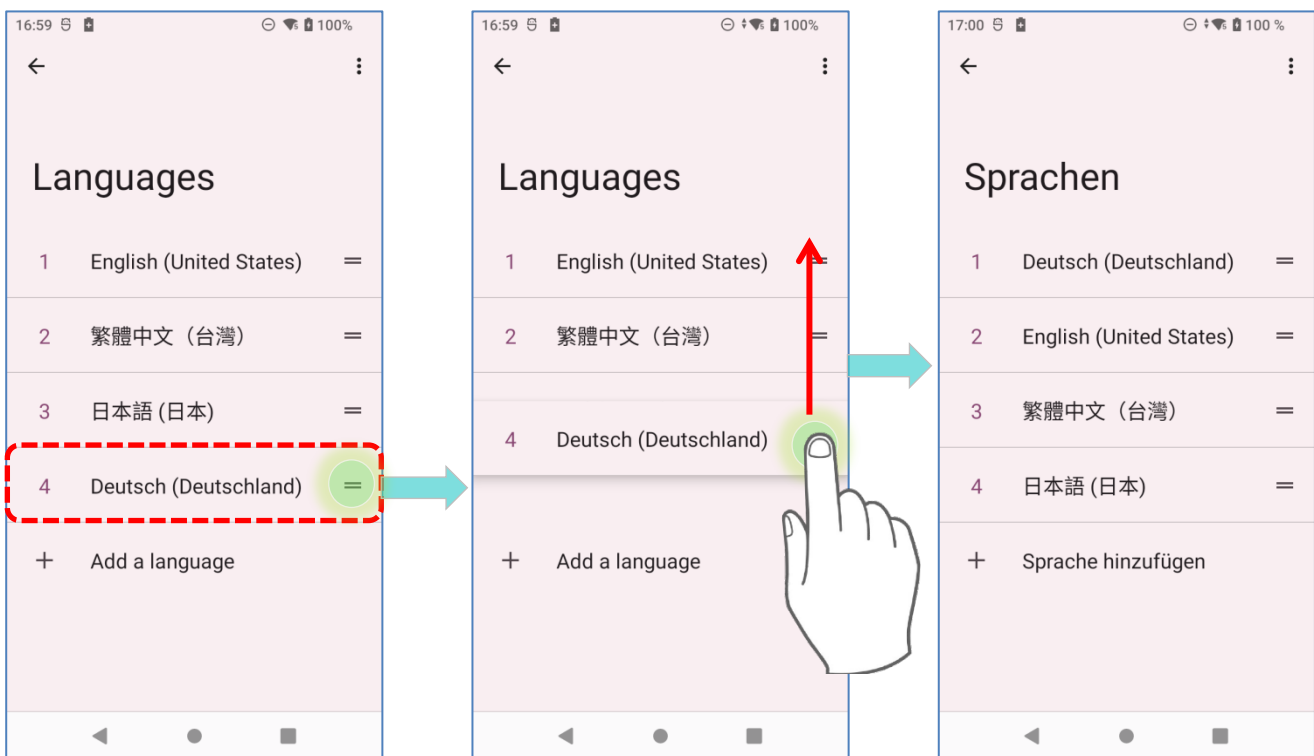
- 1) **Languages & input (言語と入力)** 画面で **Languages (言語)** をタップして言語設定ページに入る。



2) 「Add a language (言語を追加)」をクリックしてシステム言語を選択します。




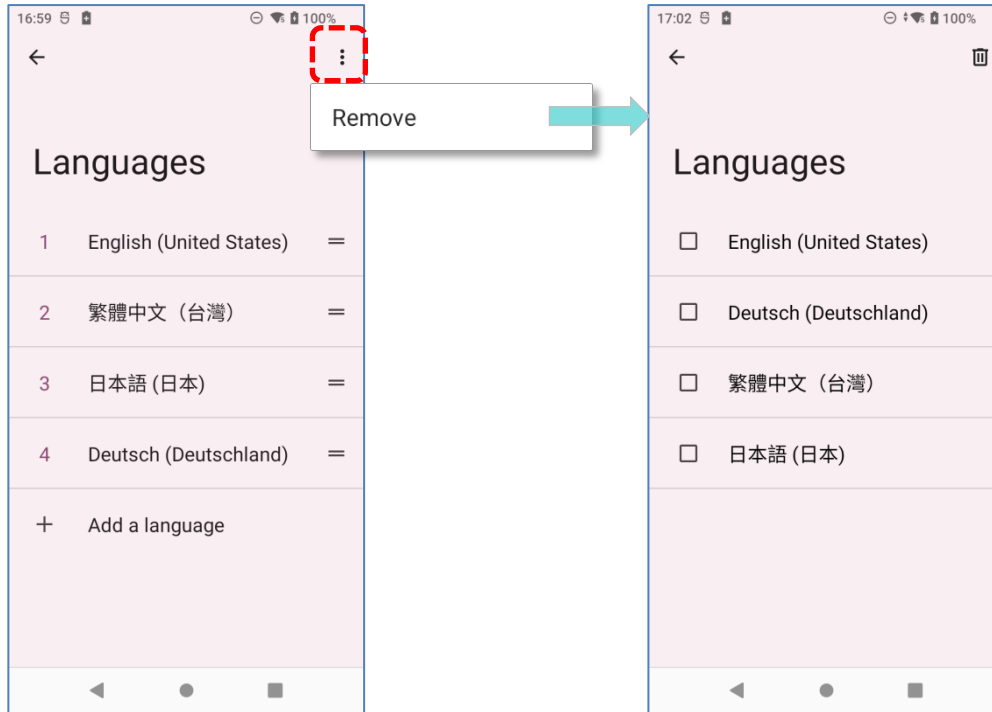
3) 望んだシステム言語を長押しして、ドラッグして並べ替え順を1番目に変更します。解放すると、新しい言語設定がすぐに適用されます。



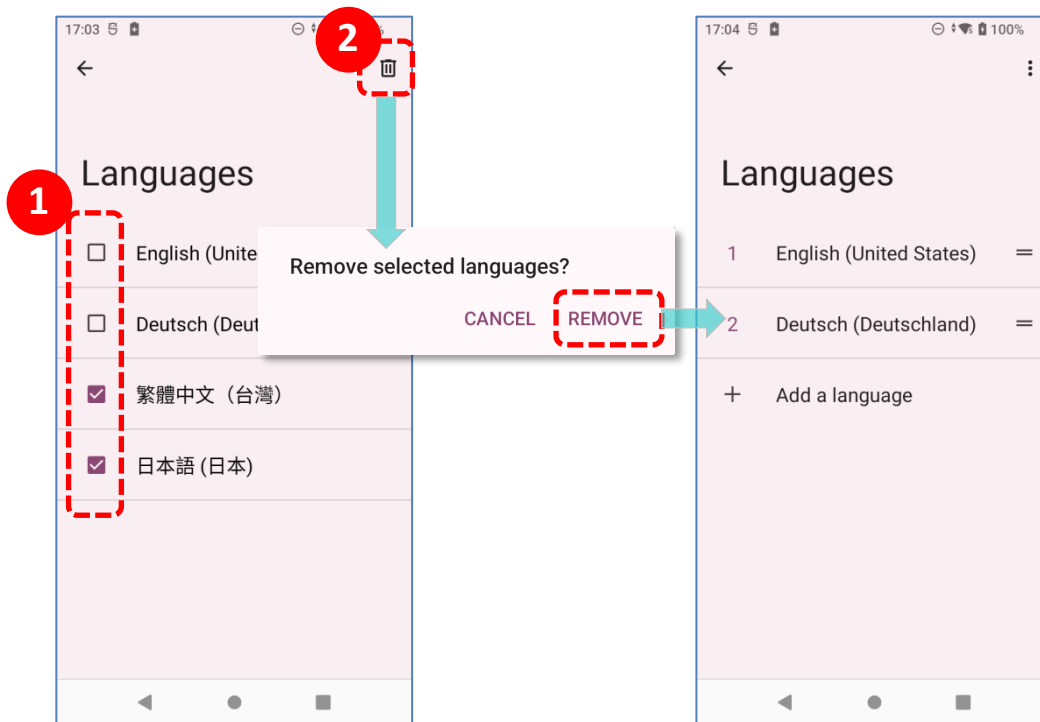
言語の削除

言語を削除するには、次の手順に従ってください。

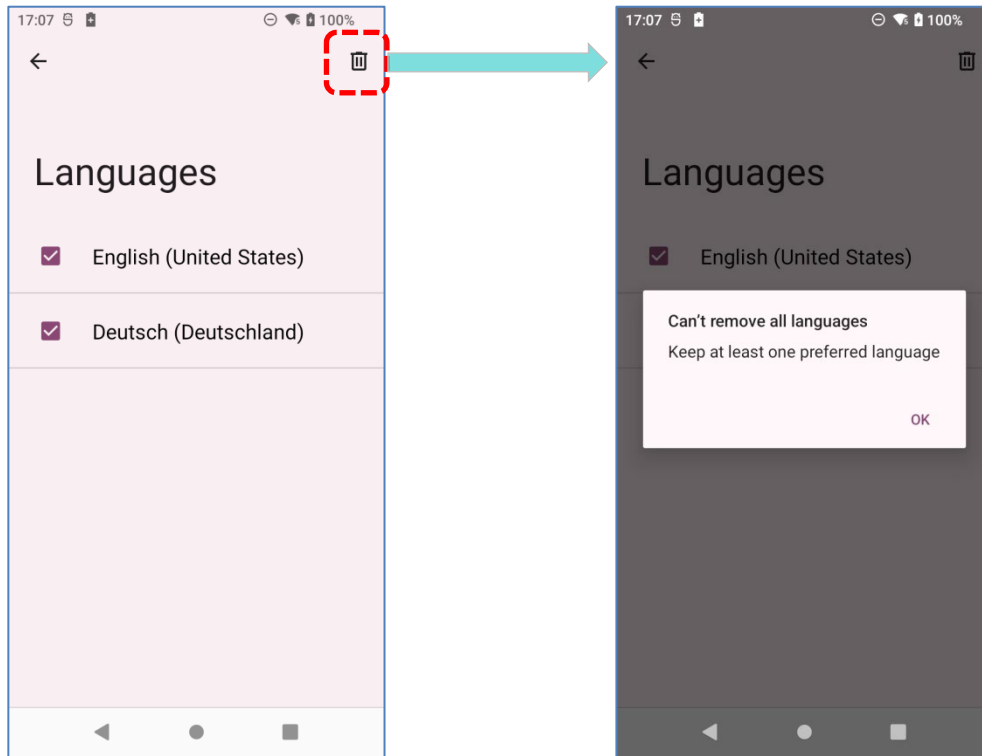
- 1) 詳細ボタン  をタップし、「削除」を選択します。



- 2) 削除する言語を選択します。削除すると表示言語が変更されますのでご注意ください。

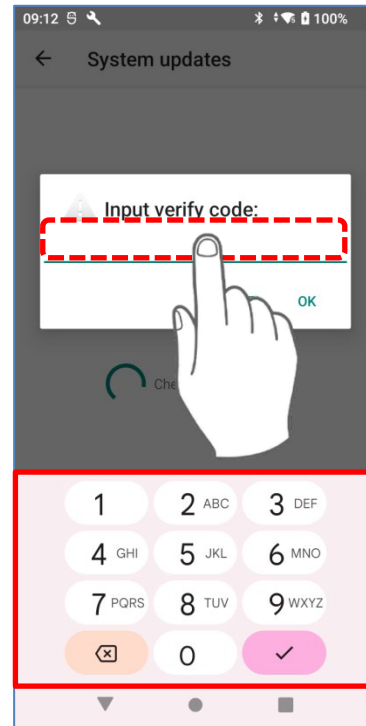
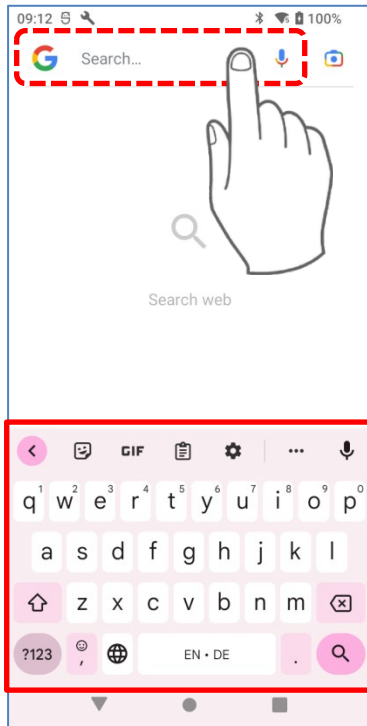


3) 少なくとも1つの言語を残す必要があります。



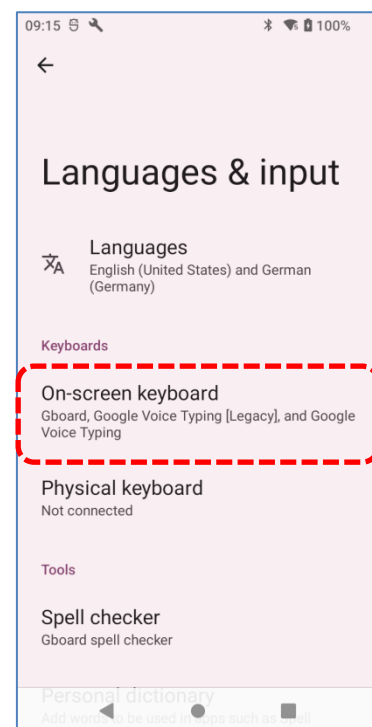
2.6.2. 仮想キーボード

テキスト入力フィールドをタップすると、自動的に仮想キーボードが開かれます。仮想キーボードは、このフィールドに必要なデータ型（テキストまたは数字）によって異なります。

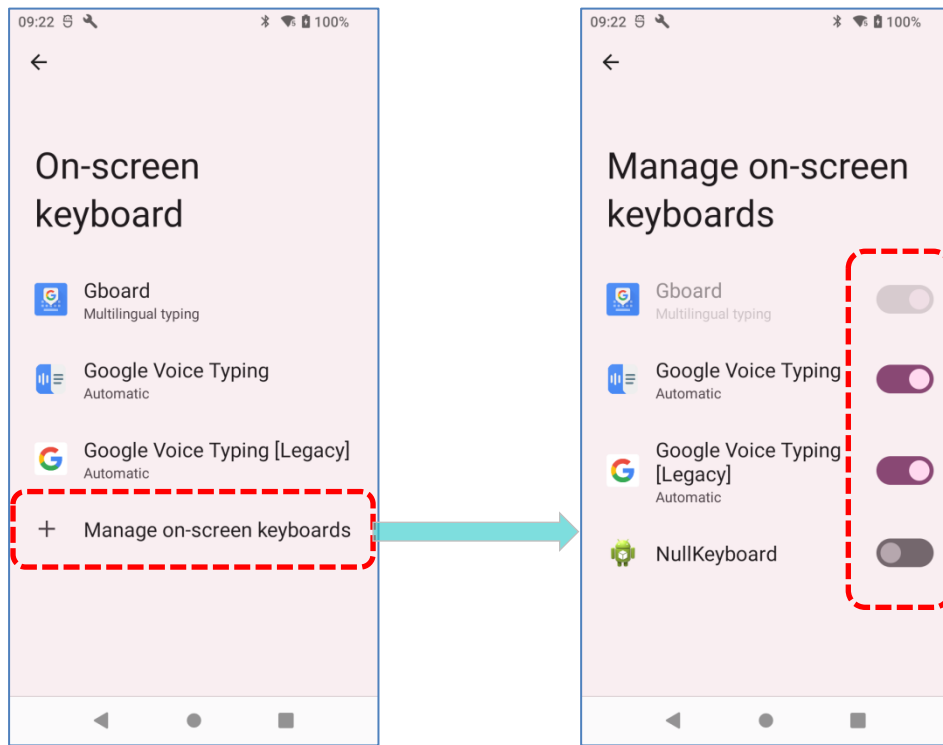


キーボードを選択（入力方法）

- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#) | [System \(システム\)](#) | [Languages & input \(言語と入力\)](#) | [On-screen Keyboard \(仮想キーボード\)](#) をタップします。

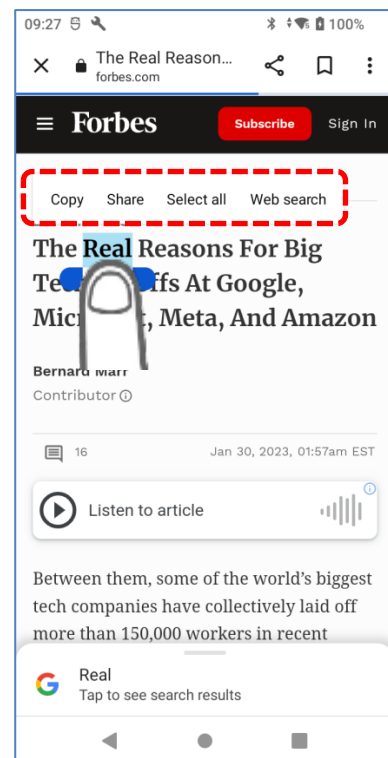


- 2) **On-screen Keyboard (仮想キーボード)** 画面で、「**Manage on-screen keyboard (キーボードを管理)**」をタップしてインストールされているキーボードを管理し、必要な入力方法のオン/オフを切り替えます。



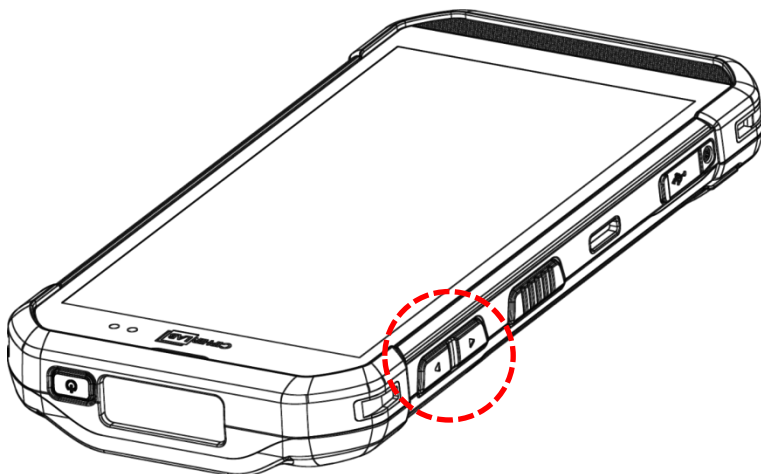
テキストの編集

画面上のテキストをタップして長押しすると、テキスト編集メニューが表示され、すべてのテキストを選択したり、アプリケーション間でテキストをコピーしたり貼り付けたりできます。アプリケーションによっては、テキストの選択や編集に異なる方法を使用する場合があります。



2.7. サウンドと音量

システムと着信音の音量を調整するには、モバイルコンピュータの左側にある音量ボタンを使用してください。



2.8. データ収集

2.8.1. バーコードリーダー

さまざまな要件に対応する柔軟性を提供するために、複数のスキャンエンジンが用意されています。組み込まれているスキャンエンジンに応じて、モバイルコンピュータは、ReaderConfig アプリケーションの実行中にデフォルトで有効になっているシンボルのバーコードをスキャンすることができます。有効になっていない特定のバーコードシンボルをスキャンすることはできません。ReaderConfig アプリケーションを実行して、バーコードのシンボロジーを有効化または無効化できます。

2.8.2. デジタルカメラ

モバイルコンピュータには、組み込まれているオートフォーカス機能を備えた 1300 万画素の背面カメラが LED フラッシュとともに装備されており、画像データの収集に特化しています。画像キャプチャユーティリティを使用してカメラを起動し、画像をキャプチャできます。このカメラアプリケーションで撮影された画像は、デフォルトでデバイスの主要なストレージの **DCIM** フォルダに JPG ファイルとして保存されます。

第3章

基本操作

この章では、RS36 モバイルコンピュータの基本的な操作方法（ホーム画面の操作方法、システムの状態確認方法、通知の管理方法など）について説明します。データの収集、処理、および送信に関するアプリケーションのアドオンユーティリティについては、次の章で説明します。

この章では


3.1. ホーム画面.....	106
3.2. ナビゲーション方法.....	110
3.3. ステータスバー.....	114
3.4. 中断とロック.....	124
3.5. OS のアップデート.....	128
3.6. データのバックアップ.....	131
3.7. 工場出荷時のデフォルトにリセット.....	133

3.1. ホーム画面

モバイルコンピュータが完全に充電されたら、電源キーを3秒間押してモバイルコンピュータの電源を入れます。ロックされた画面が表示されます。

ロック画面

ホーム画面に入るには、ロック画面のロックを解除する必要があります。

ロックを解除するには、画面下部から上に向かって「ロック解除」 の方向にスワイプアップするだけです。設定した[画面ロック](#)によっては、さらにパターンを描いたり、PIN やパスワードを入力したりする必要があります。

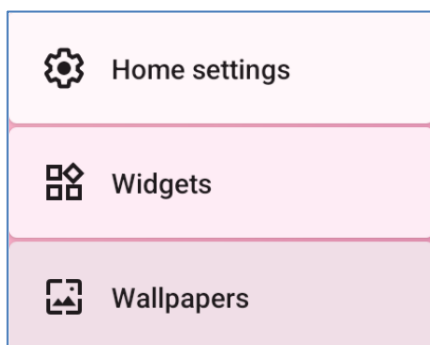
アプリドロワー

「[App Drawer \(アプリドロワー\)](#)」は、デバイスにインストールされているすべてのアプリケーションが一覧表示される場所です。

アプリドロワーを開くには、画面の下から上にスワイプしてください。

ホーム画面の壁紙の変更

- 1) ホーム画面の空いている部分をタップして長押しします。
- 2) 表示されるメニューから「**Wallpapers (壁紙)**」をタップし、使いたいアプリを選択します。



- 3) 壁紙として適用する画像を選択します。
- 4) **SET WALLPAPER (壁紙を設定)** をタップします。

3.1.1. ホーム画面のアプリケーション&ウィジェット

ホーム画面にアプリケーションショートカットを追加

ホーム画面にアプリケーションを追加するには、次の手順に従ってください。

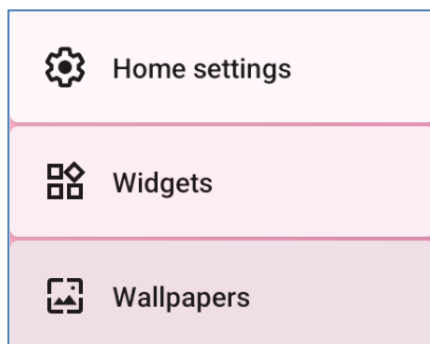
- 1) カスタマイズしたいホーム画面で [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) を開きます。
- 2) 追加するアプリケーションを見つけ、アプリケーションアイコンをタップして長押しします。
- 3) アプリケーションのアイコンを上ドラッグすると、ホーム画面が表示されます。アプリアイコンをドラッグし続け、好きな位置に移動させてから離すと配置されます。

Chrome や Gmail などの一部のアプリケーションを長押しすると、**アプリのショートカット**が表示される場合があります。このようなアプリケーションを App Drawer から**ホーム**画面に追加するには、次の手順を実行してください。

- 1) アプリアイコンをタップしたまま上にドラッグします。
- 2) **ホーム**画面が表示されます。アプリケーションアイコンを任意の位置に移動させてから離すと配置されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

- 1) ホーム画面の空いている部分をタップして長押しし、表示されるメニューから「**Widgets (ウィジェット)**」を選択します。



- 2) ウィジェット選択リストをスクロールして目的のウィジェットを見つけます。
- 3) ホーム画面のレイアウトが表示されるまで、ウィジェットをタップして長押しします。ウィジェットを任意の位置に移動させてから離すと配置されます。
- 4) ショートカットを設定する場合は、ショートカットリストから特定の設定を選択する必要があります。

アプリのショートカットからホーム画面にアクションアイコンを追加する

アプリのショートカットからホーム画面にアクションアイコンを作成するには、次の手順に従ってください。

- 1) アプリアイコン（ホーム画面または[アプリドロワー](#)に関係なく）を長押しすると、**アプリのショートカット**が開かれます。
- 2) **アプリショートカット**から**アクション**をタップしたまま、ホーム画面上の任意の位置にドラッグします。
- 3) **アクション**アイコンを離すと配置されます。

ホーム画面にアプリケーションとウィジェットを配置する

ショートカットやウィジェットを移動または削除するには、カスタマイズしたいホーム画面で、対象のアイコンをタップして長押しし、ホーム画面上の任意の位置にドラッグしてレイアウト編集モードに入ります。画面上部に「**X Remove (X 削除)**」というオプションが表示され、不要なショートカット/ウィジェットをドラッグして削除できます。アイコンを目的の位置までドラッグして放して配置するか、「**X Remove (X 削除)**」までドラッグして削除できます。

ウィジェットのサイズを変更するには、白い枠が表示されるまでタップして長押しします。白い点をタップしてドラッグすると、ウィジェットのサイズを変更できます。

アプリのショートカットをホーム画面に配置する方法

アプリのショートカットを対応しているアプリを移動または削除するには、アプリアイコンを画面上の任意の場所に長押ししてドラッグする、レイアウト編集モードが表示させてください。アプリアイコンを画面上部の「**X Remove (X 削除)**」にドラッグすると削除され、任意の位置にドラッグして離すと配置されます。

3.1.2. ホーム画面上のフォルダ

フォルダの作成

- 1) カスタマイズしたいホーム画面で、移動したいアプリケーションのショートカットをタップしたまま、別のアイコンの上にあるアイコンをドラッグしてフォルダを作成できます。
- 2) これらのアイコンが重なると、フォルダが作成されます。
- 3) 指を離した後、これらのアイコンは四角で囲まれます。

フォルダに名前を付ける

- 1) 名前を付けたいフォルダをタップしてください。
- 2) フォルダは小さな四角形から完全な長方形に展開され、すべてのショートカットが表示されます。「**Edit Name (名前を編集)**」をタップして、フォルダ名を編集します。
- 3) 仮想キーボードの「**完了**」ボタンをタップします。
- 4) 画面の別の場所をタップすると、フォルダが新しい名前とともに小さな四角形に縮小されます。

フォルダの削除

- 1) 削除したいフォルダをタップして長押ししてください。
- 2) フォルダを「**X Remove (X 削除)**」オプションのある画面上部にドラッグしてください。

注意：

フォルダを削除すると、そこに含まれているショートカットも削除されますのでご注意ください。




3.2. ナビゲーション方法

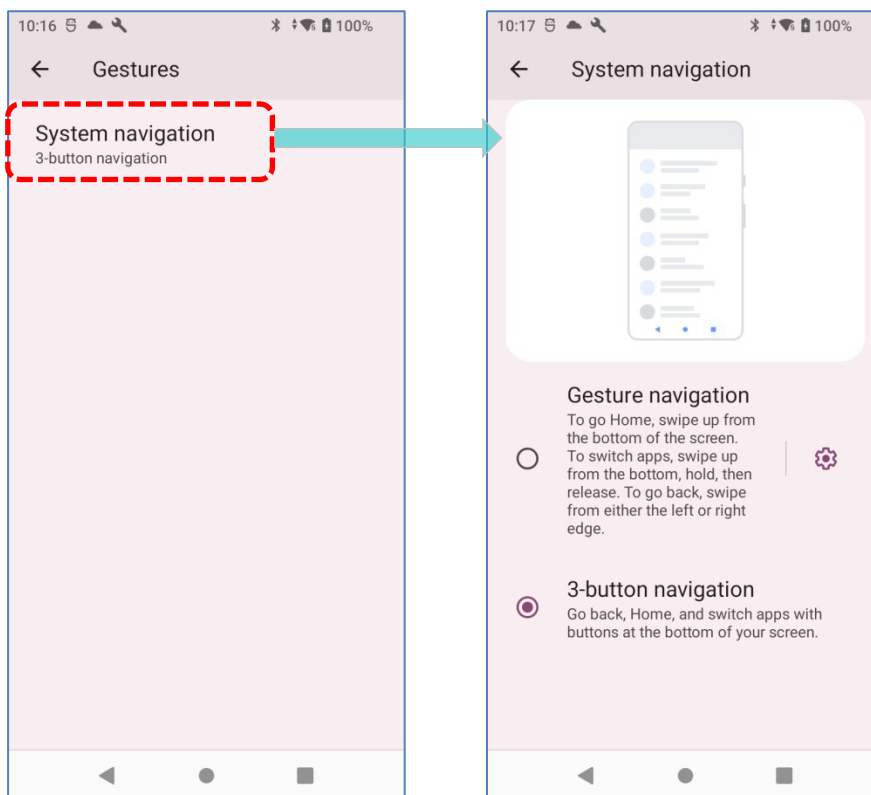
ナビゲーションは、スワイプや他のアクション、ボタンのタップを使ってデバイスを操作する方法を設定するものです。

3.2.1. ナビゲーション方法の変更

デフォルトのナビゲーション方法は、画面下部にメニューバーとして表示される 3 ボタンのナビゲーションです。

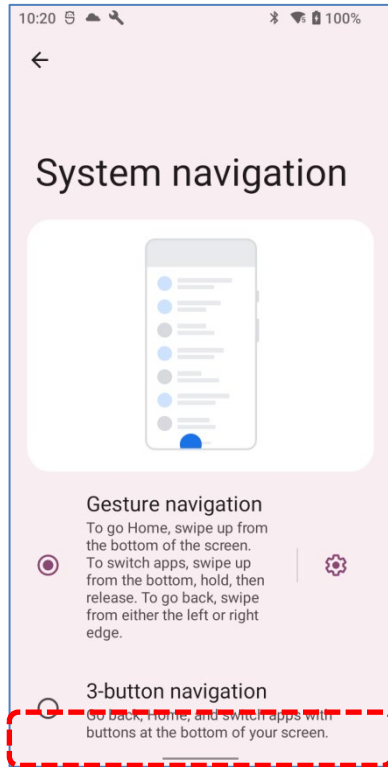
ナビゲーション方法を変更するには、次の手順に従ってください。

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [System \(システム\)](#)  | [Gesture \(操作\)](#)  | [System navigation \(システムナビゲーション\)](#) に移動してください。

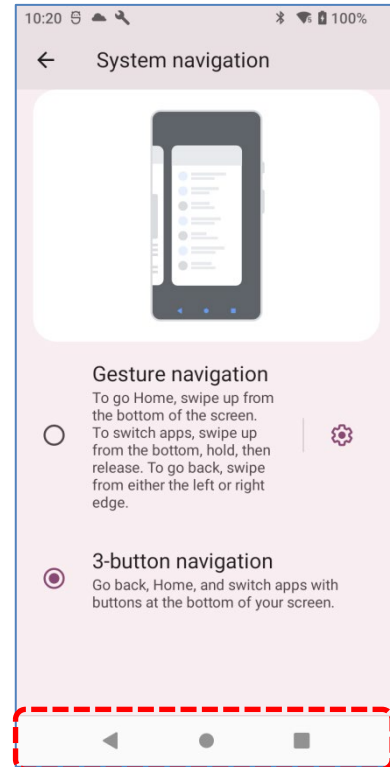


使用可能なオプションは次のとおりです。

GESTURE NAVIGATION ジェスチャーナビゲーション



3-BUTTON NAVIGATION (DEFAULT) 3 ボタンナビゲーション (デフォルト)



ジェスチャーナビゲーション

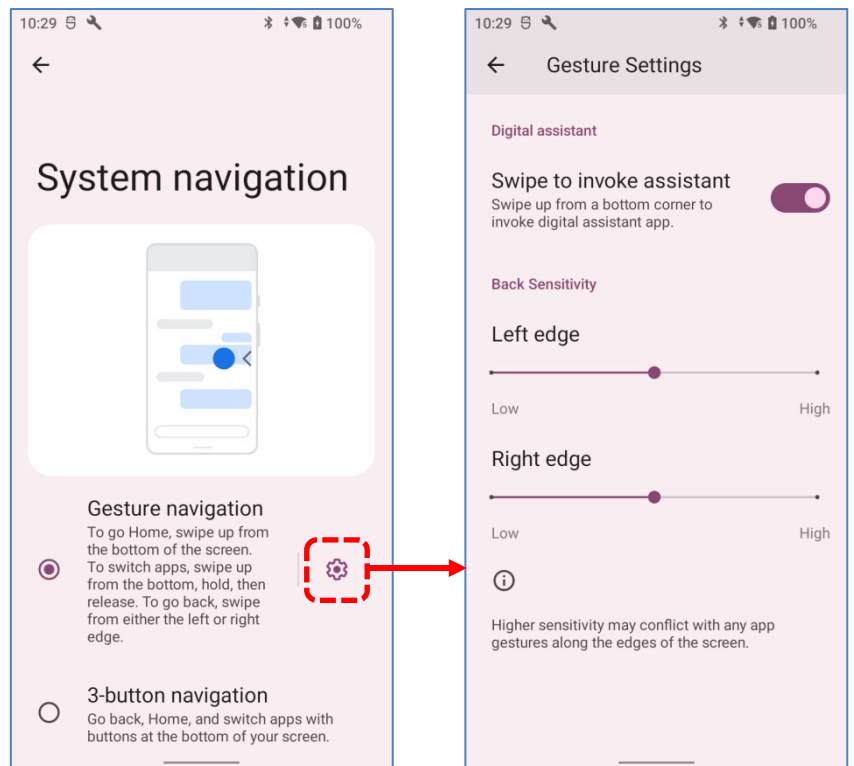
「**GESTURE NAVIGATION (ジェスチャーナビゲーション)**」は、ジェスチャーベースのコントロールによって画面やメニューをナビゲートするためのものです。有効にすると、次のジェスチャーに従ってデバイス画面を制御できます。

アクション	ジェスチャー
ホーム	画面の下から上にすばやくスワイプします。
戻る	画面の左端または右端をスワイプします。
最近使ったアプリ	画面の下から上に向かってスワイプし、指を離す前に数秒間停止します。
Google アシスタント	画面の下の角から中央に向かって上にスワイプし、しばらく一時停止します。
アプリのメニュー	画面を左側または右側から2本の指でスワイプします。

設定ボタン  をタップして

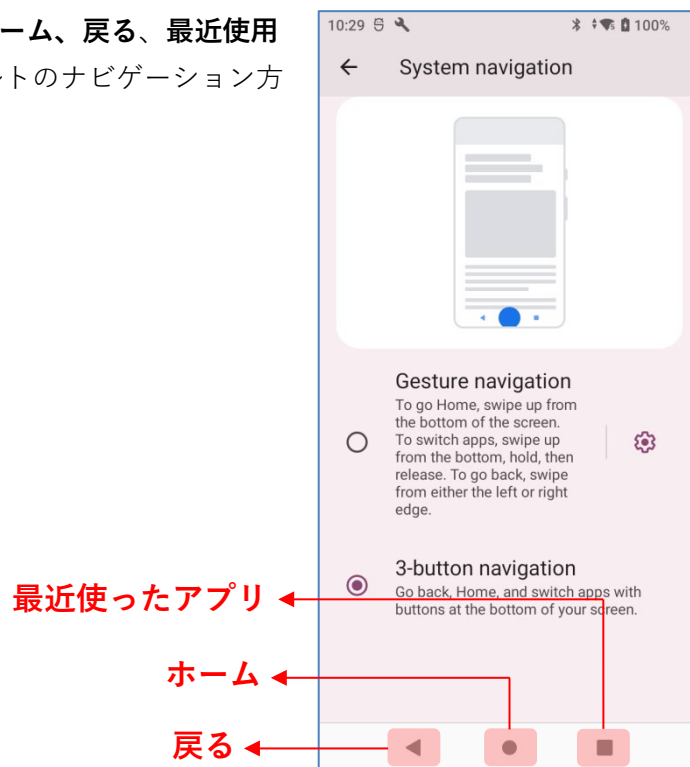
「**Gesture Settings (ジェスチャーの設定)**」ページに入り、「**Gesture Settings (ジェスチャーの設定)**」を調整できます。

これにより、画面の側面の端から内側に向かってスワイプして「**戻る**」ジェスチャーをトリガーする距離を設定できます。感度を高く設定するほど、画面の端から遠くまで移動する必要があります。



3 ボタンのナビゲーション

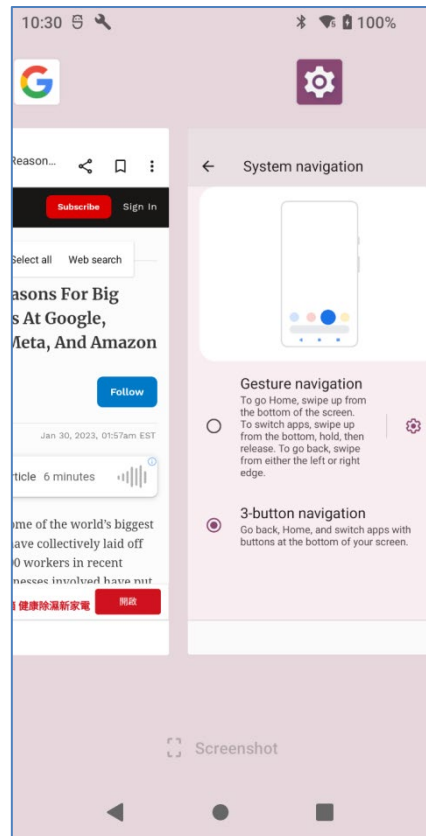
3 ボタンナビゲーションは、**ホーム**、**戻る**、**最近使用したアプリ**を表示するデフォルトのナビゲーション方法です。



3.2.2. 最近使用したアプリケーション

最近使用したアプリケーションメニューを表示するには、次の手順に従ってください。

- 「ジェスチャナビゲーション」の場合：
画面の下から上に向かってスワイプし、指を離す前に数秒間停止します。
- 「3 ボタンナビゲーション」の場合：
「最近使ったアプリ」ボタンを直接タップします。



この画面では以下のことができます。

アプリケーション間の切り替え

左または右にスライドして表示されるアプリケーションを確認し、目的のアプリケーションをタップして開きます。

アプリケーションの終了

アプリケーションを上からスワイプして終了できます。

注意：

RAM を解放するために、使用していないアプリケーションを終了してください。アプリケーションを終了する前に、必ずデータまたは設定を保存してください。

3.3. ステータスバー

ステータスバーの左側には**通知アイコン**が表示され、ステータスバーの右側には**ステータスアイコン**が表示されます。

3.3.1. ステータスバーのアイコン

ステータスアイコン

アイコン	説明
	デバイスが Bluetooth デバイスに接続されました。
	デバイスは現在 Wi-Fi ネットワークに接続され、データ伝送を行っています。
	機内モードが有効になっているため、すべての無線が非アクティブになっています。
	アラームがアクティブになっています。
	アラーム以外の音は鳴りません。(バイブレーションモード)
	メインバッテリーは満充電です。
	メインバッテリーは一部消費しています。
	メインバッテリーの残量が非常に少なく、すぐに充電する必要があります (<15%)。
	外部電源を接続し、主電池を充電しています。

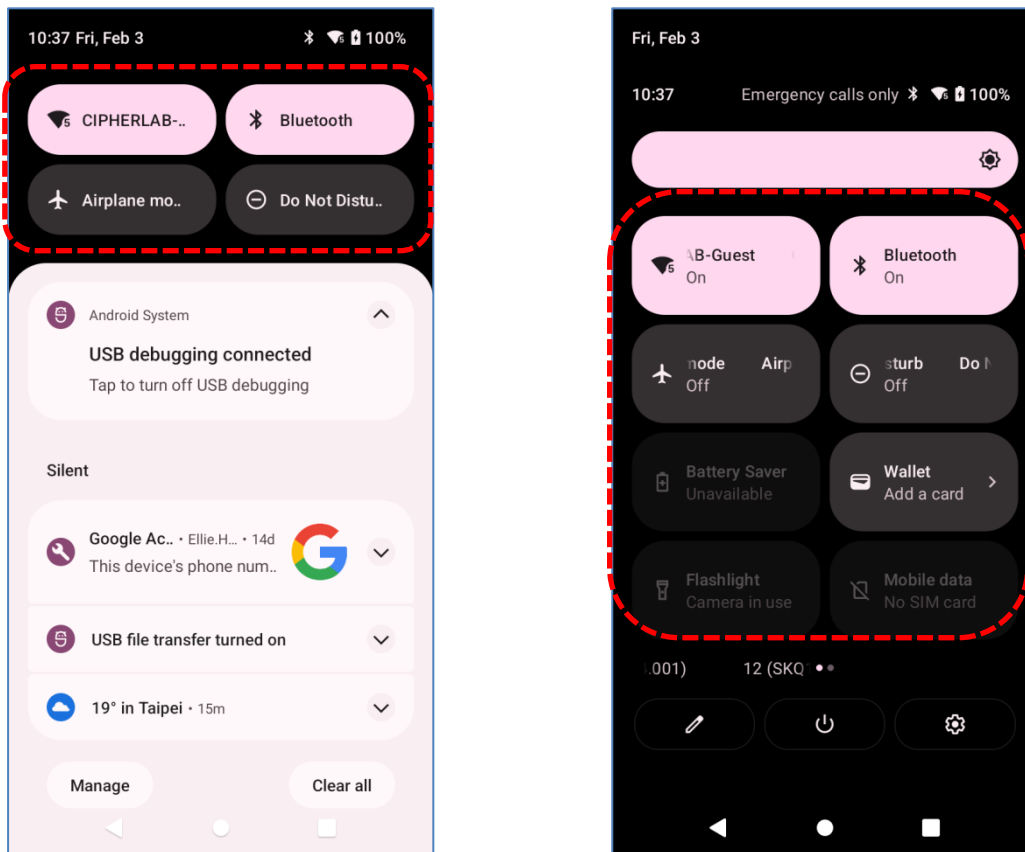
通知アイコン



アイコン	説明
	「USB デバッグ接続」や「USB ファイル転送がオンになった」などの Android システム通知。詳細については、 通知ドロワー を開きます。
	デバイスはデータ同期を実行しています。
	次のイベントがあります。
	デバイスはデータをダウンロードしています。 /ダウンロードが完了しました。
	デバイスはデータをアップロードしています。 /アップロードが完了しました。
	オープン Wi-Fi ネットワークを利用できます。
	メモリーカードが挿入されました。
	ヘッドセットが挿入されました。
	Wi-Fi ホットスポットがアクティブです。
	保存されたネットワークが近くにあり、強い信号がある場合、 Wi-Fi は自動的にオン になります。

3.3.2. クイック設定パネルを開く

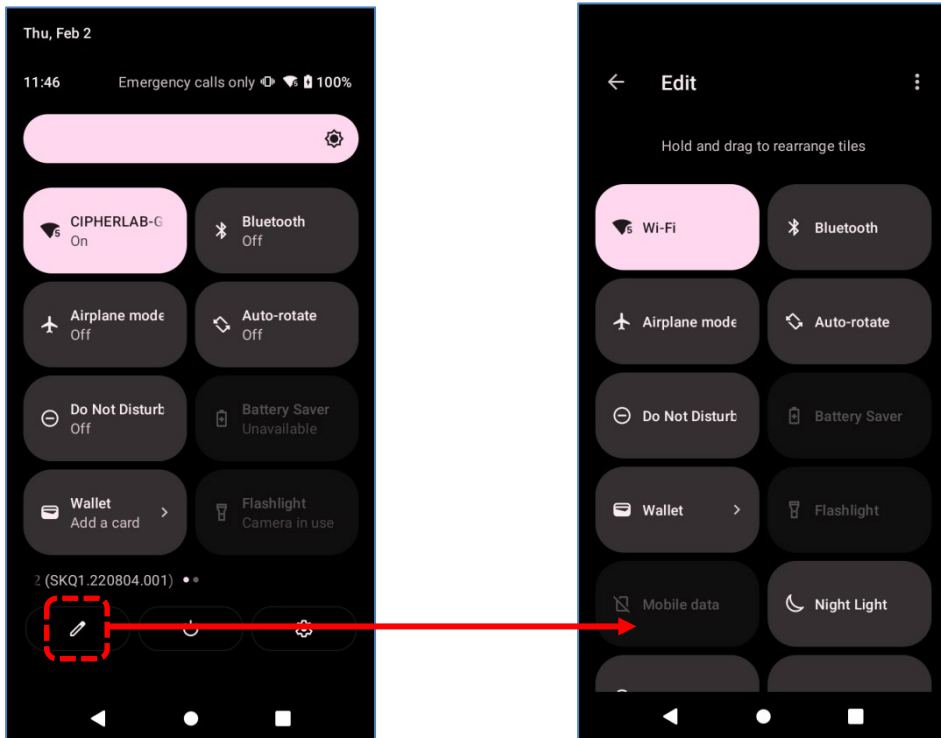
ステータスアイコンは、デバイスの残量、Bluetooth ステータス、または Wi-Fi 接続ステータスに関する重要な設定に関連しています。ステータスバーには、設定を簡単に調整するためのクイックアクセス機能があります。

ステータスバーから短くスワイプすると、**クイック設定パネル**が表示されます。**クイック設定パネル**を画面の上から下に向かってスワイプすれば、すべてのアイコンが表示できます。メニューの各ステータスアイコンをタップすると、モードを切り替えたり、設定を入力したりできます。

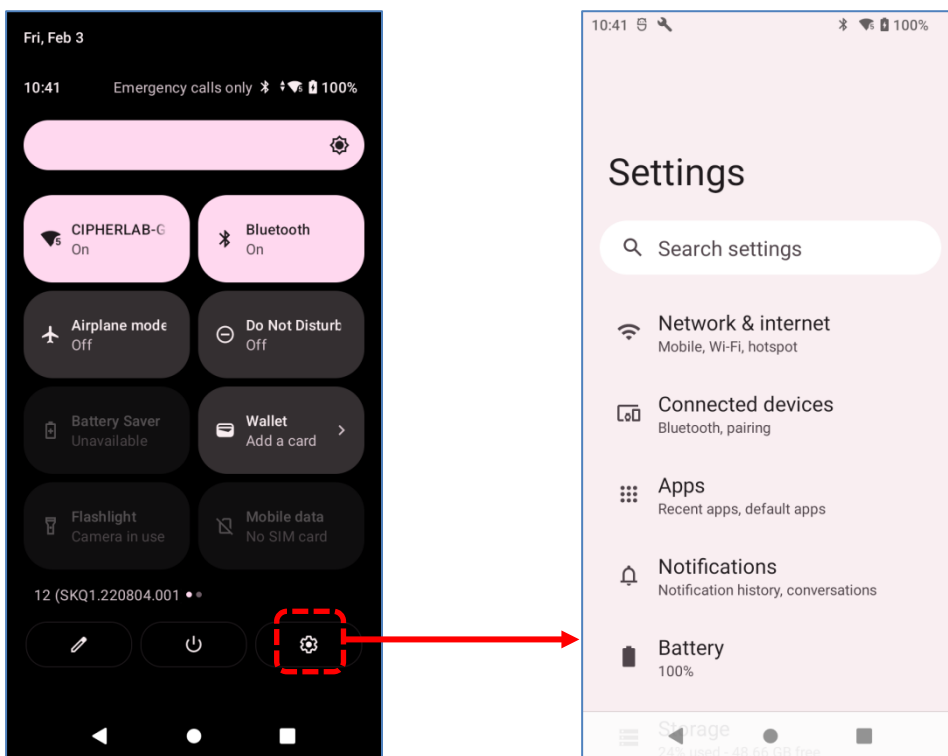


 と  のボタンをタップすると、**クイック設定パネル**の下部にそれぞれ以下のページが表示されます。

 **クイック設定パネル編集ページ** :




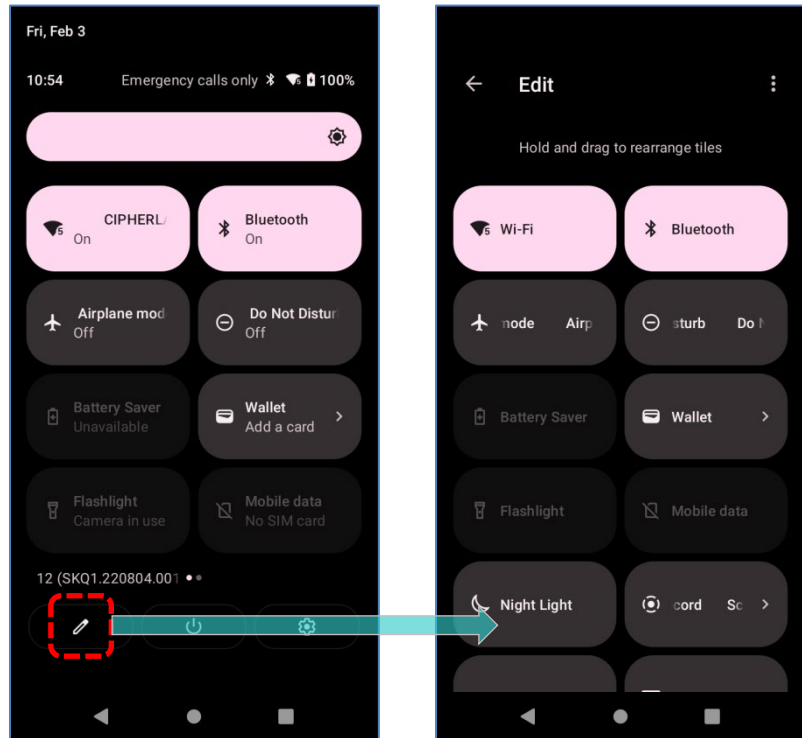
 **「Settings (設定)」ページ** :



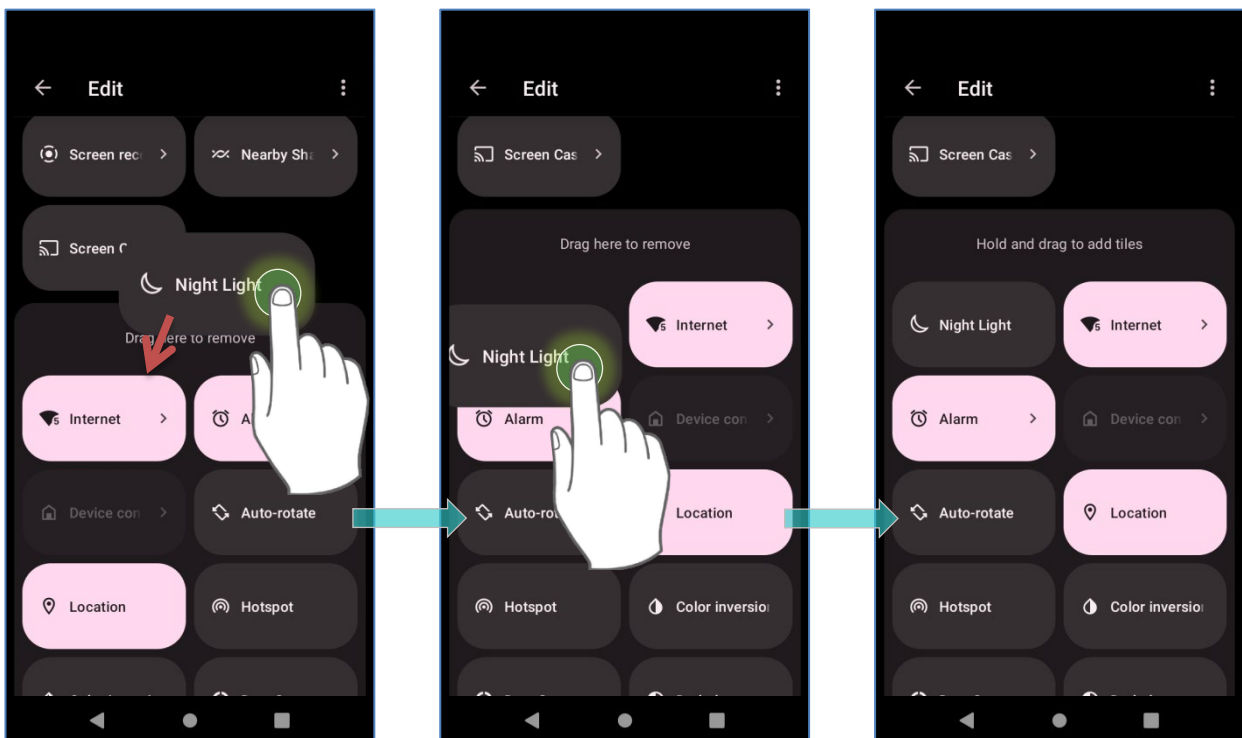
クイック設定パネルの編集

クイック設定パネルをカスタマイズするには、次の手順に従ってください。

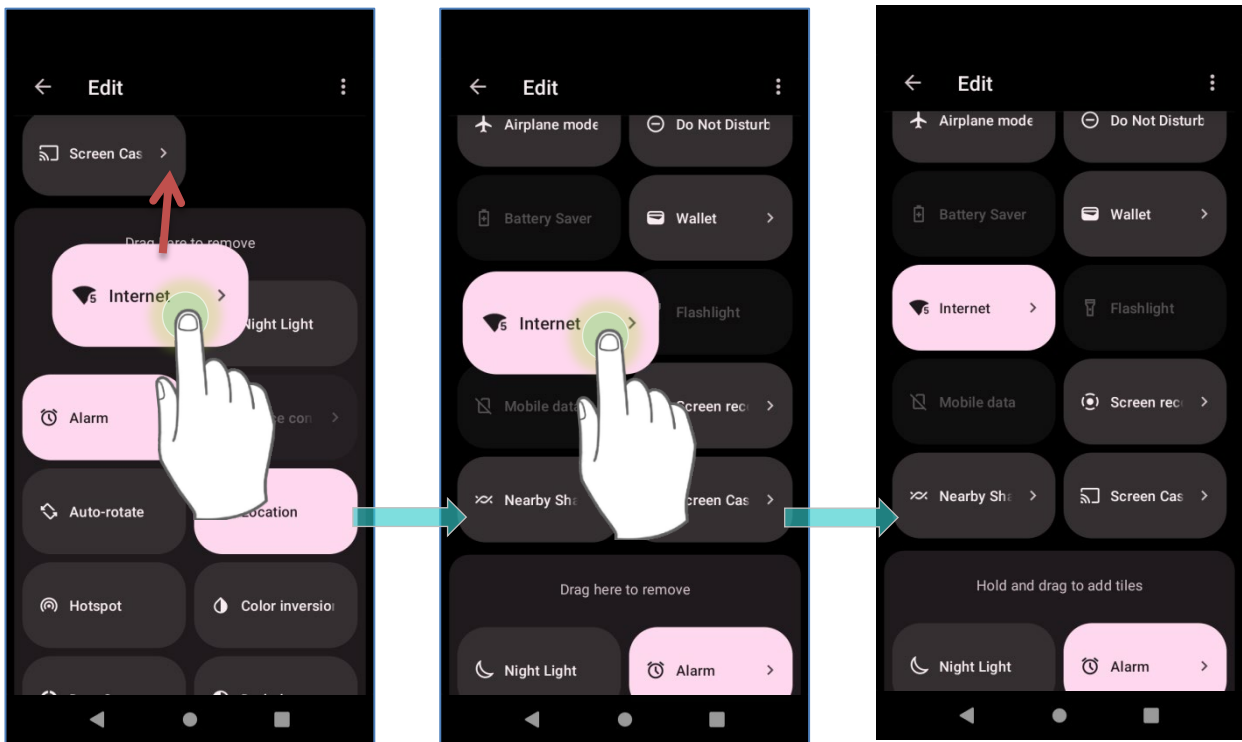
- 1) 「 EDIT (編集)」をクリックすると編集ページに入ります。



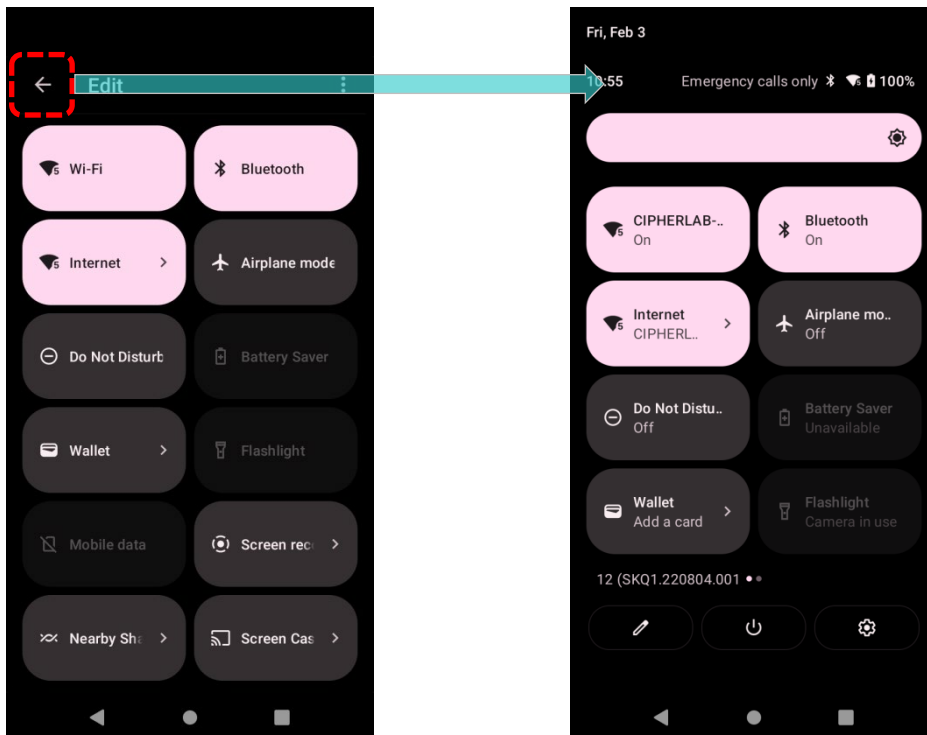
- 2) 削除：特定の項目を削除するには、削除するアイコンをタップしたまま「DRAG HERE TO REMOVE (削除するにはここにドラッグ)」エリアにドラッグしてから離します。



- 3) **追加**：特定の項目を追加するには、追加するアイコンをタップしたまま上部にドラッグしてから放します。



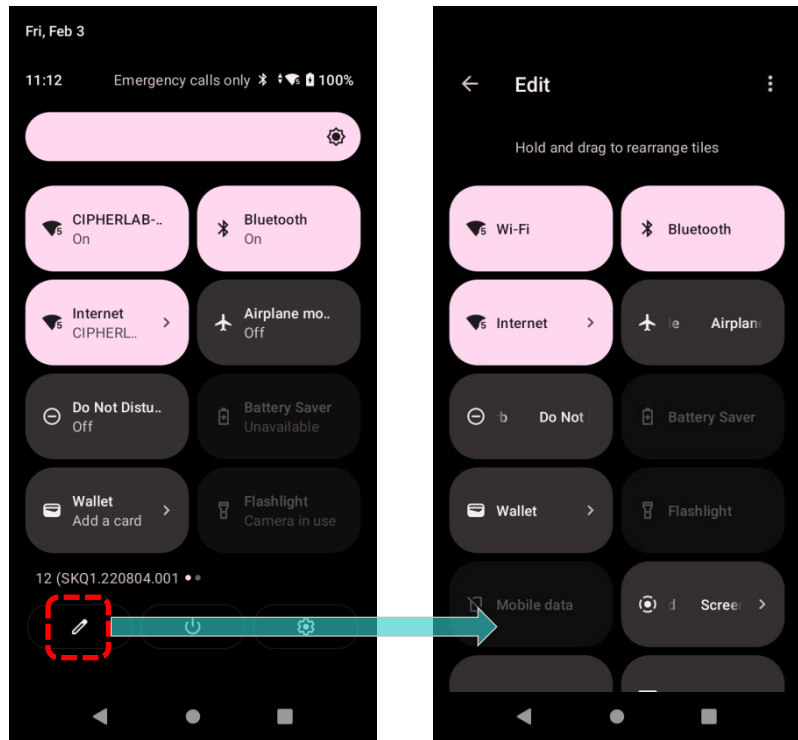
- 4) **クイック設定パネルに戻り、すべての設定が完了します。**




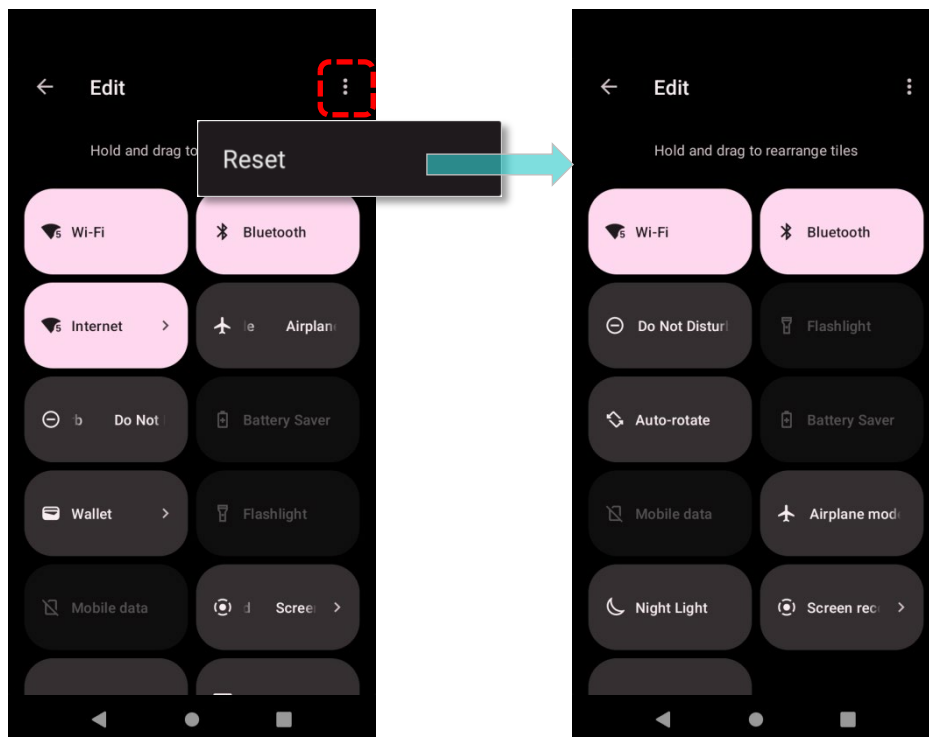
クイック設定パネルのリセット

クイック設定パネルをリセットするには、次の手順に従ってください。

- 1) 「 EDIT (編集)」をタップすると編集ページに入ります。



- 2) 右上の「その他 」アイコンをタップし、「Reset (リセット)」をタップします。

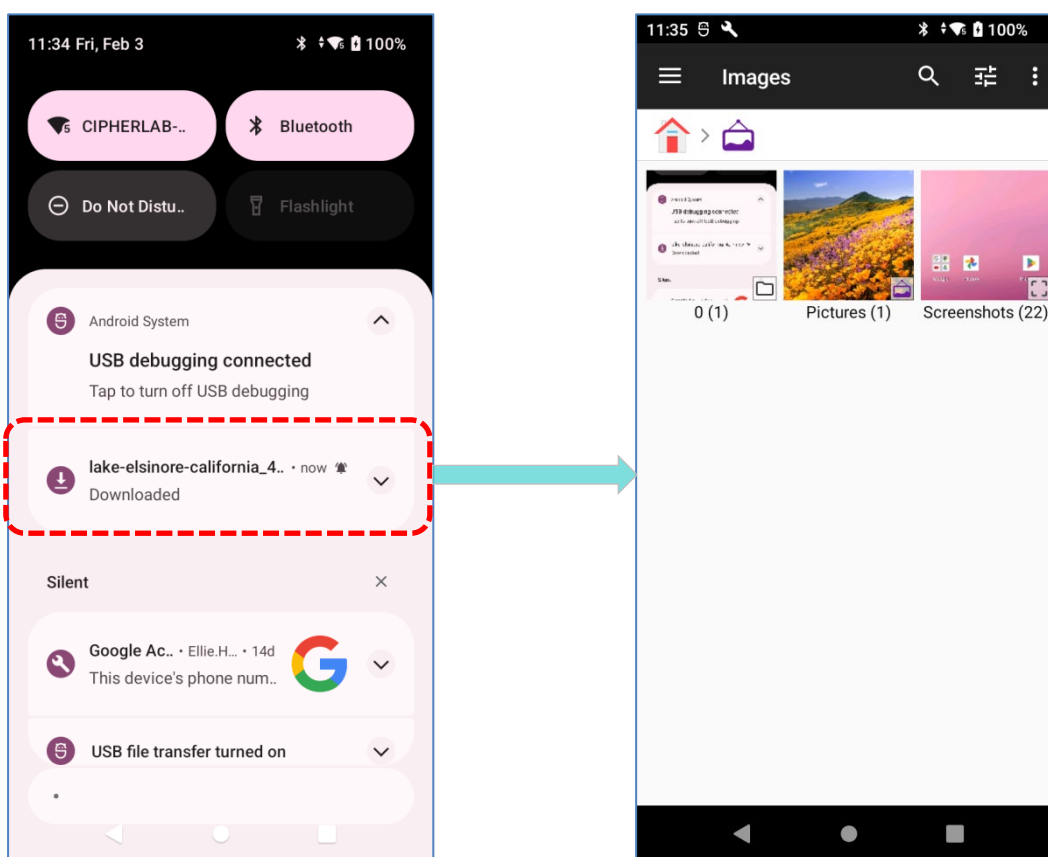


3.3.3. 通知ドロワーを開く

ステータスバーの**通知アイコン**は、着信、メッセージ、USB 接続などの新しいイベントを通知します。

チェックアウト通知

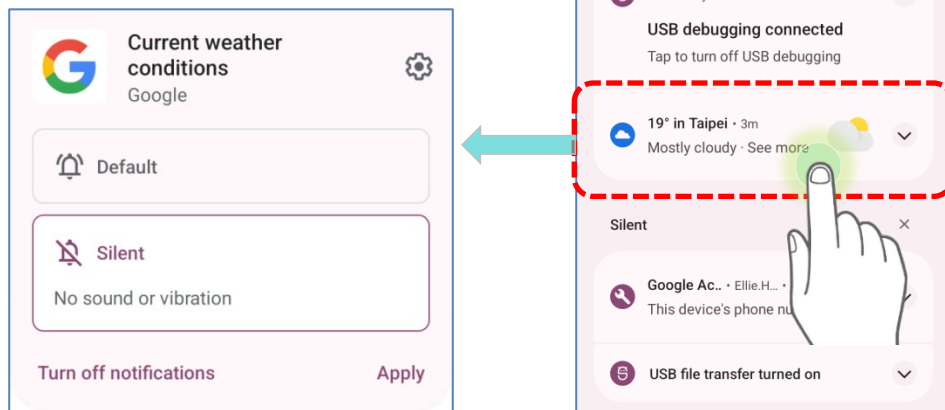
イベントの詳細を確認するには、ステータスバーから下にスワイプして[通知ドロワー](#)を開いてください。





個々の通知カードをタップすると、すぐにアクションを実行したり、対応するアプリケーションを開いたりします。

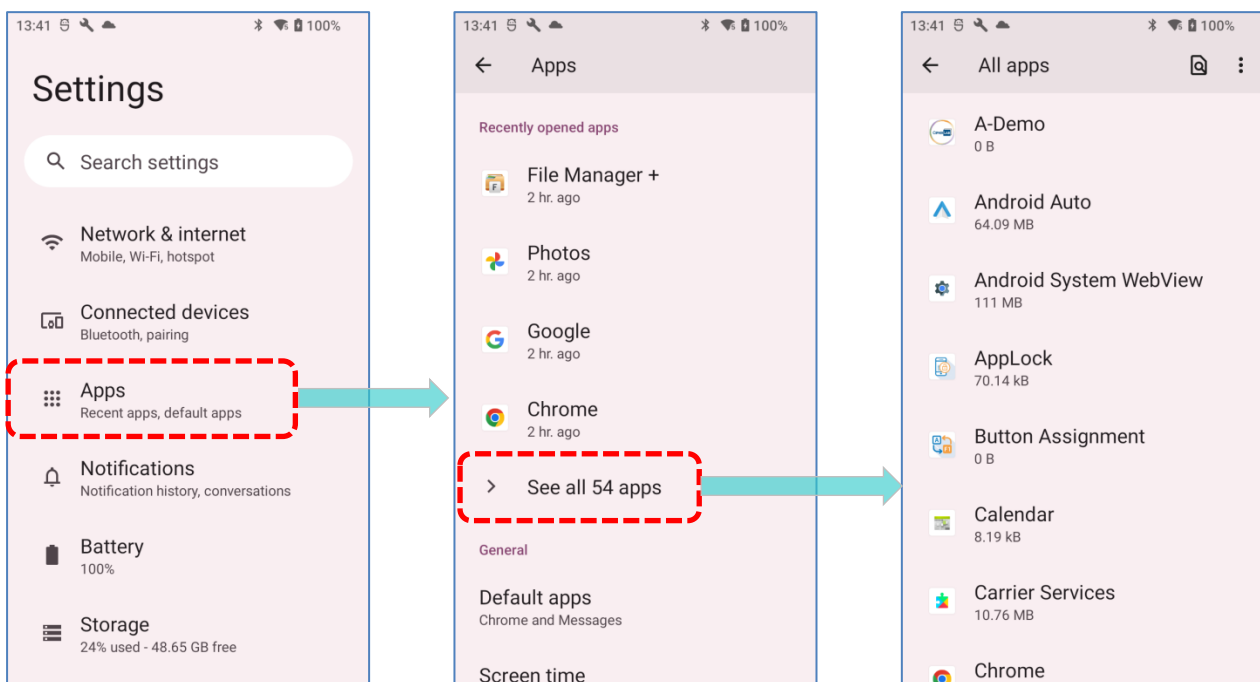
通知を無効にする

特定のアプリの通知を無効にするには、該当するアプリ名が表示されるまで通知カードをタップして長押しします。タップして「**Default (アラームを受け取る)**」、「**Silent (サイレント)**」、または「**Turn off notifications (通知を OFF にする)**」を選択します。

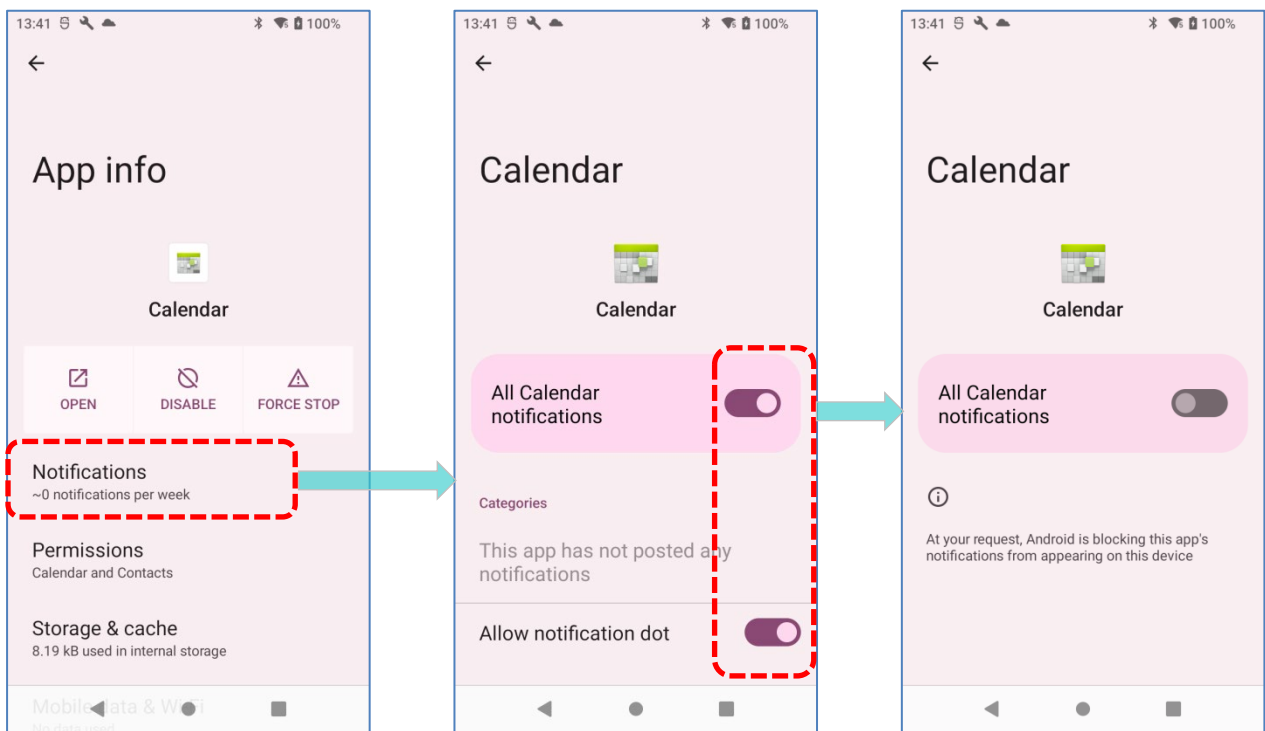


OR

- 1) **App Drawer (アプリドロワー)** | **Settings (設定)**  | **Apps (アプリと通知)**  | **See all XX apps (XX 個のアプリをすべて表示)** に移動して、設定を変更したいアプリを見つけてください。

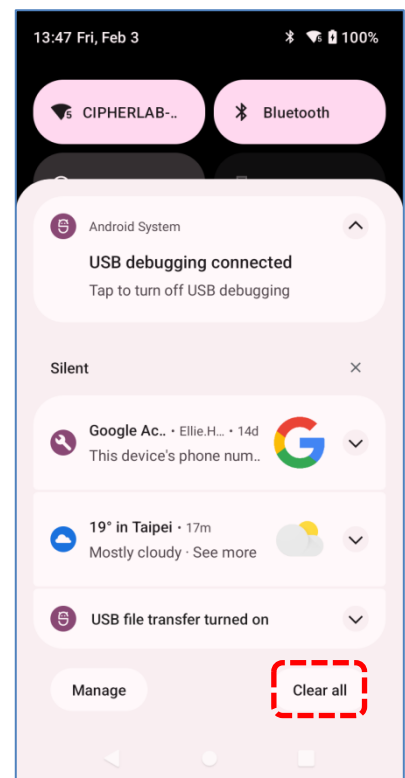


- 2) 「App info (アプリ情報)」ページに入り、「Notifications (通知)」をタップして「Show notifications (通知の表示)」などの設定のオン/オフを切り替えます。



通知のクリア

すべての通知を一括で消去するには、「Clear all (すべて消去)」をタップしてください。進行中の通知や後続のアクションが必要な通知はリストに残ります。



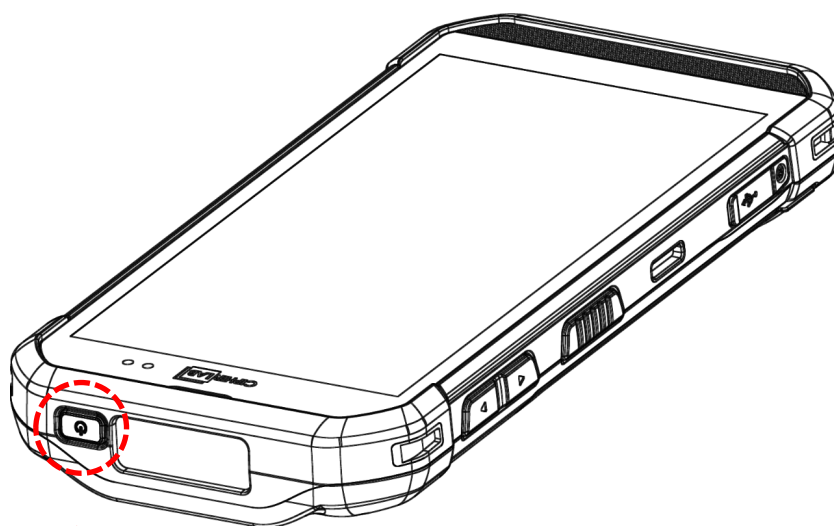
3.4. 中断とロック

3.4.1. デバイスの中断

モバイルコンピュータは電源がオンになったら常に動作します。消費電力を最小限に抑え、意図しない操作を防止するために、アクティブに使用していない場合はモバイルコンピュータをサスペンドモードにします。モバイルコンピュータはサスペンドモードから必要に応じて素早く復帰できます。モバイルコンピュータがサスペンドモードに入ると、システムは省電力の状態になり、画面タッチには反応せず、音量キーとサイドボタンもロック解除されるまで使用できません。

RS36 の中断

モバイルコンピュータをサスペンドするには、電源ボタンを押します。「[スクリーンタイムアウト設定](#)」で設定された時間が経過し、何も操作がない場合、モバイルコンピュータは自動的にサスペンドモードになります。





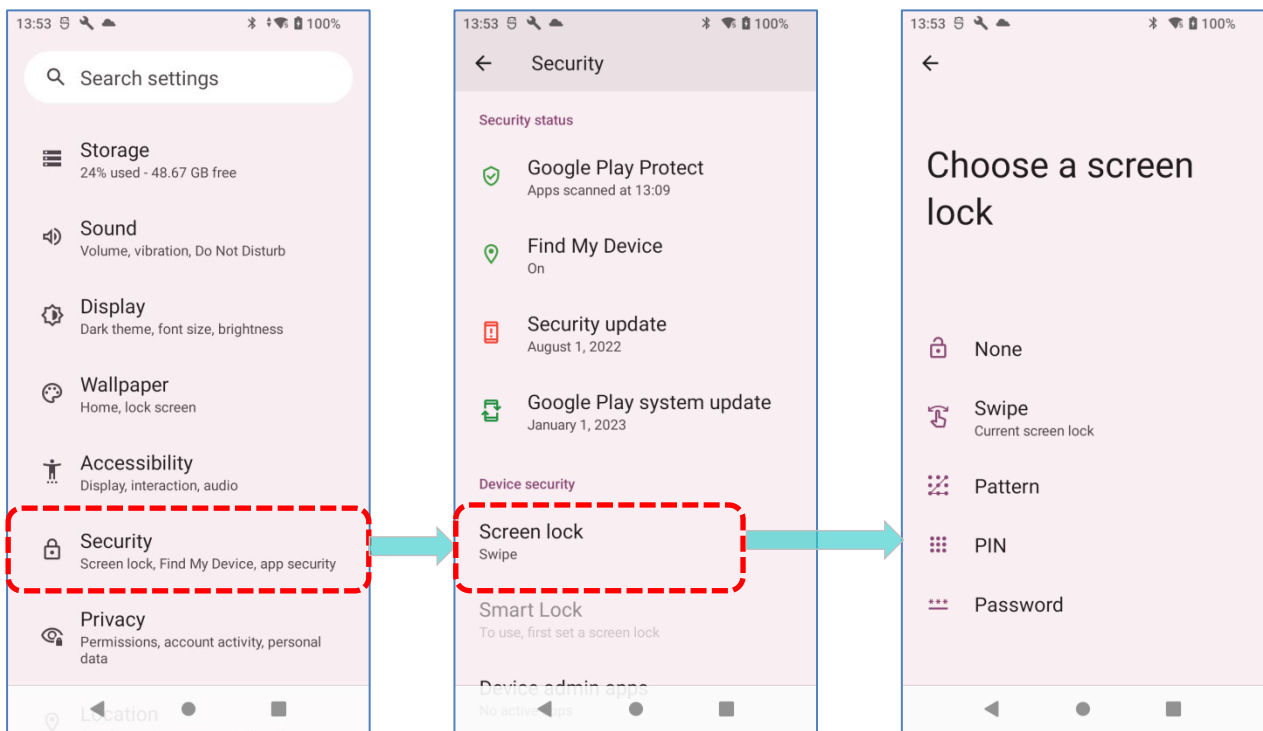
電源ボタン

3.4.2. ロックデバイス

画面ロックを設定すると、デバイスが手元がない間、このデバイス上の個人データを保護できます。さまざまな種類の画面ロックとスマートロックが用意されており、この機能の利点だけでなく、非常に便利です。

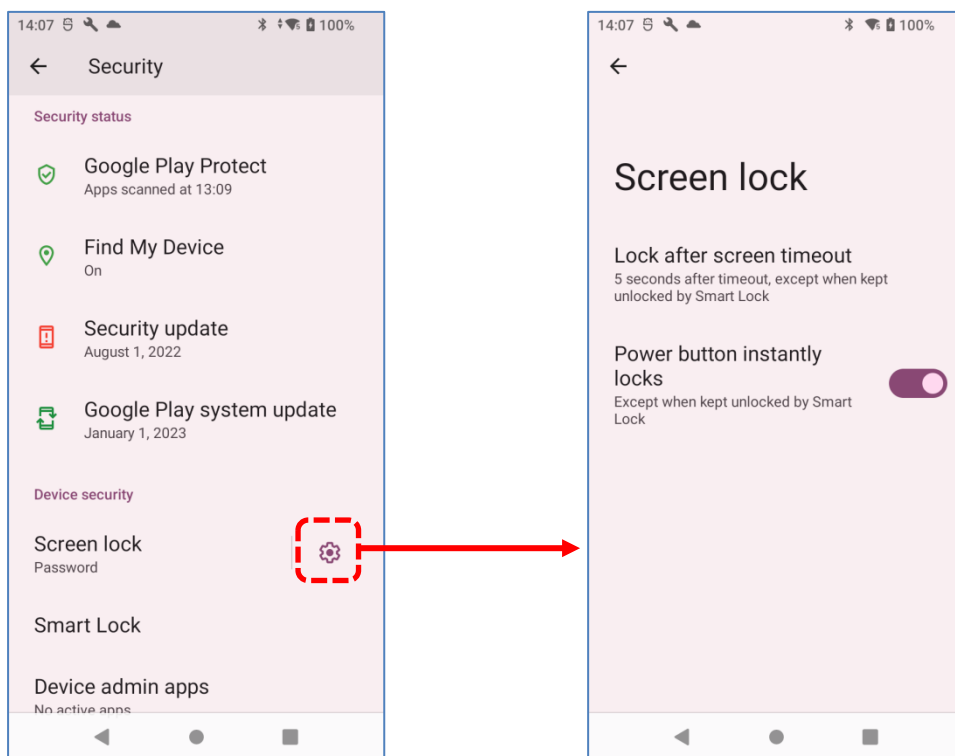
ロック RS36

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Security \(セキュリティと画面ロック\)](#)  | [Screen lock \(画面ロック\)](#) に移動してロック方法を変更できます。



項目	説明
なし	画面ロックを無効にします。
スワイプ	デフォルトのスライドジェスチャ。
パターン	ロックを解除するパターンを入力します。
PIN	PIN コードを使用してロックを解除します。
パスワード	4文字以上のパスワードを入力してロックを解除します。

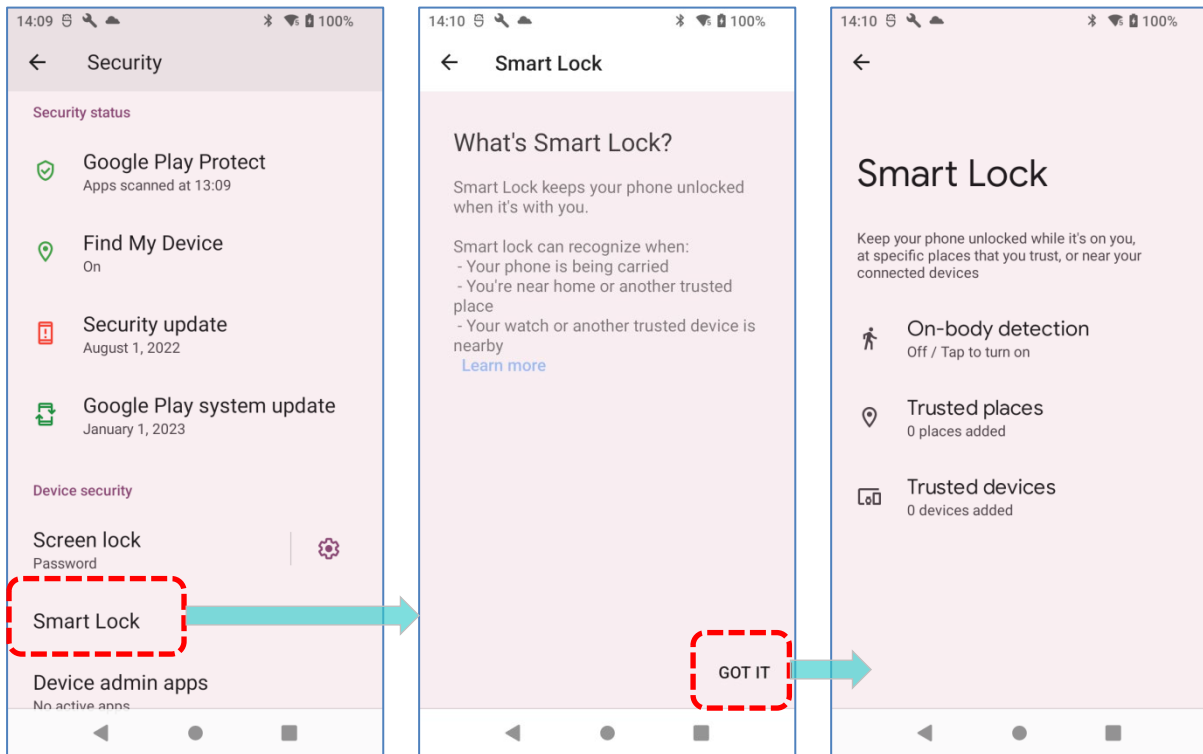
Pattern (パターン)、**PIN**、**Password (パスワード)** のいずれかの方法を選択すると、「**Screen lock (画面ロック)**」の横に設定アイコンが表示されます。タップして「**Screen lock (画面ロック)**」ページに入り、詳細な設定ができます。



Screen Lock (画面ロック) の詳細設定は次のとおりです。

項目	説明
Lock after screen timeout 自動ロック	画面タイムアウト から自動的に画面をロックするまでの時間間隔を設定します。
Power button instantly locks 電源ボタンですぐにロックする	電源ボタンを押すことですぐにロックするがしないがを切り替えます。

Smart Lock に入り、個人のロック設定をカスタマイズすることもできます。



3.5. OS のアップデート

モバイルコンピュータのオペレーティングシステムを更新することで、最適な状態で維持することができます。ワイヤレスネットワーク接続を確立し、OTA サーバーから更新ファイルをダウンロードすることで、システムの更新を行うことができます。

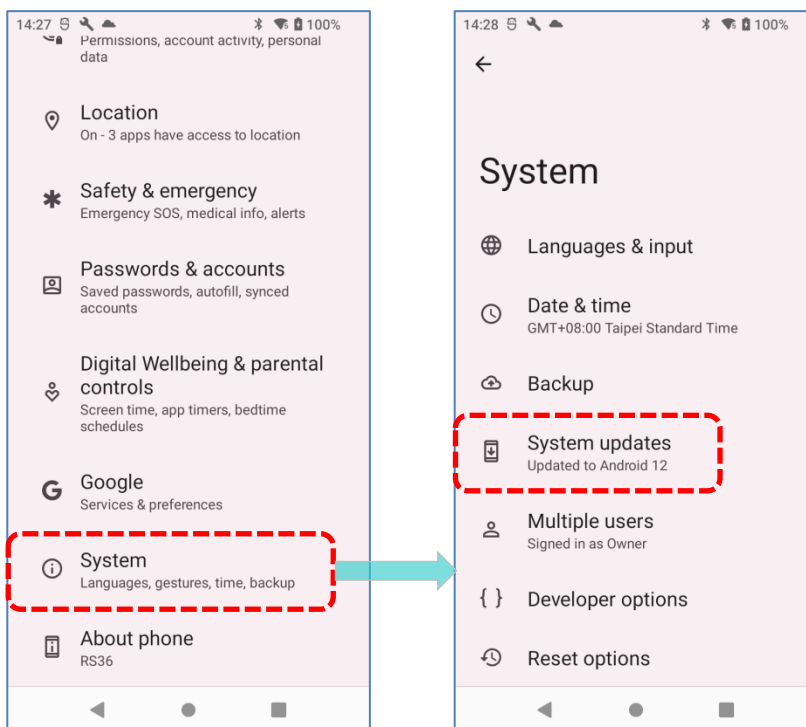
注意：システムの更新中にモバイルコンピュータがシャットダウンします。データの損失を避けるため、システムを更新する前に、未完了のタスクやデータを保存してください。

3.5.1. ネットワークの更新

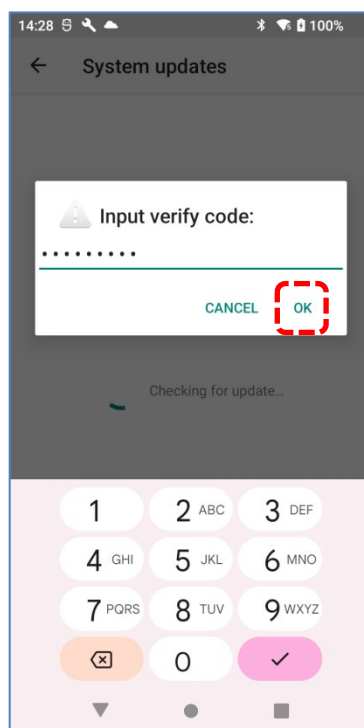
サーバで最新のシステム更新ファイルを確認してダウンロードするために、モバイルコンピュータでインターネットへの無線ネットワーク接続が確立されていることを確認します。

注意：追加の通信料金を避けるために、ファイルのダウンロードには Wi-Fi 接続をインターネットに推奨します。

- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [System \(システム\)](#)  | [System updates \(システムの更新プログラム\)](#)  に移動します。



- 2) システム更新のためにパスワード入力ウィンドウが表示されます。パスワードを入力するには、support@cipherlab.com.tw にお問い合わせください。パスワードを入力し、OK をタップしてください。



- 3) モバイルコンピュータは、サーバー上で最新のシステム更新ファイルを検索します。
「**DOWNLOAD AND INSTALL**」をタップして、更新ファイルをダウンロードします。
- 4) サーバーで新しいシステム更新ファイルが検出されると、ステータスバーに通知アイコンが表示され、通知パネルにテキスト通知が表示されます。

自動更新

RS36 モバイルコンピュータの自動更新機能はデフォルトではオフになっており、**ADC** (Android Deployment Configurator) を使用して設定を変更してオンにすることができます。

自動更新機能を有効にすると、RS36 モバイルコンピュータは自動的に最新の OS アップデートを検出してダウンロードします。更新は、デバイスがオンになって、アイドル状態のときに早朝にスケジュールされます。

3.5.2. SD カードのアップデート

RS36 モバイルコンピュータは、モバイルコンピュータのストレージにある利用可能なアップデートファイルを自動的に検索してインストールします。

最新のシステムアップデートのイメージファイル入手し、そのファイルを「**sdupdate.zip**」という名前で保存し、SD カードの「**sdupdate**」というフォルダにコピーしてください。そのSD カードをデバイスのメモリーカードスロットに挿入して、電源ボタンを押してデバイスを起動します。

OR

USB Type-C ケーブル/スナップオンケーブルを使用して、デバイスの内部ストレージのルートディレクトリに最新の OS のイメージファイルを転送します。

最新バージョンの OS が自動的にインストールされ、デバイスが次回起動の時に有効になります。



注意：




SD カードが正しくモバイルコンピュータに挿入されていることを確認してください。そうでない場合、システムは現在最新とみなされます。

3.6. データのバックアップ

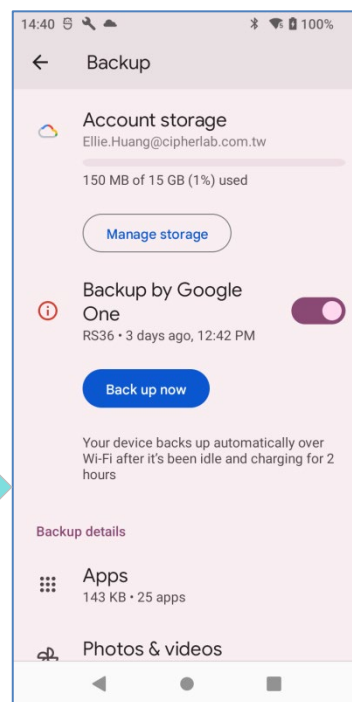
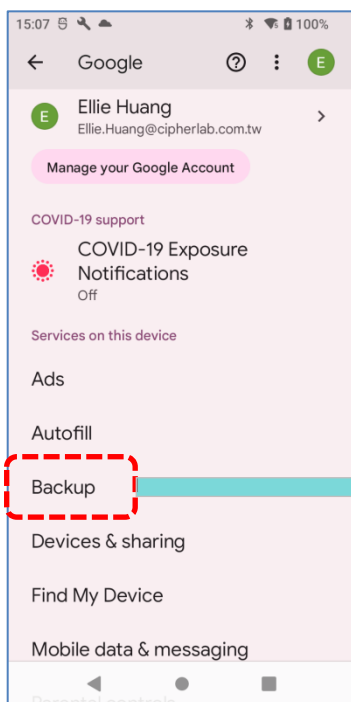
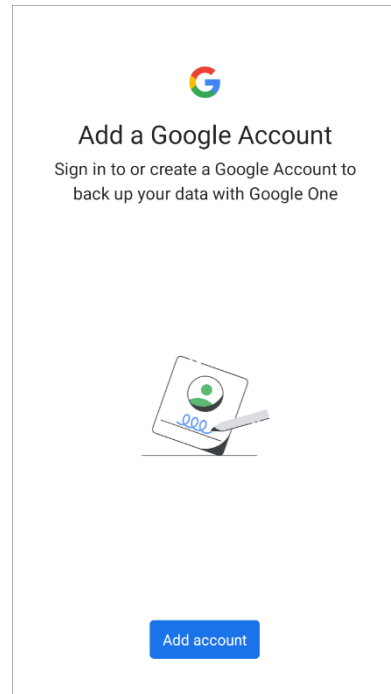
Backup を使用すると、Google アカウントの個人データ（Google カレンダーの設定、Google 連絡先、Chrome ブラウザデータ、Gmail の設定）と特定のシステム設定を、ネットワーク接続を介してクラウド上にバックアップできます。これにより、ファクトリーリセット後にこのデバイスの設定を簡単に復元できます（[ファクトリーデフォルトへのリセット](#)を参照してください）。次の手順に従ってバックアップ設定を開始します。

1) デバイスがネットワークに接続されていることを確認します。

2) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | **Settings (設定)** 
| **Google**  | **Backup (バックアップ)** に移動します。

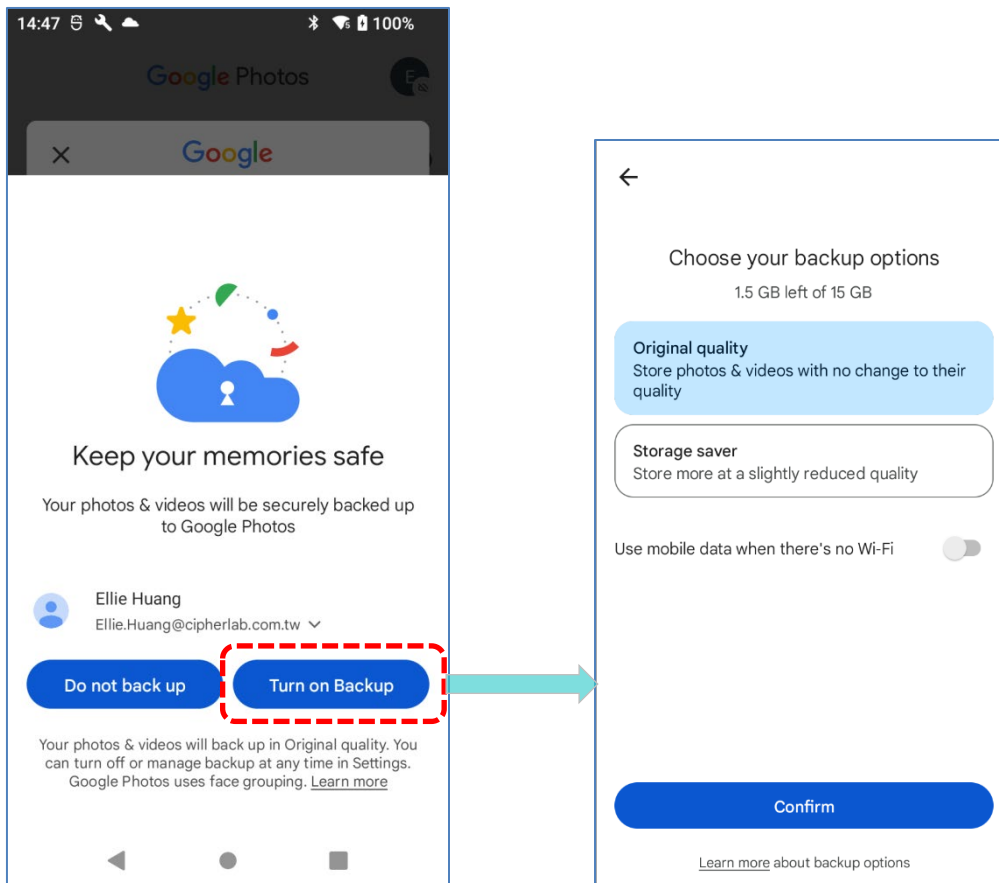
OR [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | **Settings (設定)** 
| **System (システム)**  | **Backup (バックアップ)**
 に移動し、**Google ドライブへのバックアップ**を有効にします。

バックアップされた個人データを復元するには、「アカウントの追加」をタップして、Google アカウントにサインインし、そのアカウントをデバイスに追加します。



注意：

- (1) 写真やビデオをバックアップするには、[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) で「[写真](#) 」をタップし、Google アカウントにログインすると、デバイス上のファイルが Google フォトライブラリと同期されます。



- (2) デバイスのストレージに保存されている音声やビデオファイルなどの他のデータをバックアップする場合は、Google Drive サービスを利用できます。
- (3) バックアップは一部のアプリの進行状況データや設定を扱うことができない場合があります。

3.7. 工場出荷時のデフォルトにリセット

ファクトリーリセットを実行すると、モバイルコンピュータのすべてのデータが削除され（ファイル、インストールされたアプリとそれに関連するデータを含む）、工場出荷時の状態にリセットされます。



ファクトリーリセットを実行する前に、[データのバックアップ](#)の手順に従って重要なデータをバックアップすることを強くお勧めします。

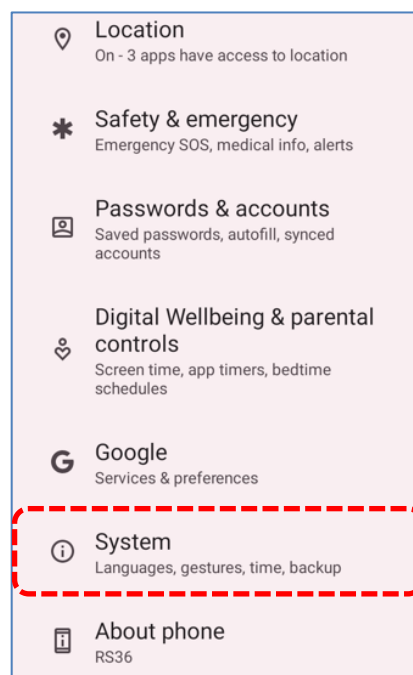
ADC（Android Deployment Configurator）でRS36 モバイルコンピュータを設定する場合、設定は自動的にRS36 モバイルコンピュータの「エンタープライズパーティション」にバックアップされ、「Erase all data (factory reset)/すべてのデータを消去（出荷時リセット）」を進めてもエンタープライズパーティションに保存された設定は消去されません。すべての設定を消去するには、「Erase all data (factory reset with enterprise)」を選択してください。


3.7.1. 全データ消去（出荷時リセット）

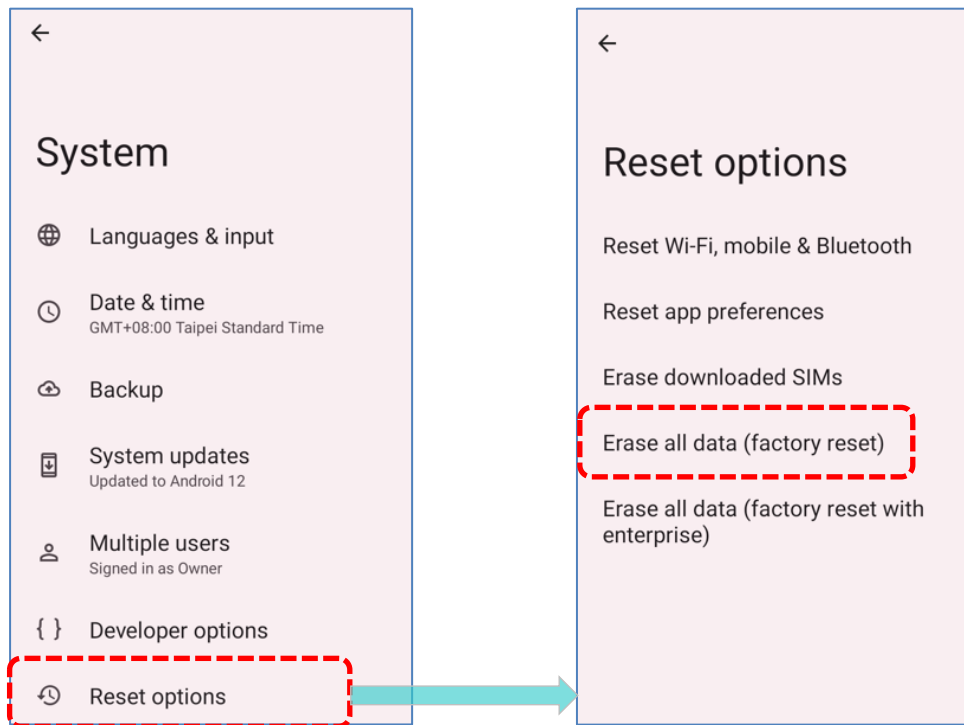
「Erase all data (factory reset)/すべてのデータを消去（出荷時リセット）」を実行すると、ADC（Android Deployment Configurator）によってエンタープライズパーティションにバックアップされた設定以外の全データが消去されます。

実行するには：

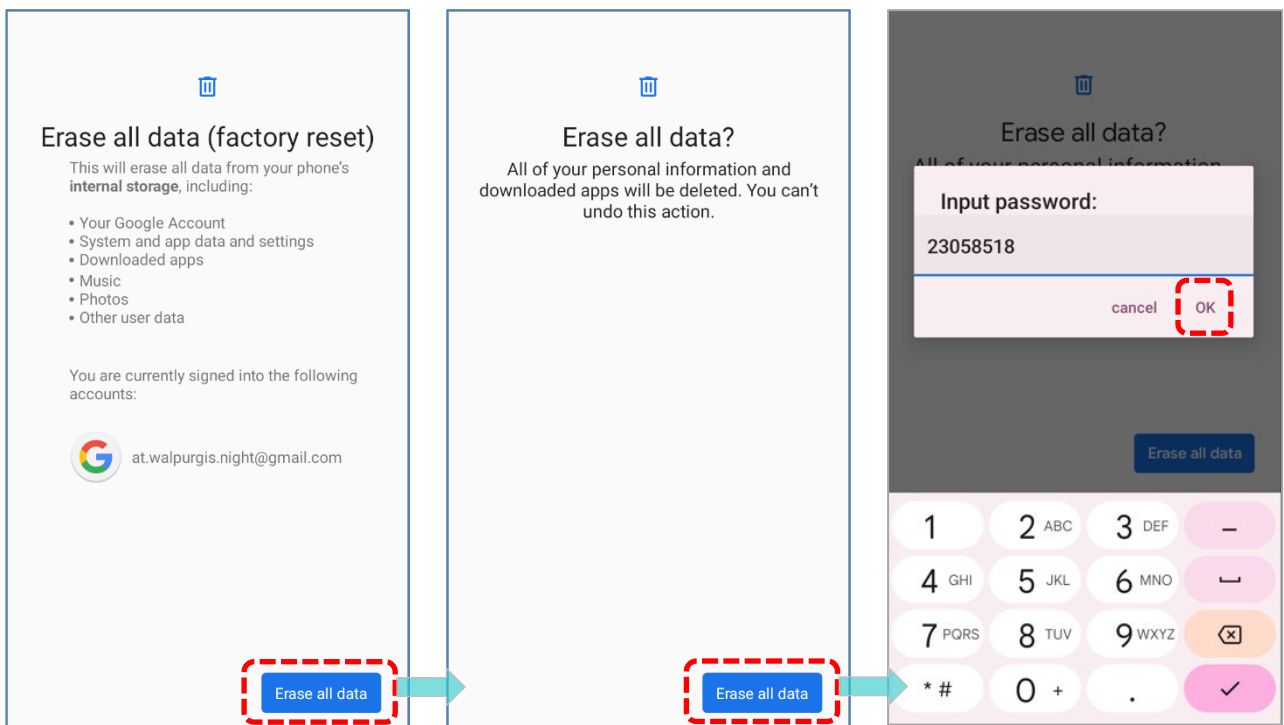
- 1) [App Drawer（アプリドロワー）](#) | [Settings（設定）](#)  | [System（システム）](#)  に移動します。



- 2) **Reset options/リセットオプション**  をタップし、**Erase all data (factory reset)/すべてのデータを消去します** (出荷時リセット) をタップします。



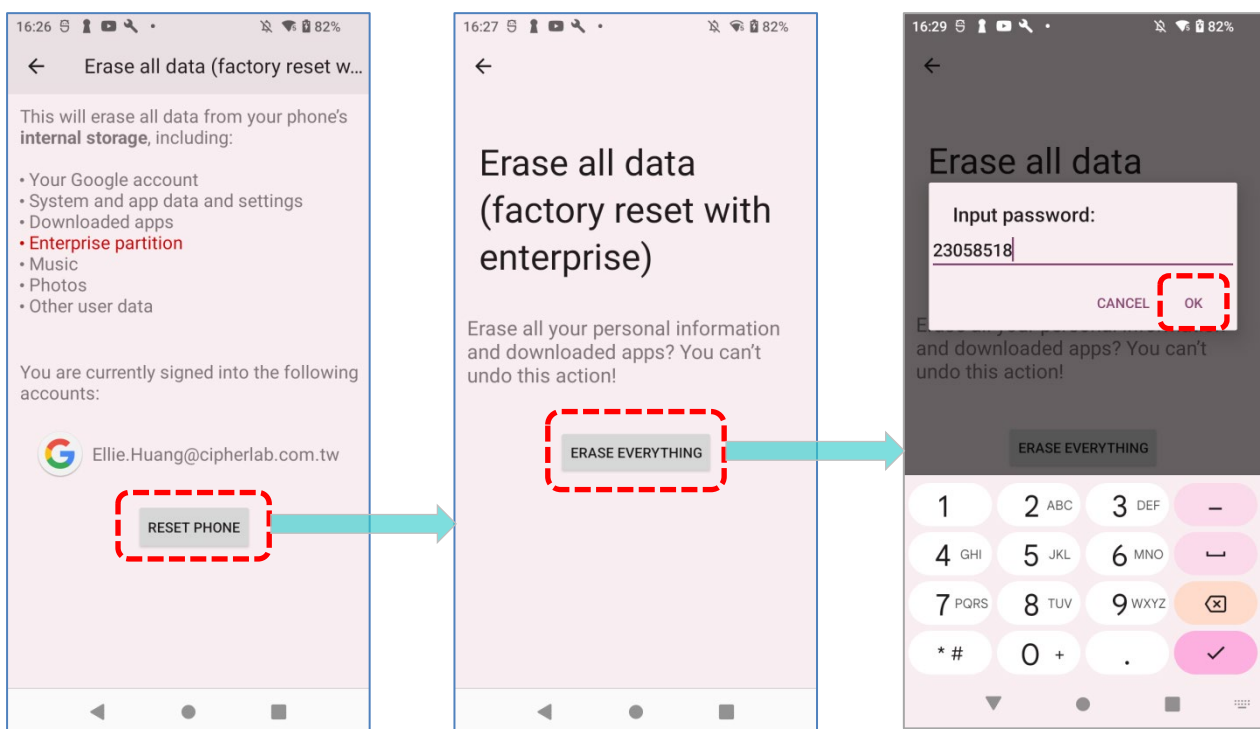
- 3) 「**Erase all data (factory reset)/すべてのデータを消去する**」ボタンをタップして、確認コードを入力します (確認コードは support@cipherlab.com.tw にお問い合わせください)。最後に 「**OK**」をタップしてファクトリーリセットを実行します。



3.7.2. すべての日付を消去（エンタープライズでのファクトリーリセット）


App Drawer（アプリドロワー） | Settings（設定） | System（システム） | Reset options（リセットオプション） | Erase all data (factory reset with enterprise)に移動します。

「RESET PHONE（モバイルデバイスをリセット）」をタップして、「ERASE EVERYTHING（すべて消去）」をタップして、確認コードを入力します（確認コードは support@cipherlab.com.tw にお問い合わせください）。最後に「OK」をタップしてファクトリーリセットを実行します。



Erase all data (factory reset with enterprise)を選択すると、ADC（Android Deployment Configurator）によって企業パーティションにバックアップされた設定を含むすべてのデータが消去されることに注意してください。

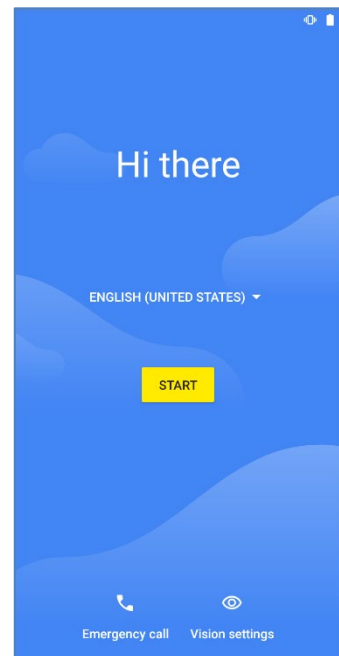
3.7.3. ようこそウィザード

ファクトリーリセット後、モバイルコンピュータが初回起動すると、ウェルカムウィザードが実行され、環境の設定とアプリやデータの復元を案内します。セットアップ中に、「SKIP」をタップして次のステップに進むことができます（該当する設定は、いつでも「[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | **Settings (設定)** 」で完了できます）。

Google アカウントでバックアップされたデータをこの段階で復元するためには、**Wi-Fi ネットワークに接続する**よう求められた場合に、Wi-Fi にログインしてください。

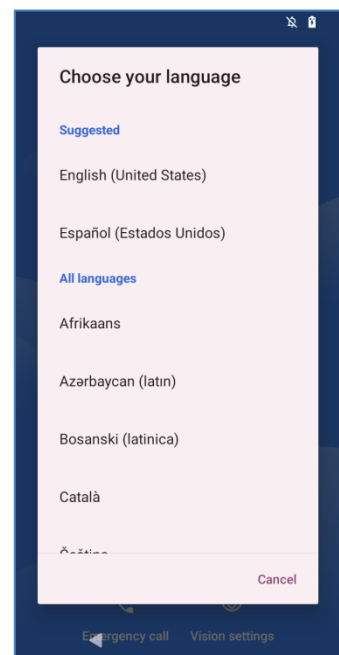
■ ステップ 1-1

「START」をタップして次に進むか、「Choose your language (言語の選択)」 / 「Vision Settings (ビジョンの設定)」をタップして入力します。



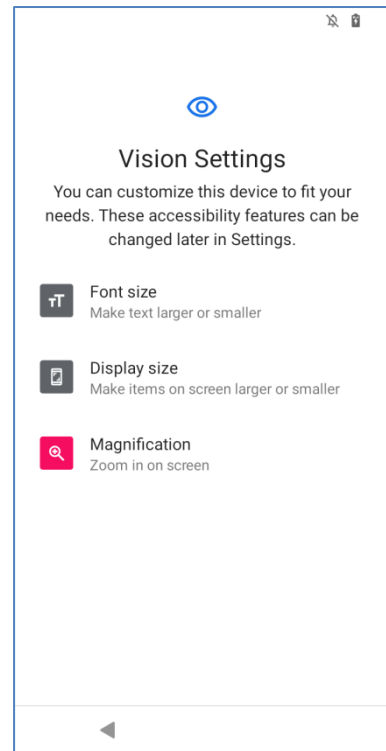
■ ステップ 1-2

システム言語を選択します。



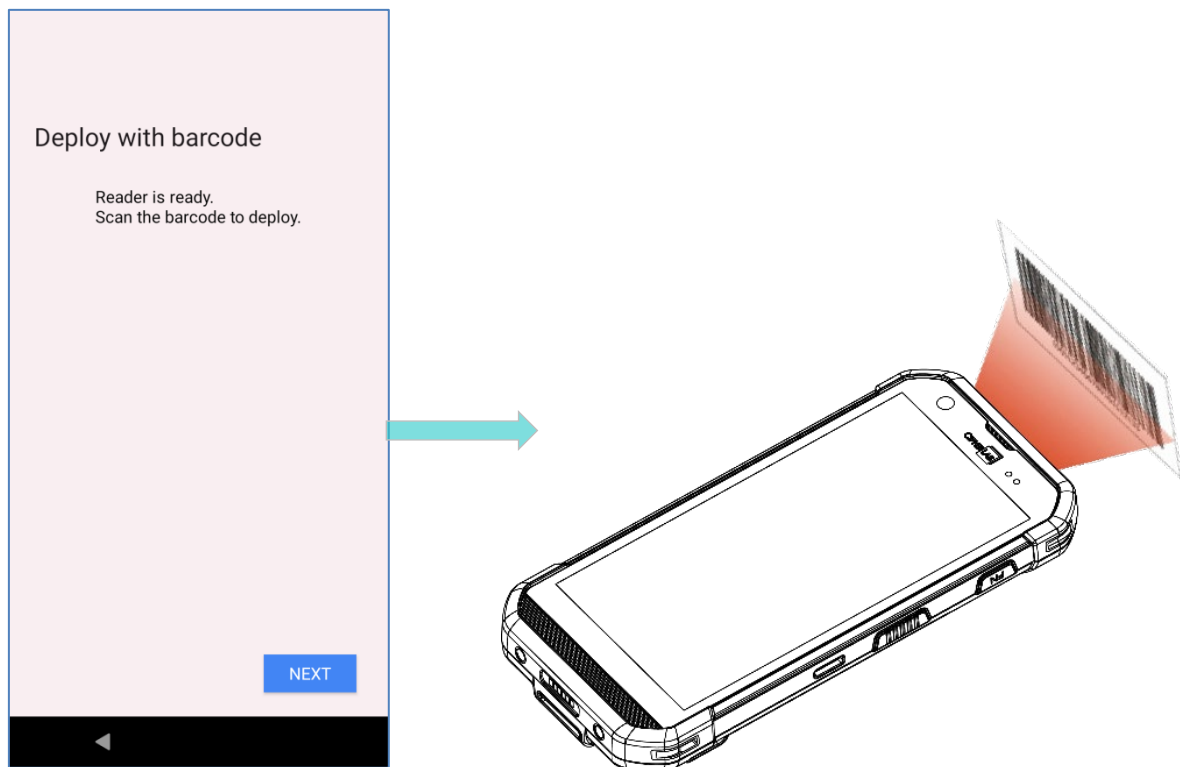
■ ステップ 1-3

必要に応じてデバイスをカスタマイズします。



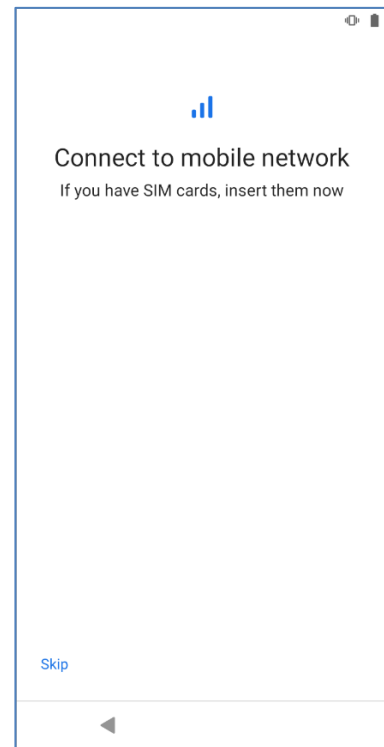
■ ステップ 2

トリガーを押して ADC（Android Deployment Configurator）によって生成された設定バーコードをスキャンして設定を展開するか、「Next」をタップして Welcome Wizard による設定を続けてください。



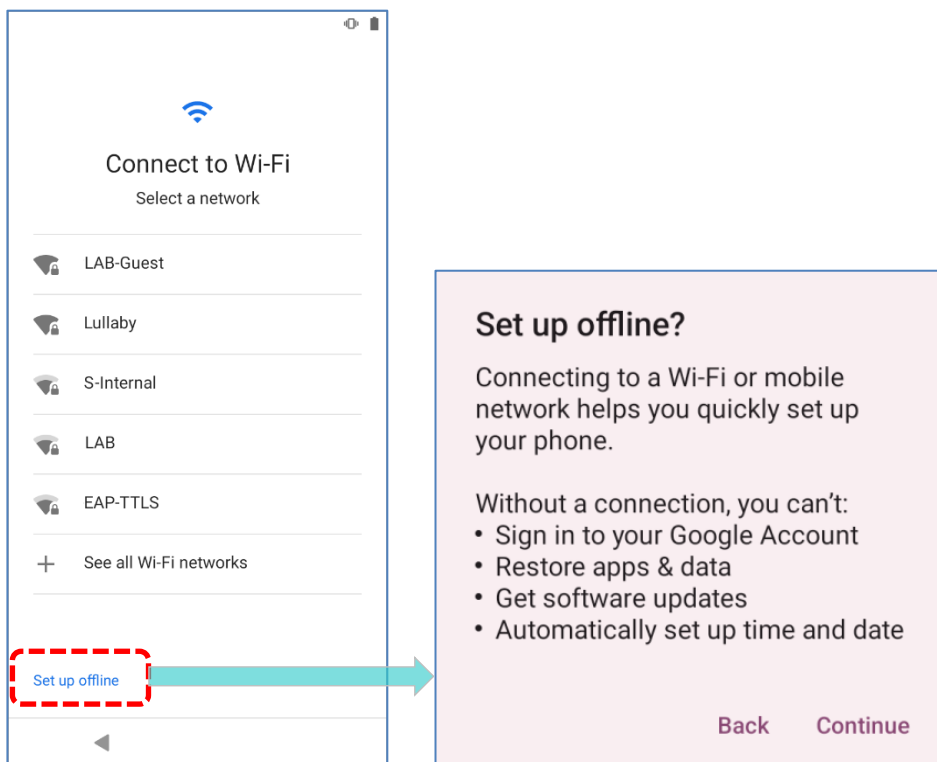
■ ステップ 3

SIM を挿入してモバイルネットワークに接続するか、「SKIP」をタップして次のステップに進みます。



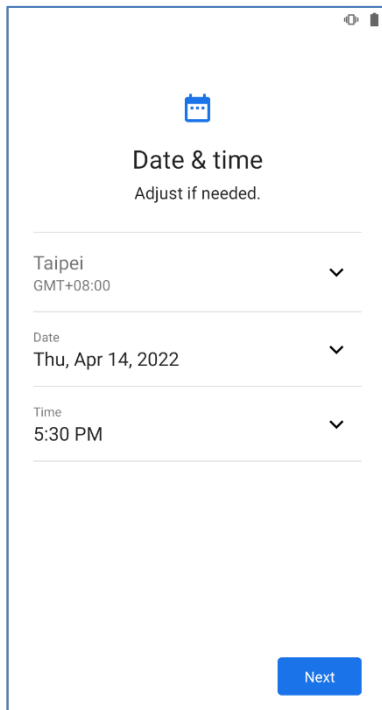
■ ステップ 4

ログインする Wi-Fi ネットワークを選択するか、「Set up offline」をタップして「CONTINUE」で次のステップ進みます。Wi-Fi ネットワークにログインしている場合は、さらにデータを復元するために Google アカウントへのサインインを求められます。



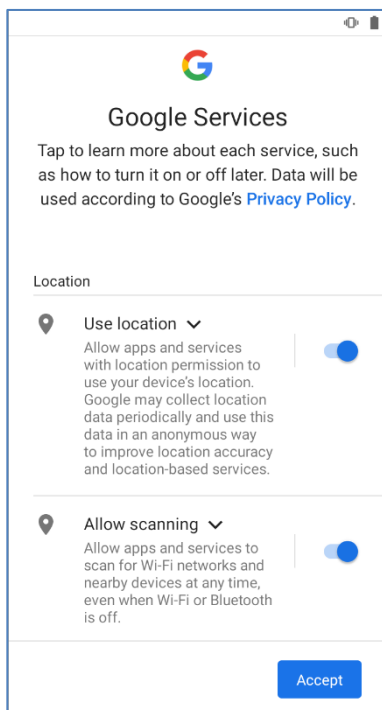
■ステップ5

日付と時刻を設定するか、「NEXT」をタップしてこの手順を省略します。



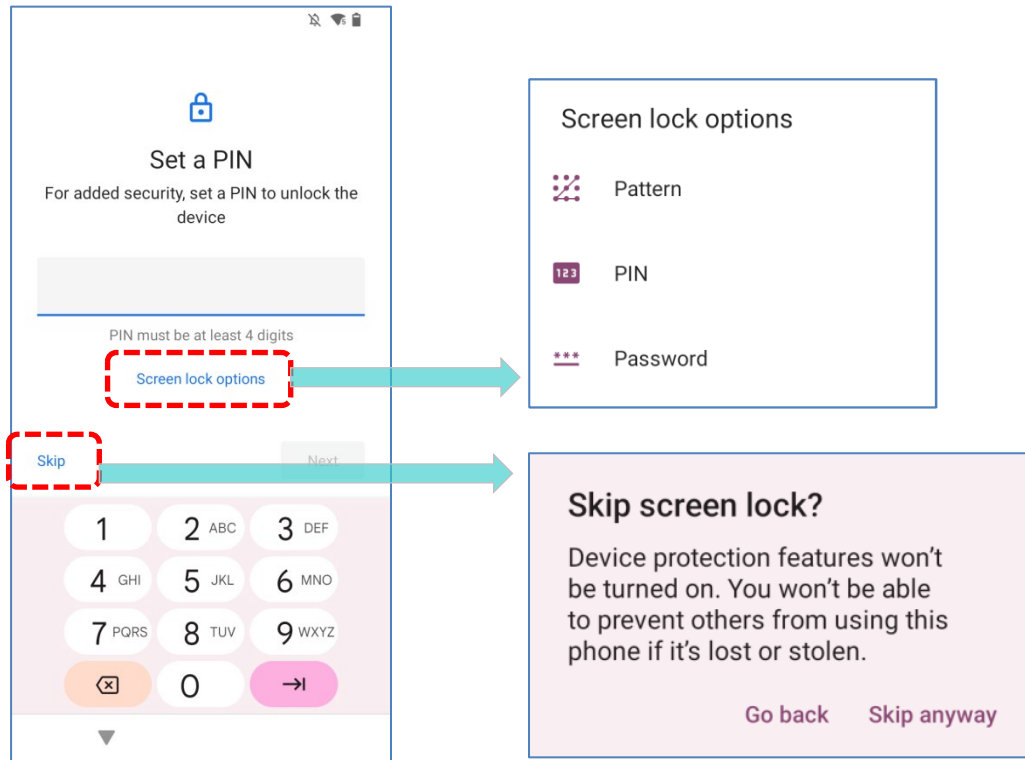
■ステップ6

有効にしたい Google サービスを選択し、「ACCEPT」をタップして次に進みます。



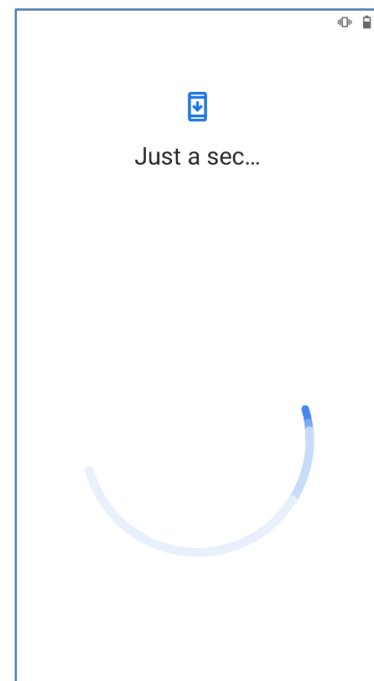
■ ステップ 7

このデバイスを保護するための保護方法を設定するか、「SKIP」を選択してこのステップをスキップしてください。



■ ステップ 8

設定が完了するまで数秒かかります。



初期設定が完了すると、**ホーム**画面が表示されます。アプリと設定はバックグラウンドで復元されます。

第 4 章

無線 LAN 通信

モバイルコンピュータに統合された Wi-Fi モジュールを使用すると、ワイヤレスネットワークを設定して接続することができます。

この章では

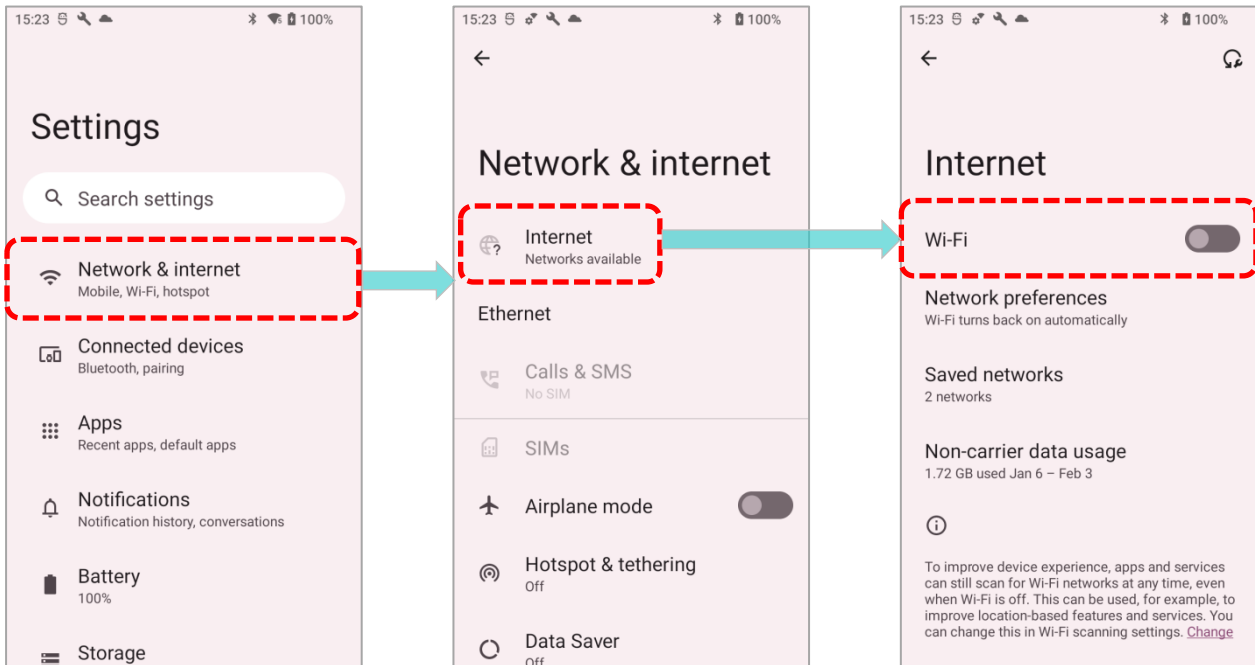
- 4.1 無線ローカルエリアネットワーク (Wi-Fi) を使用する.....142
- 4.2. Bluetooth の使用.....154
- 4.3. 近距離無線通信の使用.....163

4.1. 無線ローカルエリアネットワーク (WI-FI) を使用する

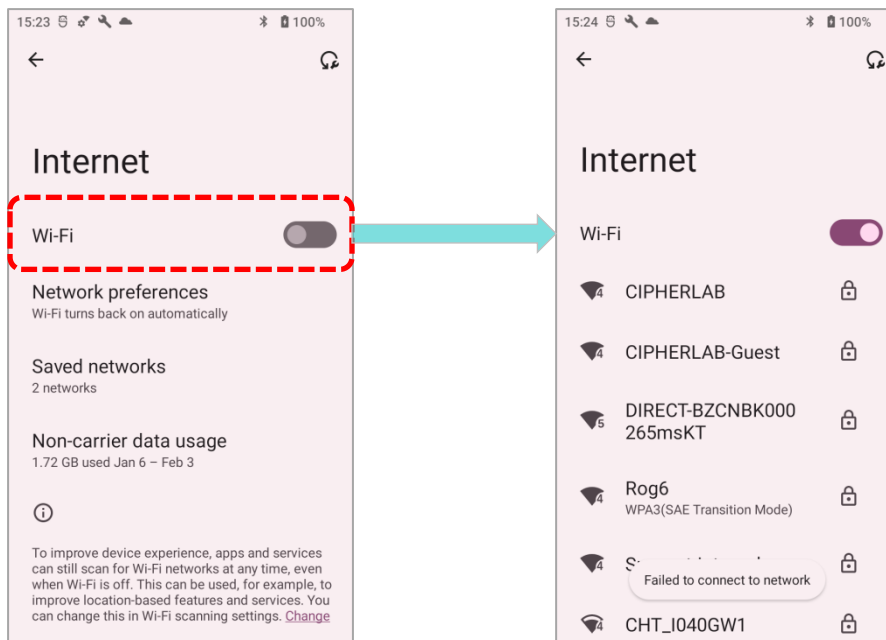
4.1.1. WI-FI ネットワークに接続する方法

Wi-Fi をオンにするには、次の手順に従ってください。

- 1) **App Drawer (アプリドロワー) | Settings (設定) | Network&Internet (ネットワークとインターネット)** に移動します。



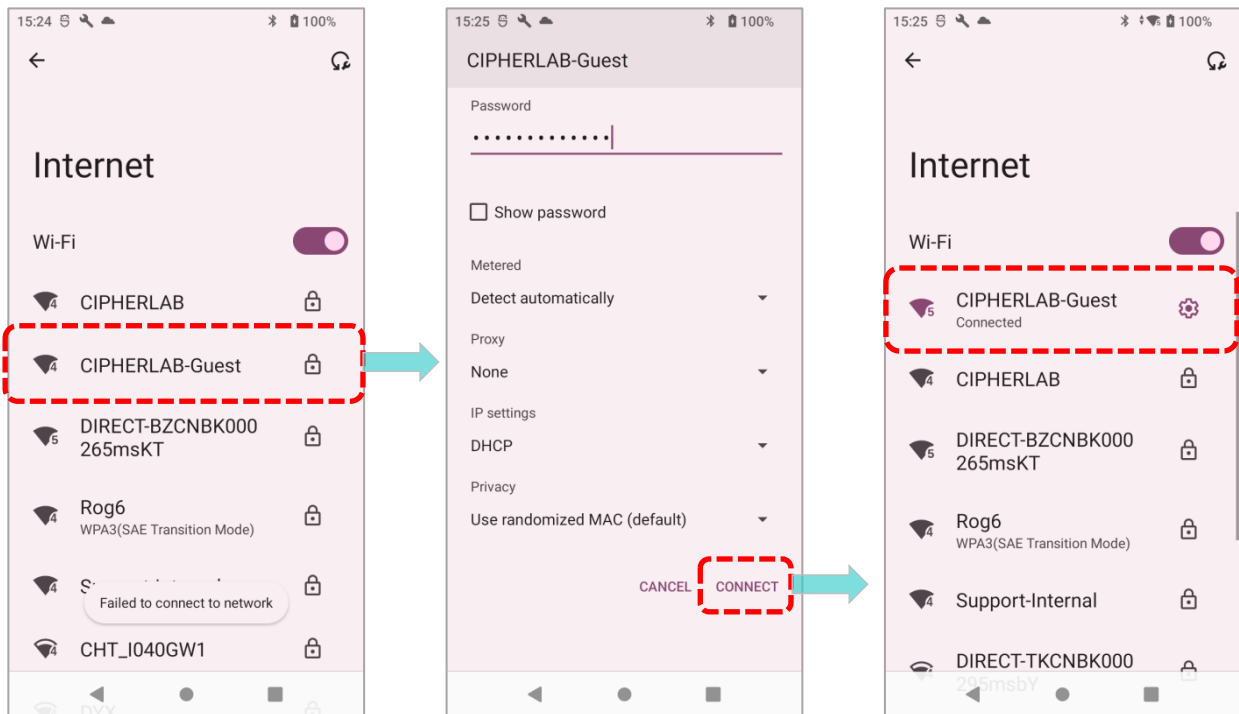
- 2) Wi-Fi スイッチをタップして、使用可能なネットワークをスキャンします。



3) 接続するネットワークを選択します。

ネットワークが開いている場合は、モバイルコンピュータが直接接続を試みます。接続すると、ステータスが「**接続済み**」に変わります。

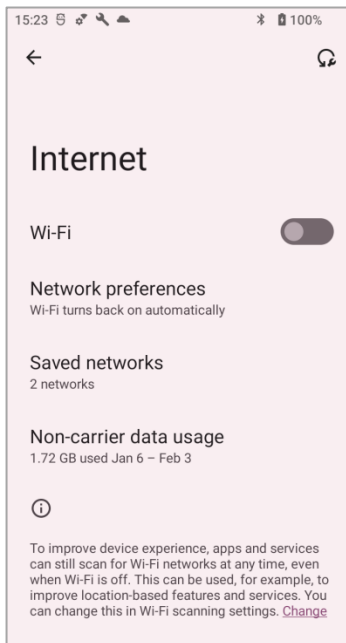
セキュリティで保護されたネットワークの場合は、接続のためにパスワードを入力する必要があります。



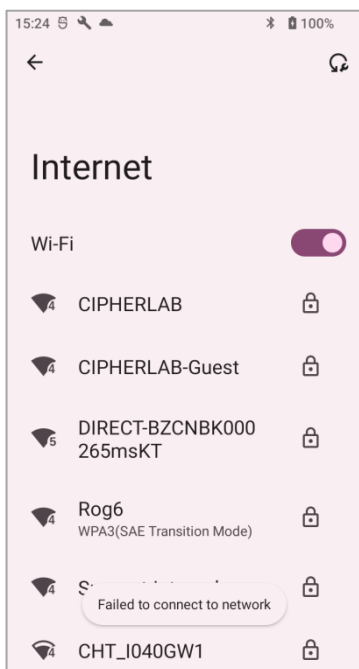
4.1.2. WI-FI ネットワークを手動で追加する方法

もし接続したいネットワークが SSID をブロードキャストしていない場合、またはネットワークが範囲外の場合は、手動で追加することができます。

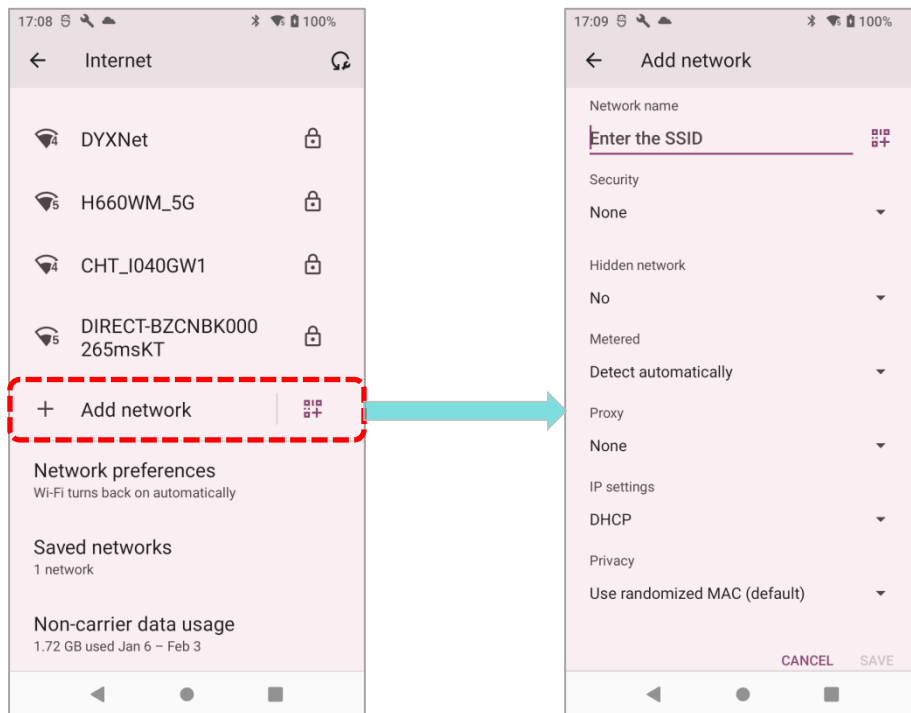
- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | **Settings (設定)**  | **Network&Internet (ネットワークとインターネット)**  に移動します。



- 2) Wi-Fi スイッチをタップしてオンにします。

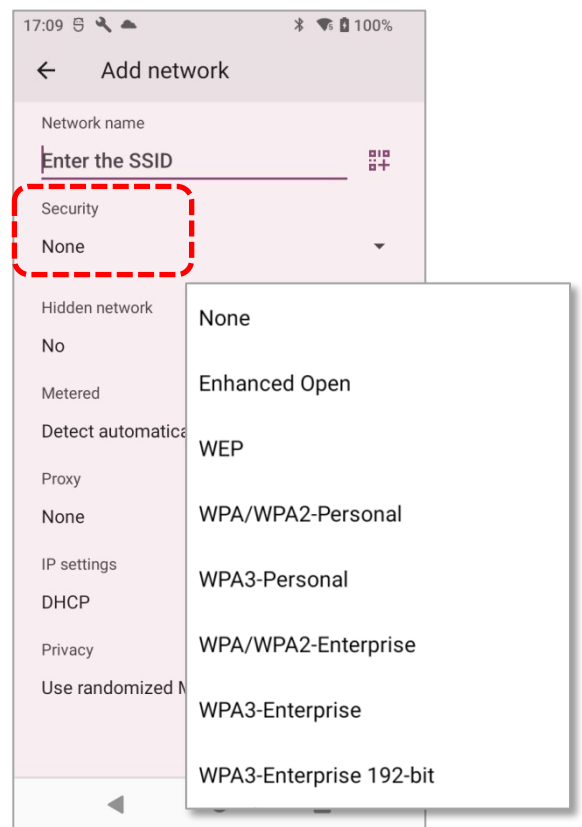


3) ページを一番下までスクロールし、「Add network (ネットワークを追加)」を選択します。



4) 「Add network (ネットワークを追加)」ページで、ネットワーク名を「Network name (ネットワーク名)」フィールド欄に入力し、セキュリティ方式を選択します。

- **Enhanced Open** は公共のネットワークで、認証が不要です。
- **WEP、WPA/WPA 2-Personal および WPA 3-Personal** 接続の場合：
必要なパスワードを入力し、「SAVE (保存)」をタップします。
- **WPA/WPA 2/WPA 3-Enterprise および CCKM** 接続の場合：
ドロップダウンボックスで **EAP 方式** (PEAP、TLS、TTLS、PW、SIM、AKA) を選択し、**フェーズ 2 認証** (なし、MSCHAPV 2、GTC) を選択します。必要に応じて **CA 証明書** とユーザ証明書を選択します。必要な場合は、Identity ボックスにユーザー名を入力し、Password ボックスにパスワードを入力します。



注意：

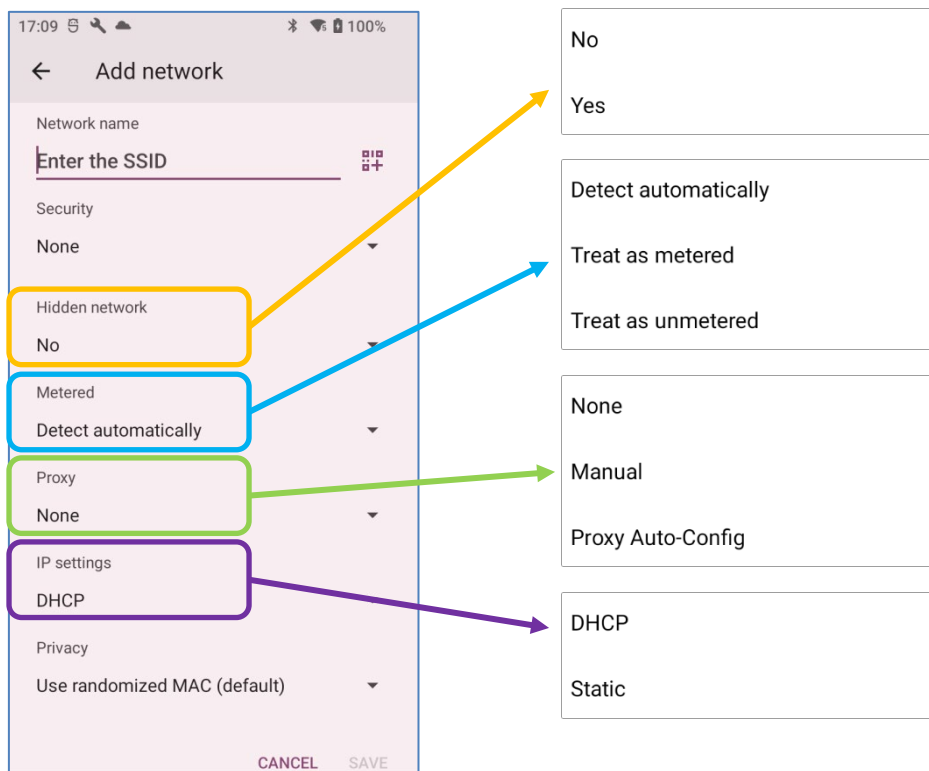
証明書は次の場所にインストールできます。

[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#) | [Network&Internet \(ネットワークとインターネット\)](#) | [Internet \(Wi-Fi\)](#) | [Network preferences \(Wi-Fi 設定\)](#) | [Install certificates \(証明書のインストール\)](#)

モバイルコンピュータは、次の証明書ファイル拡張子に対応しています。

File Extension Type ファイル拡張子タイプ	Standard Certificate 標準証明書	Key Stored キーストアに保存
説明	.crt または .cer ファイルに保存された、DER エンコードされた X.509 証明書。	.p12 または .pfx 拡張子を持つ PKCS#12 キーストアファイルに保存された X.509 証明書。
インストール方法	.crt もしくは .cer に変更します。	.p12 もしくは .pfx に変更します。

5) 必要に応じて、**プロキシサーバ**と **IPv 4** の設定を選択します。デフォルトでは、プロキシは設定されておらず、IP 設定は **DHCP** に設定されています。

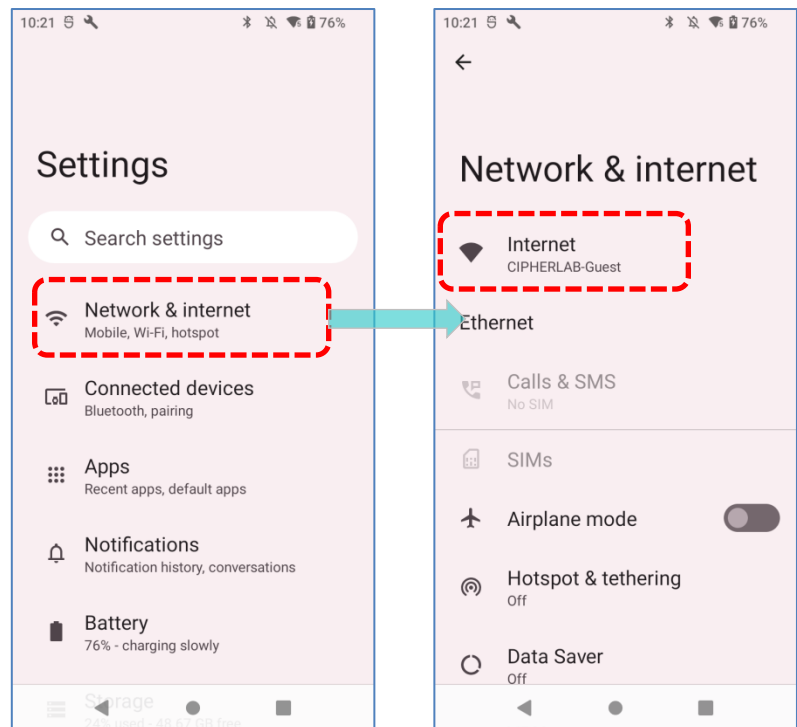


4.1.3. WI-FI 環境設定

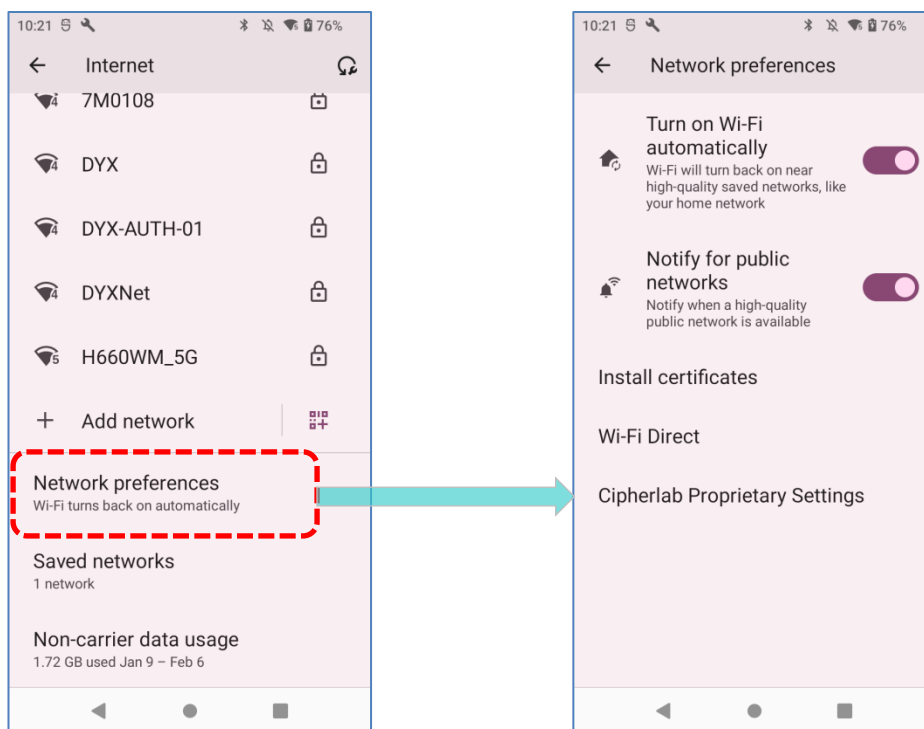
ネットワーク環境設定にアクセスするには、次の手順に従ってください。

1) App Drawer (アプリドロワー)

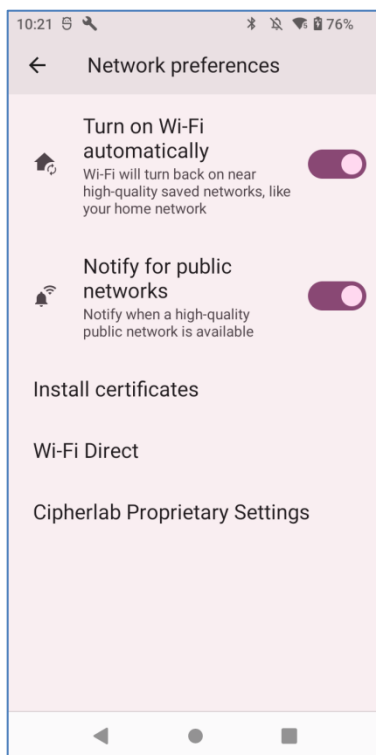
- | Settings (設定) 
- | Network & Internet (ネットワークとインターネット) 
- | Internet (Wi-Fi)  に移動します。



2) ページの一番下までスクロールして「**Network preferences (Wi-Fi 設定)**」をタップします。



設定できる項目は以下の通りです。

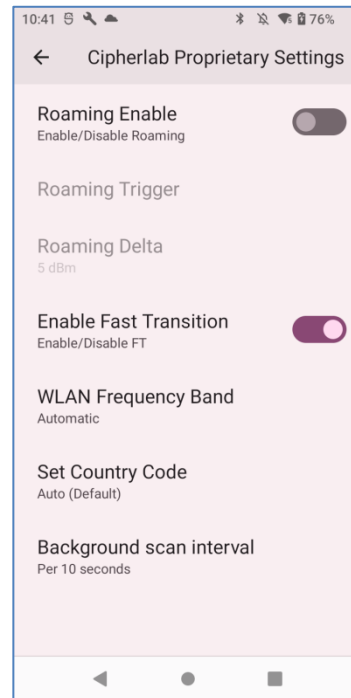
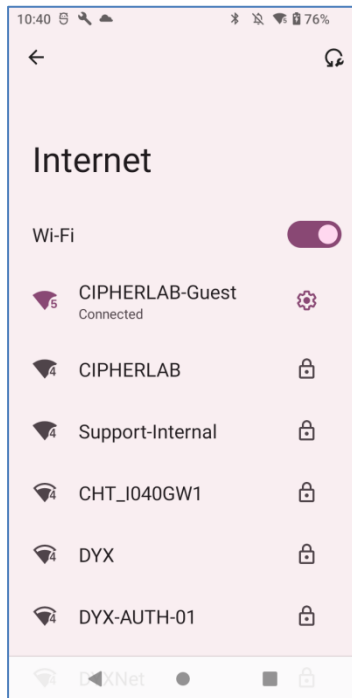


項目	説明
Turn on Wi-Fi automatically Wi-Fi を自動的に ON にする	Wi-Fi をオフにしても、保存されている電波の強いネットワークが近くにあれば、自動的に Wi-Fi 接続がオンになる。
Notify for public networks オープンネットワークの通知	高品質のオープンネットワークが利用可能なときに通知します。
Install certificates 証明書のインストール	最近ダウンロードまたは内部ストレージに配置された証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	デバイスを Wi-Fi Direct 対応デバイスと接続できるようにします。
Cipherlab Proprietary Settings	タップして、詳細設定のページに入ります。 詳細は「 CIPHERLAB PROPRIETARY の設定 」を参照してください。

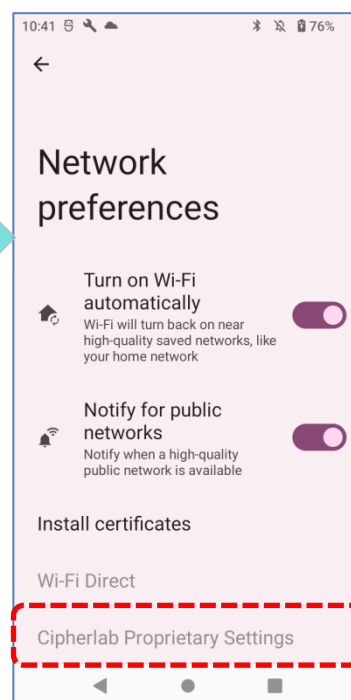
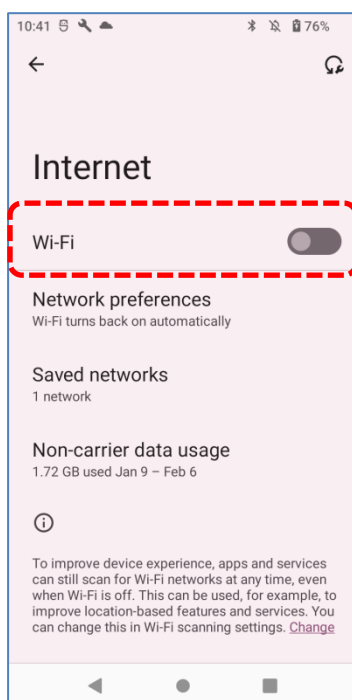
CIPHERLAB PROPRIETARY の設定

「Cipherlab Proprietary Settings」にリストされているグレーアウトのオプションを設定するには、Wi-Fi をオンにする必要があります。Wi-Fi のオン/オフを切り替えるには、スイッチをタップしてください。

- Wi-Fi は ON の時：



- Wi-Fi は OFF の時：



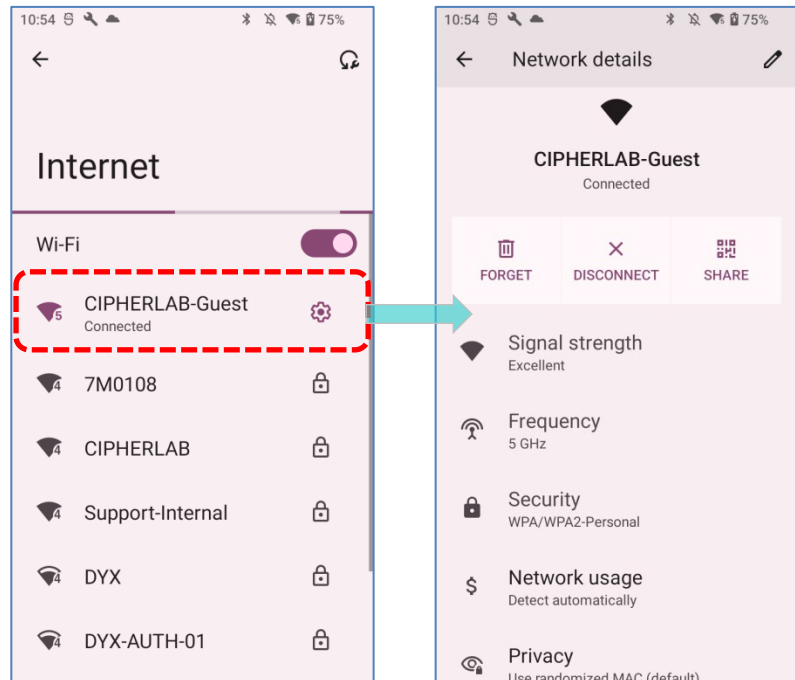
アイテム	説明
ローミングの有効化	Wi-Fi ローミングを有効にするかどうかを選択します。
ローミングのトリガー	Wi-Fi ローミングをトリガーするときの信号強度。値が大きいほど、ローミングをトリガーする感度が高くなります。
ローミングデルタ	ローミング候補者の資格。値が大きいほど、候補 AP の信号強度は現在接続されている AP よりも高くなるはずです。
高速移行の有効化	802.11 r 高速移行機能を有効にします。
WLAN 周波数帯域	Wi-Fi 周波数帯域には、[自動]、[5 GHz のみ]、または [2.4 GHz のみ] を選択します。デフォルト設定は [自動] です。
国コードの設定	デバイスの Wi-Fi 国コードを選択します。
バックグラウンドスキャン間隔	デバイスがインターネットに接続していないときのバックグラウンドスキャンの頻度。時間が短いほど、スキャンの頻度が高くなります。

4.1.4. WI-FI ネットワークの変更

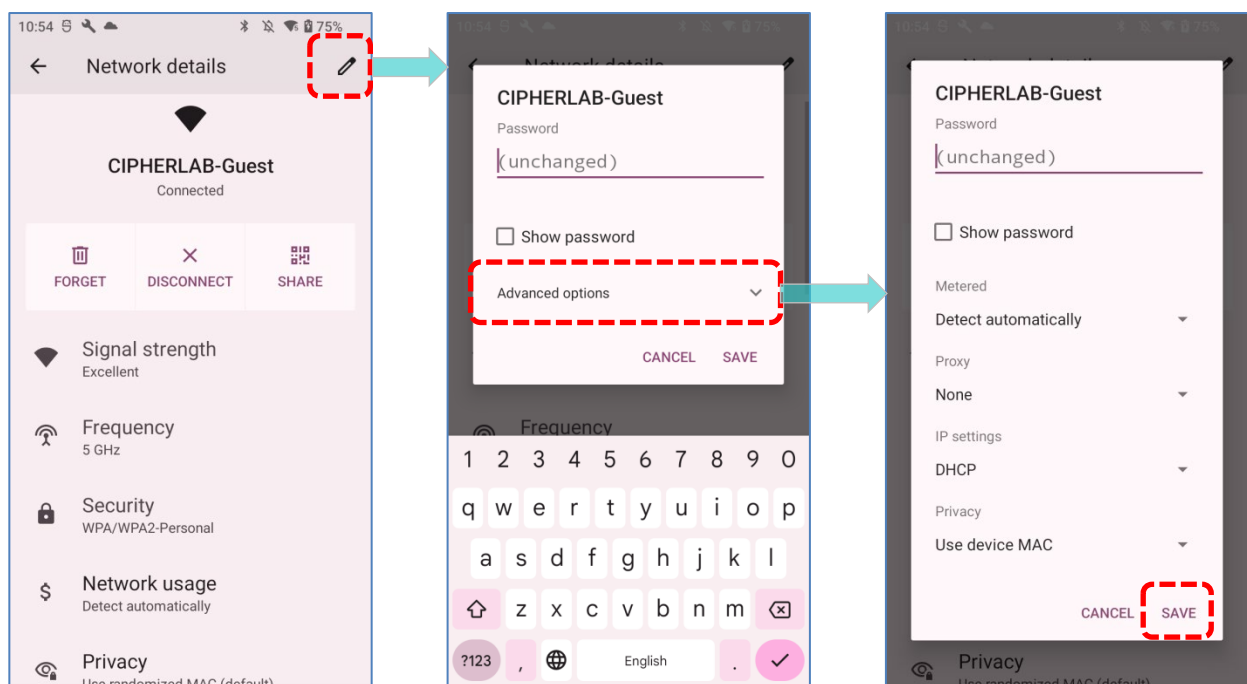
接続したネットワークの変更

接続したネットワークの設定を変更するには、次の手順に従ってください。

- 1) Wi-Fi ホットスポットリストで接続されているネットワークをタップして、「Network details (ネットワークの詳細)」ページに入ります。



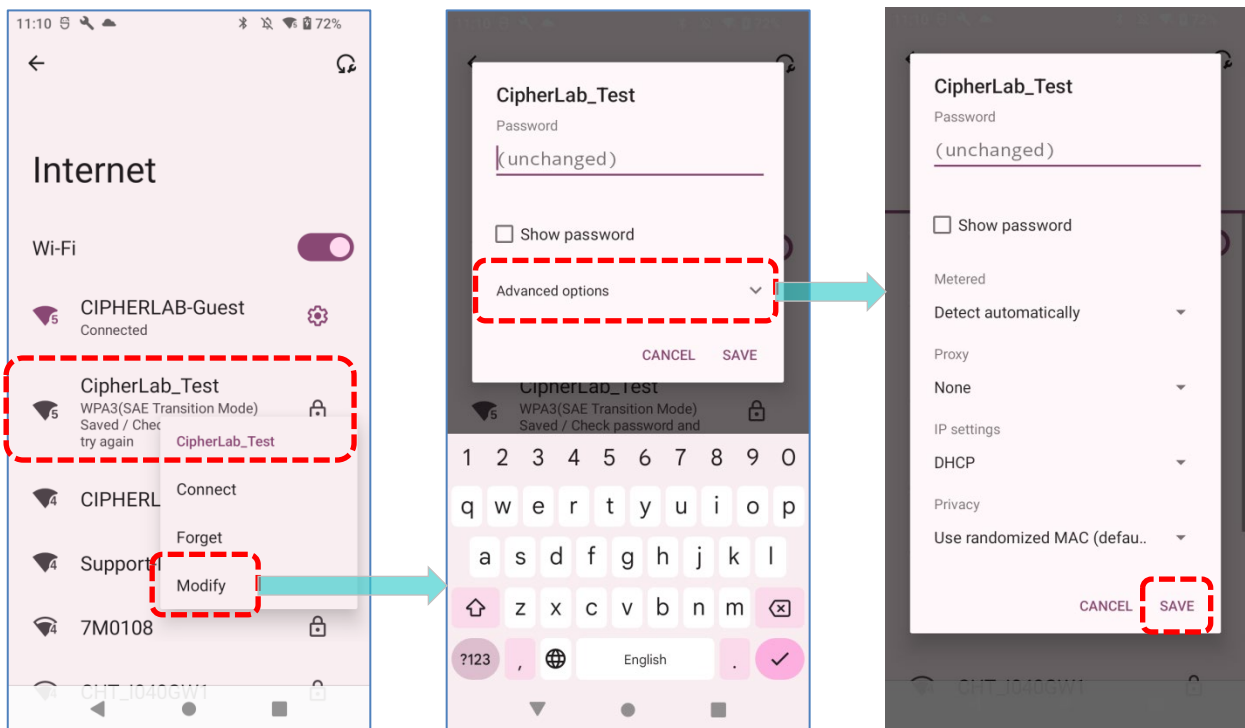
- 2) 「編集」ボタンをタップしてポップアップメニューを開き、ネットワーク設定を変更して、「SAVE (保存)」をタップします。



保存済みネットワークを変更する方法

保存済みネットワークの設定を変更するには、次の手順に従ってください。

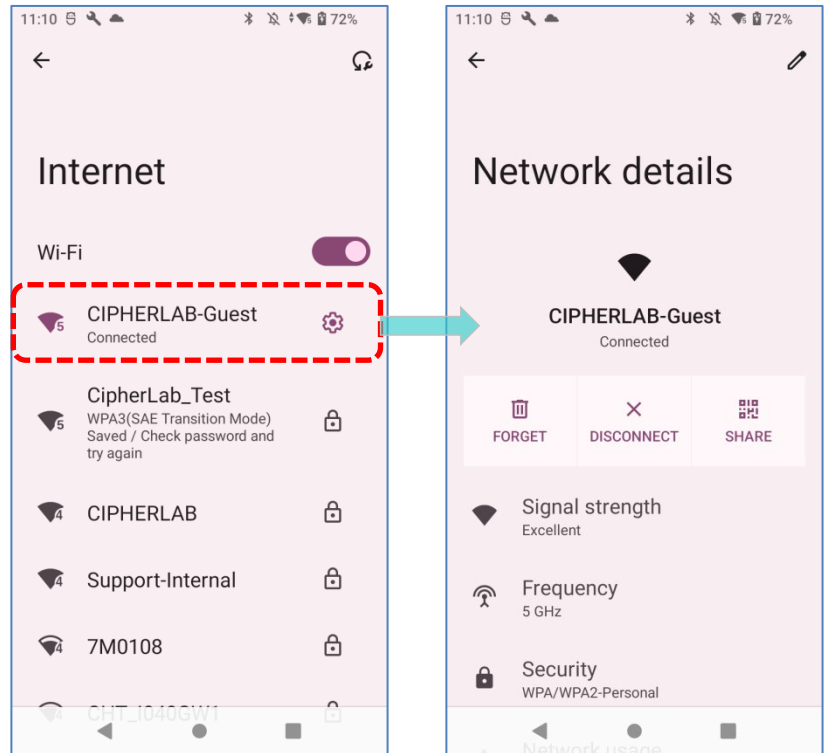
- 1) Wi-Fi ホットスポットリストで変更したいネットワークを長押しします。
- 2) ポップアップメニューの「**Modify (変更)**」を選択します。。
- 3) 表示されるダイアログでネットワーク設定を変更し、「**SAVE (保存)**」をタップします。



4.1.5. WI-FI ネットワークの切断

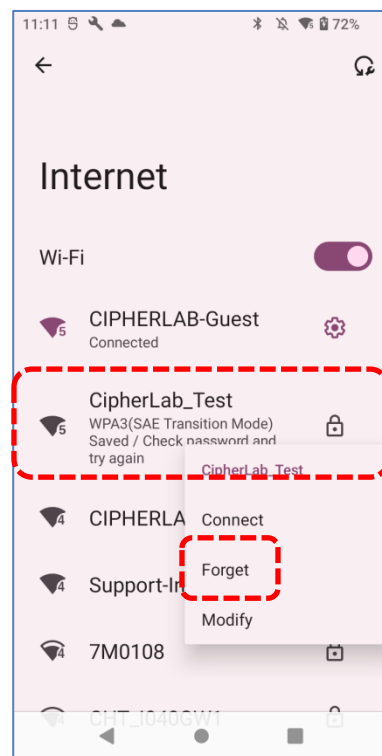
接続されているネットワークを切断するには、次の手順に従ってください。

- 1) Wi-Fi ホットスポットリストで接続されているネットワークをタップして、「**Network details (ネットワークの詳細)**」ページに入ります。
- 2) 接続を切断するには、**FORGET (削除)** または **DISCONNECT (接続解除)** をタップします。



保存済みネットワークを削除するには、次の手順に従ってください。

- 1) Wi-Fi ホットスポットリストで保存したネットワークを長押しします。
- 2) ポップアップメニューで「**FORGET (削除)**」をタップします。



4.2. BLUETOOTH の使用

RS36 モバイルコンピュータでは、Bluetooth 設定を構成し、リモートデバイスで提供される Bluetooth サービスを管理することができます。

4.2.1. BLUETOOTH プロファイル


サポートされる Bluetooth プロファイル

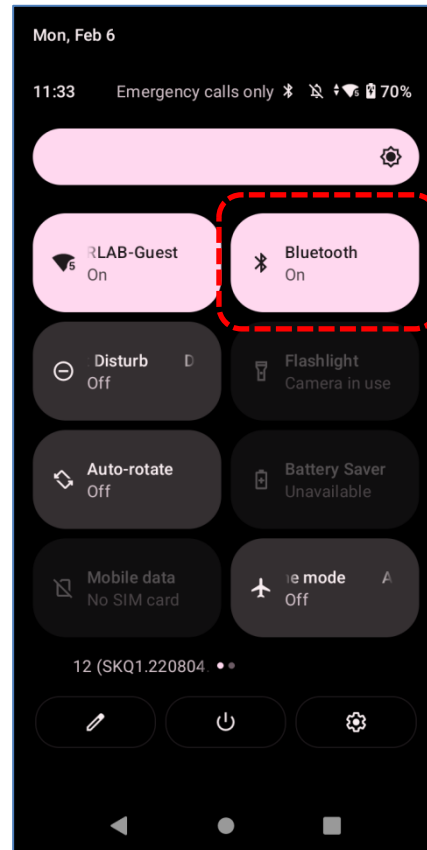
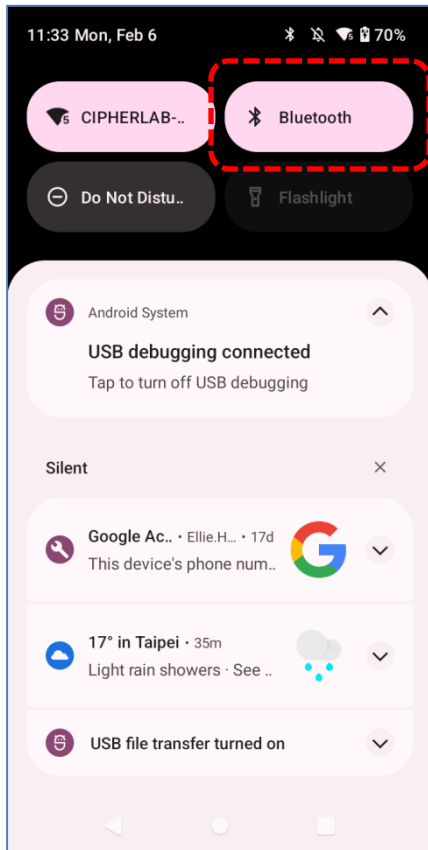
汎用アクセスプロファイル	(GAP)	デバイスの検出と認証を行います。
サービス検索アプリケーションプロファイル	(SDAP)	リモートデバイス上のサービスを検出します。
ヘッドセットプロファイル	(HSP)	Bluetooth 搭載ヘッドセットと通信するためのプロファイル。
シリアルポートプロファイル	(SPP)	2つの Bluetooth デバイスを接続するための仮想シリアルポートを設定します。
ヒューマンインターフェイスデバイスプロファイル	(HID)	キーボード、ポインティングデバイスなどとの低遅延 Bluetooth 接続を提供します。
オブジェクトプッシュプロファイル	(OPP)	プッシュサーバとの間でオブジェクトをプッシュおよびプルします。
ハンズフリープロファイル (AG 1.5)	(HFP)	ハンズフリーデバイスを使用して通話を発信および受信できるようにします。
ハンズフリープロファイル	(HFP 1.6)	ハンズフリーデバイスを使用して通話を発信および受信できるようにします。
高度オーディオ配信プロファイル	(A2DP)	ステレオ品質のオーディオをワイヤレスヘッドセットまたはスピーカーにストリーミングします。
オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル	(AVRCP)	テレビやオーディオ機器を制御できるようにします。
一般オブジェクト交換プロファイル	(GOEP)	他のデータプロファイルの基盤を提供します。
パーソナルエリアネットワークプロファイル	(PAN)	Bluetooth 伝送に Bluetooth Network Encapsulation Protocol を使用します。

サポートされる Bluetooth プロファイル

汎用オーディオ/ビデオ配布プロファイル	(GAVDP)	A2DP および VDP の基盤を提供します。
電話帳アクセスプロファイル	(PBAP)	電話帳オブジェクトを車載キットに転送して、モバイルコンピュータで受信した着信の情報を表示したり、通話を開始したりします。
帯域外および近距離無線通信	(OOB、NFC)	NFC を使用してペアリングプロセスを管理します。
シリアル同期インタフェース	(SSI)	追加のスキヤナをサポートします。
ダイヤルアップネットワークプロファイル	(DUN)	Bluetooth を介してインターネットやその他のダイヤルアップサービスにアクセスするための標準を提供します。
HID over GATT プロファイル	(HOGP)	BLE (Bluetooth Low Energy) デバイスとホストデバイス間の通信を定義します。
Bluetooth LE 汎用属性プロファイル	(GATT)	BLE (Bluetooth Low Energy) デバイスがデータを転送する方法を定義します。

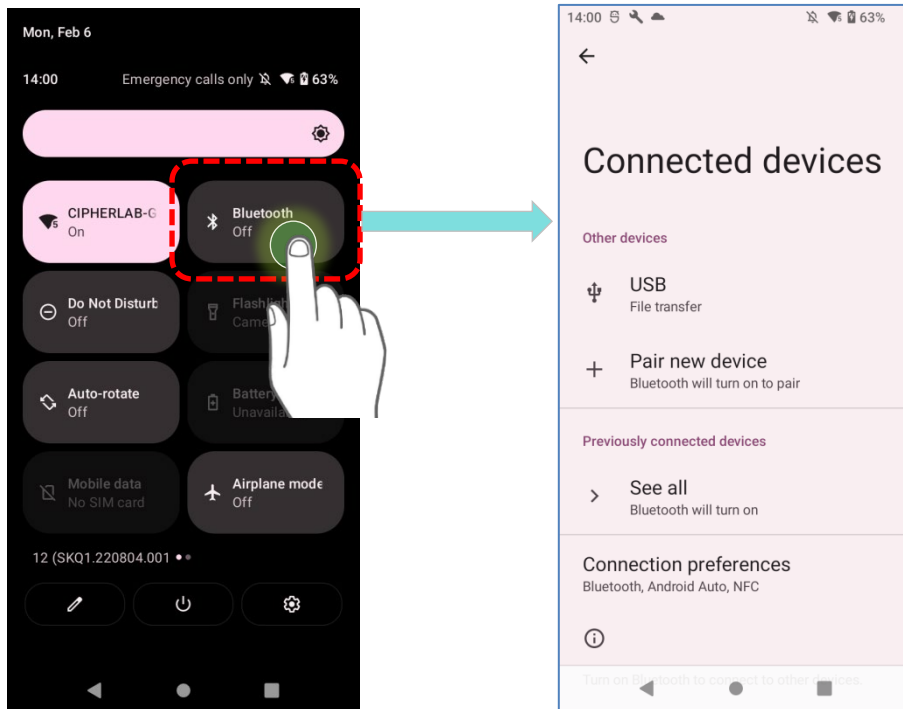
4.2.2. BLUETOOTH をオンにする方法

Bluetooth はデフォルトでオフになっており、**クイック設定パネル**の Bluetooth アイコン  をタップすることでオン/オフを切り替えることができます。



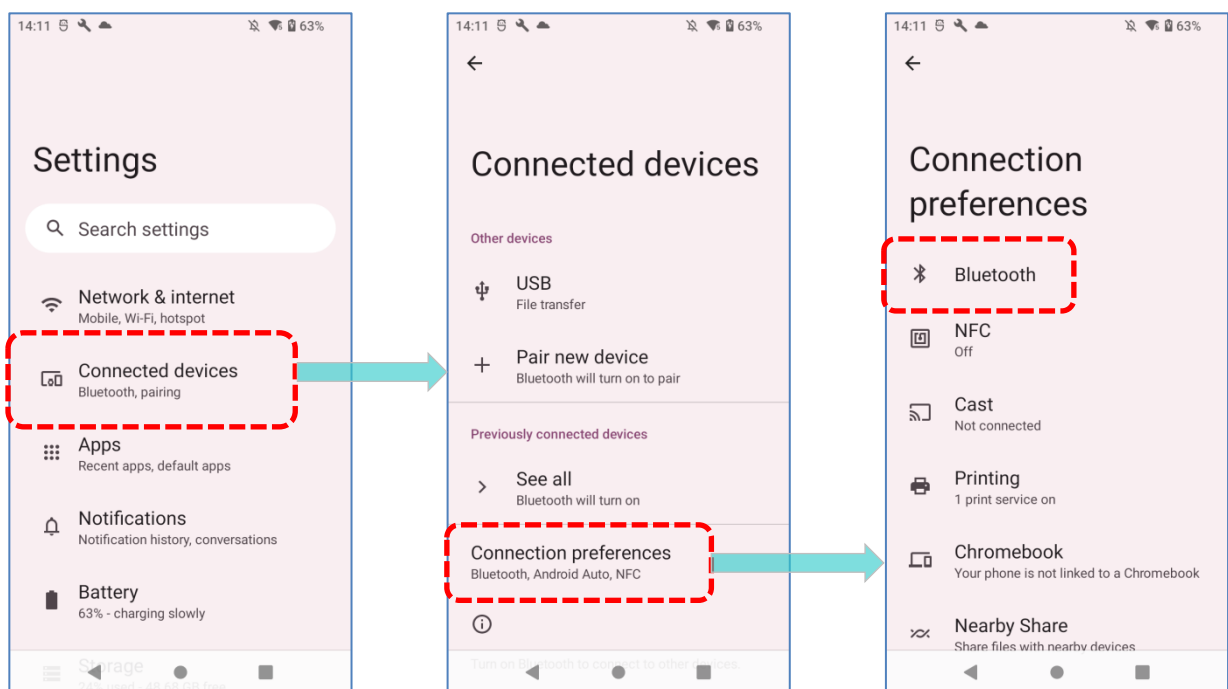
アイコン	説明
	Bluetooth が OFF になっています。
	Bluetooth が ON になっています。

Bluetooth の詳細設定を行うために「**Connected devices (接続済みのデバイス)**」ページに入るには、**クイック設定パネル**の Bluetooth アイコン  を長押ししてください。

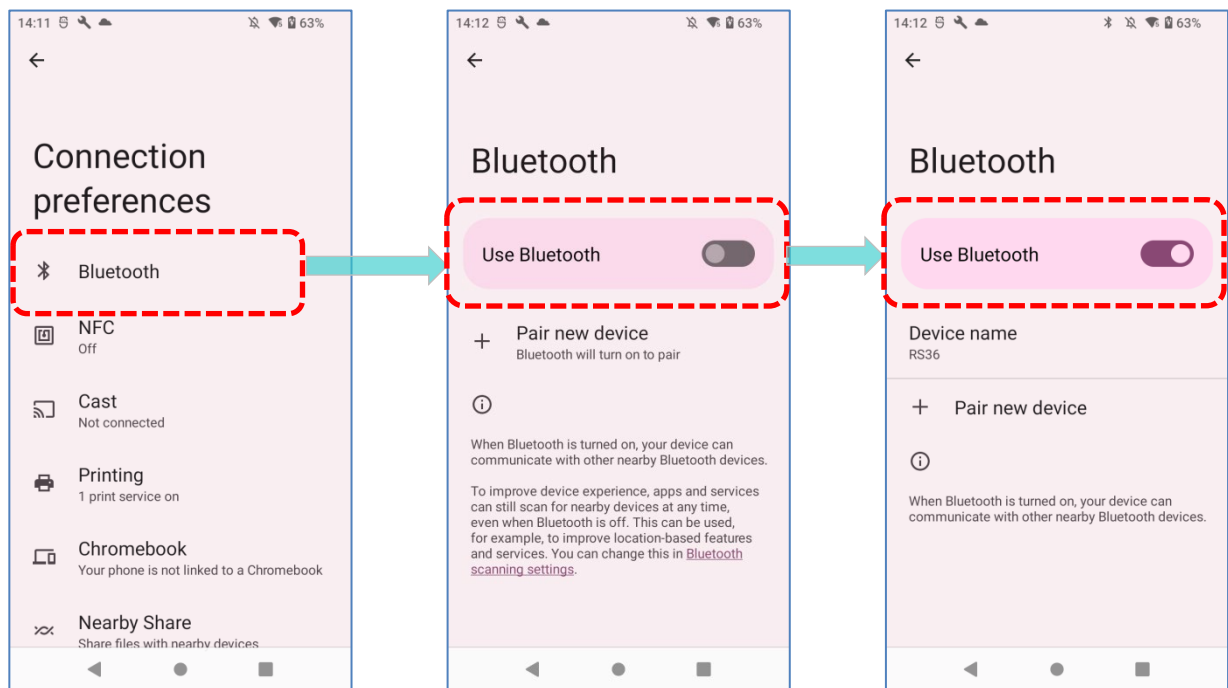


OR

- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Connected devices \(接続済みのデバイス\)](#)  | [Connection preferences \(接続の設定\)](#) | [Bluetooth](#)  に移動します。



2) この機能を有効にするために、スイッチをタップして Bluetooth の可視性を有効にしてください。






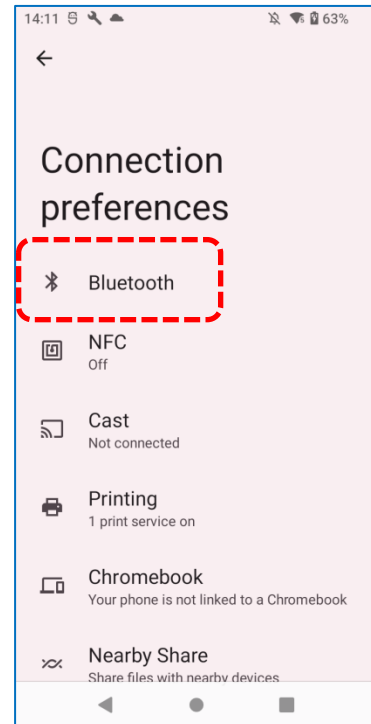
注意：

Bluetooth がオンになっている場合、モバイルコンピュータがスリープ状態でもアクティブです。ただし、電源モードが飛行機モードに切り替わると、Bluetooth は設定に関係なくオフになります。

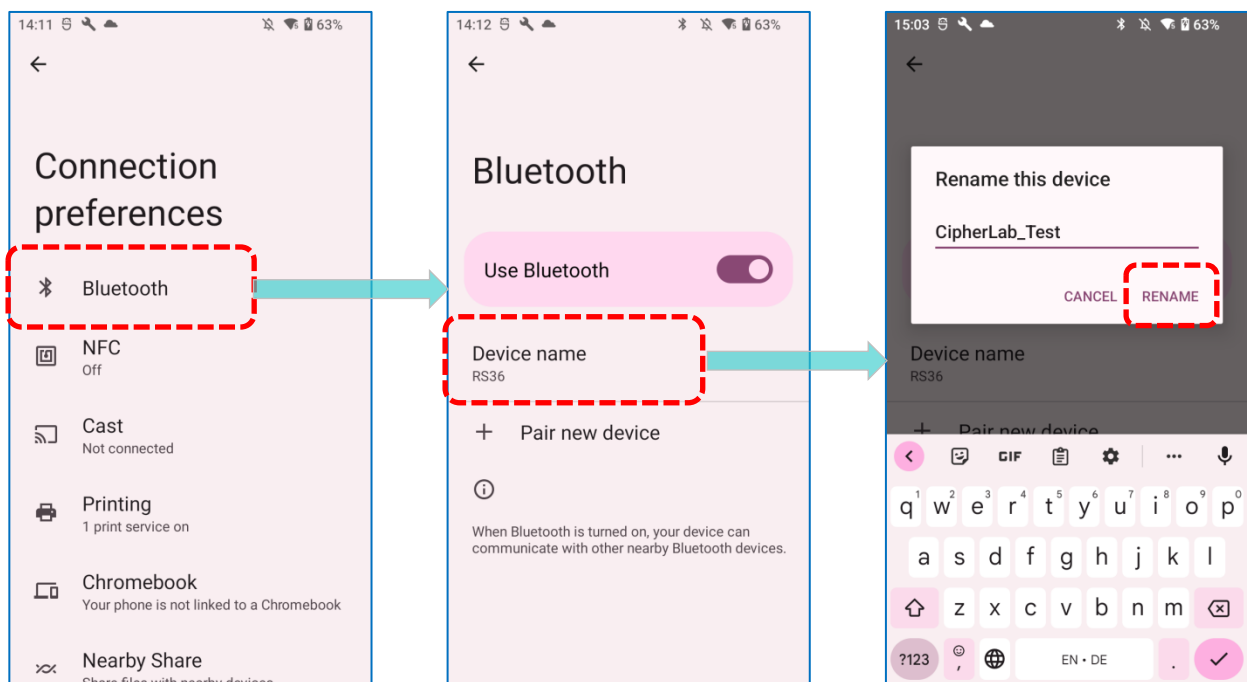
4.2.3. BLUETOOTH 名の変更

このモバイルコンピュータの Bluetooth 名を変更するには、次の手順に従ってください。



- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#) 
 - | [Connected devices \(接続済みのデバイス\)](#) 
 - | [Connection preferences \(接続の設定\)](#) | [Bluetooth](#) 
 - に移動します。



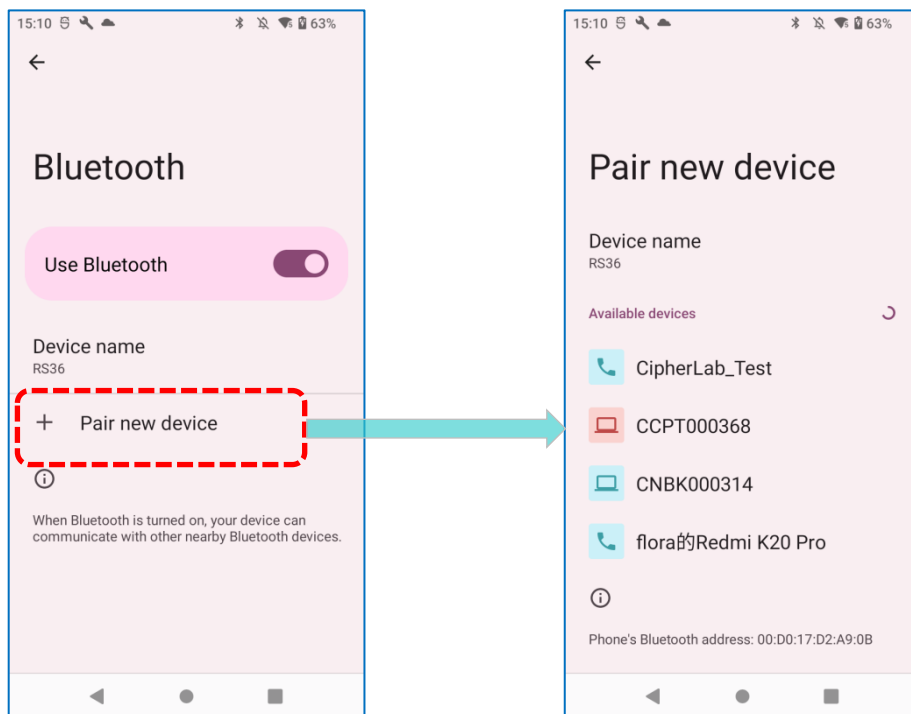
- 2) 「**Device name (デバイス名)**」をタップすると、「**Rename this device (このデバイス名を変更)**」というポップアップウィンドウが表示されます。
- 3) フィールドに新しい名前を入力し、「**RENAME (名前を変更)**」をタップします。



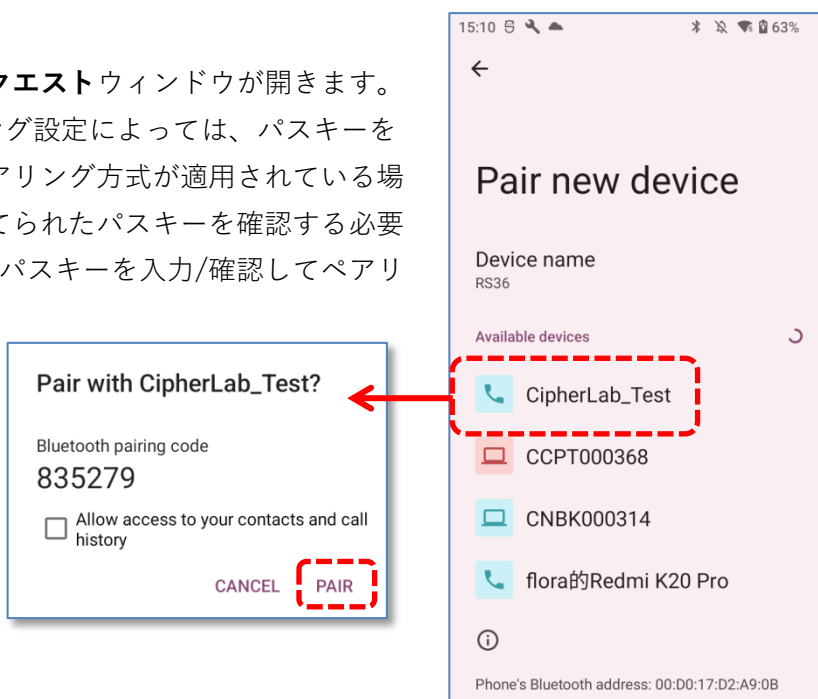
4.2.4. BLUETOOTH デバイスのペア

- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Connected devices \(接続済みのデバイス\)](#)  | [Connection preferences \(接続の設定\)](#) | [Bluetooth](#)  に移動します。

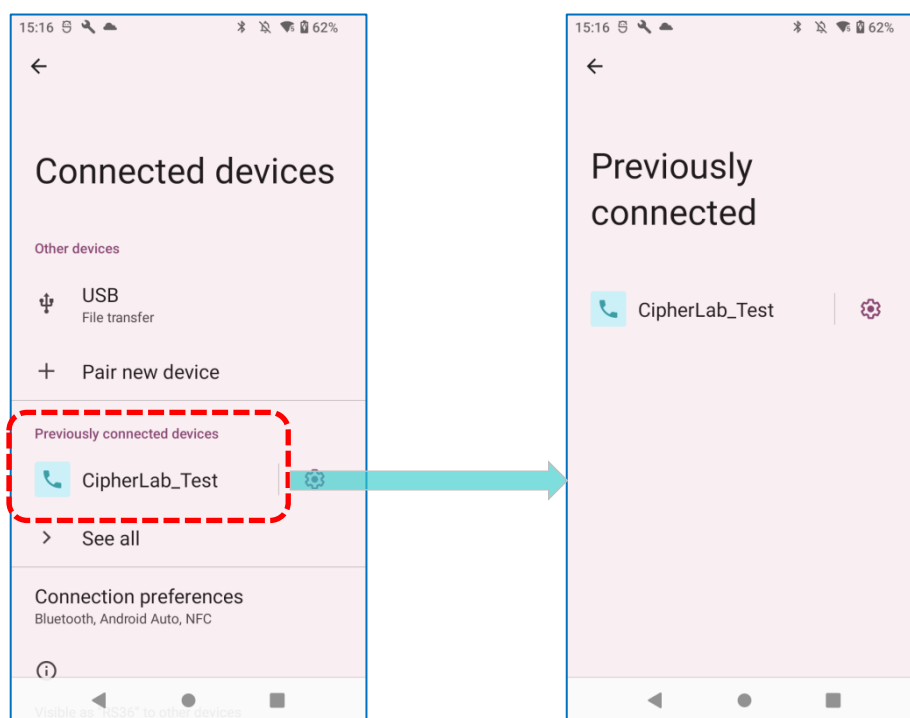
近くに利用可能な Bluetooth デバイスをスキャンするには、スイッチを**オン**にしてください。リストをスクロールして、ペアリングしたいデバイスをタップしてください。



- 2) **Bluetooth ペアリングリクエスト**ウィンドウが開きます。Bluetooth 機器のペアリング設定によっては、パスキーを入力するか、スマートペアリング方式が適用されている場合はデバイス上で割り当てられたパスキーを確認する必要があります。デバイス上でパスキーを入力/確認してペアリングしてください。



- 3) ペアリングが完了すると、[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#) | [Connected devices \(接続済みのデバイス\)](#) | [Previously connected devices \(以前接続していたデバイス\)](#) で Bluetooth デバイスを見つけることができます。




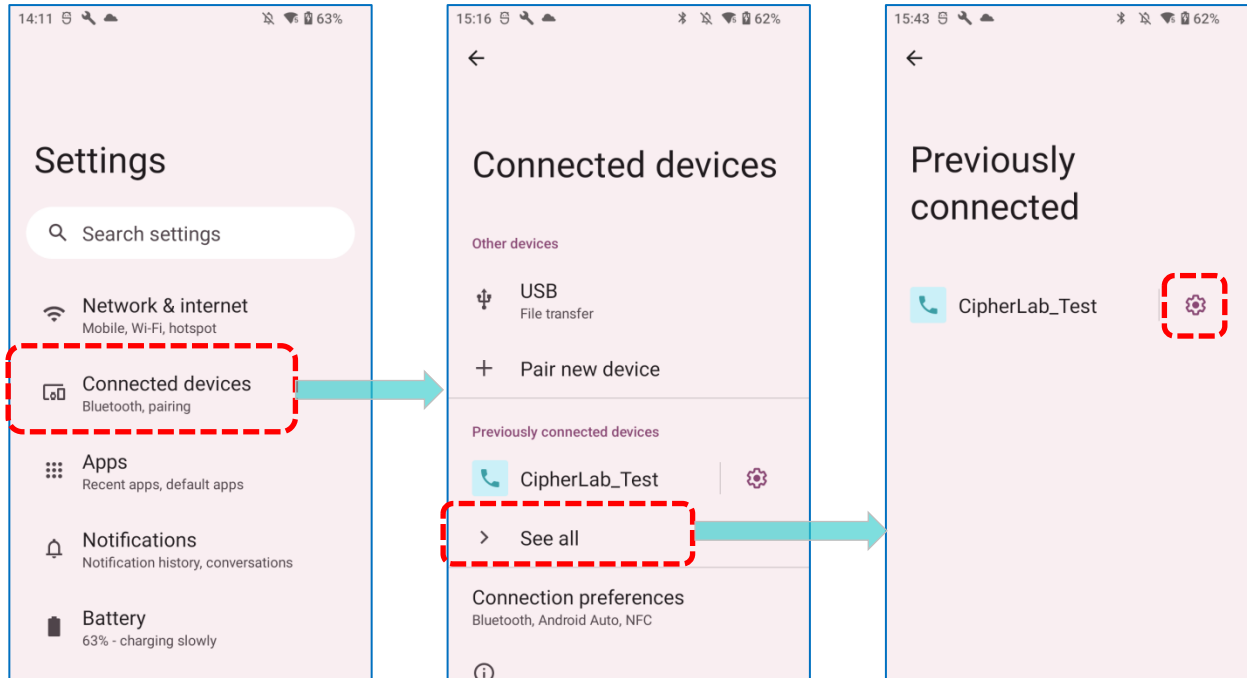
注意：

もしペアリングしたいデバイスがリストに表示されていない場合は、そのデバイスで Bluetooth の可視性が有効になっていることを確認してください。

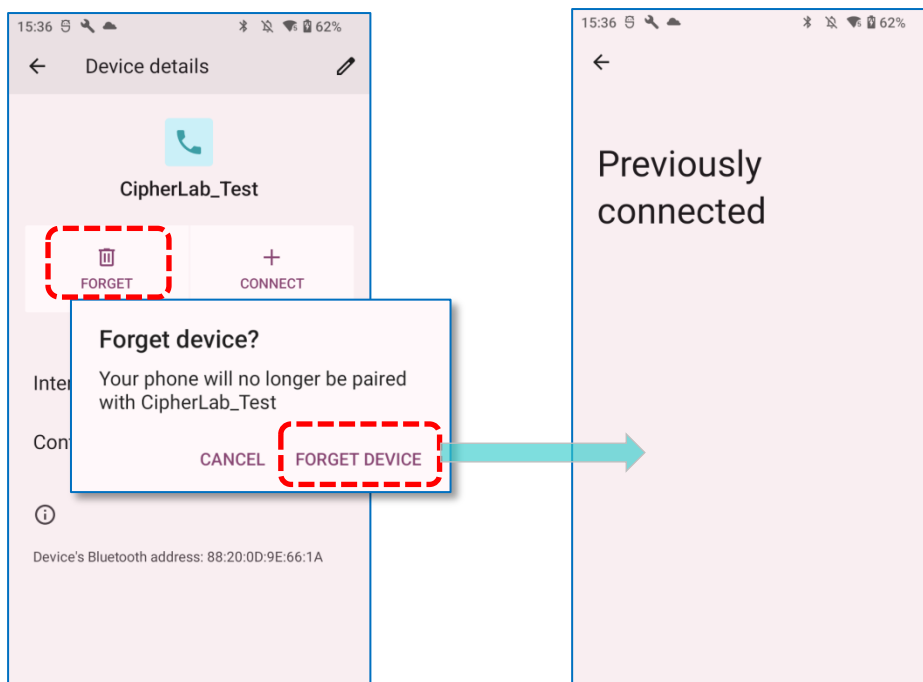
4.2.5. BLUETOOTH デバイスのペアリング解除

ペアリングされたデバイスのペアリングを解除するには、次の手順に従ってください。

- 1) 「**Previously connected devices (以前接続していたデバイス)**」リストで、ペアリングされたデバイスの横にある設定ボタン  をタップします。







- 2) 「**Device details (デバイスの詳細)**」画面で「**FORGET (削除)**」をタップします。

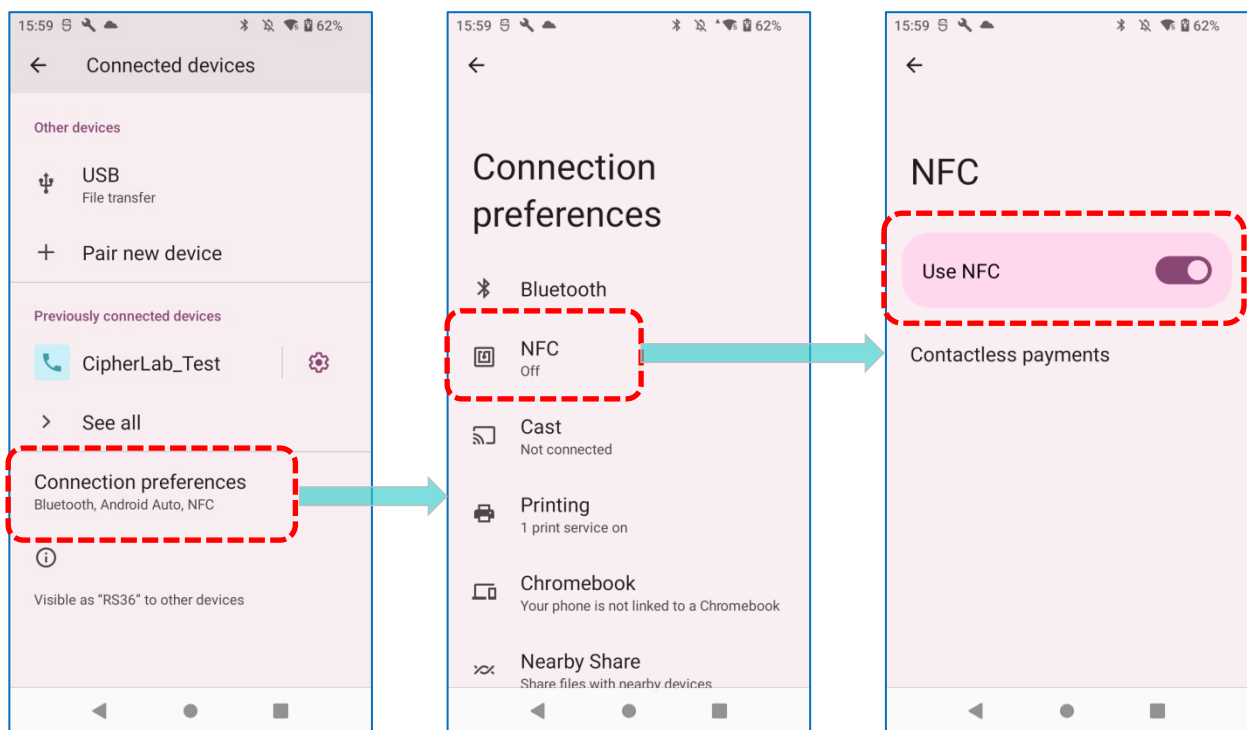


4.3. 近距離無線通信の使用

近距離無線通信（NFC）は、近接（4 cm 以下）を使用して電磁場を介した無線通信を確立する技術です。NFCを有効にすると、モバイルコンピュータはNFCタグから情報を収集したり、他の NFC 対応デバイスと情報を交換したり、許可されていれば NFC タグ上の情報を変更したりすることができます。

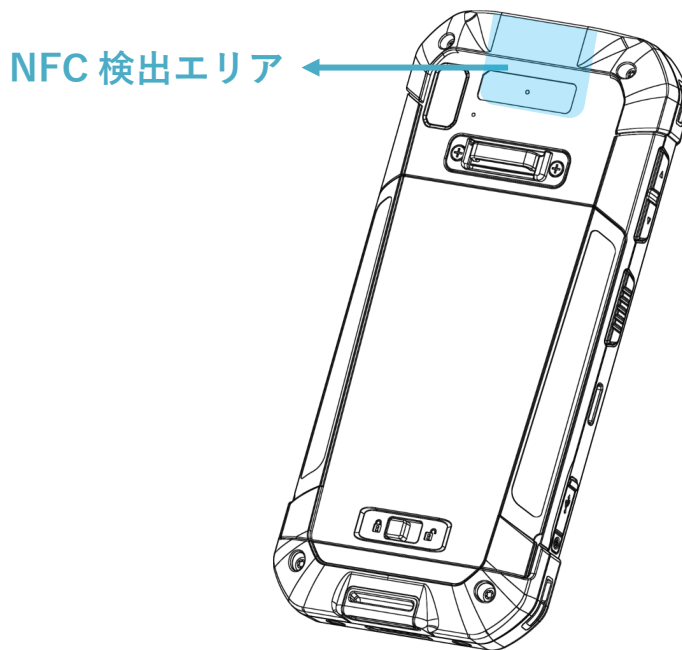
NFC を介した通信を開始する前に、次の手順を実行してください。

- 1) [App Drawer（アプリドロワー）](#) | [Settings（設定）](#)  | [Connected devices（接続済みのデバイス）](#)  | [Connection preferences（接続の設定）](#) | [NFC](#)  に移動します。
- 2) タップして「[NFC](#) 」をオンにします。



4.3.1. NFC 対応 BLUETOOTH デバイスとのペアリング

- 1) ペアリングするデバイスで、NFC が有効になっていることと Bluetooth 検出が有効になっていることを確認します。
- 2) アンテナエリアを覆わずにモバイルコンピュータを持ちます。



- 3) ペアリングのためにモバイルコンピュータをデバイスの近くに移動してください。ペアリングが成功したことを示す画面通知が表示されます。

注意：

データの転送が開始した後、2つのデバイスの距離を 10 m 以内（32.8 フィート）に保つだけでよろしいです。正常に転送するために近距離に保持する必要がありません。

4.3.2. NFC での通信

- 1) モバイルコンピュータで、NFC 対応アプリケーションを起動します。
- 2) アンテナエリアを覆わずにモバイルコンピュータを持ちます。
- 3) アプリケーションがデータ転送が完了したことを示すまで、モバイルコンピュータを NFC タグまたはデバイスの近くに置きます。

第 5 章

電話の使い方

RS36 モバイルコンピュータは、LTE（Long Term Evolution）での通話やネットワーク接続が可能です。電源を入れる前に SIM カードを挿入してください。[SIM カードとメモ리카ードの取り付け](#)を参照してください。

注意：

SIM 2 カードスロットはオプションです。

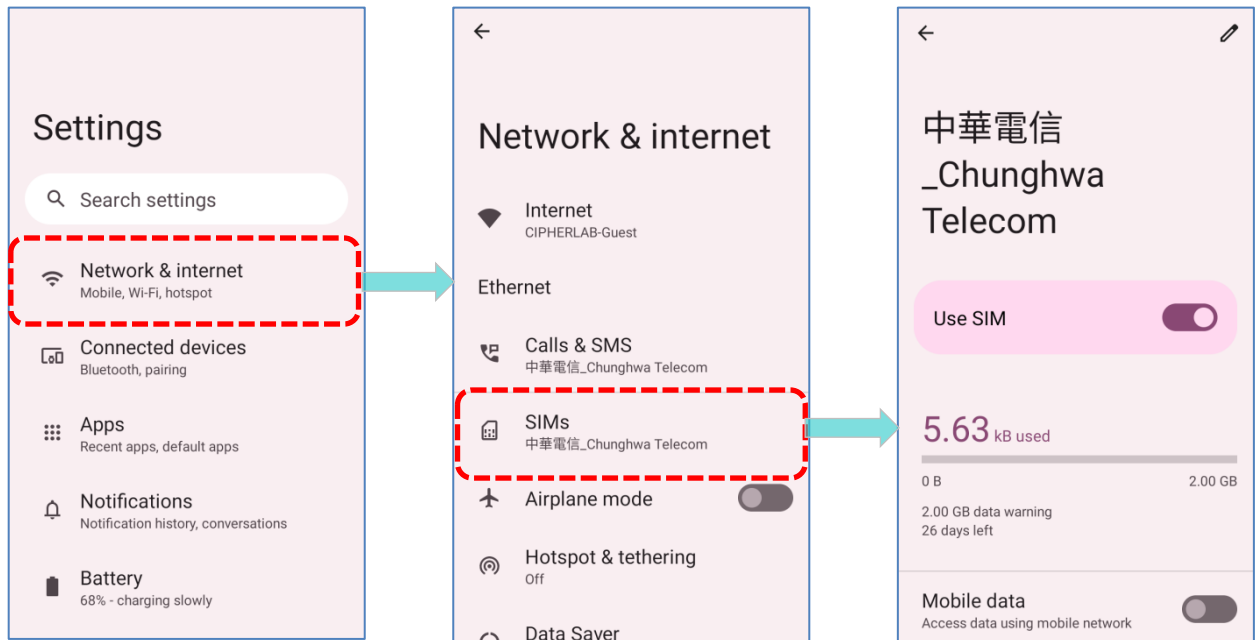
この章では

5.1. SIM カード管理	167
5.2. 電話アプリケーション	170
5.3. オーディオモード	181
5.4. 通話音量	182

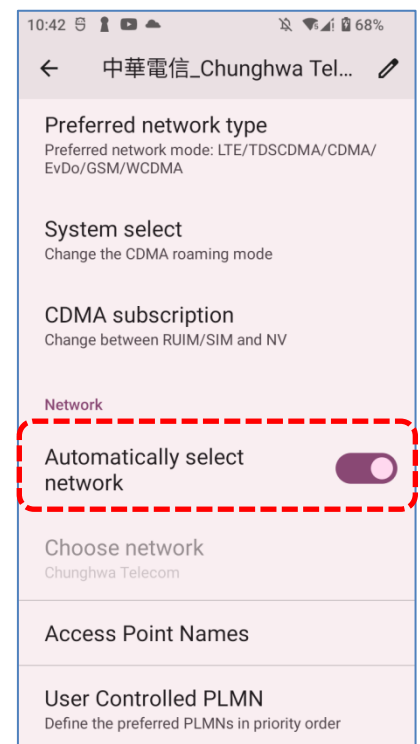
5.1. SIM カード管理

セルラーネットワークのデフォルト設定は「**Automatically select network (ネットワークを自動的に選択)**」です。手動でセルラーネットワークを選択するには、次の手順に従ってください。

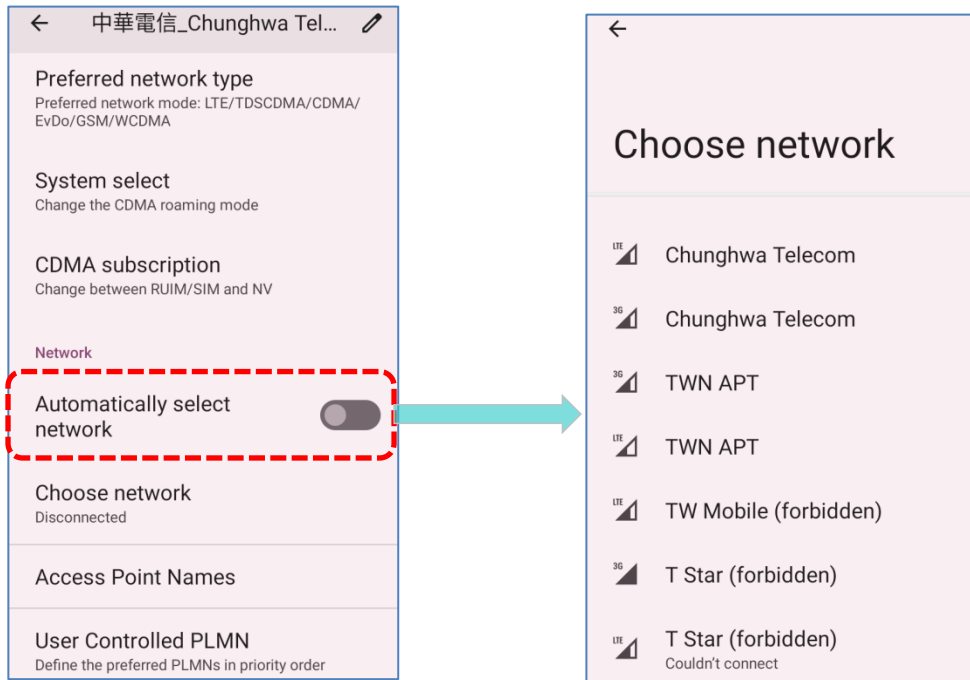
- 1) **App Drawer (アプリドロワー) | Settings (設定) | Network&Internet (ネットワークとインターネット) | SIM** にも移動します。



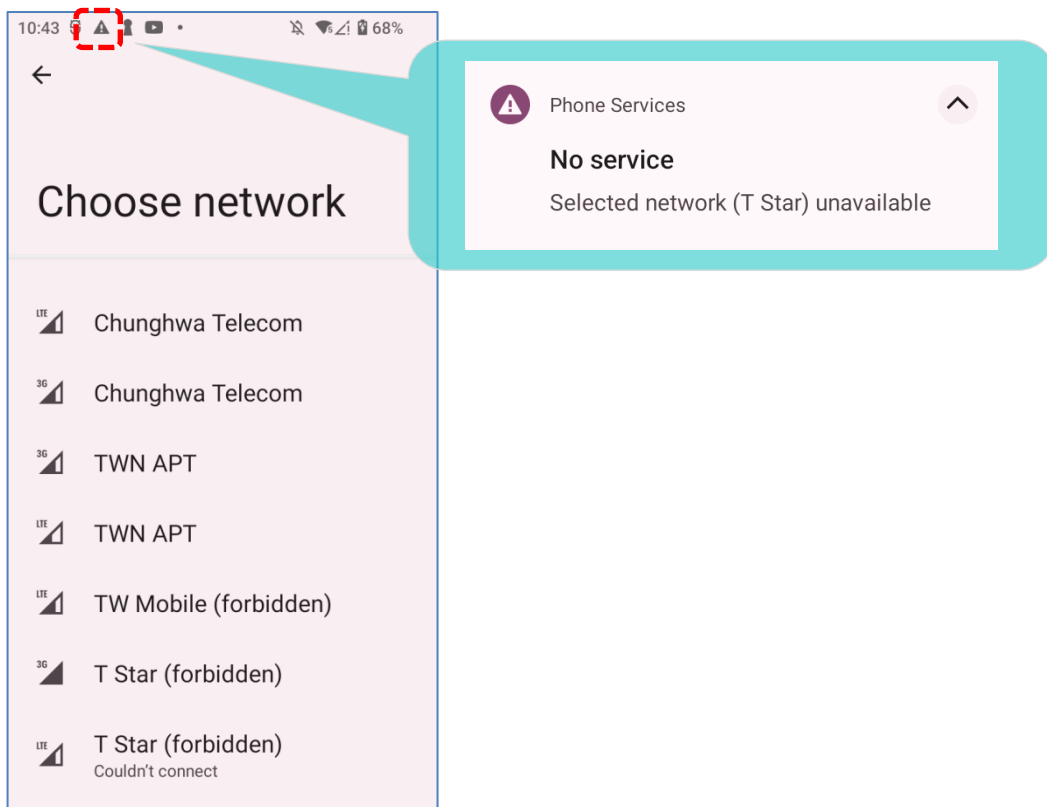
- 2) モバイルネットワークページをスクロールして「**Automatically select network (ネットワークを自動的に選択)**」を見つけ、無効にします。



- 3) 「**Automatically select network (ネットワークを自動的に選択)**」をオフにすると、検索後に「**Choose network (ネットワーク選択)**」がポップアップしてネットワークが一覧表示されます。一覧から好みのネットワークを選択します。



- 4) 選択したネットワークが使用できない場合は通知が表示されます。上記の手順を繰り返して、再度ネットワークを選択してください。



注意：

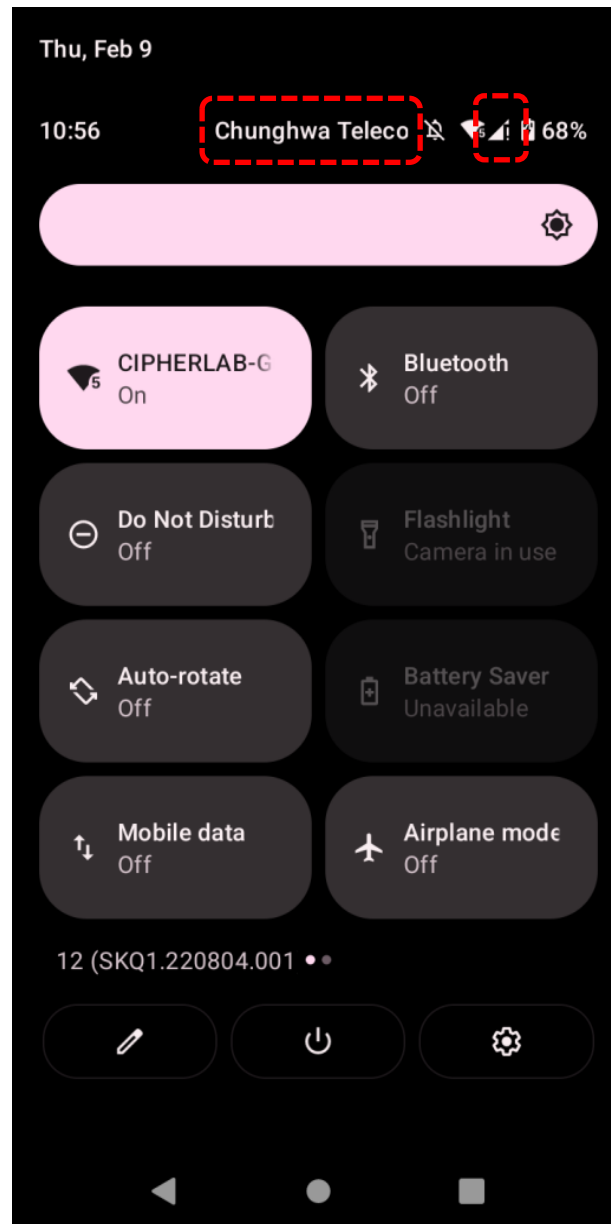
SIM 2 カードスロットはオプションです。

緊急コール


サービスプロバイダーによっては、SIM カードがロックされている場合や、SIM カードが挿入されていない場合でも、緊急電話をかけることができる場合があります。緊急電話番号は国によって異なります。

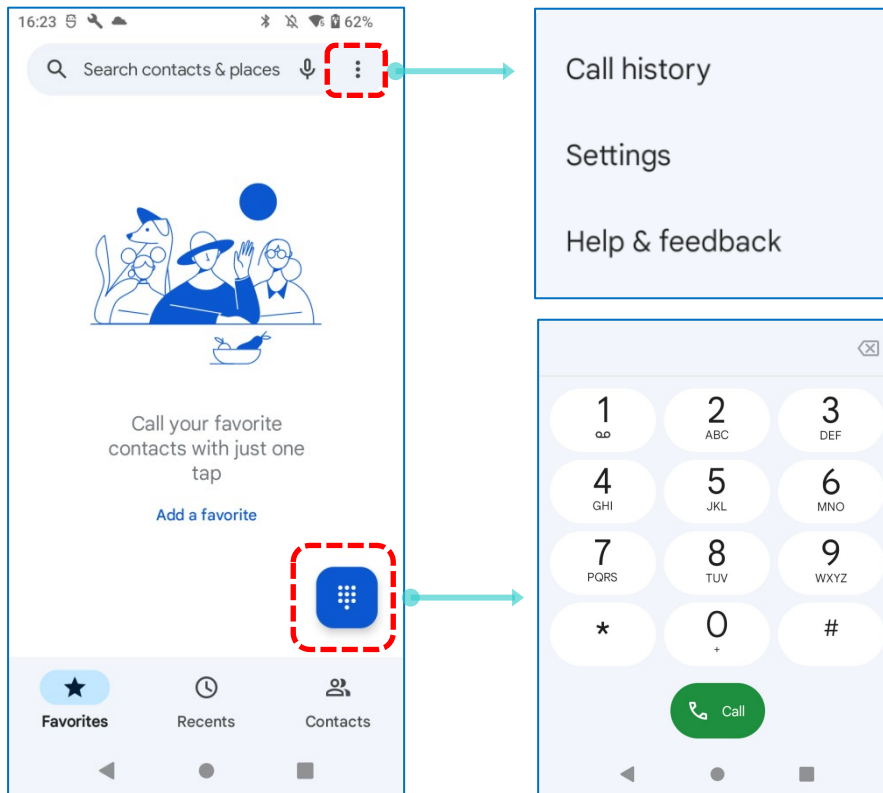
5.2. 電話アプリケーション

モバイルコンピュータにSIMカードが挿入されている場合、クイック設定メニューの上部に信号アイコンが表示され、接続の信号強度を示します。






5.2.1. 電話インターフェイス

電話アプリケーションを起動するには [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | **Phone (電話)**  に移動してください。



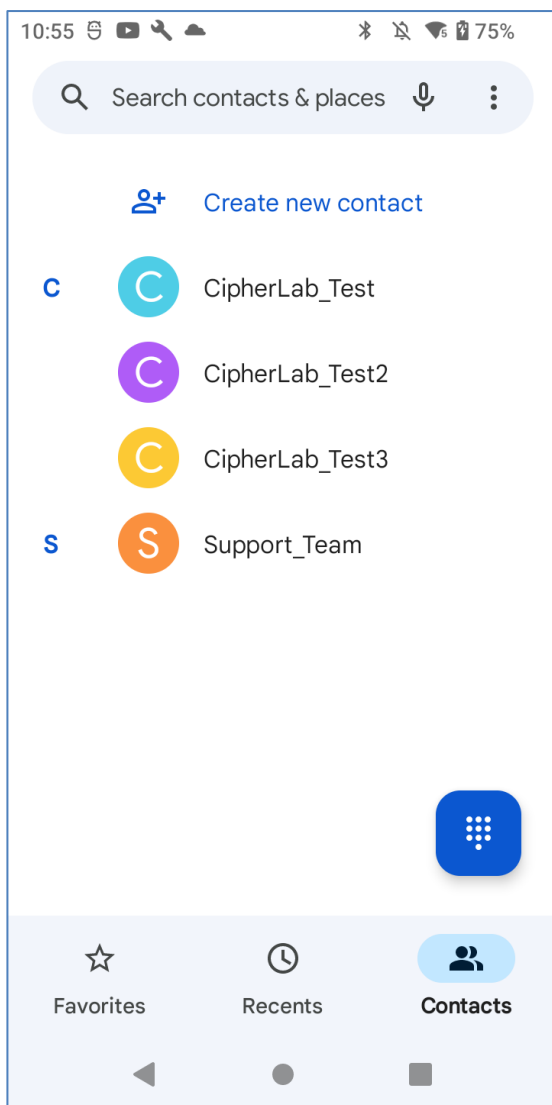
アプリケーション「**Phone (電話)**」には3つのタブページが含まれています。

項目	説明
 Favorite お気に入り	お気に入りの連絡先と頻繁な通話を表示します。
 History 履歴	すべての通話履歴を表示します。
 Contacts 連絡先	連絡先の一覧を表示します。

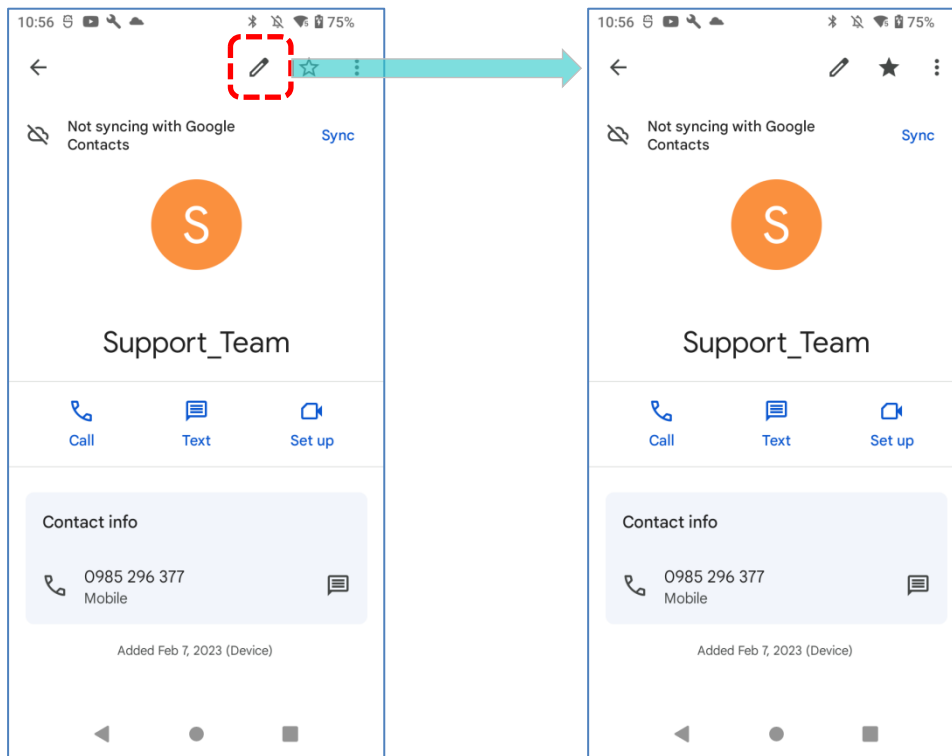
お気に入りの連絡先を追加する方法

お気に入りの連絡先は「Favorite（お気に入り）★」タブページに表示され、電話をすばやくかけることができます。お気に入りの連絡先を追加するには、次の手順に従ってください。

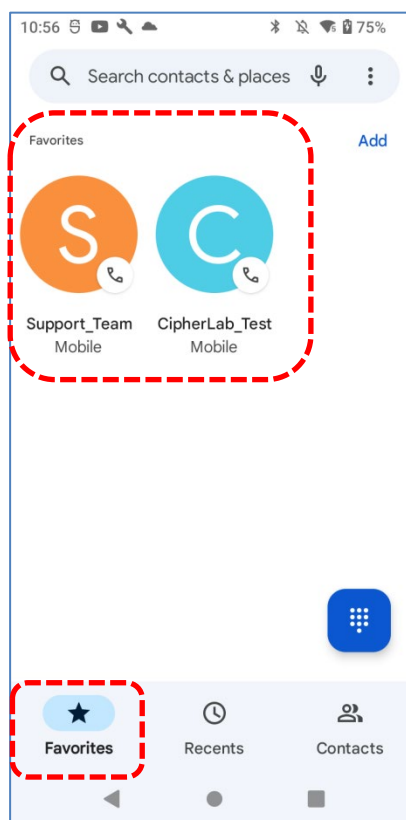
- 1) 「Contacts（連絡先）👤」タブページで、お気に入りに設定したい連絡先をタップして、連絡先の詳細ページに入ります。





- 2) 右上のスタートマークをタップして、この連絡先をお気に入りとしてマークします。




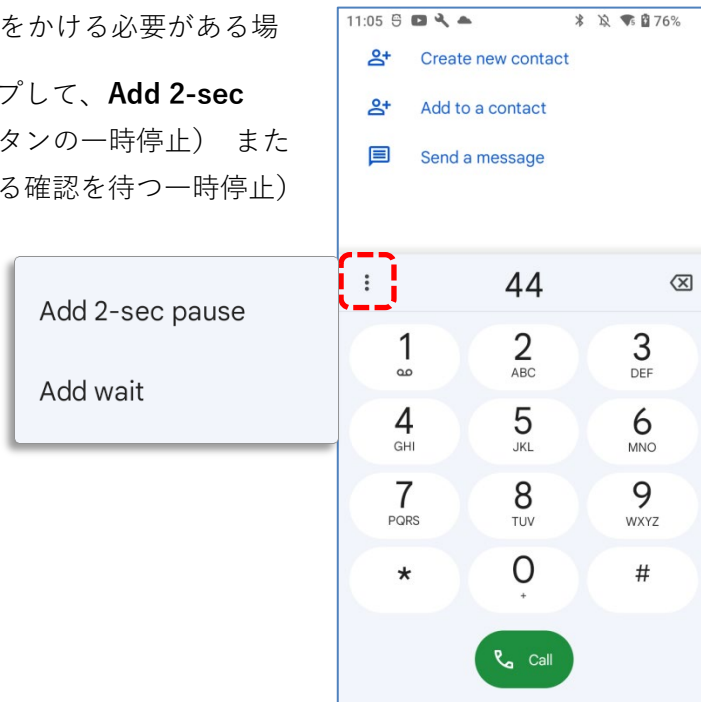
- 3) 「Favorite (お気に入り) ☆」タブページに戻ると、お気に入りとしてマークした連絡先が「Favorite (お気に入り) ☆」タブページに表示されるようになります。



5.2.2. 電話をかける方法



 をタップしてダイヤルパッドを展開し、ダイヤルパッドに電話番号を入力し、 をタップして通話を開始します。

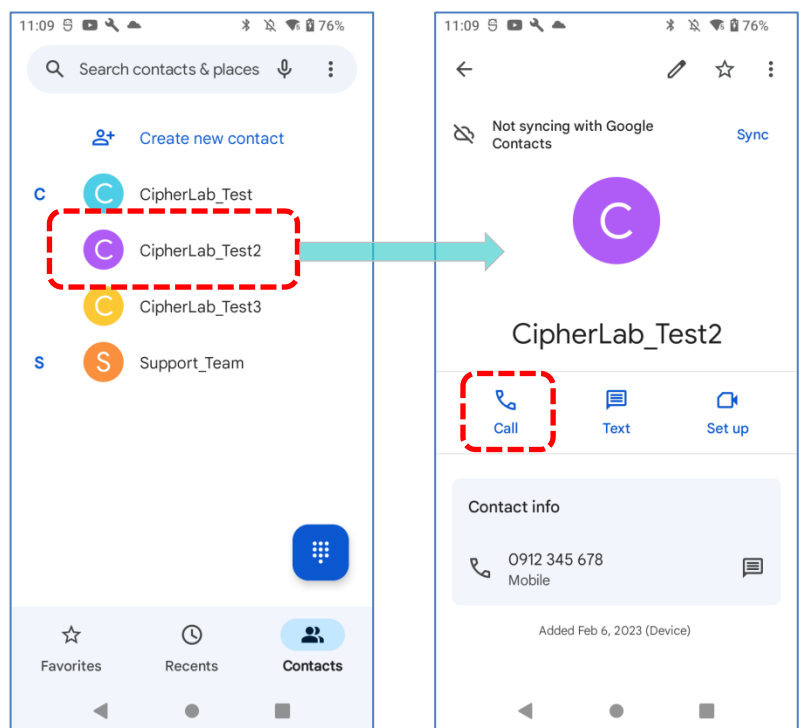
対話型音声応答システムによく電話をかける必要がある場合は、番号の横にある  をタップして、**Add 2-sec pause**（2秒間のボタンの一時停止）または **hard pause**（次の数字を送信する確認を待つ一時停止）を追加できます。



連絡先を使用して電話をかける方法

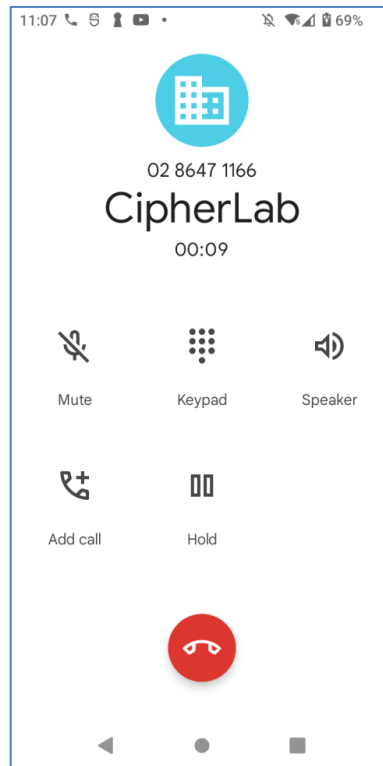
連絡先を使用して電話をかけるには、次の手順に従ってください。

- 1) 電話アプリケーションのページで、「**Contacts (連絡先)** 」をタップして入ります。
- 2) 連絡先の詳細ページに入り、そして「**Call (通話)** 」をタップして電話をかけます。



5.2.3. 通話中の操作

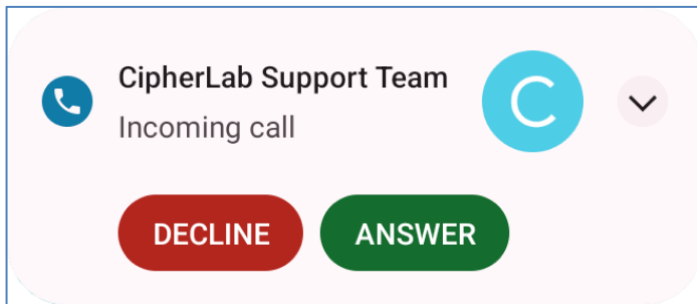
通話が接続されると、電話のキーパッドに次のボタンが表示されます。



ボタン		説明
	Mute ミュート	通話をミュートします。
	Keypad キーパッド	キーパッドを開きます。
	Speaker スピーカー	音声スピーカー音声に切り替わります。
	Add call 通話を追加	通話に別の人を追加します。
	Hold 保留	通話を保留にします。
	Hang up 通話を終了	通話を終了します。

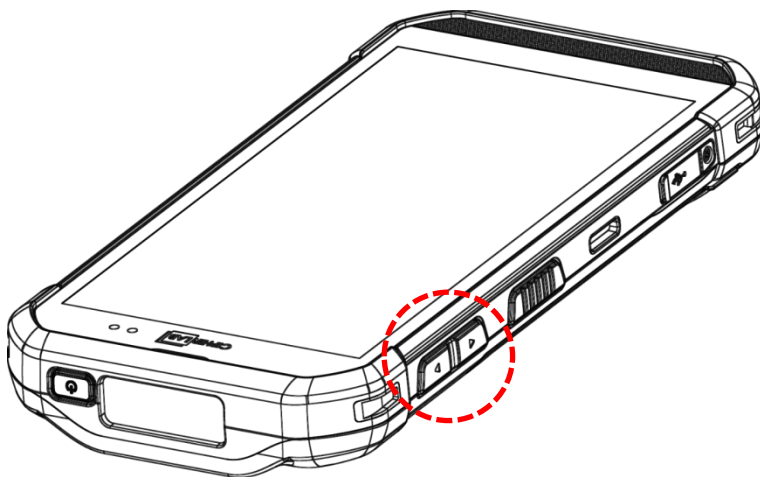
5.2.4. 着信コールの受信

モバイルコンピュータで電話がかかってきたら、「ANSWER（電話に出る）」をタップして電話に出る。




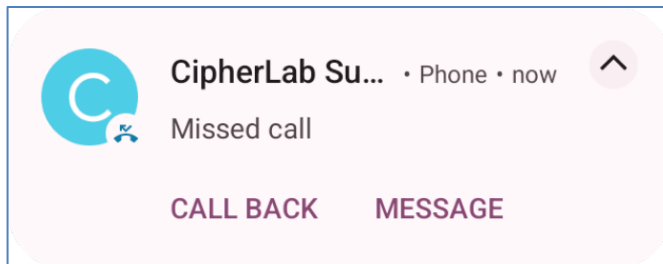
着信した電話は、電話アプリに記録されます。不在着信の場合は、通知が表示されます。不在着信の電話を確認するには、[不在着信の確認](#)を参照してください。



着信音を消音にするには、音量ダウンボタンを押してください。



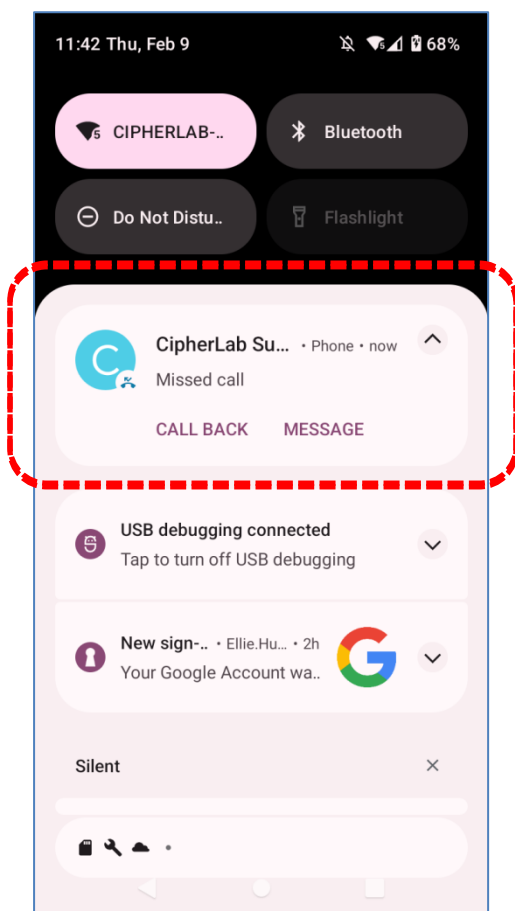
5.2.5. 不在着信の確認

不在着信がある場合は、ステータスバーに通知アイコン  が表示されます。不在着信通知はロック画面にも表示されます。



(この機能をオン/オフするには、[App Drawer \(アプリドロワー\)](#) | [Settings \(設定\)](#)  | [Notifications \(アプリと通知\)](#)  | [Notifications \(通知\)](#) | [Notifications on lock screen \(ロック画面上の通知\)](#) にて調整してください。)

画面のロックを解除し、[通知ドロワー](#)で不在着信を管理できます。




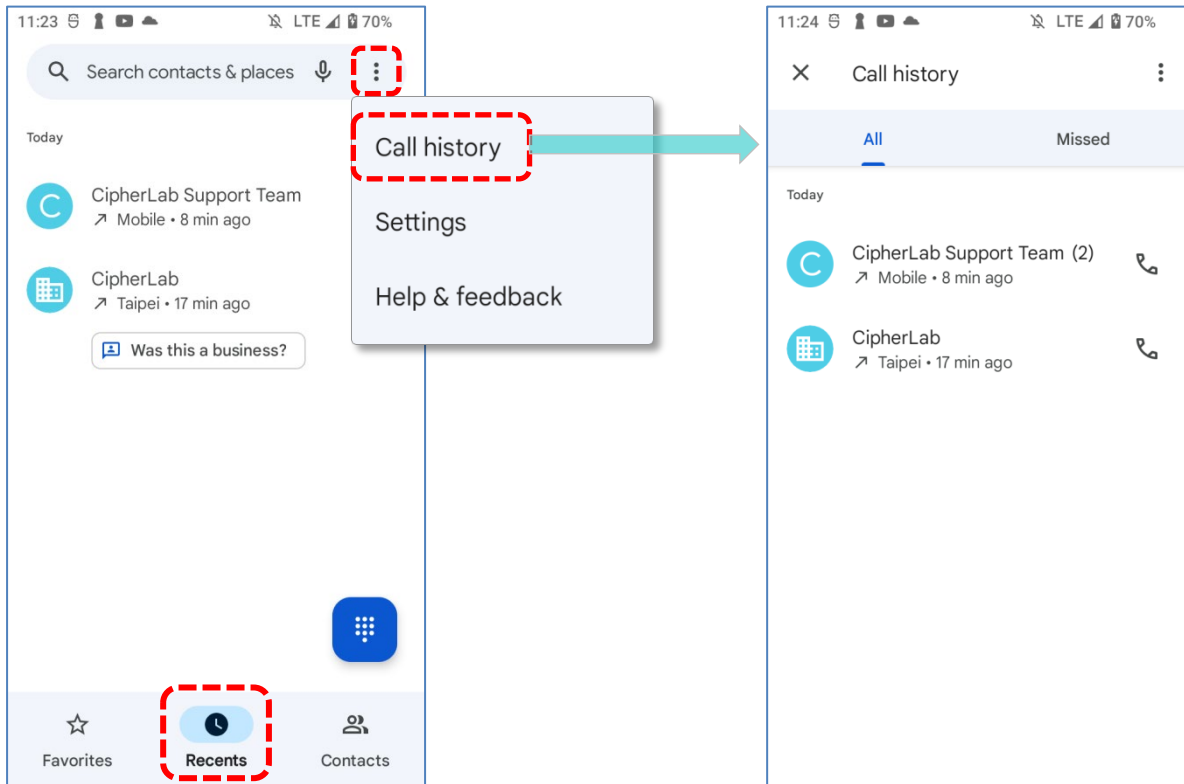
5.2.6. 通話履歴


通話履歴を確認するには、次の手順に従ってください。


電話アプリを開き、最近の通話履歴を表示する「**Recents (履歴)**」タブページに移動します。


OR

詳細ボタン  をタップしてから、**Call history (通話履歴)** をタップします。




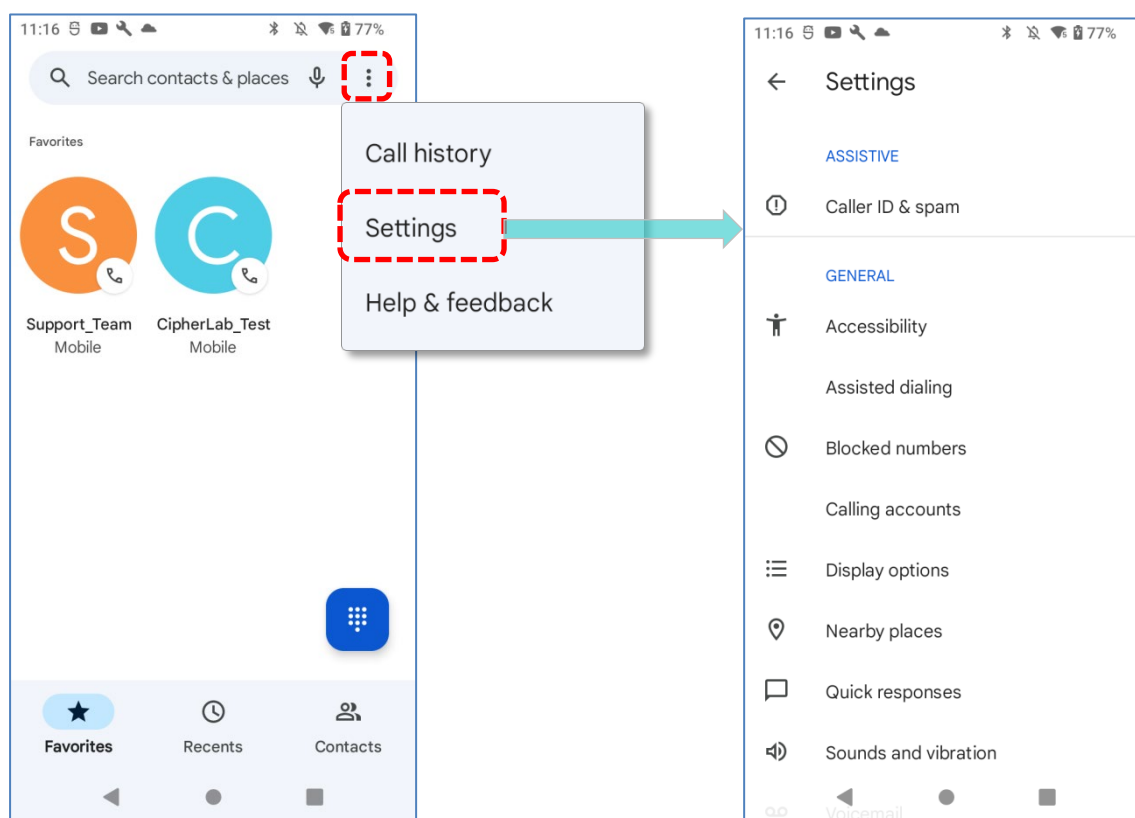
項目	説明
	発信、着信。
	不在着信。

通話記録の横にある電話アイコン  をタップすると、通話をかけ直すことができます。

通話履歴をクリアするには、通話履歴ページの**詳細**ボタン  をタップしてから、**通話履歴**をクリアします。

5.2.7. 通話の設定

詳細ボタン  をタップし、「**Settings (設定)**」を選択して設定ページに入ります。



各設定をタップすると、その他の設定オプションが表示されます。


5.2.8. 電話会議のやり方


電話会議をかけるには、次の手順に従ってください。

- 1) 電話アプリケーションページで、最初に通話する番号を入力し、通話を開始するために

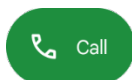


をタップします


- 2) 通話話が開始されたら、をタップして、他の参加者を追加します。最初の通話は保留状態になります。



- 3) 通話履歴または連絡先から直接 2 番目の参加者を選択するか、ダイヤルパッド  をタッ

プして通話する電話番号を入力し、






をタップして通話を開始します。

- 4) 2 番目の通話が接続されたら、最初の通話は引き続き保留状態になります。3 者会議通話を開始するために、マージボタン  をタップします。

- 4 人目の参加者を追加するには、 をタップしてください。3 者通話が保留状態になります。ステップ 3 と同様の手順で通話を開始してください。通話が接続されると、3 者通話は引き続き保留状態になります。 をタップして、3 者通話を会話に追加します。4 者会議通話が開始されます。

- すべての通話参加者を表示するには、「**会議通話を管理**」をタップします。

- メンバーを削除するには、メンバーの横にある  をタップします

- 参加者と個別に会話する場合は、参加者の横にある  をタップします。すると会議通話が保留状態になります。 をタップして会議通話に戻ることができます。

5.3. オーディオモード

モバイルコンピュータでは、通話用に3種類のオーディオモードが用意されています。。

ハンドセットモード

これは通話時にタッチスクリーン上部にあるレシーバーを使用したデフォルトのオーディオモードです。

スピーカーモード

このモードでは通話中に内蔵スピーカーを使用してオーディオを出力します。

ヘッドセットモード

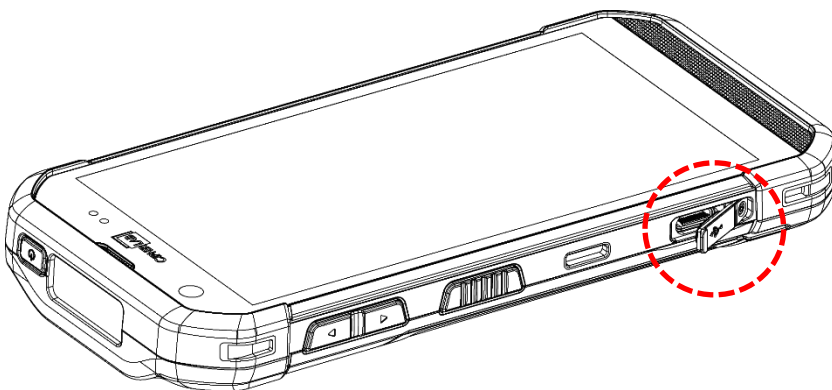
Bluetooth ヘッドセットまたは有線のヘッドセットをモバイルコンピュータに接続して通話中にオーディオを出力します。

BLUETOOTH ヘッドセットを使用する

Bluetooth デバイスを接続するためにモバイルコンピュータをペアリングする方法は [「Bluetooth デバイスのペアリング」](#) を参照してください。Bluetooth ヘッドセットが接続されると、スピーカーフォンはミュートされます。

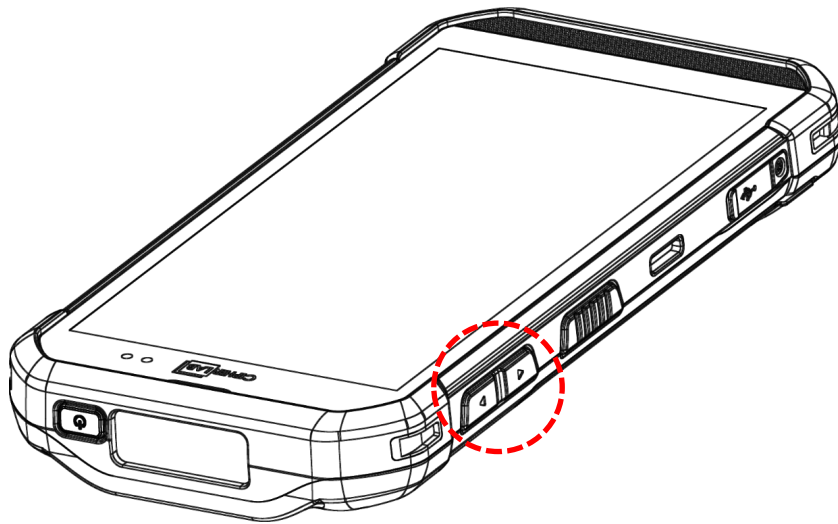
有線ヘッドセットを使用する

RS36 モバイルコンピュータは、ヘッドセットを接続するための USB Type-C オーディオアダプタをサポートしています。USB Type-C オーディオアダプタを USB-C ポートに挿入し、有線ヘッドセットを接続してください。有線ヘッドセットが接続されると、スピーカーフォンはミュートになります。



5.4. 通話音量

音量ボタンを使用して、着信音やシステムの音量を調整できます。通話中には音量ボタンを使用して通話の音量を調整できます。



第 6 章

CIPHERLAB ユーティリティ

この章では、CipherLab が開発した組み込みアプリケーションについて紹介します。

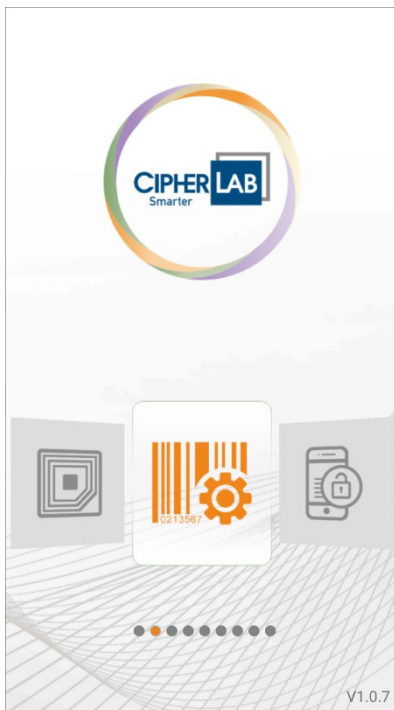
この章では

6.1. A-Demo.....	184
6.2. AppLock (アプリケーションロック)	186
6.3. BarcodeToSetting.....	187
6.4. BT Printer Mate	192
6.5. Button Assignment.....	193
6.6. Enterprise Settings	194
6.7. HF RFID Configuration	196
6.8. ReaderConfig.....	197
6.9. Signature Capture.....	198
6.10. SIP Controller.....	199
6.11. Software Trigger	203
6.12. LogGen (ログジェン)	207
6.13. WirelessInit.....	208
6.14. Ping.....	209

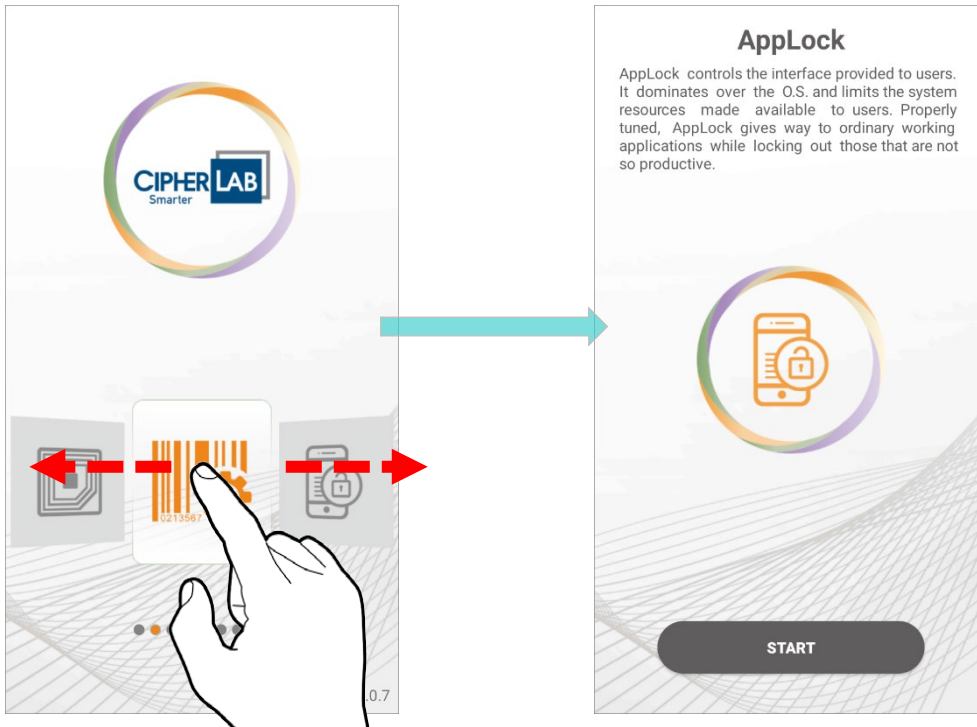
6.1. A-DEMO



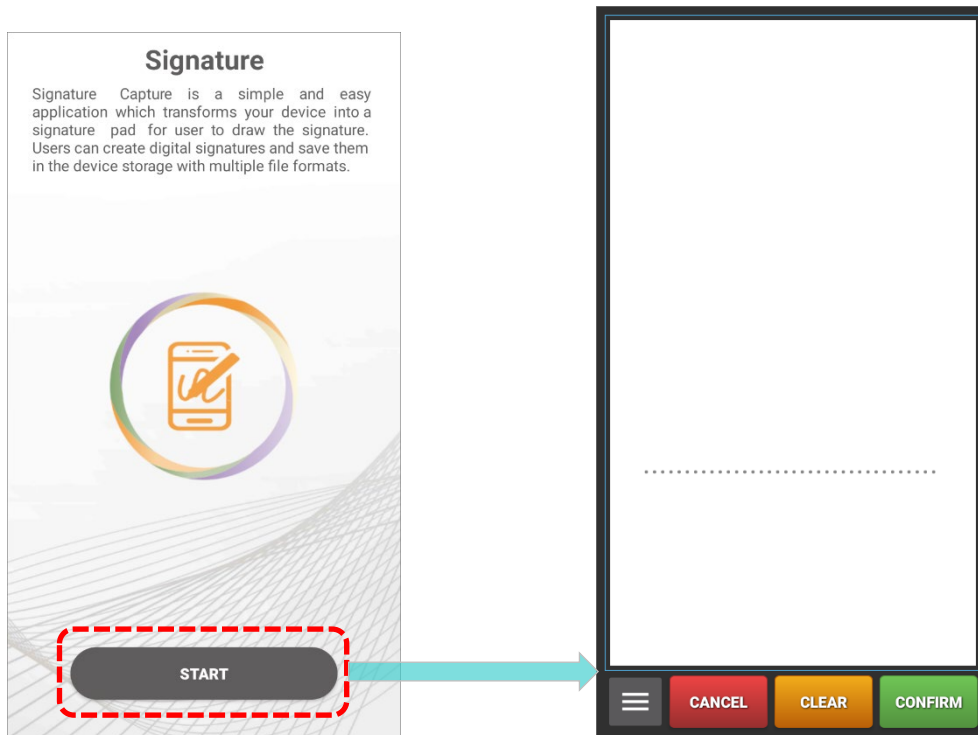
「**A-Demo**」は、CipherLab によって開発されたすべての組み込みアプリケーションについての簡単な紹介を提供するアプリケーションです。



メイン画面に入り、左または右にスワイプして項目を選択すると、機能紹介が表示されます。



アプリ紹介ページで「START」をタップすると、アプリを起動することができます。



6.2. APPLOCK (アプリケーションロック)



AppLock は、ユーザーに提供されるインターフェースを制御するアプリケーションです。それは OS よりも優先し、ユーザーに利用可能なシステムリソースを制限します。適切に調整された AppLock は、生産性の低いアプリケーションをロックアウトしながら、通常の作業アプリケーションに優先します。

複数のモバイルコンピュータを持っている場合、マスター設定のコピーを全てのモバイルコンピュータに簡単に複製することで、一貫性のあるユーザー環境を設定できます。これにより、多くの時間と手間をかけることなく、全てのモバイルコンピュータに統一された設定を適用することができます。

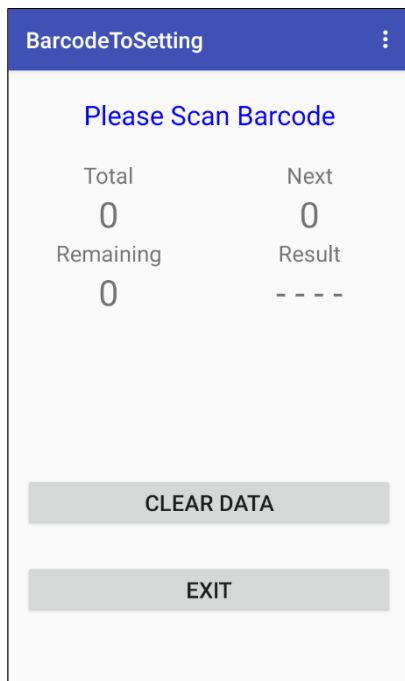
AppLock の操作方法については、[AppLock User Guide for Android](#) を参照してください。

6.3. BARCODETOSETTING



「BarcodeToSetting」は、ADC（Android Deployment Configurator）によって生成された設定バーコードを読み取り、構成を適用するためのアプリケーションです。

「BarcodeToSetting」を起動すると、メイン画面は以下のように表示されます。



項目	説明
Total (合計)	スキャンするバーコードの合計量。
Next (次へ)	次にスキャンするバーコードの項目番号。
Remaining (残り)	スキャンする残りのバーコードの量。
Result (結果)	設定結果は「Success」または「FAIL」となります。
CLEAR DATA (クリアデータ)	先ほどスキャンしたバーコードのデータをクリアします。
EXIT (終了)	アプリケーション「BarcodeToSetting」を終了します。

ADC で生成された設定バーコードは、例の図に示されているように 1D または 2D の形式があります

■ 1D バーコード :

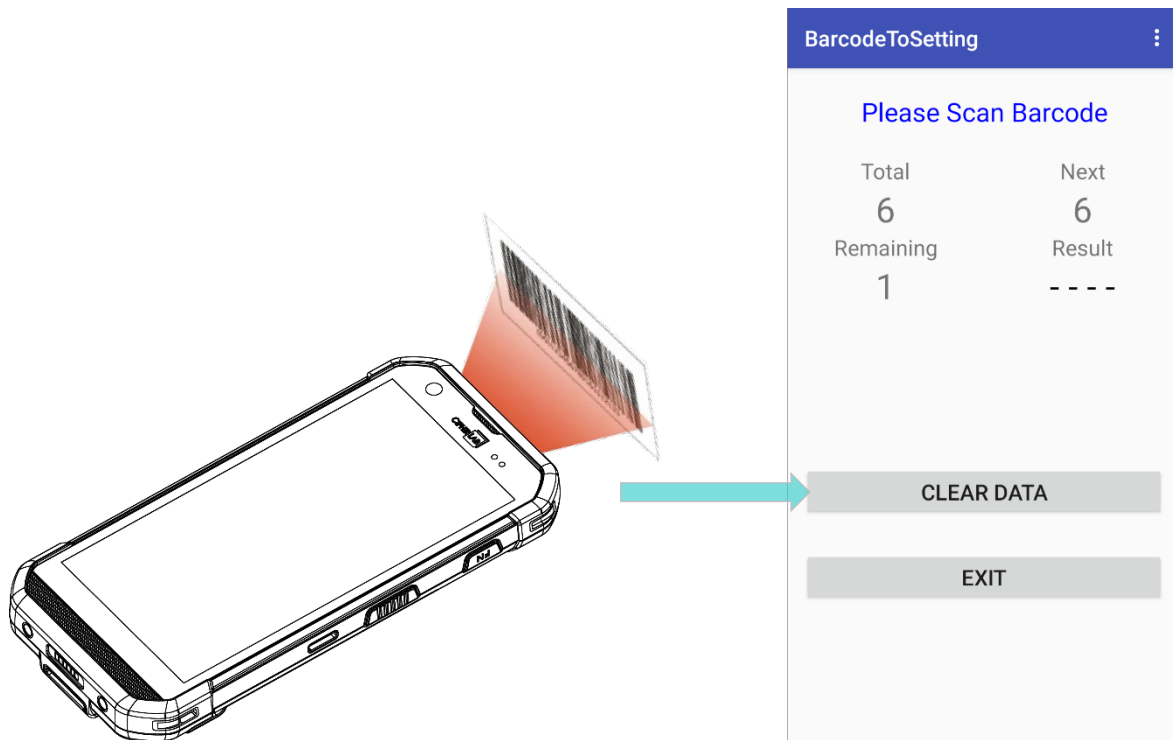


■ 2D バーコード :

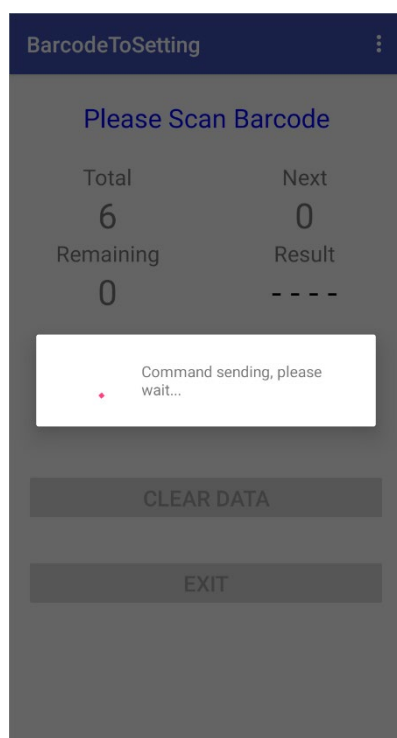


バーコードをスキャンして設定を適用する方法

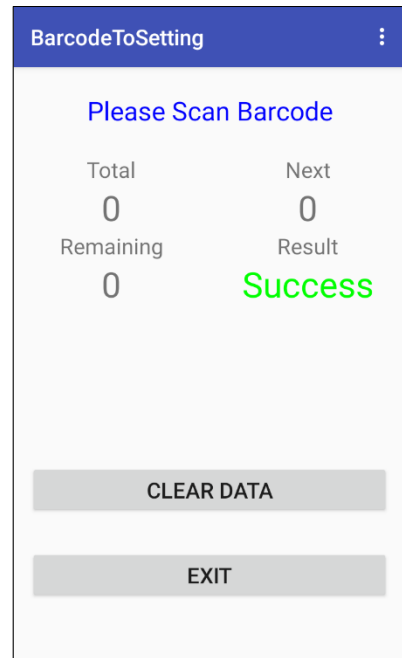
設定バーコードを読み取るには、スキャンウィンドウをバーコードに向けて照準し、サイドトリガーのいずれかを押します。スキャンライトが印刷されたバーコードを読み取ります。



設定バーコードのスキャンが完了してから、デバイスが設定を適用するまでに数秒かかります。

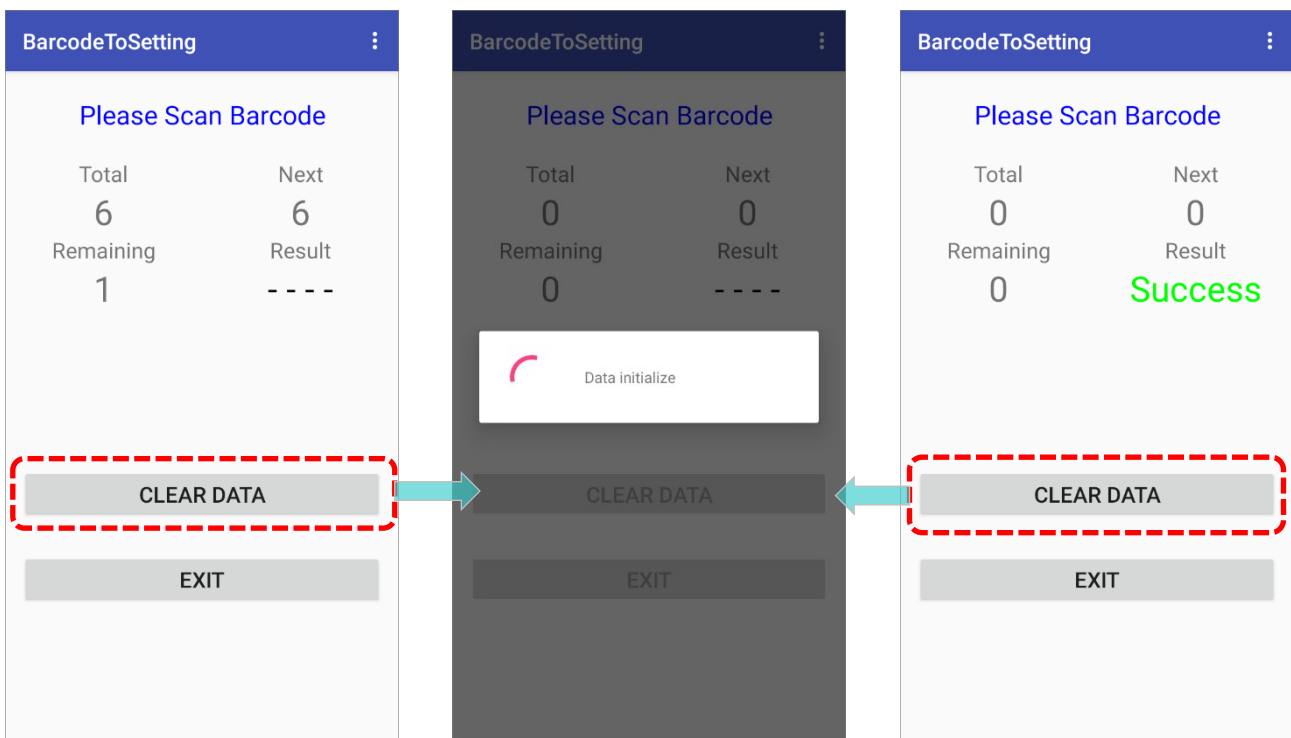


設定が完了しました。



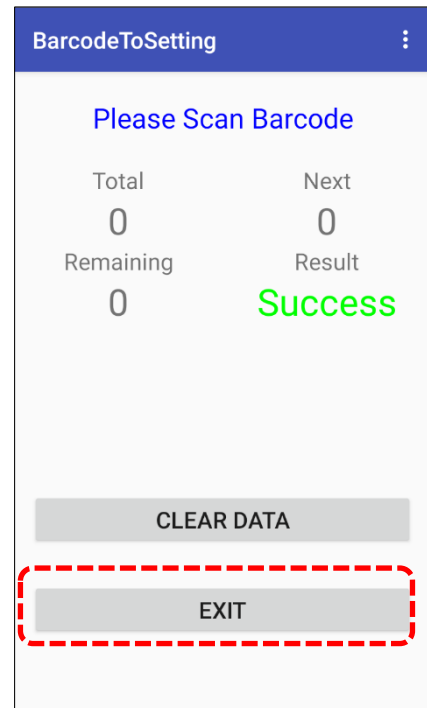
データのクリア

スキャン手順中（設定の適用が始まる前）に「**CLEAR DATA（データをクリア）**」を実行して、最初からやり直すことができます。または、設定完了後に「**CLEAR DATA（データのクリア）**」ボタンをタップして、生成した他のバーコードをスキャンして他の設定を適用することもできます。




EXIT（終了）

「EXIT」ボタンをタップすると「BarcodeToSetting」を終了します。

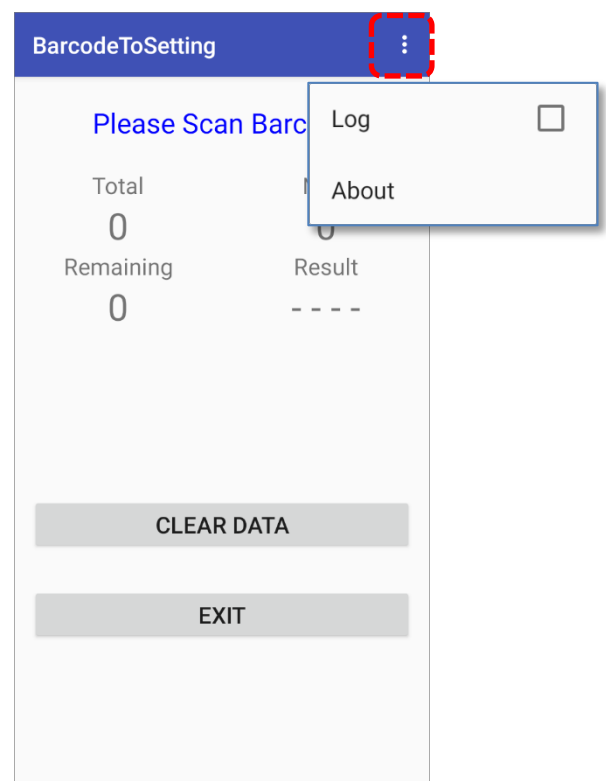


その他のメニュー

アクションバーのその他のボタン  をタップすると、その他のメニューが開きます。

その他のメニュー項目は次の通りです。

項目	説明
Log (ログ)	「BarcodeToSetting」の実行中に発生したイベントの記録を有効にするには、このチェックボックスにチェックを入れてください。
About (について)	現在の「BarcodeToSetting」と「Reader Service」のバージョンを表示します。



6.4. BT PRINTER MATE



BT Printer Mate は、Bluetooth プリンターとペアリングするためのユーザーインターフェイスを提供するアプリケーションです。

6.5. BUTTON ASSIGNMENT



「**Button Assignment**」は、物理キーの機能を再定義して異なるアクションをトリガーすることができる機能です。1つまたは複数のキーに対する設定はプロファイルとして保存でき、異なる設定のセットを便利に切り替えることができます。

「**Button Assignment**」アプリケーションを使用することで、キーボードを備えたデバイスのキー動作を変更することができます。キーボードのないデバイスの場合は、「設定」の「**Programmable Keys (プログラマブルキー)**」を使用してキーの動作を変更できます。

[Button Assignment User Guide for Android](#) を参照してください。

6.6. ENTERPRISE SETTINGS



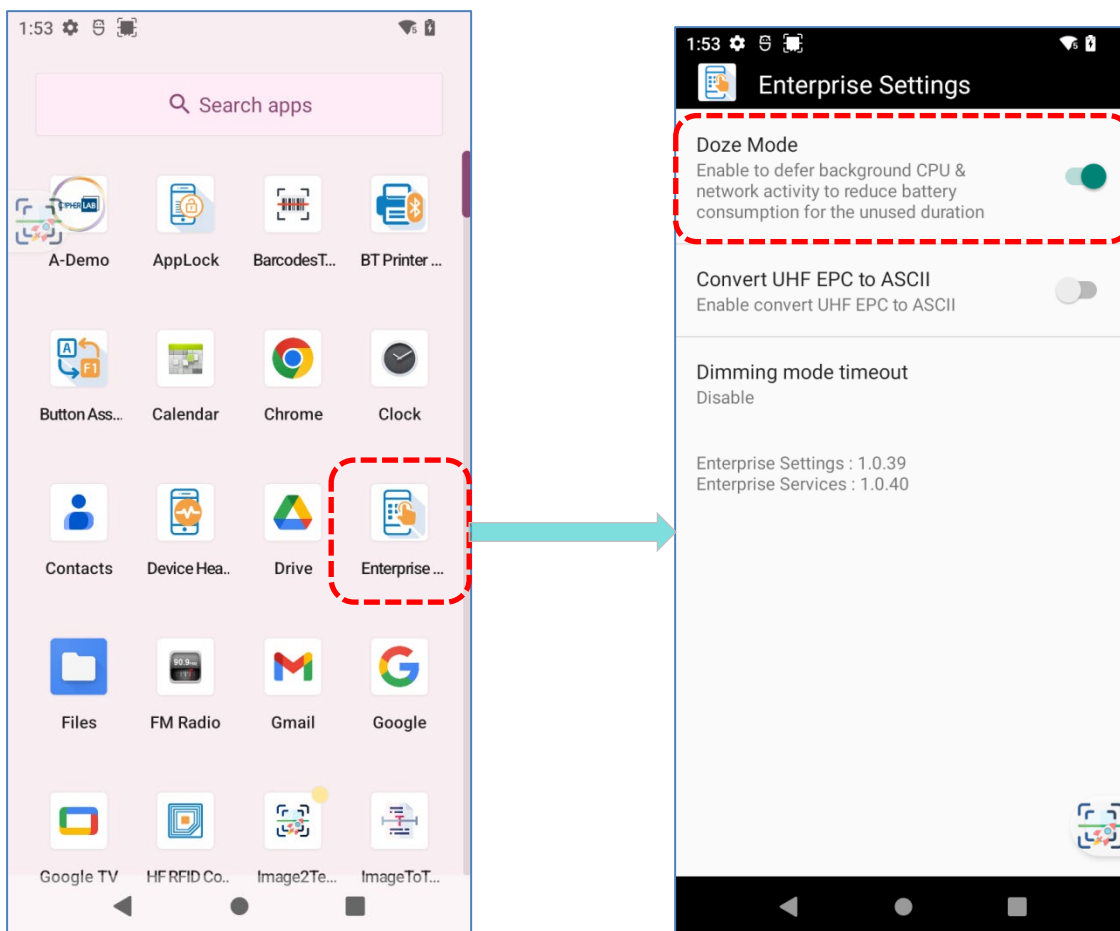
RS36 モバイルコンピュータの「Enterprise Settings (エンタープライズ設定)」には、「Doze Mode」の設定があります。

DOZE MODE

「Doze Mode」はデフォルトで有効になっています。

詳細については、以下の URL を参照してください：

<https://developer.android.com/training/monitoring-device-state/doze-standby>



DIMMING MODE TIMEOUT

「**DIMMING MODE TIMEOUT**」はデフォルトでは無効になっています。

この機能を有効にするには、提供されているアイドル時間のオプションを選択してください。

電源節約のために画面が自動的に暗くなります。サスペンドモードに入る代わりに、ディミングモードでは背景とアプリは引き続き動作します。

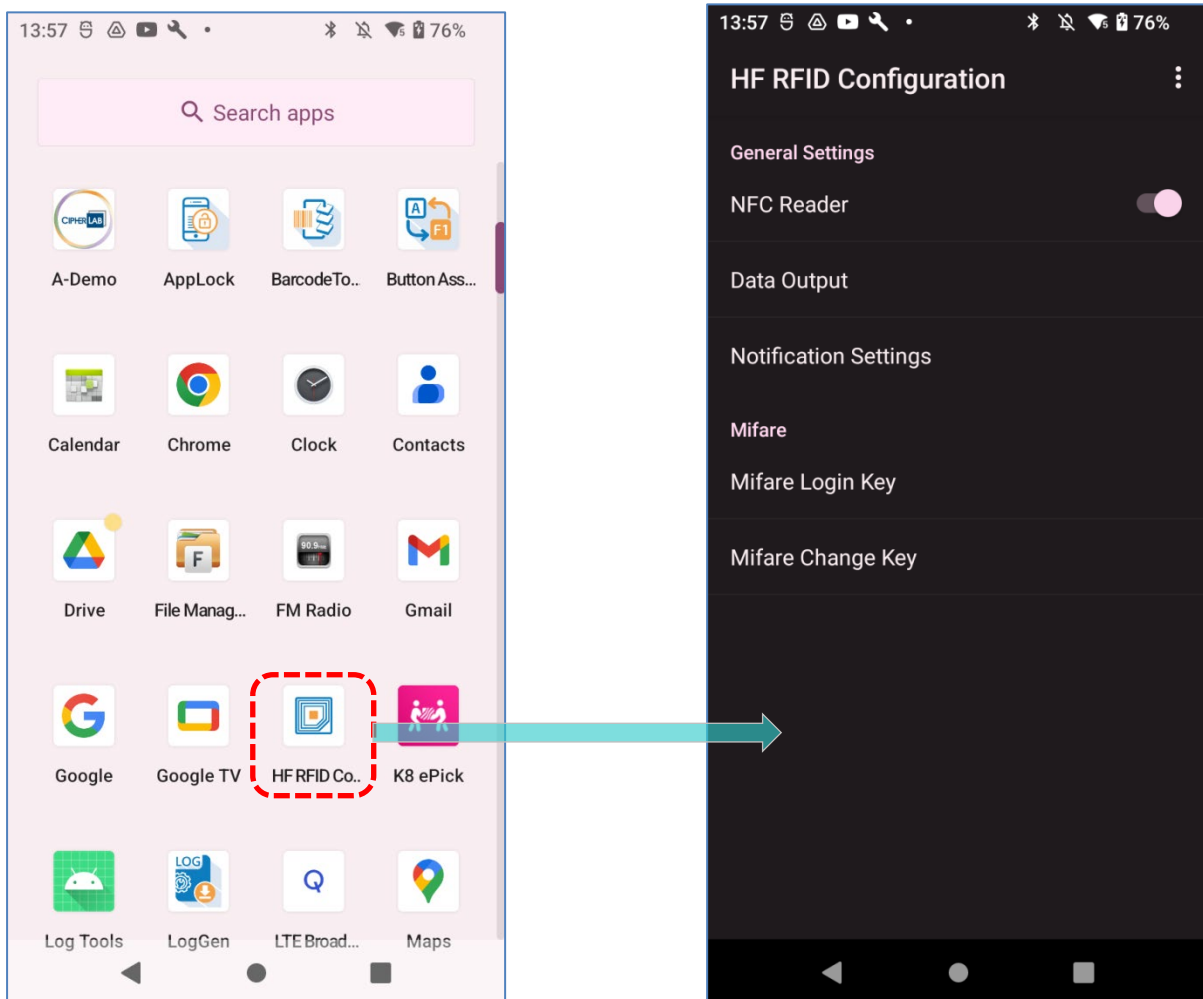
バージョン

「**Enterprise Settings (エンタープライズ設定)**」のバージョン情報は、「**Doze Mode**」のすぐ下に記載されています。

6.7. HF RFID CONFIGURATION



「**HF RFID Configuration**」は NFC アプリケーションであり、NFC タグおよび RFID チップをデバイスの NFC 検知エリアに近づけることで読み書きすることができます。ユーザーは「HF RFID Configuration」内の設定を使用して、NFC リーダーの動作を制御し、有効にすることができます。

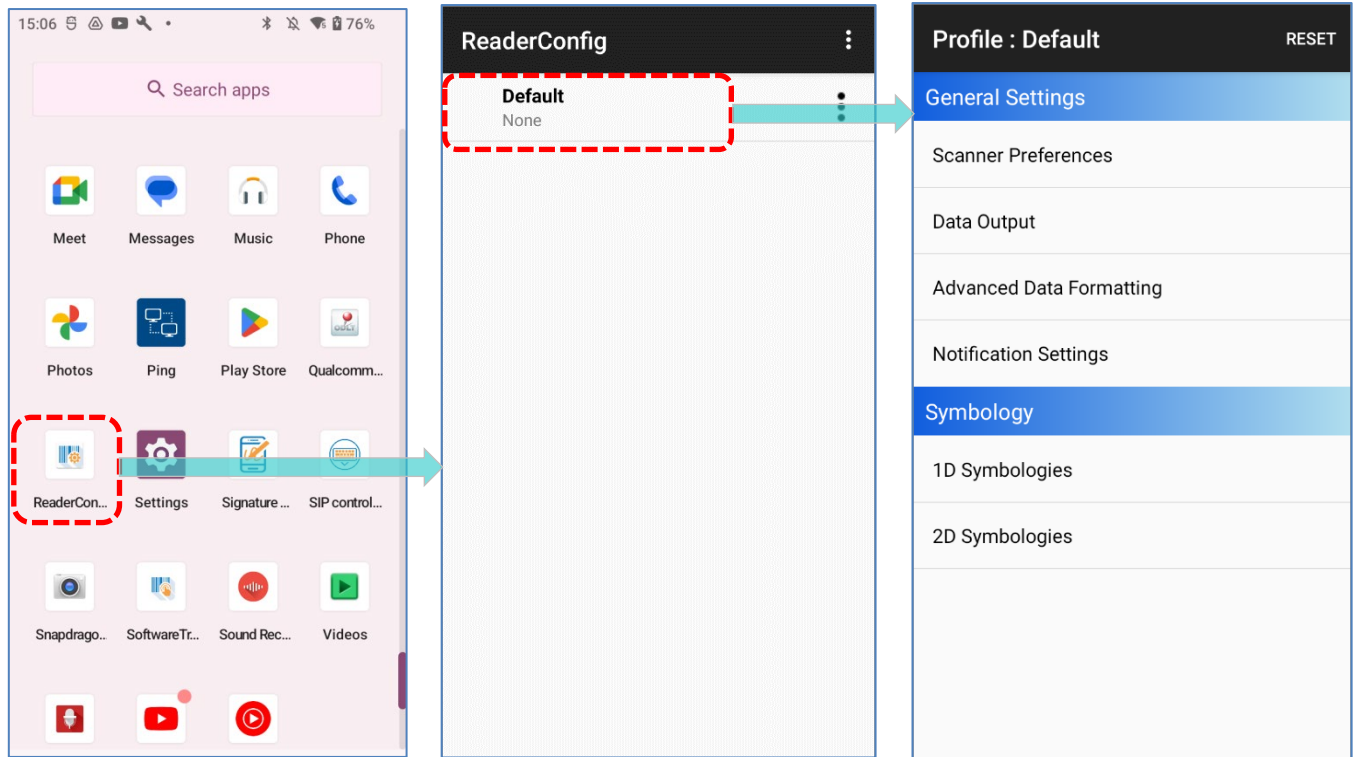


[HF RFID Configuration User Guide for Android](#) を参照してください。

6.8. READERCONFIG



ReaderConfig は、モバイルコンピュータ内のスキャンエンジンを設定するためのビルトインアプリで、ユーザーはスキャナーの設定とデコードされたデータの出力方法を設定できます。シンボルおよびスキャナーの設定はプロファイルとして保存およびエクスポートし、後で再度インポートしたり、複数のデバイスに同じ Reader Config 設定を適用することができます。

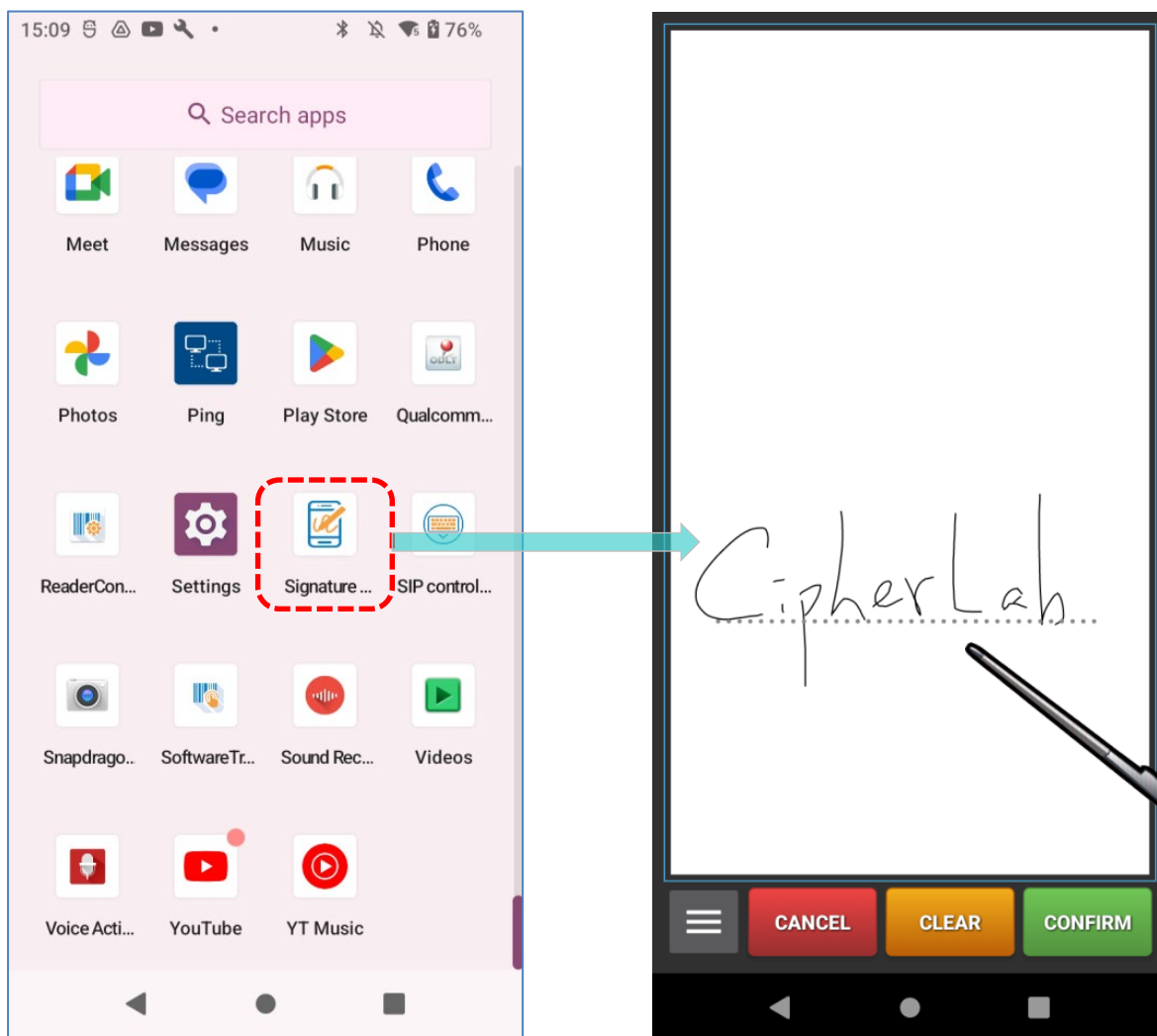


[ReaderConfig User Guide for Android](#) を参照してください。

6.9. SIGNATURE CAPTURE



Signature Capture は、デバイスを署名パッドに変えてユーザーが署名を描くことができる単純で簡単なアプリケーションです。ユーザーはデジタル署名を作成し、複数のファイル形式でデバイスストレージに保存することができます。



[Signature Capture User Guide for Android](#) を参照してください。


6.10. SIP CONTROLLER

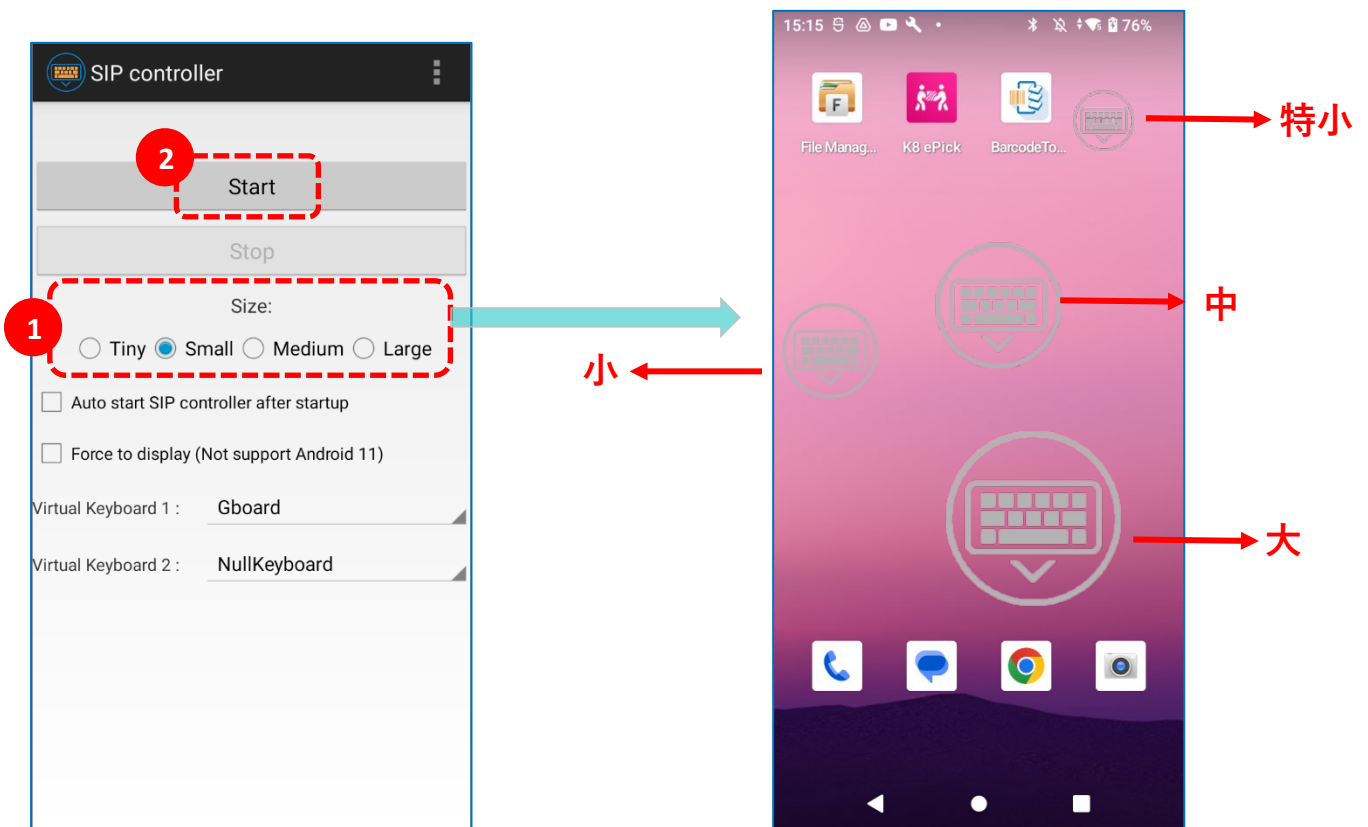


SIP Controller は、浮動ボタンをタップすることで仮想キーボードを簡単に開閉するための組み込みアプリケーション。

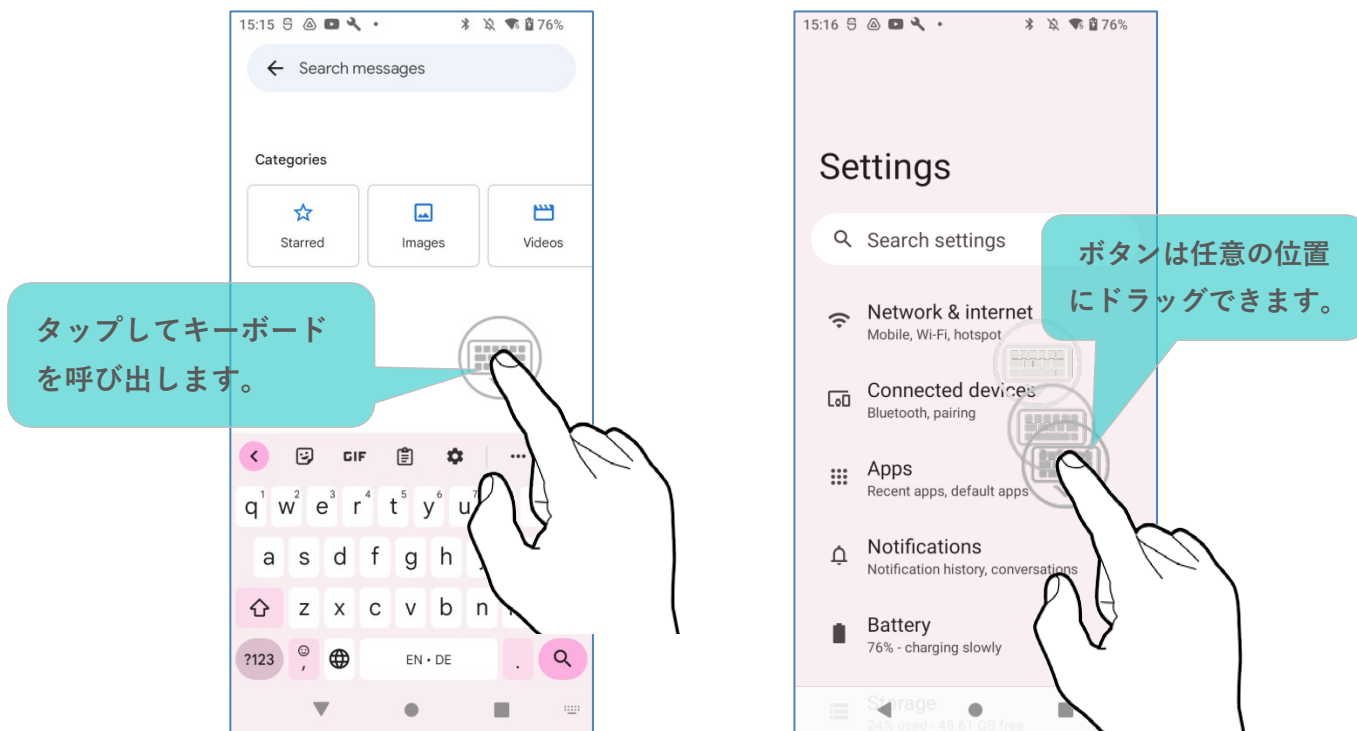
SIP CONTROLLER の起動

SIP Controller を起動するには、次の手順に従ってください。

- 1) [App Drawer \(アプリドロワー\)](#) にアクセスし、「**SIP Controller**」 というアプリをタップしてメイン画面に入ります。
- 2) ボタンサイズを選択し、「**Start**」をタップしてください。



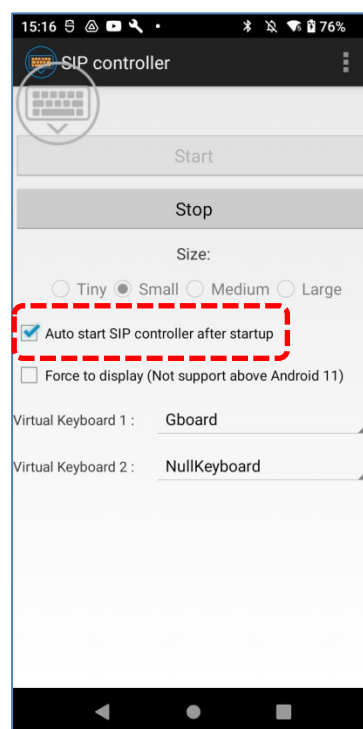
- 3) これで「**SIP Controller**」ボタンが画面に表示され、タップすることで仮想キーボードを呼び出すことができます。このボタンを画面上の任意の位置にドラッグすることができます。



自動起動

「**Auto start SIP controller after startup**」を有効にすると、デバイスの起動時に **SIP Controller** が自動的に起動します。

この機能を有効にするには、チェックボックスをオンにするだけです。



FORCE TO DISPLAY

「Force to display」は、Android 11 以上の OS を搭載したデバイスでは無効です。

仮想キーボードの切り替え

「SIP Controller」によって使用する仮想キーボードを「仮想キーボード 1」と「仮想キーボード 2」に設定することができます。ボタンをタップすることで、設定した「仮想キーボード 1」と「仮想キーボード 2」が順に切り替わります。

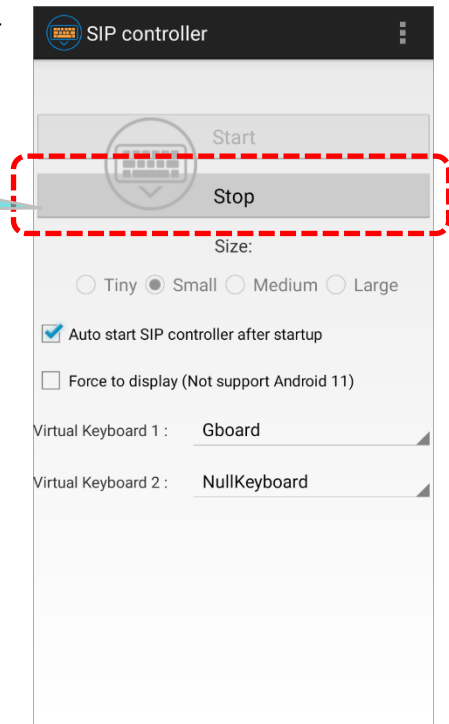


ドロップダウンメニューで選択するキーボードについては、キーボードを有効にする方法については[仮想キーボード](#)を参照してください。

SIP CONTROLLER の終了

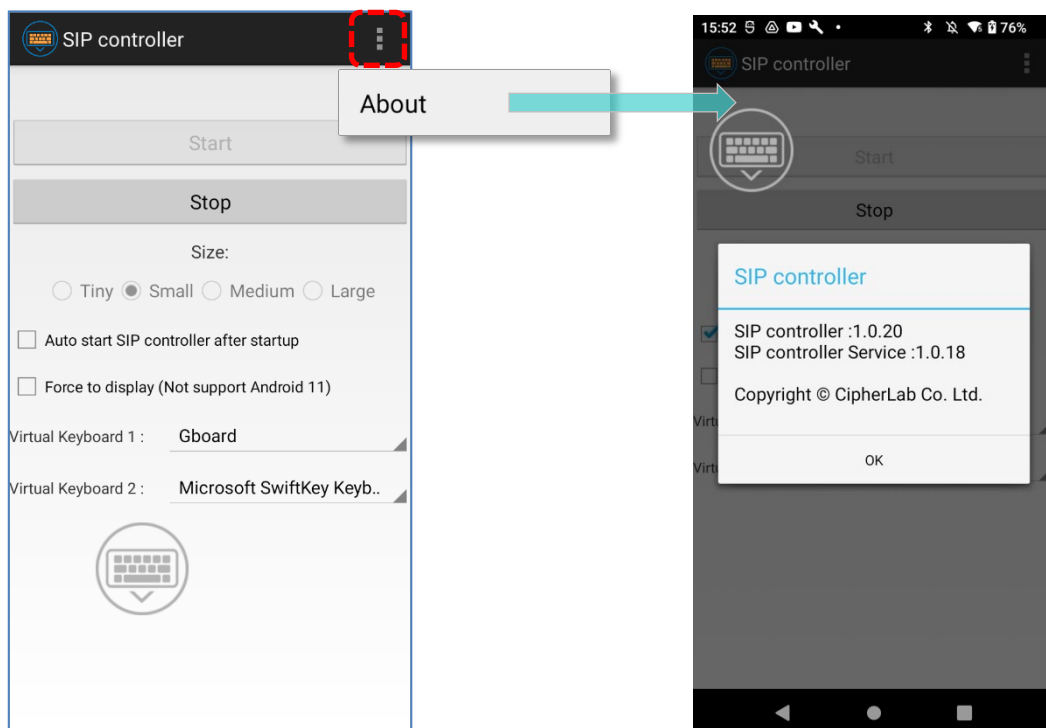
「**Stop**（停止）」をタップすると、**SIP Controller** のオンスクリーンボタンが無効になります。

タップすることで
「SIP controller」を終了します。



バージョン情報

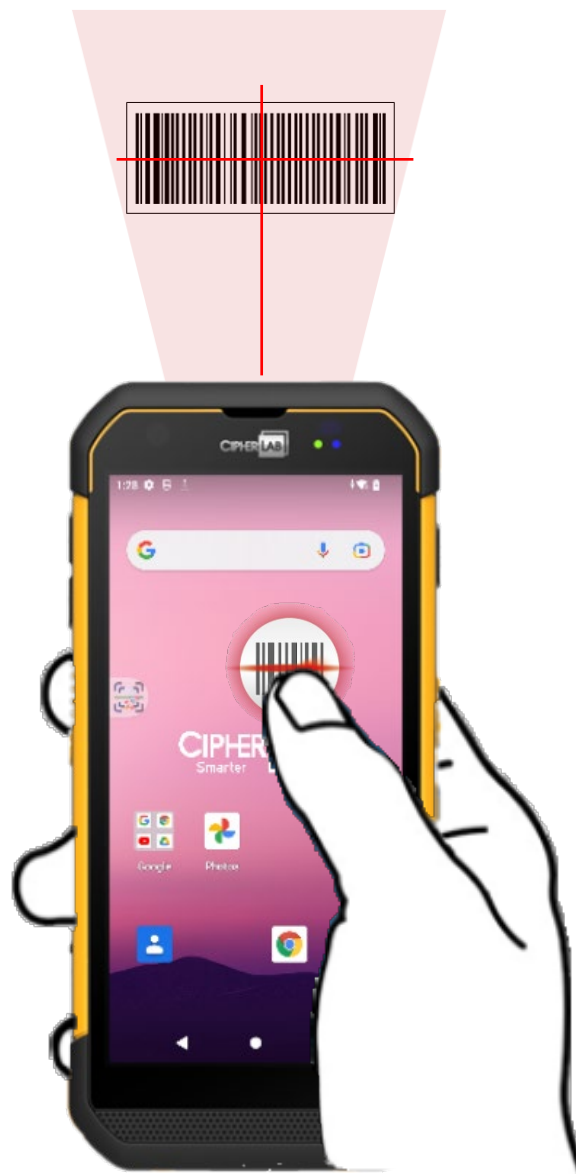
アクションバーの詳細ボタンをタップし、「**About**」を選択して **SIP Controller** の現在のバージョンを確認できます。



6.11. SOFTWARE TRIGGER



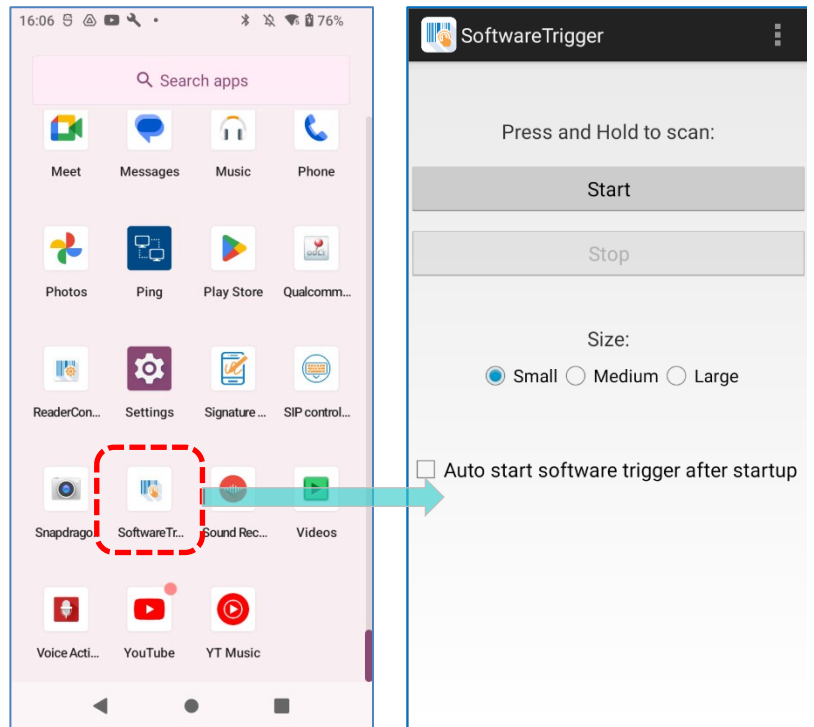
Software Trigger は、モバイルデバイスで実行されるアプリケーションです。実際のトリガーキーとして機能し、バーコードスキャナーの便利なトリガー操作のために、常にすべての他のプログラムの上に表示されます。この仮想ボタンをタップして長押しすると、デバイスは赤い光線を投射してコードをスキャンし続けます。



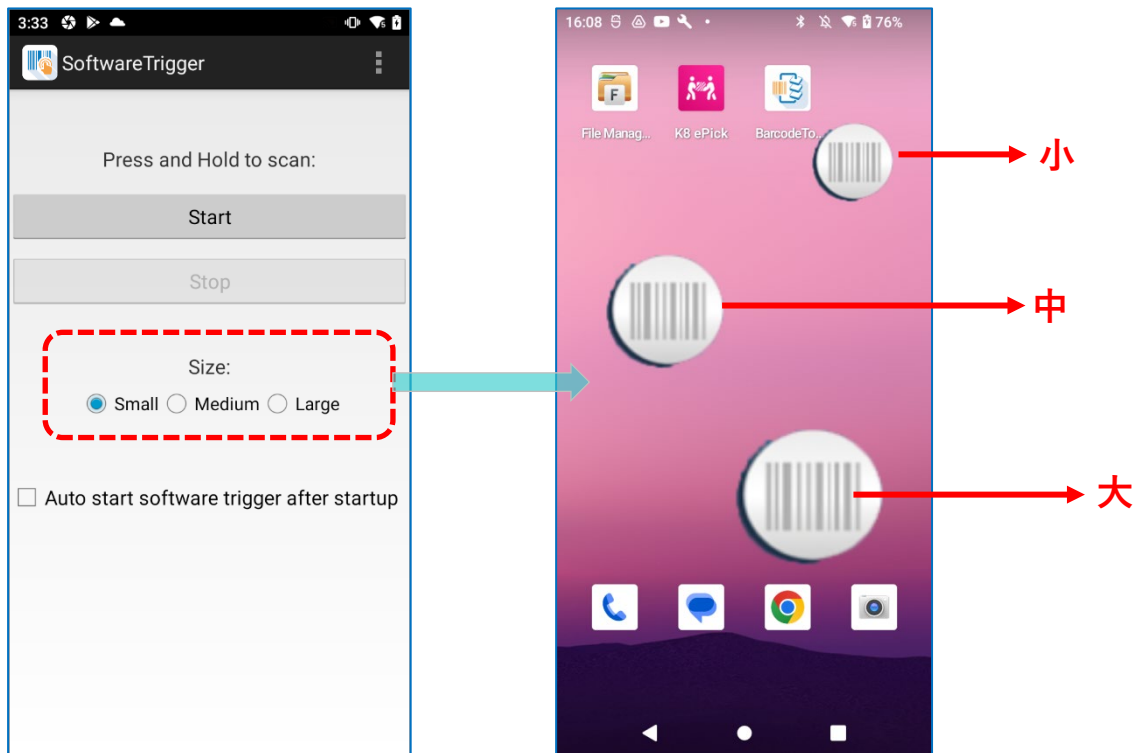
SOFTWARE TRIGGER の起動

Software Trigger を起動するには、次の手順に従ってください。

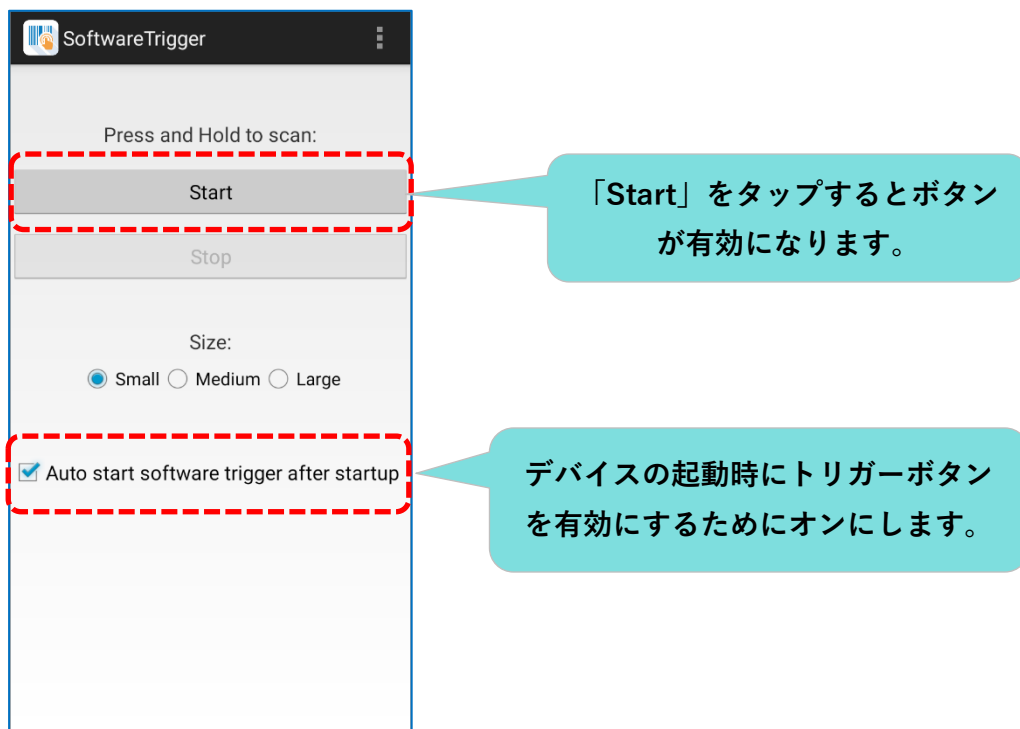
- 1) **App Drawer (アプリドロワー)** に移動し、「**Software Trigger**」と
いうアプリをタップしてメイン画面
に入ります。



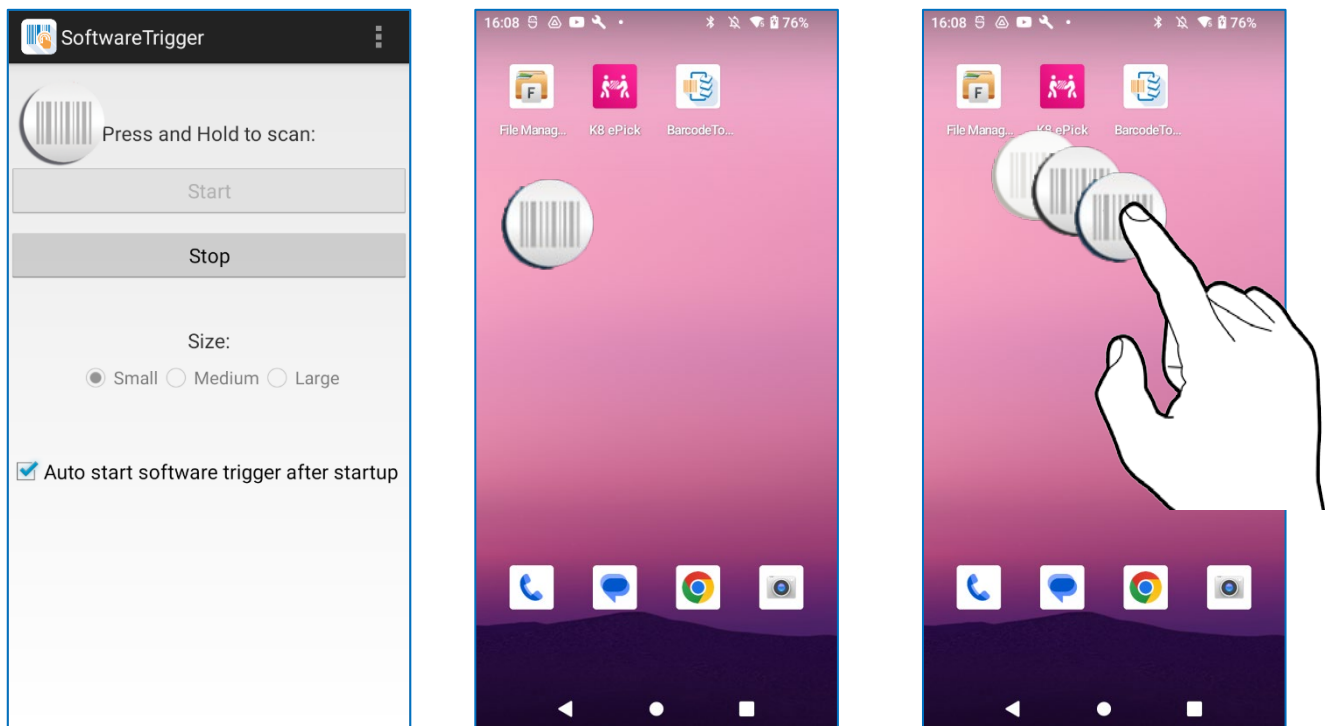
- 2) 仮想トリガーボタンのサイズを選択します。



- 3) 「Start」をタップするとボタンが有効になります。「Auto start software trigger after startup」をチェックすると、機器の起動直後にこのアプリケーションが自動的に起動します。



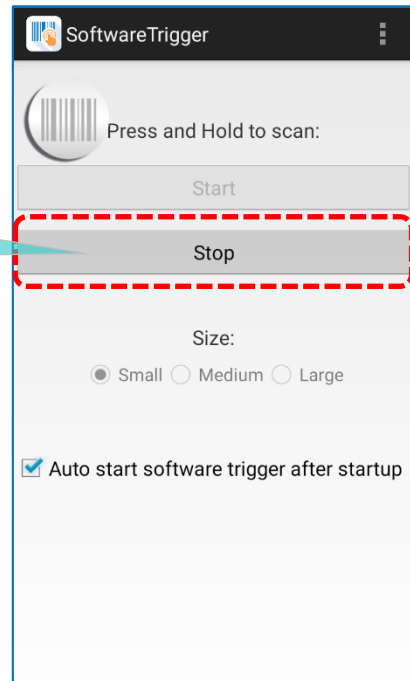
- 4) 常にアクセス可能なソフトウェアキーが画面に表示されます。このトリガーボタンは、トリガーを簡単に制御できると感じる位置に画面上にドラッグできます。



SOFTWARE TRIGGER の終了

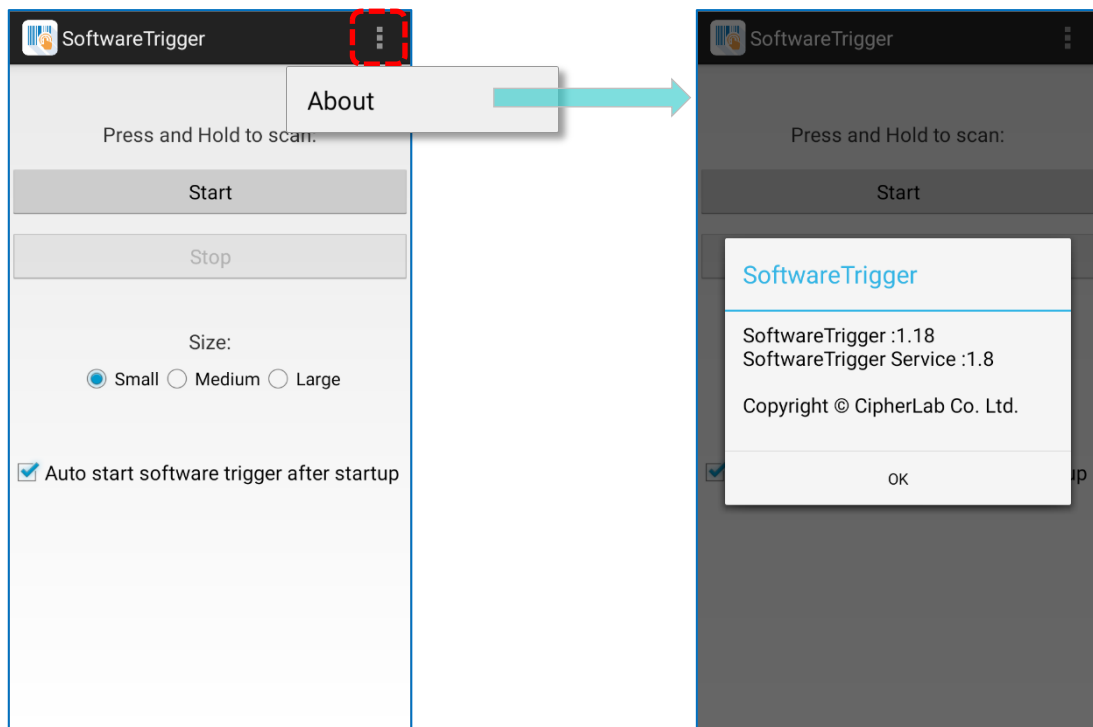
この仮想トリガーボタンを無効にするには、**Software Trigger** のアプリケーション画面に入り、「**Stop**」をタップします。

タップして「Software Trigger」を終了します。



バージョン情報

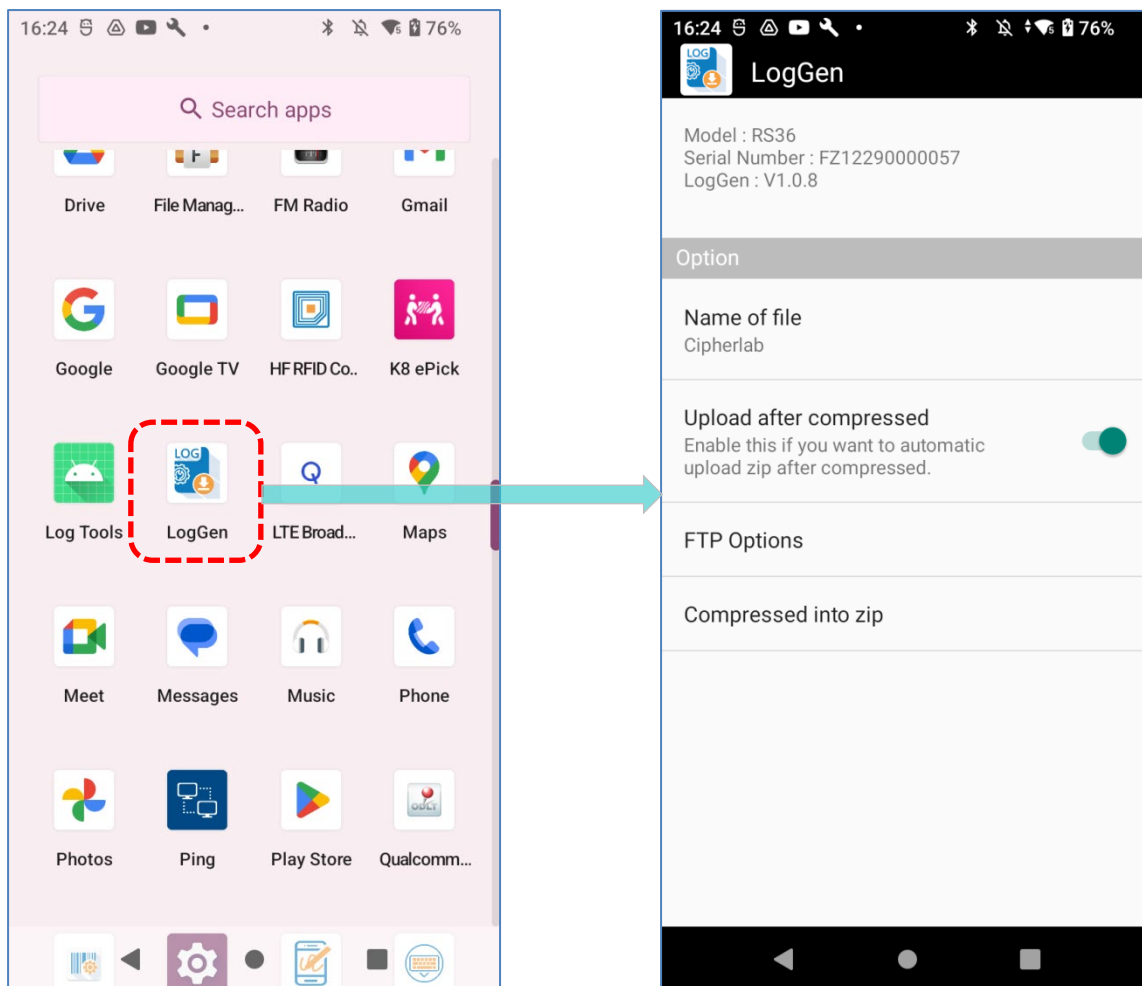
Software Trigger の現在のバージョンを確認するには、アクションバーの詳細ボタンをタップし、「**About**」を選択してください。



6.12. LOGGEN (ログジェン)



LogGen は、ホストログ生成ユーティリティであり、特にオンサイトオペレータがモバイルコンピュータのすべてのイベントログ（Android 11 の TE ログを除く）を収集するのを支援するために設計されています。このアプリのワンボタンをタップすることで、このデバイスに属するログが簡単に生成されます。これらのイベントの履歴を基に、IT 担当者が実際の環境をシミュレートして問題を解決し、ローカルまたはリモートで発生した障害を取り除くことができます。

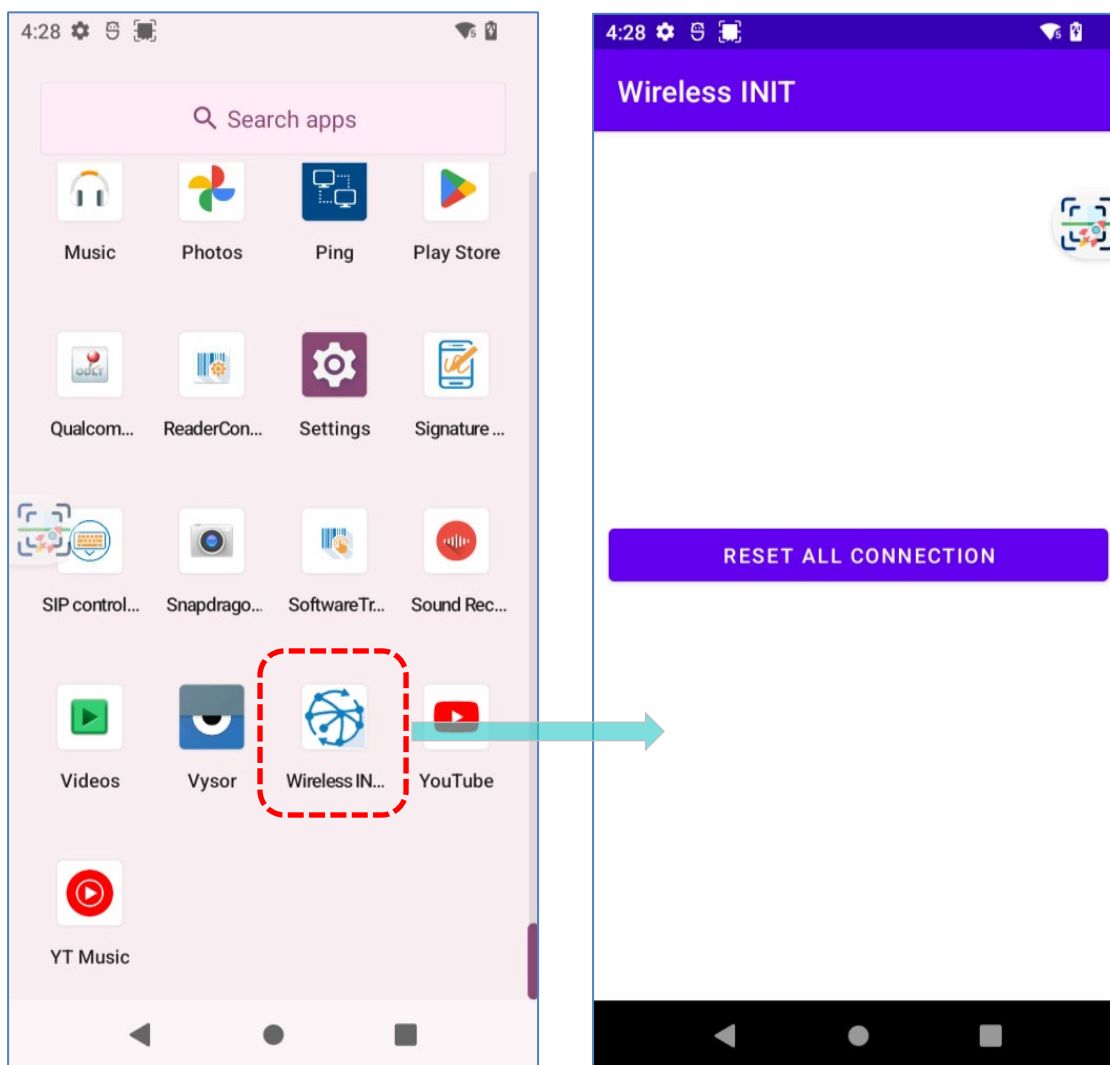


[LogGen User Guide for Android](#) を参照してください。

6.13. WIRELESSINIT



Wireless Init は、不安定なネットワークに遭遇した現場オペレーター向けの便利なワイヤレス再接続ユーティリティであり、このアプリのワンボタンをタップすることで、Bluetooth、Wi-Fi、4 G LTE/5 G を含むすべてのワイヤレス接続をリセットして、再接続することができます。



[Wireless Init User Guide for Android_v1.0](#)を参照してください。


6.14. PING

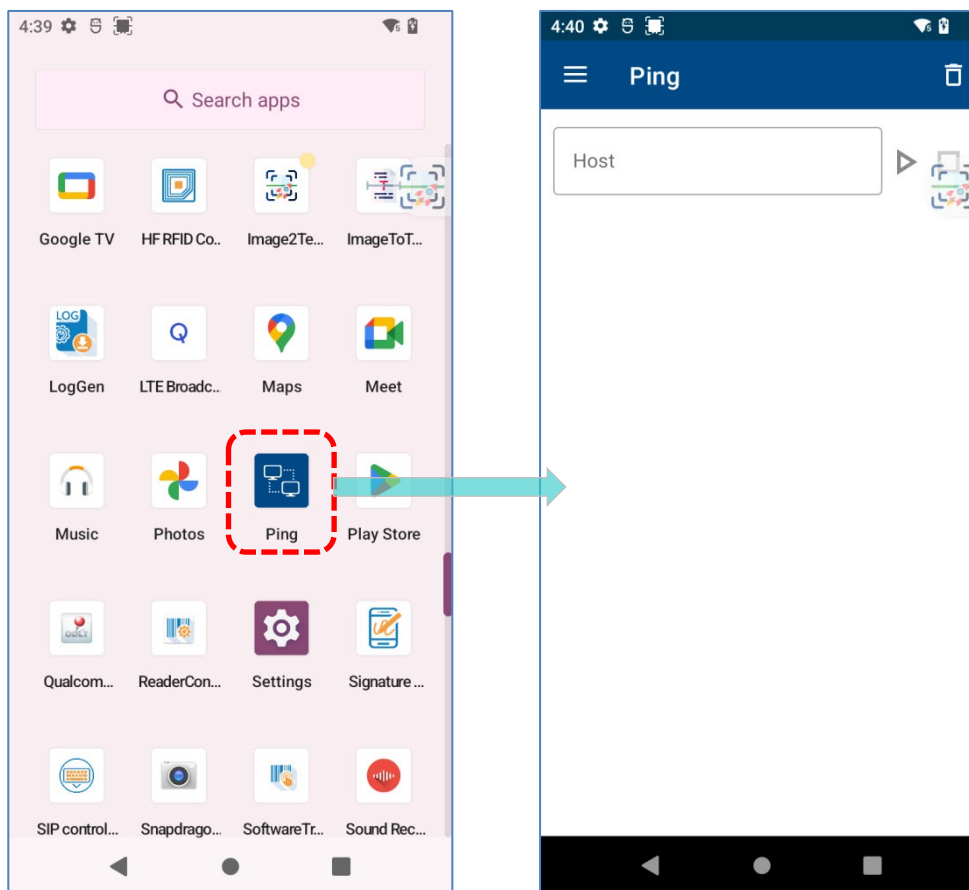



Ping は便利なネットワーク診断ユーティリティで、**Ping**、**Traceroute**、**Wi-Fi ステータス**の3つのツールで構成されており、現在のネットワークステータスを診断することができます。

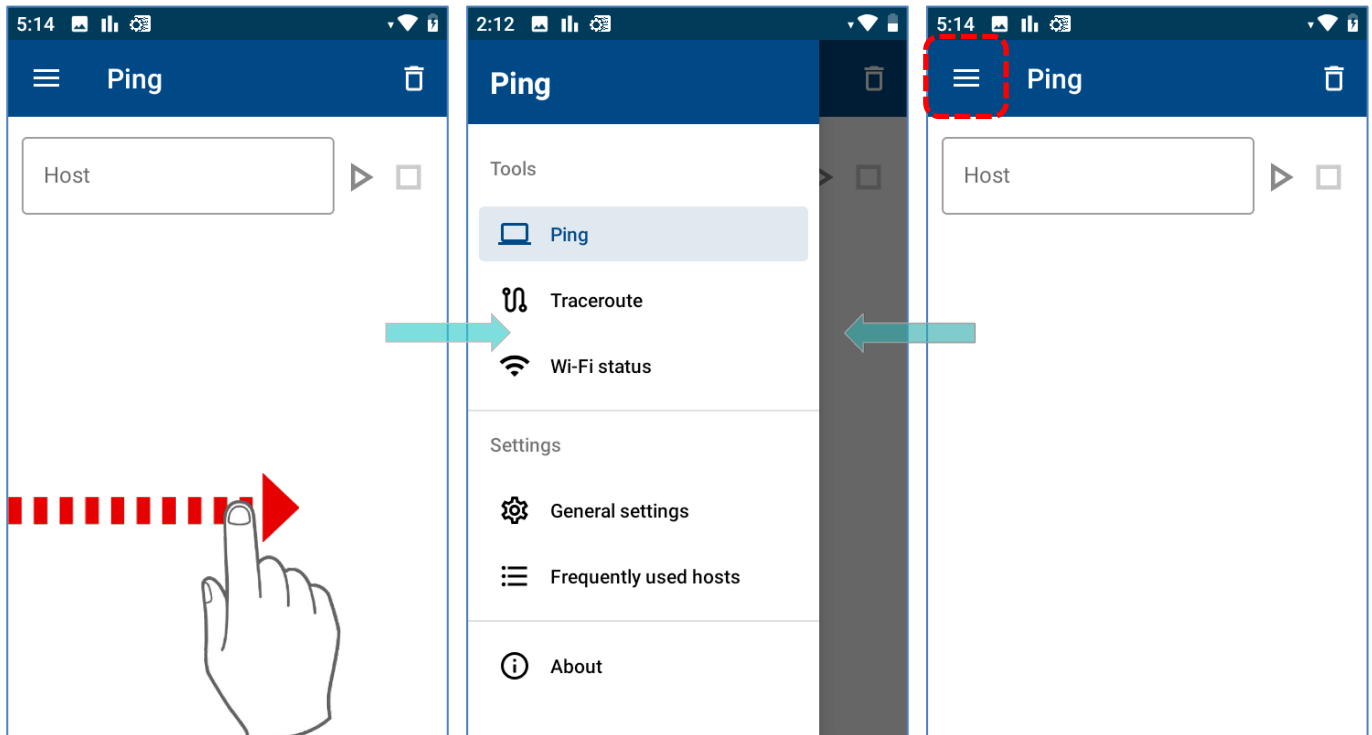
PING の起動

以下の手順に従って **Ping** を起動してください。

- 1) [App Drawer \(All Apps\)](#) に移動し、アプリ 「Ping」  をタップして直接 Ping 画面に入ります。




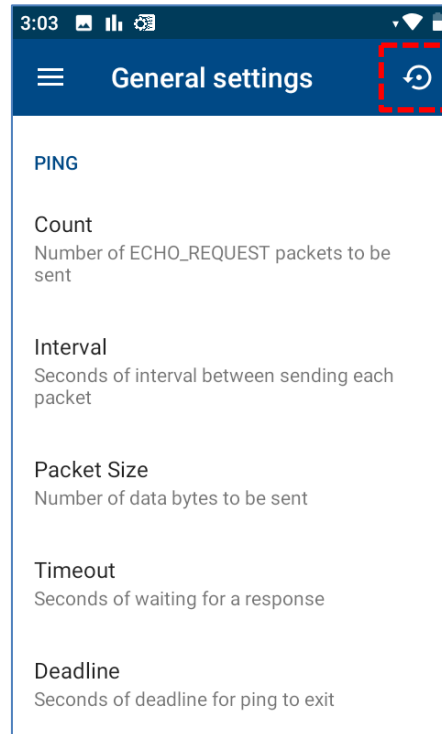
2) 他の機能を含む**オプションメニュー**は、メニューボタン  をタップするか、画面の左端から右側にスワイプすることで表示できます。



ツール	説明
Ping	IP アドレス、ドメイン名、またはリモートホストのホスト名を入力して、特定のホストがまだ生きているかどうかを確認できます。
Traceroute (トレースルート)	IP アドレス、ドメイン名、またはリモートホストのホスト名を入力して、特定のホストへのルートパケットを追跡できます。
Wi-Fi Status (Wi-Fi ステータス)	Wi-Fi 接続の現在のステータスを表示します。

ツールの一般設定

ツール関連の設定を行うには、**オプションメニュー**の「**一般設定**」をタップしてください。すると、以下の設定ページが表示されます。リセットアイコン  をタップすると、このアプリケーションのすべての設定をリセットできます。



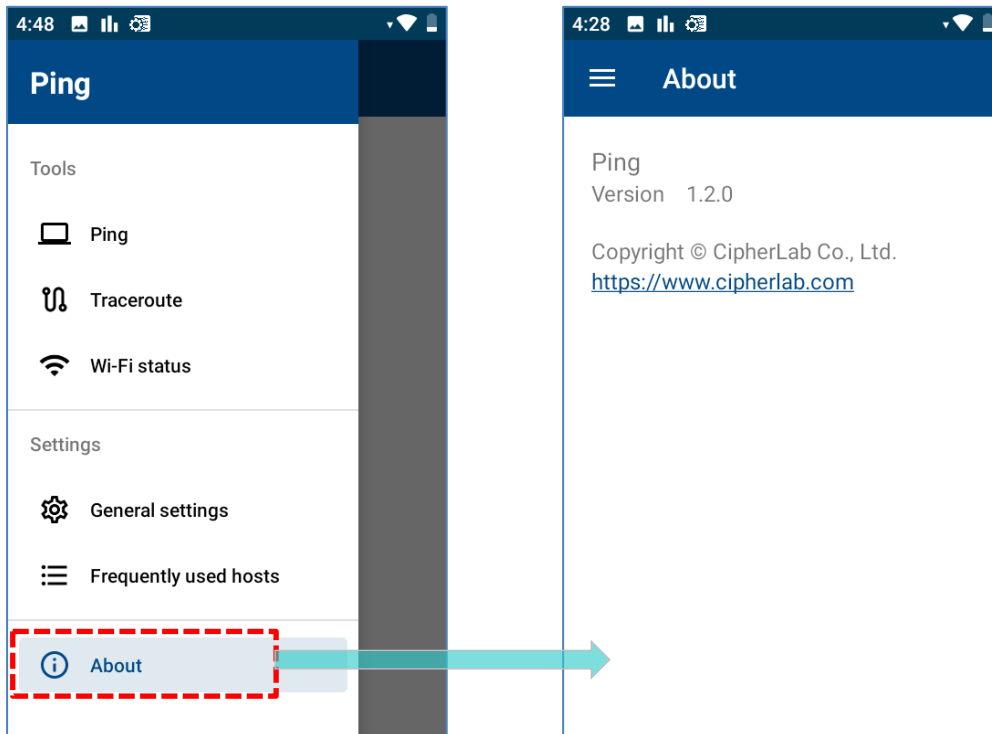
リセット

設定	説明
Ping	
Count (カウント)	宛先ホストに送信するパケットの合計量を指定します。
Interval (間隔)	次のパケットを宛先ホストに送信するまでの待機時間を指定します。
Packet Size (パケットサイズ)	送信するデータのバイト数を指定します。デフォルトのパケットサイズは 56 バイトです。
Timeout (タイムアウト)	ホスト応答の待ち時間を指定します。
Deadline (期限)	リモートホストに要求を送信する実行時間を指定します。
TTL	パケットが通過できる最大ルーターの数を指定します。
ToS (Type of service))	送信するパケットのサービス品質を向上させます。

MTU 検出ストラテジー	<p>イーサネットのデフォルト MTU（最大転送単位）は 1500 バイトであるため、データサイズが超えた場合、パケットはフラグメントに分割されます。特定の目的のためにオプションで MTU 探索ストラテジーを変更することができます。提供されている 3 つの MTU 探索ストラテジーは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> -フラグメントを禁止します（ローカルフラグメントも含む） -PMTU 探索を行い、パケットサイズが大きい場合にローカルでフラグメント化します -DF フラグを設定しません
Traceroute（トレースルート）	
IP アドレスマッピング	IP アドレスマッピングの機能を無効にすると、Traceroute ツールは IP アドレスをホスト名に変換せずにルート追跡中に IP アドレスのみを表示します。
NQueries（Nqueries）	1 つのホップごとに送信されるプローブパケットの数を指定します。デフォルトでは、Traceroute ツールは 1 つのホップごとに 3 つのプローブパケットを送信します。
待機時間	Traceroute の 1 つのプローブに対する応答の待機時間を設定します。デフォルトの待機時間は 5 秒です。
最大 TTL	Traceroute の TTL（Time To Live）の値を指定します。デフォルトは 30（最大値）です。
Wi-Fi Status（Wi-Fi ステータス）	
リフレッシュレート	更新リフレッシュレートを指定します。デフォルトは 3 秒です。

バージョン情報

Ping のバージョンを確認するには、オプションメニューの「**About**」をタップしてください。



仕様

プラットフォーム、プロセッサ & メモリ

オペレーティングシステムと CPU

OS 種類	CTS および GMS 認定の Android 12
CPU	Qualcomm QCM 4290 Octa-core (最大 2.0 GHz)

メモリ

内蔵メモリ (ROM)	64 GB フラッシュ
内蔵メモリ (RAM)	4 GB LPDDR 4 X RAM
拡張スロット	Micro SDHC カードスロット x 1 (最大 32 GB) SDXC 対応 (最大 64 GB-2 TB) Nano SIM スロット x 2 (標準 x 1、オプション x 1)

通信とデータキャプチャ

ネットワーク

USB クライアント	USB Type-C 2.0 OTG および充電接点
WPAN	Bluetooth [®] Class II、v5.1 dual mode、v2.1 拡張データ レート (EDR) (2402~2480 MHz : 7.16 dBm)
WLAN	802.11 a/b/g/n/ac/d/h/l/r/k/v/w/mc IEEE 802.11 ax (WIFI 6 モデルのみ) (2412~2472 MHz : 18.33 dBm) 5180~5240 MHz : 19.46 dBm、 5260~5320 MHz : 20.35 dBm、 5500~5700 MHz : 20.92 dBm、 5745~5825 MHz : 20.06 dBm)
WWAN	(2G) GSM: 850/900/1800/1900 (850/ 900: 33dBm; 1800 / 1900 : 30 dBm) (3G) UMTS/HSPA/HSPA+ (24dBm): B1(2100), B2(1900), B4(1700), B5(850), B6(850), B8(900) (4G) FDD LTE (23dBm): B1(2100), B2(1900), B3(1800), B4(1700), B5(850), B7(2600), B8(900), B12(700), B13(700), B17(700), B19(800), B20(800), B25(1900), B26(850), B28(700) (4G) TDD-LTE (23dBm): Band38, Band39, Band40, Band41(2545MHz~2655MHz)
GPS	内蔵 GPS, GLONASS, BeiDou, AGPS, Galileo

データとイメージキャプチャ

デジタルカメラ	1600 万画素 オートフォーカス、LED フラッシュ搭載
バーコードリーダー	2 D imager
HF RFID リーダー	カードエミュレーション、カードリーダー、P2P 動作モードのサポート ISO 14443 Type A&B、ISO 15693、および Felica NFC エリアは上部に配置する必要があります (10 m で-19.83 dBuA/m)

電気的特性

バッテリー

メインバッテリー

充電式リチウムポリマー電池：3.85 V、4000 mAh

充電温度：0-40° C

最低充電時間：25° C で 3 時間

初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間充電してください。許容されるバッテリー充電周囲温度は 0° C から 40° C の間です。最適なパフォーマンスを得るには、室温（18° C から 25° C）で充電することをお勧めします。周囲温度が 0° C を下回るか 40° C を超えると充電が停止しますのでご注意ください。

拡張バッテリー

リチウムポリマー充電電池：3.85 V、6000 mAh

充電温度：0-40° C

最低充電時間：25° C で 6 時間

初めてメインバッテリーを充電する場合は、最低 8 時間から 12 時間充電してください。許容されるバッテリー充電周囲温度は 0° C から 40° C の間である。最適なパフォーマンスを得るためには、室温（18° C から 25° C）で充電することをお勧めします。

周囲温度が 0° C を下回るか 40° C を超えると充電が停止しますのでご注意ください。

バックアップバッテリー

充電式リチウムポリマー電池

充電時間：4 時間（電源オフ以外は常に充電されている状態）

RTC バッテリー

充電式 SMT 型 Li 電池：3 V、3 mAh

充電時間：12 時間（常時充電）

RTC の保持は、メインバッテリーを取り外した時点で少なくとも 72 時間維持されます。

電源アダプタ

付属の電源コード	入力	交流 100~240 V、50/60 Hz
ユニバーサル電源アダプタ	出力	DC 5 V、2 A

認定

LTE	CE、FCC、IC、NCC、TBL、JRL、BIS、WPC、WEEE、RoHS、REACH、CA 65、TSCA、BC、NrCAN、NBTC
Wi-Fi 6 のみ	SRRC、CCC、BSMI、NCC、CE、FCC、IC、WEEE、RoHS、REACH、CA 65、TSCA、BC、NrCAN

稼働時間

25 度で最大 10 時間（二次元イメージャ）の稼働時間に対応

物理的特性

画面性能

ディスプレイ	5.5 インチ、透過型 IPS 液晶、太陽光の視認性、コーニング®ゴリラ®ガラス
解像度	720×1440

通知

ステータス LED	2 つの LED には、電源表示用の 2 色（緑と赤） LED が 1 つ、リーダーとシステム通知用の 3 色（青、緑、赤） LED が 1 つ含まれています。
オーディオ	スピーカー、エコーおよびノイズキャンセリング機能付きデュアルアレイマイク Bluetooth ヘッドセットのサポート、広帯域音声によるハンズフリープロファイル（HFP） 1.6 仕様。 AMR-WB HD 音声のサポート HAC のサポート

サイズ・重量

サイズ	165 mm（L） × 76.8 mm（W） × 17.9 mm（T）
重量	288 g ± 5 g

環境特性

温度

動作時	-20° C から 50° C
保管	-30° C から 70° C
充電	0° C から 40° C

湿度

動作時	10%~90% (結露しないこと)
ストレージ	5%~95% (結露しないこと)

抵抗

衝撃抵抗	1.5 m (5 フィート) 。) コンクリートに複数回落下、6 面落下 6 サイクル;保護ブーツ付き:1.8 m (6 フィート) 。) をコンクリートに複数回、両側に 6 回落下させる。
タンブル試験	適用される IEC タンブル仕様あたり 0.5 m で 500 回のタンブル
スプラッシュ/ダスト耐性	IEC 規格 60529 の IP 65/IP 68。
静電気放電	空気放電 ±15 kV、接触放電 ±8 kV

プログラミングサポート










開発環境とツール

JAVA	環境 Android スタジオ ソフトウェア開発キット：JAR
C#	環境：Visual Studio ソフトウェア開発キット：DLL（Xamarin ライブラリ）

付録 I

アプリケーションメニュー

アイコン	名前	説明
	A-Demo	CipherLab のアプリケーションを簡単に紹介するアプリケーション。アプリの紹介ページで「START」をタップすると、これらのアプリを起動できます。
	AppLock	ユーザーが利用できるシステムリソースを制限するために使用されるアプリケーション。
	BarcodeToSetting	ADC (Android Deployment Configurator) によって生成された設定バーコードを読み取り、設定を適用するためのアプリケーション。
	BT Printer Mate	Bluetooth プリンタとペアリングするためのユーザインタフェースを提供するアプリケーション。
	Button Assignment	物理キーの機能を再定義して、異なるアクションをトリガーすることができるアプリケーション。1 つまたは複数のキーに対して行った設定はプロファイルとして保存できるため、ユーザーはさまざまな設定のセットを簡単に切り替えることができます。
	電卓	数学計算を行えます。
	カレンダー	イベント、会議、予定を作成および管理します。
	カメラ	写真撮影、動画撮影をできます。
	Chrome	高速、シンプル、安全な Google Chrome ブラウザは Android 搭載のスマートフォンまたはタブレットに対応しています。
	時計	ロケールに応じて日付、時刻、タイムゾーンを設定し、アラームを設定および管理します。
	連絡先	連絡先情報を管理し、他の機器や SD カードと共有またはエクスポート/インポートします。
	Google ドライブ	Google Workspace のサービスのひとつである Google ドライブを使用すると、安全に保存、アクセス、共有できます。

アイコン	名前	説明
	Google Meet	Google Meet は、友達や家族、同僚やクラスメートと、どこにいても有意義で楽しい交流ができるように作られた高品質なビデオ通話アプリです。
	Enterprise Settings	RS36 モバイルコンピュータの「Doze Mode」設定用アプリ。
	ファイル	ローカルストレージおよびストレージカード上のファイルを参照および管理します。
	Gmail	Google Workspace のサービスのひとつである Gmail を使用すると、コミュニケーション、作成、コラボレーションが可能です。
	Google	迅速な回答を見つけ、興味のあることを探り、Discover で最新の情報を得る。
	Google TV	お気に入りの映画やテレビ番組を 1 か所で閲覧、視聴、ストリーミング。
	HF RFID Configuration	RFID と NFC を構成するためのアプリケーション。
	Google マップ	Google Maps は、頼りになるリアルタイムのナビゲーションだけでなく、世界中や近所で楽しめるアクティビティや場所を見つけるのにも役立ちます。Google Maps には数百万ものビジネスが登録されているため、興味のある場所と繋がり、計画を実現することができます。
	メッセージ	SMS および MMS メッセージを送信します。
	電話	電話の発信と受信、ボイスメールへのアクセス、通話履歴の表示、電話連絡先の管理、電話設定の調整を行います。
	Google フォト	写真を眺めたり、共有したり、整理したりしながら、思い出を振り返ることができます。
	Google Play	GooglePlay は、拘束されていないエンターテインメントです。好きなエンターテインメントをすべて集め、いつでもどこでも新しい方法でそれを探求するのに役立ちます。
	Reader Config	スキャナーの設定、データ出力形式と出力先、シンボル設定、バーコードの読み取りを設定します。
	Ping	現在のネットワークの状態を分析するための便利なツールを含むネットワーク診断アプリケーション。

アイコン	名前	説明
	設定	モバイルコンピュータを設定するための設定を開きます。
	Signature Capture	デバイスをシグニチャパッドに変換するシンプルで簡単なアプリケーション。
	SIP Controller	フローティングボタンをタップして仮想キーボードを素早く開閉するアプリケーション。
	Software Trigger	バーコードスキャナの便利なトリガー制御のために、他のすべてのプログラムの上にフローティングされた、本当のトリガーキーとして機能するアプリケーション。
	サウンドレコーダー	音声情報を録音・再生します。
	WMDSAgent	Wireless Mobile Deployment System for Android は、設定プロジェクト（Android Deployment Configurator で作成）をワイヤレスネットワーク経由で Android デバイスに展開できる Windows ベースのサーバプログラムです。
	WMDSInstaller	WMDSInstaller は、インターネット経由で最新の WMDS エージェントバージョンを取得し、自動インストールを実行します。
	YouTube	どこにいてもお気に入りの動画、チャンネル、再生リストを視聴できます。
	YouTube Music	あなただけの音楽の世界。

付録 II

オープンソースライセンス

Reader Config には、Apache License Version 2.0、2004 年 1 月の android-serialport-api プロジェクトが含まれています。

<http://www.apache.org/licenses/>

使用、複製、および頒布に関する条項

1. 定義

「ライセンス」とは、このドキュメントの第 1 項から第 9 項までで定義している、使用、複製、および頒布に関する条項を指します。

「ライセンサー」とは、著作権所有者、あるいは著作権所有者がライセンス付与対象として認めた者を指します。

「法人」とは、行為者と、行為者を管理するか行為者により管理されるか行為者共通の管理下にある他のすべての者から成る連合体を指します。この定義における「管理」とは、(i) 契約またはその他により、直接または間接的にこの法人の指揮・経営を行う権限、または (ii) この法人の 50%以上の株式の所有権または (iii) 受益所有権を有することを指します。

「あなた」とは、本ライセンスにより付与される権利を行使する個人または法人を指します。

「ソース」形式とは、ソフトウェアのソースコード、ドキュメントソース、設定ファイルといった、変更を加えるのに好都合な形式を指します。

「オブジェクト」形式とは、コンパイルされたオブジェクトコード、生成されたドキュメント、他のメディアへの変換物といった、ソース形式の機械的な変換により生じる形式を指します。

「成果物」とは、ソース形式であるとオブジェクト形式であるとを問わず、製作物に挿入または添付される（後出の付録に例がある）著作権表示で示された著作物で、本ライセンスに基づいて利用が許されるものを指します。

「派生成果物」とは、編集上の改訂、注解、推敲など、成果物を基にして全体としてオリジナル著作物と呼べるような製作物全般を指します。本ライセンスでは、成果物や派生成果物から分離できる製作物や、成果物や派生成果物のインタフェースへの単なるリンク（または名前によるバインド）を、派生成果物に含めません。

「コントリビューション」とは、成果物のオリジナルバージョンならびに成果物または派生成果物への変更や追加も含めて、著作権所有者あるいは著作権所有者が認めた個人または法人による成果物への組み込みを意図してライセンサーに提出される著作物全般を指します。この定義における「提出」とは、成果物を論じたり改良するためにライセンサーまたはその代理者により管理される電子的メーリングリスト、ソースコード管理システム、問題追跡システムといった、電子的方法、口頭、または書面で、ライセンサーまたはその代理者に情報を送ることを指します。ただし、著作権所有者が書面で「コントリビューションでない」と明示したものは除きます。

「コントリビューター」とは、ライセンサーおよびその代理を務める個人または法人で、自分のコントリビューションがライセンサーに受領されて成果物に組み込まれた者を指します。

2. 著作権ライセンスの付与

本ライセンスの条項に従って、各コントリビューターはあなたに対し、ソース形式であれオブジェクト形式であれ、成果物および派生成果物を複製したり、派生成果物を作成したり、公に表示したり、公に実行したり、サブライセンスしたり、頒布したりする、無期限で世界規模で非独占的で使用料無料で取り消し不能な著作権ライセンスを付与します。

3. 特許ライセンスの付与

本ライセンスの条項に従って、各コントリビューターはあなたに対し、成果物を作成したり、使用したり、販売したり、販売用に提供したり、インポートしたり、その他の方法で移転したりする、無期限で世界規模で非独占的で使用料無料で取り消し不能な（この項で明記したものは除く）特許ライセンスを付与します。ただし、このようなライセンスは、コントリビューターによってライセンス可能な特許申請のうち、当該コントリビューターのコントリビューションを単独または該当する成果物と組み合わせて用いることで必然的に侵害されるものにのみ適用されます。あなたが誰かに対し、交差請求や反訴を含めて、成果物あるいは成果物に組み込まれたコントリビューションが直接または間接的な特許侵害に当たるとして特許訴訟を起こした場合、本ライセンスに基づいてあなたに付与された特許ライセンスは、そうした訴訟が正式に起こされた時点で終了するものとします。

4. 再配布

あなたは、ソース形式であれオブジェクト形式であれ、変更の有無に関わらず、以下の条件をすべて満たす限りにおいて、成果物またはその派生成果物のコピーを複製したり頒布したりすることができます。

- a. 成果物または派生成果物の他の受領者に本ライセンスのコピーも渡すこと。
- b. 変更を加えたファイルについては、あなたが変更したということがよくわかるような告知を入れること。
- c. ソース形式の派生成果物を頒布する場合は、ソース形式の成果物に含まれている著作権、特許、商標、および帰属についての告知を、派生成果物のどこにも関係しないものは除いて、すべて派生成果物に入れること。
- d. 成果物の一部として「NOTICE」に相当するテキストファイルが含まれている場合は、そうした NOTICE ファイルに含まれている帰属告知のコピーを、派生成果物のどこにも関係しないものは除いて、頒布する派生成果物に入れること。その際、次のうちの少なくとも 1 箇所に挿入すること。(i) 派生成果物の一部として頒布する NOTICE テキストファイル、(ii) ソース形式またはドキュメント（派生成果物と共にドキュメントを頒布する場合）、(iii) 派生成果物によって生成される表示（こうした第三者告知を盛り込むことが標準的なやり方になっている場合）。NOTICE ファイルの内容はあくまで情報伝達用であって、本ライセンスを修正するものであってはなりません。あなたは頒布する派生成果物に自分の帰属告知を（成果物からの NOTICE テキストに並べて、またはその付録として）追加できますが、これはそうした追加の帰属告知が本ライセンスの修正と解釈されるおそれがない場合に限られます。

あなたは自分の修正物に自らの著作権表示を追加することができ、自分の修正物の使用、複製、または頒布について、あるいはそうした派生成果物の全体について、付加的なライセンス条項または異なるライセンス条項を設けることができます。ただし、これは成果物についてのあなたの使用、複製、および頒布が、それ以外の点で本ライセンスの条項に従っている場合に限られます。

5. コントリビューションの提出

特に断りがない限り、あなたが成果物への組み込みを意図してライセンサーに提出したコントリビューションは、付加的な条項がなければ、本ライセンスの条項に従うものとします。上述の規定にかかわらず、そうしたコントリビューションに関してあなたがライセンサーと結んだかもしれない別のライセンス契約の条項を、ここで無効にしたり修正したりすることはありません。

6. 商標

本ライセンスでは、成果物の出所を記述したり NOTICE ファイルの内容を複製するときに必要な妥当で慣習的な使い方は別として、ライセンサーの商号、商標、サービスマーク、または製品名の使用権を付与しません。

7. 保証の否認

適用される法律または書面での同意によって命じられない限り、ライセンサーは成果物を（そしてコントリビューターは各自のコントリビューションを）「現状のまま」提供するものとし、明示黙示を問わず、タイトル、非侵害性、商業的な使用可能性、および特定の目的に対する適合性を含め、いかなる保証も条件も提供しません。あなたは成果物の使用や再頒布の適切性を自分で判断する責任を持つと共に、本ライセンスにより付与される権利を行使することに伴うすべてのリスクを負うことになります。

8. 責任の制限

いかなる条件および法理論においても、不法行為（過失を含む）、契約、またはその他いかなる場合でも、適用される法律または書面での同意によって命じられない限り、コントリビューターは本ライセンスまたは成果物の使い方に関連して生じる直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害を含め、営業権の損失、業務の停止、コンピューター障害または誤作動、その他の商業上の損害や損失など、いかなる損害に対しても、たとえそうした損害の可能性をたとえ知らされていたとしても、あなたに責任を負わないものとします。

9. 保証または追加的責任の引き受け

成果物またはその派生成果物を再頒布する際、あなたはサポート、保証、損害補償、またはその他の責任や、本ライセンスに矛盾しない権利を提示し、これを有料にすることができます。ただし、そうした責任を引き受ける場合、あなたはそれを自分自身のためにだけ自己責任として行えるのであって、他のコントリビューターのために行うことはできません。また、あなたはそうした保証や追加的責任のせいで他のコントリビューターに責任が降りかかったり賠償要求が出されたとしても、それらのコントリビューターに損害が及ぶのを防ぐと共に各コントリビューターの損害を補償することに同意しなければなりません。

使用、複製、および頒布に関する条項の終わり